

通史編 1 自然環境・原始・古代 目次

口 絵

発刊にあたって

目 次

凡 例

自然環境

第一章 地形・地質

第一節 松江の文化を支えた多様な地形

一 松江の地形の概要

島根半島の山と海／中海・宍道湖低地帯と中国山地／海の道・川の道／海流と河川

二 水都松江の象徴・大橋川―開発と洪水対策

戦前の国営斐伊川改修事業／河床の掘削と塩害／頻発する洪水
生活を支えた日本最大の汽水域―宍道湖と中海

三 中海と宍道湖の湖底地形／塩水楔と塩分躍層／貧酸素状態の底層水

四 古代から現代までの文化の舞台―松江の平野

低湿地の微地形／古代文化の拠点―意宇平野／松江平野の微地形／低湿地の開発と松江城下町建設

第二節 地球の歴史と松江の地質

一 松江の地質から読み取る日本海形成の物語

日本海形成に向けた胎動／裂け始めた大陸／拡大する日本海／静謐な海―布志名層の時代／浅い内湾の出現―松江層の海／【コラム①】大陸時代を語る希少な地層「古浦層」

二 人類の時代・第四紀―段丘の形成と大根島火山

第四紀という時代／周期的な気候変化／海面変動と段丘の形成／地下に埋もれていく段丘／大根島火山の形成／【コラム②】松江市の地下資源

三 水都松江の象徴―中海・宍道湖の形成

埋もれた谷地形／気候の急変／縄文海進／谷をさかのぼる海／ウニが生

第二章 気候と気象

第一節 松江の気候と四季の変化

北陸・山陰型気候区の松江／季節区分／春／梅雨／夏／秋／冬

第二節 歴史時代の気候

過去の気候を知る方法／過去一〇〇〇年間の気候／気候変化の原因―火山噴火

第三節 松江の気象災害

主な気象災害と季節性／大雨と水位の変化／旱ばつとその原因／豪雪とその影響

第三章 生物

第一節 私たちの生活を育む里山

一 わが国における自然環境の変遷
旧石器・縄文時代の自然／弥生時代の自然／奈良時代の自然／江戸時代の自然／明治以降の自然

二 里山の植生

自然植生／代償植生

三 里山の動物

哺乳類／鳥類／両生は虫類／魚類／陸産貝類／昆虫類

四 里山の危機と絶滅のおそれのある希少な植物

【コラム④】希少な生き物たち

五 外来生物による生物多様性の危機

六 里山のめぐみと食生活

第二節 「水の都松江」とそこに見られる生き物たち

一 特異な湖「宍道湖」

宍道湖のシジミ／宍道湖でみられる珍しい生物

二 野鳥の宝庫「宍道湖」

【コラム⑤】ラムサール条約に登録された宍道湖・中海

三	宍道湖と中海の生物の違い	1	4	0
	【コラム⑥】絶滅動物が語る過去の松江の優れた自然			
四	水辺の生き物たち	1	4	4
	水辺の植生／堀川の生き物／【コラム⑦】嫁ヶ島と松			
五	松江の自然と食生活	1	4	8
第三節	魅力いっぱい島根半島と日本海の自然	1	5	1
一	島根半島の植生	1	5	2
	自然植生／代償植生			
二	島根半島の動物たち	1	5	6
	哺乳類／鳥類／両生類			
三	松江藩の産業振興とその名残	1	6	2
四	海流と生き物たち	1	6	4
	魚類／ウミガメ類／アオイガイ／海藻類／【コラム⑧】ウツブリノリ／恵まれた海産物			
五	磯の生き物たち	1	7	0
	【コラム⑨】悲劇の海獣ニホンアシカと島根半島			
原始・古代				
第一章	人類の進化と日本列島の新人（ホモ・サピエンス）の文化			
	―山陰の地域色の始まり―			
第一節	アフリカに刻まれた人類の第一歩	1	8	2
一	人類の誕生	1	8	2
	人類の誕生／原人の出アフリカ／旧人の登場／東アジアの前期・中期旧石器時代／【コラム⑩】日本における前期・中期旧石器論争と出雲			
第二節	ホモ・サピエンスの拡散と日本列島への進出	1	9	2
一	私たちの直接の祖先	1	9	2
	遺伝子が明らかにした新人の始まり／拡散するホモ・サピエンス／世界中に広がった新人			
二	ホモ・サピエンスの文化	1	9	4
	新人が使った道具／芸術やシンボル・知性			
三	日本列島に到達したホモ・サピエンスとその生活と環境	1	9	6

	日本列島への到達／氷期の日本列島／旧石器人の生活	1	9	9
第三節	中国地方の後期旧石器文化と松江	1	9	9
一	松江周辺の後期旧石器時代	1	9	9
	谷川だった宍道湖・中海／松江周辺の遺跡／後期旧石器時代の石器／松江の石器の時期／遊動生活の実態／中国山地西部グループの遊動／中国山地東部グループの遊動／大三角と二つのルート			
第四節	終わりを迎える旧石器時代	2	1	3
一	細石刃文化の到来	2	1	3
	究極のエコ石器／山陰く中国山地の細石器文化／東北からの集団の到来／湧別集団の広がり／玉髄／旧石器時代の終わり／改めて松江の地形条件			
第二章	縄文時代の松江―狩猟・採集・漁撈の生活―			
第一節	縄文時代の始まり	2	2	0
一	縄文時代の枠組み	2	2	0
	縄文時代とは／縄文文化の空間的範囲／縄文時代はいつ始まったのか／現在有力な三つの説			
二	縄文時代の時期区分	2	2	6
第二節	縄文時代の集落	2	3	0
一	定住生活のあり方	2	3	0
	定住生活とは何か／民族考古学による知見／多角的な生業形態			
二	島根県内の縄文集落	2	3	3
	島根県内における縄文集落のあり方／一集落における居住人数／当時の居住形態			
三	定住生活の意義	2	3	7
	定住化の進展と社会の複雑化／島根県域における生活パターン			
第三節	縄文時代の生業	2	4	0
一	縄文時代の食料	2	4	0
	当時の人々の食料資源／陸上動物資源の利用／水産資源の利用／植物質食料の利用			
二	食料の調達計画と管理	2	4	3
	縄文カレンダー／食料資源の管理			

第四節 縄文時代の精神文化	2 4 5
一 祈りの道具にみる精神文化	2 4 5
二 松江市域における精神文化	2 4 6
第五節 縄文時代の墓と集団構造	2 4 9
一 島根県域における集落と墓	2 4 9
二 島根県内の遺跡における墓域と埋葬小群／集落と墓域の対応関係	2 5 1
第六節 弥生時代への移行	2 5 2
一 AMSによる弥生時代開始年代	2 5 2
二 山陰地方における弥生時代の始まり	2 5 3
第三章 弥生時代の松江——農耕社会の成立と展開——	
第一節 水田稲作の伝来	2 5 6
一 弥生時代はどのような時代か	2 5 6
二 「渡来系」の移住者と灌漑水田	2 5 9
二 松江市域の水田経営／灌漑水田技術の伝来	
第二節 西川津遺跡にみる弥生時代の暮らし——ムラの景観——	2 6 2
一 水田の開発と米作り	2 6 2
二 弥生時代の景観／農耕の道具	2 6 4
三 採集／漁撈／狩猟	2 6 8
三 弥生人の装い	2 6 8
第三節 環濠をめぐるすムラ——田和山遺跡の謎——	2 7 0
一 弥生時代の住まいと集落	2 7 0
二 環濠をめぐるすムラ	2 7 3

山陰の環濠集落／田和山遺跡／山頂部の遺構／三重の環濠と土塁／環濠の外側／濠は何を守っていたのか／地域社会の解体と銅剣・銅鐔	2 8 0
第四節 まつりがムラを結ぶ	2 8 0
まつりの道具	2 8 1
一 青銅器のまつり	2 8 1
塗り替えられた青銅器分布／武器形青銅器／出雲の銅鐔／青銅器はなぜ埋納されたのか／社会構造の変化	
二 土製・木製祭具のまつり	2 8 8
土製の祭具／木製の祭具	
三 神意を問う——骨卜の習俗——	2 9 1
第五節 東アジアと弥生社会——玉と鉄の交易——	2 9 3
一 土器から見た人々の交流	2 9 3
朝鮮半島の土器／楽浪の土器／九州の土器／山陽・近畿の土器	
二 弥生時代の玉作りと交易	2 9 9
朝鮮半島の管玉／水晶製玉類の生産	
三 鉄器をめぐる交流	3 0 1
鉄素材の入手と鉄器の生産／東西交流と南北交流	
第六節 四隅突出墓から古墳へ	3 0 4
一 弥生時代の集団墓	3 0 4
多様な墳墓／列状に配置された墓／渡来系弥生人／丘陵上に立地する墳墓群	
二 方形に貼石された区画墓	3 1 0
区画墓の出現	
三 弥生王墓の誕生	3 1 2
四隅突出墓／区画墓変遷の画期／弥生王墓／対外交渉権の掌握	
第四章 古墳時代の松江——出雲世界形成の起源——	
第一節 邪馬台国と前方後円墳時代の始まり	3 2 0
一 径百余歩の家——箸墓古墳と卑弥呼の墓——	3 2 0
前方後円墳の誕生／最古の古墳はどれか／古墳出現年代をどう求めるのか／前方後円墳のルーツ／なぜ大和が中心となったのか／古墳成立の国	

際的契機

二 前方後円墳築造領域の拡大と出雲の方墳	3 2 5
画文帯神獸鏡と三角縁神獸鏡／前方後円墳の拡大／前方後円墳体制と初期国家／方墳で始まる出雲の方墳／荒島の王陵と前方後方墳	
三 松江における古墳の出現―橋南の古式方墳と寺床一号墳―	3 2 9
松江市域における古墳の出現／中海連合体と松江市橋南地域群小墳の盛行―奥才古墳群と古墳時代前期の橋北地域―	3 3 2
奥才古墳群の概要／奥才古墳群の特色／奥才古墳群の性格	
五 集落の変化と山陰系土器の広がり	3 3 6
集落の変化／住居形態の変化／畿内系土器の流入／山陰系土器の広がりと土師氏／『古事記』『日本書紀』伝承と山陰系土器／畿内へのルート	
六 大王墓の移動と地域の古墳の変化	3 4 1
大王墓の移動現象／佐紀古墳群の成立／佐紀古墳群の特徴／佐紀古墳群成立の意味するもの／佐紀古墳群の成立と地方の古墳	
七 松江における前方後円墳・円墳の出現	3 4 6
松江の前方後円墳・円墳／出雲における前方後円墳出現の背景／日本海沿岸域交易ルートの変革／廻田一号墳の出現と意宇平野／【コラム①】土器型式と地域性	
第二節 巨大王墓と松江の豪族	
―五世紀のヤマト王権と東部出雲の新たな関係―	3 5 4
一 大王墓の新たな展開と日本の国際化	3 5 4
世界最大級の墳墓群百舌鳥・古市古墳群／前方後円墳の巨大化／帆立貝式古墳の出現／陪家の成立／倭の五王と東アジア情勢／対高句麗戦の影響／渡来人のインパクト	
二 大橋川沿岸の大型方墳と百舌鳥・古市古墳群	3 5 9
―廟所古墳の出現の意味―	
大型方墳の出現／継続する大型方墳の築造と古式群集墳の築造開始／百舌鳥・古市古墳群と東部出雲の大型方墳	
三 平所埴輪窯跡・石屋古墳の形象埴輪と埴輪の創始伝承	3 6 1
平所埴輪窯跡の製作技術／石屋古墳の人物埴輪群／人物埴輪の創出と出雲／野見宿禰伝承と出雲／野見宿禰伝承と人制	
四 淤宇宿禰伝承と意宇平野の開発	3 6 6
淤宇宿禰伝承の再評価／出雲国府下層遺構群の発見／渡来人は何をもた	

らしたか／意宇川の変遷／遺跡から見た意宇平野の開発／意宇平野の水
利形態／開発拠点としての首長居館／五世紀開発論の現状／水辺祭祀の
盛行とその背景

五 出雲ブランドの確立―玉作の本格化―	3 7 4
古墳時代の玉／「出雲の玉」／玉作遺跡の分布の変化／弥生時代後期の玉作遺跡分布／古墳時代の玉作遺跡分布／玉作遺跡分布から見えてくること1／玉作遺跡分布から見えてくること2／玉作遺跡分布から見えてくること3／出雲ブランドの確立	
六 入海北岸地域の古墳の動向と松江の南北連合	3 8 0
大橋川を挟む二つの松江／五世紀の松江北部／松江南北連合の確立／なぜ方墳か	
第三節 王権の進展と前方後方墳体制	
―五世紀後半／六世紀前葉の東部出雲の秩序―	3 8 3
一 王権の進展と各地の反乱伝承	3 8 3
倭の五王と府官制／雄略天皇の体制／人制による秩序／宋の滅亡と外交の混乱／継体天皇の擁立／各地の反乱伝承	
二 東部出雲の前方後方墳体制	3 8 8
前方後方墳への転換／墳形の意味／墳形規制の解体と地域秩序／前方後方墳の意味／前方後方墳体制の周辺地域	
三 群集墳の出現	3 9 4
群集墳の出現／東部出雲の古式群集墳／群集墳と階層秩序／前方後方墳体制の構造	
第四節 王権の確立と出雲世界の成立	
―六世紀中葉以降の東西出雲―	3 9 9
一 地域支配の浸透と前方後円墳の消滅	3 9 9
欽明朝と国際関係／蘇我氏伸展と物部氏の対立／推古天皇と厩戸皇子／欽明朝と氏姓制度の進展／ミヤケ制・国造制／古墳時代との関わり／前方後円墳秩序の変容／前方後円墳の終焉	
二 東西出雲の覇権―山代二子塚古墳の出現―	4 0 6
山代二子塚古墳のインパクト／意宇平野の古墳センター化／東西出雲の覇権／文献史料からみた東西出雲論／出雲における部民制・国造制／部民制・国造制と地域の古墳／出雲東部（松江市域）の首長／山代方墳と西部出雲の後退	
三 地域に広がる横穴式石室と横穴墓―東西出雲の覇権の確立―	4 1 5

出雲地域における横穴式石室の出現／畿内の影響を受けた横穴式石室／横穴式石室伝播の背景／石棺式石室の採用／石棺式石室の系譜／石棺式石室の分布／葬送儀礼と出雲型子持壺／横穴式石室からなる古墳群／横穴墓の普及とその分布／横穴墓の形式と地域性／意宇型横穴墓と石棺式石室／横穴墓の被葬者	4 2 7
四 民衆のまつり、首長のまつり	4 2 7
首長による水のまつり／松江市域の首長と祭祀／滑石製祭祀具の展開／土馬の展開と地域集団	

五 須恵器の生産と大井窯への集約	4 2 9
新しい焼き物／技術の広がり／出雲での須恵器生産の始まり／大井での集約生産／谷型と海岸型／大井窯での生産システム／須恵器生産集約の背景	
六 日本随一の玉生産地	4 3 6
卓越した出雲東部の玉生産／玉作工房の再編と集約／出雲玉作の盛行と断絶／玉作を記した文献／職業村「玉作」ムラ／忌部氏と玉作／出雲国造と玉作／玉作と部民制・人制／「玉作」ムラと地域の手工業	

七 鉄生産の始まり	4 4 3
本格的な鍛冶の始まり／砂鉄製錬の始まり／中海沿岸での鉄生産／鉄にまつわるイメージと実像	
八 居住様式の変革	4 4 6
堅穴住居から掘立柱建物へ／丘陵部への集落の進出／新たな炊飯様式の導入／様々な炊飯具／炊飯具の地域性／東西出雲領域の形成	

九 古墳時代後期の出雲	4 5 1
古墳からみた六・七世紀前半の松江／横穴式石室の採用／大型古墳の出現／石棺式石室の採用／大型古墳の消滅／玉作の盛衰／古墳時代後期の出雲	

第五章 律令国家への歩み

第一節 古代の出雲	4 6 0
一 文献に見える出雲	4 6 0
文字に書かれた日本の歴史／文献に見える出雲／『古事記』『日本書紀』と『出雲国風土記』の出雲	
二 出雲臣とその伝承	4 6 3
出雲国造出雲臣／出雲臣の由緒／『日本書紀』の出雲臣伝承／『古事記』	

三 出雲臣伝承	4 6 8
淤宇宿禰と人制	4 6 8
『古事記』『日本書紀』の伝承の歴史的背景／出雲と人制／考古資料から見た人制／『古事記』『日本書紀』の伝承は何を伝えていているか	

第二節 出雲の部民制・国造制	4 7 2
一 氏族と部民制	4 7 2
氏族と部民制／部民制の成立時期	

二 国造制の成立	4 7 6
国造制／国造制の成立時期	

三 出雲の国造制	4 7 8
出雲の国造制／出雲地域における国造制の構造／出雲臣・神門臣／出雲国造のオオクニヌシ奉祭	

四 出雲臣・神門臣と東西出雲	4 8 2
東西の出雲／神門臣の弱体化と出雲国造の成立／杵築大社の祭祀と出雲国造／部民制と国造制の終焉／部民制の廃止／国造制の展開	

第三節 乙巳の変・七世紀の国政改革と松江地域	4 8 9
一 乙巳の変と七世紀の国政改革	4 8 9
乙巳の変／いわゆる大化改新／「郡」の設置／「郡」と評／評制の施行／天下立評／評制の木簡／評の官人とその性格	

二 出雲における評の形成	4 9 3
出雲における評制の施行／孝徳朝から天武末年まで／山陰における評の設定の時期／天武末年から大宝令施行直前まで	

三 国制と出雲国の成立	4 9 8
令制国とはなにか／令制国の成立／出雲国の成立	

四 出雲国府の成立	5 0 1
評家・国府の成立／出雲国府の成立／『出雲国風土記』と国府／意宇郡家（評家）の移動／出雲国府はどこまでさかのぼるか	

五 古代道の形成	5 0 6
七世紀以前の交通／交通障害神／氏族関係・個別の人間関係に基づく交通／播磨と出雲と額田部／古代道の形成過程	

第六章 律令国家と松江

第一節 律令国家の地方行政と松江	5 1 2
一 律令国家と松江	5 1 2
大宝律令／律令国家の確立／奈良時代史／律令国家と東アジア／律令国家と出雲	
二 国郡里制と松江	5 2 1
国郡里制と松江／国造から郡司へ／国司と郡司	
三 律令地方行政と民衆	5 2 5
「出雲国計会帳」と律令文書行政の世界／節度使と軍団／律令地方行政と民衆	
四 出雲と他地域との交流	5 3 1
出雲と他地域との交流／【コラム⑫】畿内の出雲臣	
第二節 出雲国造と律令国家・王権	5 3 4
一 出雲国造と王権	5 3 4
出雲国造と王権の結びつき／出雲国造／出雲国造と采女・兵衛	
二 出雲国造と神郡意宇郡	5 3 9
出雲国造と神郡意宇郡／熊野大社と出雲国造	
三 出雲国造と神賀詞奏上	5 4 1
出雲国造と神賀詞奏上	
四 出雲国造と神事・玉作	5 4 3
出雲国造と神事／出雲国造と玉作	
五 出雲国司と出雲国造	5 4 4
出雲国司と出雲国造	
六 出雲国司	5 4 5
忌部宿禰子首／石川朝臣年足／【コラム⑬】玉作湯と史跡出雲玉作跡	
第三節 出雲国府の実像	5 5 1
一 出雲国府の景観	5 5 1
自然的景観／周辺の遺跡／古代の遺跡	
二 発掘された出雲国府	5 5 2
所在論争／松江市による発掘調査／史跡指定と整備に伴う調査／島根県教育委員会の調査	
三 国庁・国司館・国学・寺社	5 5 8

国庁・国司館・国学／国府の寺社	
四 正倉院・駅家・国府津	5 6 1
正倉院／出雲国の正倉／駅家（黒田駅）／国府津／国府津の推定／日本海岸の港津／河川の津	
五 国府官営工房	5 6 7
国府に置かれた官営工房／出雲国府の工房／水精珠づくり	
六 烽・意宇杜・十字街	5 7 0
烽／出雲国の五烽／山陰道節度使／出雲国と隠岐国をむすぶ烽／意宇杜／十字街／【コラム⑭】八雲立つ風土記の丘	
第四節 出雲国府と地域社会	5 7 6
一 出雲国府が果たした諸機能	5 7 6
官衙群としての出雲国府／出雲国府が果たした諸機能	
二 出雲国府の出土文字資料	5 8 0
国庁北方官衙地区（宮の後地区）／国司館地区（大倉原地区）	
三 条里制と出雲国府	5 8 4
条里制／出雲国府跡周辺の条里遺構／国府条里基準説	
四 出雲国府と交通路	5 8 6
五畿七道の交通路と駅伝制／出雲と都の交通路／駅馬・伝馬制／山陰道の駅路・駅家／古代山陰道の道路遺構／北つ海の交通	
五 意宇郡家・島根郡家・秋鹿郡家と村々	5 9 0
意宇郡家／島根郡家／秋鹿郡家／奈良時代の集落／【コラム⑮】出雲国府跡出土の則天文字	
第七章 『出雲国風土記』が語る松江	
第一節 『出雲国風土記』とは	5 9 6
一 『出雲国風土記』の成立	5 9 6
撰進命令から勘造へ／『出雲国風土記』の特徴／主な写本	
二 『出雲国風土記』研究の流れ	6 0 2
岸崎佐久次時照／『出雲風土記抄』／千家俊信と『訂正出雲風土記』／【コラム⑯】近世後期の『出雲国風土記』研究者	
第二節 国の要―意宇郡の世界―	6 0 8
国の要意宇郡／神名樋野／川と魚／山野の菓草／【コラム⑰】近代の『出	

雲国風土記』研究

第三節 水辺・海辺の暮らし―島根郡・秋鹿郡の世界―	618
---------------------------	-----

「百姓家」／浦／加賀神崎／蛸島・蜈蚣島／恵曇のさと／朝酌のさと／
【コラム⑱】朝山皓の『出雲国風土記』研究

第四節 宴の場	632
---------	-----

古代のうたげ／忌部神戸／邑美冷水・前原崎／【コラム⑲】松江市域の『出雲国風土記』写本

第八章 神仏への祈りと神話の世界

第一節 神社・寺院と地域社会	642
----------------	-----

一 神まつりの空間	642
-----------	-----

国造と神まつり／カンナビとは何か／松江市域のカンナビ／『出雲国風土記』の神社／神社と地域社会

二 仏への祈り	655
---------	-----

出雲における仏教の伝播／『出雲国風土記』に記された寺院／「北新造院」と「南新造院」／仏への祈り／山寺と山岳信仰

三 国分寺・国分尼寺と地域社会	669
-----------------	-----

石川年足の写経／年足の善政と国分寺造営の可能性／出雲国分寺・国分尼寺の実像／【コラム⑳】風土記社を歩く

第二節 松江市域に関わる神話	676
----------------	-----

一 神話とは何か	676
----------	-----

神話とは／神話は語り／神話と歴史／神話のテキスト

二 『古事記』の神話と松江市域の伝承地	680
---------------------	-----

「黄泉つひら坂」／御大の御前

三 『出雲国風土記』の神々の足跡	688
------------------	-----

『出雲国風土記』の神々の足跡／国引き神話と意宇の杜／大穴持命とその御子神たち／須佐乃衰命とその御子神たち／神魂神とその御子神たち／「二つの出雲神話」論／補完しあう「二つの出雲神話」／「所造天下大神」と「治天下大王」／【コラム㉑】神話に寄せる人びとの想い

第九章 平安前期の出雲・山陰

―東アジア世界・災害・律令制の展開―

第一節 九世紀前半の列島社会と出雲国	706
--------------------	-----

一 九世紀の日本と出雲	706
-------------	-----

桓武朝の改革と出雲国／九世紀の社会と出雲国

二 俘囚の反乱	708
---------	-----

蝦夷との戦争／出雲国の俘囚たち／俘囚の反乱／反乱の要因と影響／ひつ迫する国府財政

第二節 渤海との交流	714
------------	-----

一 渤海使王孝廉の来着	714
-------------	-----

渤海使王孝廉／漢詩の唱酬

二 出雲・伯耆に到着した渤海使	716
-----------------	-----

天長二年高承祖／貞観二年李居正／貞観十八年楊中遠／寛平四年王龜謀／寛平六年裴頌／延喜八年裴璆

三 渤海との外交と山陰	722
-------------	-----

日本・渤海の交通路と山陰／安置供給／来着地諸国の外交上の役割／環日本海交流の停滞

第三節 九世紀後半の災害と危機対応	727
-------------------	-----

一 九世紀後半の大地震と噴火	727
----------------	-----

相次ぐ大地震と噴火

二 新羅との関係	729
----------	-----

新羅と海賊

三 危機対応と山陰	731
-----------	-----

四王寺と四天王法／韓国伊大氏神社／弩と弩師の配置

第四節 九世紀後半の変化と山陰	739
-----------------	-----

一 海賊と群党蜂起	739
-----------	-----

九世紀末の王権／海賊と群党蜂起

二 山陰における軍事的対応	742
---------------	-----

新羅海賊の北部九州襲撃と山陰の烽／山陰の兵乱と押領使／【コラム㉒】出雲国に流された貴族たち―都の政変と出雲―

第十章 平安中期の出雲・山陰―古代国家の変容と地域―

第一節 古代国家の変容	748
-------------	-----

一 摂関政治の展開	748
-----------	-----

二	租税と財政の変化	7 5 0
三	調庸と貢進物の変化／出挙の租税化／財政の変化と新たな税制	
三	受領の成立	7 5 3
四	受領の成立／受領考課／任用国司の行方	
四	荘園制と在庁官人制の成立	7 5 8
四	国衙と在庁官人制の成立／荘園の成立／出雲国の荘園	
第二節	正税返却帳にみる十世紀の出雲	7 6 2
一	「出雲国正税返却帳」と受領	7 6 2
二	「出雲国正税返却帳」／出雲守藤原行房／「出雲国正税返却帳」の史料価値	7 6 8
二	正税返却帳からみる出雲国の財政負担	
二	中央官人たちの位禄／杵築社・熊野社の造営／伊勢神宮式年遷宮／東三条院藤原詮子の算賀と喪葬／内裏造営	
第三節	国家儀礼と出雲	7 7 9
一	大嘗会と出雲	7 7 9
二	大嘗会／大嘗会の料物	
二	相撲節と出雲	7 8 1
二	相撲節／野見宿禰と相撲の起源伝承／摂関期・院政期の相撲節／相撲使の派遣／相撲人	
第四節	摂関政治の展開と出雲国	7 8 8
一	摂関政治と出雲国の受領	7 8 8
一	出雲守藤原相如と藤原道兼／藤原隆家と出雲国／東三条院司源忠規／紀忠道／藤原頼経と藤原成親／橘孝親と不堪佃田奏／道長・頼通と出雲国の受領	
二	杵築大社の顛倒・託宣事件	7 9 5
二	長元年間の社会／出雲守橘俊孝と季節はずれの雪／杵築大社の顛倒と託宣／事件の背景／出雲守藤原登任の杵築大社造営	
三	康平・治暦の杵築大社造営と出雲の受領	8 0 3
三	十一世紀中葉の受領／康平・治暦度の造営／一国平均役による造営	
第五節	院政の成立と出雲国	8 0 6
一	摂関家司受領	8 0 6

二	藤原行房から源経仲へ／高階重仲と藤原忠清	8 1 1
二	院司・院近臣受領と知行国制	8 1 1
二	藤原家保と源義親の乱／院近臣と受領・知行国／中世の国家と地域社会へ／【コラム②③】出雲と和歌	
参考文献一覧		8 1 7
松江市史編纂関係者名簿		8 3 8
執筆分担		8 4 0
協力者一覧		8 4 2
写真提供者一覧		4 9
年表		3 2
索引		4
出雲国風土記地図（松江市域およびその周辺）		

通史編2 中世 目次

口 絵

発刊にあたって

目 次

凡 例

概 観

中世とは／日本中世社会の歴史的特徴／アジア・世界の中の日本中世社会／中世出雲国・松江地域の歴史的特徴／本巻の課題と特徴／本巻の構成

第一章 中世社会の成立

本章の主題と主な内容

第一節 中世の始まり

一 院政の始まり

白河天皇の譲位／院の権勢／摂関家の衰退

二 院政を支えた人々

院の近臣／院庁と院司／院の殿上人と北面

三 院政期の国政

院御所の議定／院政期の政務

四 知行国制度と出雲国

国司制度の変質／出雲国の受領と知行国主／受領・知行国主と朝廷の経済／受領・知行国主の国務／出雲国衙と在庁官人

五 荘園公領制

公領（国衙領）とその支配／中世荘園の成立／荘園公領制

六 武士の登場

律令軍制の崩壊／兵の登場／出雲押領使清滝静平

第二節 院政の展開

一 平正盛の源義親追討

源義親の出雲目代殺害／義親の拠点雲津浦／因幡守平正盛による追討／

乱後の山陰道

二 杵築大社と出雲国衙

一宮としての杵築大社／杵築大社領の形成／藤原顕頼の杵築大社造営／藤原光隆の杵築大社造営／杵築大社の神事と国衙

三 鳥羽院政から後白河院政へ

鳥羽院政／摂関家の分裂

四 荘園の成立

荘園の登場／杵築大社の荘園化／杵築大社の荘園化の背景

第三節 武家政権の成立

一 平氏政権の成立

平清盛の躍進／平氏政権と出雲の武士／出雲の武士のネットワーク

二 治承・寿永の内乱

治承三年の政変／諸国の蜂起／木曾義仲と山陰道

三 鎌倉幕府の成立と出雲国

杵築大社の動揺／出雲目代の罷免／守護の設置／地頭の設置／国造出雲氏の御家人化／受領・知行国主と在庁官人

第四節 幕府と朝廷

一 承久の乱

出雲の武士の動向／新地頭の設置／在庁官人の没落／東国御家人と出雲の御家人

二 幕府権力と出雲国

執権政治と幕府法廷の整備／六波羅探題と出雲国

三 出雲守護佐々木氏

守護の活動／京・鎌倉における佐々木氏／守護代と守護郡使／出雲国内の佐々木氏の所領

四 杵築大社造営と幕府

嘉祿・宝治の造営／知行国主・国衙による造営／幕府の関与

五 国衙と府中

受領と知行国主／在庁官人／出雲府中／国造出雲氏の府中諸社掌握

第五節 鎌倉後期の社会変動

一 モンゴル襲来

9 4

北条得宗家の政權掌握／北条得宗家と出雲国／使者の来航／杵築大社頭役結番帳／文永の役と異国征伐計画／石築地の造営／西国守護の一斉交代／弘安の役と兵糧米賦課／異国降伏の祈禱と寺社	
二 社会の動揺	102
天皇家の分裂／進まない杵築大社造営／悪党と違勅人／末次荘・法吉荘の地下中分／売却される所領／大野荘をめぐる相論	
三 鎌倉幕府の滅亡	114
後醍醐天皇の登場／正中・元弘の討幕計画／後醍醐天皇の隠岐配流／北条得宗政權の崩壊	
第二章 中世社会の構造	
本章の主題と主な内容	120
第一節 荘園公領制	121
一 荘園公領制とは	121
荘園公領制／中世的郡郷制の成立／荘園の増加と国衙	
二 大田文と国衙支配	124
大田文	
第二節 国衙と公領	126
一 郡・郷・保と郡司・郷司・保司	126
大名田堵と小名田堵／保と保司	
二 名体制と中世村落	127
名田の成立／百姓と中世村落の成立	
三 国衙免田・別名・別符	129
国衙免田／別名／別符	
第三節 荘園の仕組み	131
一 寄進と立荘	131
寄進と立荘／権門と荘園	
二 荘園の領有体系	132
三 預所・下司・公文と荘園経営	133
四名主	134
五 荘園と国衙	135

第四節 荘園公領制の変容	137
一 武家領・本所一円地体制	137
荘園公領制の変化／武家領と本所一円地	
二 南北朝内乱と半済令	139
南北朝内乱の影響／半済令／室町期の状況	
三 御料所	142
第五節 松江市域の荘園・公領	144
一 郡ごとの概況	144
荘園と公領の区別／人名表記の意味	
二 意宇郡	146
荘園／公領	
三 島根郡	155
荘園／公領	
四 秋鹿郡	162
荘園／公領	
第六節 荘園・公領支配の推移	165
一 揖屋社	165
荘園の成立／杵築大社との関係	
二 佐陀社	167
佐陀社の成立／佐陀神主／守護と戦国大名の支配	
三 加賀荘	171
加賀荘の成立／中世後期の加賀荘	
四 末次保	176
末次保の成立／中世後期の末次荘	
第七節 空間としての荘園・公領	178
一 長田西郷と東郷	178
西長田郷長田氏／長田西郷の村落／長田東郷の景観	
二 持田荘	190
中心地域／周辺地域	
三 大野荘	193
大野荘西方／大野荘東方／大野氏	

四	法吉荘と末次保	200
	法吉荘／末次保／末次氏とその一族	
五	意東荘	203
	意東荘の景観／意東荘の住人	
六	来海荘・宍道郷と宍道氏	210
	結番帳の編成法／意宇郡西部の所領／神社と館／出雲大社領伊志見郷／佐々布郷と大守社／来海荘と別府氏／来海荘から宍道郷へ／宍道郷／来海荘と宍道郷／佐々布氏／宍道氏の系図／宍道氏の入部／外様衆宍道氏／惣領の交代／宍道隆慶	
第八節	身分と家	225
一	中世の身分制	225
二	中世の被差別身分	226
	中世の非人／河原ノ者／出雲国の状況	
三	家の成立	228
四	一族の成立	229
五	所領の譲与と配分	230
	武家社会と相続／貴族社会と相続	
六	女性の地位	233
	別府左衛門妻／大西二郎女子／秋鹿二郎女子	
第三章	中世後期の出雲と地域権力	236
	本章の主題と主な内容	
第一節	南北朝内乱と出雲国	237
一	建武の新政	237
	建武政権の成立／出雲領主層の登用／所領をめぐる争いの激化	
二	南北朝内乱の始まり	241
	足利尊氏の離反と南北朝の分裂／出雲の領主層の動静／塩冶高貞の滅亡／佐々木導誉の守護就任／出雲の所領問題と南北朝	
三	観応の擾乱と出雲	251
	対立の構図と展開／反幕府方の活動と出雲	
四	京極氏・山名氏の出雲支配	257

	佐々木京極氏の出雲支配／山名氏の出雲守護就任／明德の乱の勃発	
第二節	室町幕府―守護体制と出雲	263
一	京極氏による出雲支配の確立	263
	京極高詮の出雲守護就任／室町幕府―守護体制の確立と京極氏／守護代・守護被官の派遣	
二	京極氏による分国経営	272
	荘園制・権門体制の保全／国人領主の把握／寺社勢力の統制／【コラム①】連歌師梵灯	
第三節	応仁の乱と出雲	283
一	室町幕府―守護体制の変質	283
	嘉吉の乱と幕府政治の動揺／京極持清の在京活動と多賀高忠／京極氏による出雲支配の進展	
二	応仁の乱の勃発と出雲の戦乱	289
	京都の戦乱／出雲の戦乱と尼子氏／京極持清の死と近江の戦乱／京極政高の出雲下向	
三	大乱後の権力秩序の再編	299
	応仁の乱終結後の社会／尼子経久退治命令	
第四節	尼子氏の強大化と出雲	305
一	京極氏から尼子氏への国成敗権の移動	305
	近江における両京極氏の戦闘／出雲における幕府―守護支配の再建／京極政経の死／尼子氏による国成敗権の掌握	
二	尼子氏の軍事進攻と近隣諸国	315
	大内氏・山名氏との対立／尼子氏の安芸進出と安芸国衆／備中・備後の侵攻	
三	尼子氏と大内氏の対立状況の緩和	323
	塩冶興久の反乱／尼子氏の東方遠征／尼子氏と毛利氏の決裂	
四	尼子氏と大内氏の軍事衝突	330
	尼子氏の遠征と畿内情勢／尼子氏の進攻と郡山城合戦	
五	尼子経久の人物像と諸政策	337
	尼子氏拡大の要因／尼子経久の戦争／寺社政策／惟高妙安と尼子経久／【コラム②】朝山日乗	

第五節 戦国の争乱の激化	347
一 戦国期の諸勢力と尼子氏権力	347
大内義隆の富田城攻め／尼子氏家臣団と有力国衆／三沢氏の圧迫／細川晴元と細川氏綱／八か国守護職	
二 尼子氏と大内氏の衰退	354
芸備方面における尼子氏の衰退／新宮党の滅亡／厳島合戦と大内氏の滅亡／毛利氏による石見銀山の掌握	
三 尼子氏と毛利氏の攻防	360
毛利氏の出雲侵攻／富田城籠城戦の展開／尼子勝久の「御一家再興」戦争／毛利氏包囲網／富田城攻防戦／再興戦争の展開／毛利氏の出雲国支配／権力交代期の給地差合問題	
第六節 織豊政権と毛利氏領国	373
一 戦国争乱の広域化	373
毛利氏包囲網の形成／足利義昭の軒下向／戦局の転換／織田・毛利戦争と地域社会	
二 豊臣政権下の毛利氏領国	380
羽柴秀吉との和睦／天下一統と出雲国／天正年間の所領配置	
三 惣国検地と防長移封	388
毛利氏の惣国検地／惣国検地後の所領構成／朝鮮侵攻と関ヶ原合戦	
第四章 中世の経済と社会	
本章の主題と主な内容	394
第一節 中世の生活と環境	395
一人々の暮らしの変容	395
「惣村」の成立／中世の市／貨幣の普及／物流の広域化	
二 気候・災害・戦乱・環境	403
飢饉と戦乱／海水面の変動／木材の消費	
三 中世松江地域の景観	410
大山寺縁起絵巻の風景／「松江潟」の復元／近世城下町形成前の景観	
第二節 中世水運の展開と港湾都市の形成	417
一 内海の諸港湾	417
古代・中世の内水面交通／中世の内海水運／中海西南岸地域の港湾群／内海水運を基盤とする諸勢力／陸路と水路の交錯	
二 中世西日本水運の展開	426
古代からの遠隔地間交流／中世西日本海水運の成立／大陸と山陰海岸の通交／日常的交流・物流の拡大	
三 港町の形成と展開	434
内海港湾都市の形成／港町白潟の住人と諸権力／中世港町白潟の輪郭	
第三節 生業の展開と地域社会	441
一 多様な生業の展開	441
貢納物としての産品／鉄／塩／絹糸・絹布／紺染／番匠／漁撈／白潟・末次の職人たち	
二 寺社造営と地域社会	453
天正十一年神魂社造営／造営段銭と地域社会／地域社会が支えた造営事業	
三 石見産銀の輸出と地域経済の変動	459
石見銀山の開発と銀輸出／唐船・北国舟の着岸／明の文献に表れる港湾都市群	
第四節 城館遺跡からみた中世の松江地域	468
一 城館遺跡の概要	468
市内の城館遺跡／遺跡の種類と特徴	
二 居館と山城	473
黒田館とその強化／茶臼山城の築造と改修	
三 尼子氏の国内平定戦と山城	476
尼子清貞の国内平定戦／春日城の築城と改修／二つの京羅木山城	
四 雲芸攻防戦と山城	480
毛利元就の戦略構想／白鹿城の築城と拡充／白鹿山城砦群の攻防／荒隈城の縄張りと言請／荒隈城の機能の変化／和久羅城の変遷	
五 尼子家復興戦と山城	493
尼子家復興戦と戦後の真山城／満願寺城の築城と改修／熊野城の構造	
六 山城の終焉	500
土居城の改修／金山要害山城の改修と水の手言請	

第五節 考古資料からみた中世の松江地域

一 遺跡からみた出雲府中

古代の国府から中世府中へ／府中城の役所と官人屋敷／府中の中世墓／祭祀に関わる遺跡／出雲府中のその後

二 中世の墓地

概要／火葬墓／土葬墓

三 中世の石塔

概要／五輪塔／宝篋印塔

第五章 中世の宗教と文化

本章の課題と主な内容

第一節 古代から中世への宗教構造の転換

一 出雲国造の西遷とその歴史的背景

出雲国造の西遷／国造西遷の歴史的背景

二 杵築大社の転換

杵築大社と鰐淵山聖／鰐淵山の歴史的位置

第二節 中世的宗教構造の成立と特徴

一 中世の杵築大社と出雲府中

中世諸国一宮制／惣社制／中世出雲府中の歴史的位置

二 中世宗教構造の基本骨格としての顕密体制

中世宗教構造の歴史的特徴／顕密体制／寺院と神社の関係／顕密仏教のもう一つの特徴

三 中世神社の諸類型と具体相

中世神社の諸類型／神魂神社（伊弉冉社）／惣社（六所神社）／伊弉諾社（真名井社）／揖屋神社／平浜八幡宮／熊野神社／佐草神社（八重垣神社）／佐陀神社／賣布神社

四 中世寺院の諸類型と具体相

中世寺院の諸類型／杵築大社と鰐淵寺／「神仏隔離」原則に基づく「神仏習合」／国分寺と八幡宮寺／宗派別の寺院／荘郷寺院と旦那寺・菩提寺／年中行事の概要／年中行事の意味するもの

第三節 中世的宗教構造の変容と解体

一 仏教改革運動と禅律僧の活躍

仏教改革運動と律宗／禅宗の発展／枕木山華藏寺／宝亀山安国寺／国際交流と都鄙間交流

二 鎌倉新仏教の成立と展開

鎌倉新仏教の登場／松江市域内の諸特徴

三 中世諸国一宮制の変質と解体

南北朝から室町期／戦国期－尼子・毛利氏の宗教政策／戦国期の神魂神社と意宇六社／戦国期の佐陀神社／鰐淵寺と大庭地域

四 吉田神道の成立と寺社造営のラッシュ

吉田神道の成立／戦国期の宗教的熱狂／寺社造営のラッシュと教団（宗派）の成立

五 顕密体制の解体とその歴史的特徴

顕密体制の解体／出雲国・松江市域の歴史的特徴

第四節 松江と中世文学・芸能

一 文学

和歌

随筆

説話

口記

連歌

紀行文

寺社縁起

軍記物語など

二 芸能

舞楽

細男・田楽

神楽

湯立神楽／七座の神事／面神楽／佐陀神能

猿楽

荒隈城での演能／『花伝抄（八帖本花伝書）』（雲州松平家文庫）／【コラム③】軍記にみる母親像

第五節	美術から見た中世の松江	635
	松江市内の概要／美術史における作者の問題／仏谷寺の仏像／松江に残る優れた仏像／松江市に残る神像／松江市に残る絵画／八重垣神社の板壁画／佐太神社の古神宝／そのほかの古神宝	
	松江市域内の中世神社一覧	660
	松江市域内の中世寺院一覧	670
	年中行事一覧	677
	中世棟札一覧	682
	参考文献一覧	689
	松江市史編纂関係者名簿	699
	執筆分担	701
	協力者一覧	702
	写真提供者一覧	79
	年表	44
	索引	1

通史編3 近世I 目次

口 絵
発刊にあたって

目次

凡 例

概 観

近世とは／松江藩とは／松江藩による領域支配／村の成立／城下町松江の建設／幕藩制と松江藩／藩政の成立と家老／藩領社会の変容／郡村役人と藩政改革／近世後期の松江藩

第一章 松江藩の成立

第一節 松江藩の成立と堀尾氏

一 堀尾氏の入国と領国支配

堀尾吉晴／関ヶ原合戦前後の堀尾氏の動向／初代藩主堀尾忠氏／松江遷地／松江城築城

二 堀尾氏の検地と地域社会

堀尾氏の検地／慶長十四年の杵築大杜造営

三 堀尾氏の支配と家臣団

堀尾氏三代の発給文書／堀尾氏の宿老層の発給文書／堀尾氏の御家騒動／堀尾氏の家臣団

四 堀尾氏の改易

堀尾忠晴／軍役と普請役負担／忠晴の死去／その後の堀尾氏と家臣団

第二節 京極氏の入国

一 京極氏の入国と領国支配

堀尾家断絶から忠高入国まで／出雲・隠岐を拝領し赴く／寺社領安堵／菩提寺安国寺／政策の命令系統／領国統治の指示／日御碕社の造営／地域の社の再建・修築／斐伊川・伯太川の若狭土手造成／鉄山政策の転換／鉄穴流しの認可／参勤交代／石見・銀山支配／隠岐の支配／家臣団の再編／城下町の整備／忠高の教養と趣味／忠高の死／跡目の決定

第三節 松平家の入国

一 松平直政の松江入部

直政の出雲拝領と松江入部／直政の出自／松江入部以前の直政／出雲拝領の政治的背景／譜代大名松平直政／松江松平家の領知／西国における直政の役割／つくられた直政像

二 家臣団の形成

家臣団の拡大過程／重臣たちとその出自／松江入部に伴う牢人登用／堀尾・京極旧臣の登用／大橋茂右衛門と堀尾但馬

三 前期の藩政

前期藩政の課題／参勤交代と家老／直政期の家老たち／家老と仕置役／前期藩政の担い手／藩政機構の確立／寛永飢饉と松江藩／隠岐国の支配／直政から綱隆へ／寛文六年の法令／綱隆期の家老と仕置役

第四節 松江松平家の世界

一 江戸幕府と松江松平家

江戸の大名社会と松江松平家／松江藩の家格／松江藩の家格上昇運動／京都上使／松江藩の江戸上屋敷／松江藩の江戸中屋敷／松江藩の江戸下屋敷と抱屋敷／大坂蔵屋敷と京都屋敷／江戸留守居と留守居組合／松江藩の江戸留守居／大坂留守居と京都留守居／江戸に集う人々

二 松江松平家と諸大名

越前松平家一門の形成／松江藩分家の成立／一門・分家の役割／松江藩主の妻妾と子女（直政・宗衍）／松江藩主の妻妾と子女（治郷・定安）／松江松平家の縁組戦略

三 松平家の交際と女性たち

松江藩の「大奥」と「仕立所」／近世前・中期の松江藩大奥／近世後期における松江藩大奥と仕立所／幕末における松江藩大奥／奥女中の待遇／大奥付の男性家臣／大名家の子女教育／正室の役割とその限界／【コラム①】松平宗衍の行状

第二章 藩政の展開と終焉

第一節 藩政の展開

一 家臣団と藩政機構

格式と職制／「給帳」にみる家臣団構造／「大老」と「大名分」／家老家格の成立／家臣団構造と軍制／「列士録」という史料／「列士録」の編纂／知行宛行状の発給／知行の種類と支給方法／上申と下達／国令の編纂

二	近世中期の藩政	213
	網近の時代／幼少藩主と先例主義／財政窮乏と家中困窮／寛保元年の家老訴訟／藩政立て直しに向けて	
三	藩政改革の政治過程	223
	宗衍の初入国に伴う政治動向／小田切備中の登用と直捌／延享の改革の政治理念／延享の改革のゆくえ／財政破綻と宗衍の病状／世子治郷への期待／宗衍の隠居／御立派改革に向けて／家老・仕置役朝日丹波／御立派改革の評価／御立派改革の継承	
第二節	松江藩財政政策の展開	243
一	十八世紀前半までの藩財政	243
	藩政改革の前提として／松江藩の石高と藩財政／寛文十二年の財政／年貢収入の推移／財政改善の試み／請免請捨制の導入／京都・大坂商人との関係／両替善五郎の悲劇／「藩政改革の時代」へ	
二	延享の改革	252
	宗衍の親政と藩財政／木実方の設置／義田／検見の実施／泉府方／藩札／検地／借財整理／「四人蔵元」体制／御内用方／常平方の設置／泉府方の失敗と小田切の辞職／小田切の復帰／比叡山延暦寺普請費用の調達／延享の改革が目指したもの	
三	御立派改革	266
	宇佐美瀧水の延享の改革批判／小田切備中のその後／朝日丹波の再登場／朝日丹波と宇佐美瀧水／藩札の停止／五万俵割の開始／欠年の実施／農民の負担増／へそくりとしての木実方／大坂銀主との交渉／御納戸金改革／朝日の退任／御立派改革をどう考えるか	
四	御立派改革の転換	280
	朝日丹波の死／藩札の再発行／様々な「紙幣」の流通／大坂銀主との関係／続く領民への負担転嫁／近藤庄蔵の領内巡検／治郷の御直捌／連判札の発行／朝鮮人参生産の拡大／銭一貫文札・五〇〇文札の発行／藩札の急増／札座の資産運用	
五	「出入捷覧」の世界	293
	「出入捷覧」の成立／収支の推移／松江藩の財政は特別なのか／借金はないのか／借入／返済／借入のサイクル／特別会計「御蔵」の存在／「出入捷覧」を活用するためには	
六	幕末の藩財政	302
	嘉永四・五年の松江藩「財産目録」／役所資産目録／各役所の資産について／大坂商人への貸付／志儀と松江藩／鵜部屋橋御金蔵の資産／続く領	
二	民負担／鴻池栄三郎との関係からみる幕末の藩財政／松江藩から鴻池への貸付／廃藩置県時の松江藩借金	318
第三節	近世後期の藩政	318
一	斉恒・斉貴期の政治と社会	318
	近世後期の幕政と諸藩／幕府による財政負担／斉貴の襲封と積極的な財政支出／改革維持と藩政の停滞／藩内への儉約令／文化期の強訴と郷・町中の殿り合い／国益政策の展開／近世後期の文化事業／近世後期の災害／災害の影響と貧民対策	
二	海防と隠岐預所	340
	唐船番の設置と訓練／沿岸警衛と郷夫動員／隠岐預所／隠岐海防の実態	
第四節	幕末期の政治と社会	354
一	松平定安の襲封と警衛	354
	三谷忠太郎一件／ペリーの来航と家督相続／諸警衛の変遷／警衛地の藩士／警衛負担削減への模索	
二	周旋方の活動と藩政改革	364
	江戸藩邸機能の縮小／松江藩周旋方／雨森謙三郎の政治活動／西洋流砲術の導入と兵制改革／文久期の警衛と農兵／軍艦購入と八雲丸	
三	長州戦争期の松江藩	380
	第一次長州出兵と福井藩支援／鳥取藩との連携／再征への対応と内乱回避の政情／第二次長州戦争の松江藩／長州戦争期の諸事件／国境の警備と長州との折衝	
四	幕末松江藩領の諸相	392
	不安な世相／長州戦争と雲石地域の人々	
第五節	維新期の政治と社会	400
一	山陰道鎮撫使と松江藩	400
	王政復古と鳥羽伏見戦争／松江藩への嫌疑／鎮撫使一行の松江滞在	
二	隠岐預所をめぐる動向	407
	新政府の方針／隠岐騒動と預所支配の終焉	
三	戊辰戦争と松江藩	411
	松江藩出兵／松江藩の活動と駐屯地／松江藩士の戊辰戦争	
四	松江藩の解体	418
	藩治職制と版籍奉還／公議所と議事院／藩制から廃藩置県へ／軍事動向と藩兵解体／仏式採用と軍事改革の模索	

五 転換期の社会	4 2 9
不穏な世情／浦上ギリシタンの配流／【コラム②】戊辰戦争における松江藩士の死と追悼	
第三章 城下町松江と在方町	
第一節 城下町松江の空間構造	4 3 8
一 城下町の空間を読む	4 3 8
城下町とは／松江城下町の地図を読む／松江四季眺望図を読む	
二 水に沿って	4 4 3
水路の使用／水路の管理／「水道」／川沿いの土地の利用／網干場の行方	
三 町人地の通りとすまい	4 5 3
町人地の街路／表通りのすまい——末次本町／表通りのすまい——白潟本町／裏通りのすまい——和多見町	
第二節 都市住民のなりわい	4 6 3
一 人口の変化と末次・白潟	4 6 3
人口の変化／富裕町人の分布／様々な生業	
二 御用商人——瀧川家	4 6 9
瀧川家とは／御用宿としての瀧川家／瀧川家の木実方御用／藩の金融政策に関与／瀧川家の経営／瀧川家の財産／幕末維新期の瀧川家／御用商人の社会的機能	
三 御用商人——小豆沢家	4 8 6
小豆沢浅右衛門家の始まり／初代の経営の特徴／二代目の経営／土地集積／藩政改革のなかで／経営の悪化と儉約計画／藩の御用／小豆沢家の社会的役割／二つの御用商人	
四 漁師	5 0 5
漁師／漁の方法／様々な網／武士との競合／白潟漁師仲間の議定／末次漁師仲間との協定／藩主の鷹狩との関係／記憶	
五 家守	5 2 1
家守の仕事と地位／家守の仕事の実際／借家の作法／様々な町人たち	
第三節 町の白治と住民のつながり	5 2 6
一 町役人たち	5 2 6
十七世紀後半の大年寄と目代／四人の大年寄／大年寄と大目代の機能／大目代のみの機能／町年寄	

二 多様な住民結合	5 3 6
地縁的な関係／祭祀組織／消防組織／文化八年町火消し組織改革／消防活動の様子／火消の警備機能／町方火消と郷方火消の関係	
第四節 城下町の支配	5 4 8
一 町奉行の役割	5 4 8
町方統治役職の名称／町奉行の機能／裁定者としての町奉行	
二 武士と町人の交流	5 5 5
葬式と法事／城内・武家屋敷の神社への参詣／御目見町人／湖上の花火／左義長（左吉兆）／親水遊興／藩主入国／城内御殿や家老屋敷での交流	
第五節 在方にある町——湊町と温泉集落	5 7 3
一 三保関の社会構造	5 7 3
湊町の空間構造／前期湊町の実態／北国屋と地下中／北国屋の状況／変化の兆候／湊町の社会構造の変化／氏子惣代としての定秀家／定秀家の屋敷	
二 玉造温泉	5 8 7
全国的には／温泉の由来と災害／持続的な温泉利用のしくみ／温泉の概要／温泉の空間／利用の実態／十九世紀の変化／十九世紀前半の社会関係／湯之助グループ外からの変化／温泉の過剰利用／自然資源の保全と利用という共同利益／【コラム③】松江の安政南海地震／【コラム④】城下町の近代——屋敷の分割と都市機能の集積——	
第四章 郡・村政の仕組み	
第一節 郡・村の役人	6 1 6
一 松江藩による郡・村政の概要	6 1 6
町方と郷方の区別／郷方支配を担った藩の武士たち／身分集団を前提とした支配／郡役人と行政区画／村役人の構成／頭分と村内身分	
二 郡・村役人の業務	6 2 4
御用留の世界／文書の受け渡しと郡・村役人／藩主の意向と郡・村役人／江戸幕府の触／「正月十一日の御条目」／宗門改／郡奉行所触／与頭の追記／触の諸相	
三 年貢諸役の納入	6 3 7
「早米」の納入／検見／輪を単位とした検見／年貢納入の完了	
四 願書と届	6 4 1

意見聴取と政策への反映／願書と届書／願書提出の手続き	6 4 5
五 郡・村政の担い手	6 4 5
郡方の構造と郡・村政の担い手／郡足輕の役割／郡足輕の書状／行政における「公」と「私」	
六 郡・村政と藩政機構	6 5 1
郡・村役人の文書伝達ルート／代官所／郷方吟味役の役割／地方役の役割／山方／鷹部屋による鉄炮改／鉄炮の修復／複数の部局にかかわる案件	
七 郡・村役人と藩の役人	6 5 8
郡・村における藩の役人の把握／人事異動	
八 郡・村政を支えるもの	6 6 4
郡・村役人の任命／郡・村役人の褒賞と格式／郡屋・物書・郡宿	
第二節 郡・村の税負担	6 6 7
一 村請制と年貢の賦課・負担	6 6 7
村請制と年貢免定／年貢の納入／年貢の先納／先納と地方行政	
二 藩政改革と松江藩の税体系	6 7 3
民間資本の導入と藩政改革／先納分の算用／年貢の割付／年貢納入と升／「割符請け」と「払い」／比叡山延暦寺の普請／「御勝手御任せ」／比叡山延暦寺普請入用の返済／郡・村役人の職掌の拡大	
三 御立派改革と納税制度の転換	6 8 4
御立派改革と五万俵制／五万俵制の賦課と負担／五万俵制と豪農・豪商／五万俵制の納入／藩政改革と課税体系／財政改革と「立派」	
第三節 百姓の成り立ちと郡・村政	6 9 1
一 「殿り合い」による百姓成り立ち	6 9 1
文化十四年の儉約令／儉約の内容／儉約令の実施／郡・村への儉約令の伝達／「殿り合い」の作成／「殿り合い」の作成から完了／天明七年の「殿り合い」	
二 「殿り合い」と郡・村政	6 9 9
郡・村財政への藩の介入／「殿り合い」と頭百姓／「殿り合い」の実現と村内階層の維持／郡単位の「殿り合い」／繰り返される「殿り合い」／「殿り合い」政策の展開	
第四節 訴願と文書行政	7 0 7
一 松江藩の民事裁判制度	7 0 7

願書の作成と提出／願書提出における下郡・与頭の役割／村々からの届／紛争処理と訴願／下郡・与頭による内済／内済から訴願へ／藩への提訴／再び内済へ／裁許状の手渡し／裁許状の作成／他領との争論／藩による裁判文書の管理	
二 様々な訴願と届	7 1 6
他国出の届／「願」と「訴」／諸願書差し出しの期日／手続き漏れ	
三 松江藩の刑罰	7 2 2
刑罰の種類と執行過程／町中引き廻しのうえ礫／重大事件のうわさ／打首―相撲取りを騙る／打首―公文書の強奪／松江払い／追放者／戸不／禁足	
第五節 領主と郡・村	7 3 1
一 松江藩の知行制	7 3 1
蔵米知行制／百姓の割り付け	
二 武士の来村と郡・村	7 3 7
参勤交代と藩主の領内巡郷／受入れ準備と御目見／藩主御目見の意義／藩士の来村と宗門改／宗門改と郡・村政／藩士来村を支えるもの／【コラム⑤】古文書のなかの「共通語」と「方言」	
参考文献一覧	7 4 6
堀尾氏関係系図	7 7 4
京極氏関係系図	7 7 6
越前系松平家関係系図	7 7 8
松江市史編纂関係者名簿	
執筆分担	
協力者一覧	
郡奉行一覧	3 0
寺社町奉行一覧	2 7
御仕置役一覧	2 4
藩主略系	2 2
索引	1

通史編4 近世Ⅱ 目次

口絵		
発刊にあたって		
目次		2
凡例		1 6
概観		1
第五章 村と浦の生業と産業の発展		
第一節 村落社会の展開		6
一 農業生産の発展		6
検地と村／土地台帳から見た田畑の特徴／耕地の変化／農書に見る農家の一年／農具と肥料／牛馬の持ち合い		
二 百姓の負担		1 4
検見と免状の下付／納人と皆済／村々の年貢の変化		
三 村と村人		2 2
江戸時代の村／村絵図と万差出帳／地理的条件による生業構成の多様さ／大根島と古志原／松江城下近郊の村々／上講武村の様子／宗旨証拠帳とは／家族の規模／夫婦と子ども／村のお年寄り		
四 変わる村社会		3 5
人口の変化／階層分化の様子／地主小作関係の展開／豪農経営の展開／変わる村社会／災害と飢饉への対応／共助の精神／村定・村掟の制定／百姓一揆・村方騒動／天明三年の百姓一揆／一揆の背景／語られる百姓一揆／「ものを言う百姓」の登場		
第二節 村浦の存立基盤と諸争論		5 6
一 新田開発と河川普請		5 6
近世出雲国の国郡高／本田新田郷帳にみる郡村高／反新田・石新田から本田へ／松江藩による斐伊川普請／貞享・元禄期の開発普請／浜佐田入江の開発／松江城下と天神川の整備／開発の停滞と洪水／元禄洪水と日吉の切通し／日吉の切通し普請の変遷／享保期の新田開発と「松江潟」／大橋川下流域の新田開発／湖岸の新田開発と水代／延享の改革と新田開発／延享の改革と河川普請／「土工記」と普請方／「松江潟」の消滅／		
二 村浦における諸争論		9 1
山野の利用と様々な規制／松江藩領における山論／上講武村と北講武・南講武両村との争論／藻葉刈り争論／争論が多発する理由		
三 漁業と漁場争論		9 8
多様な水産物と漁業・漁村／大橋川・松江湖の漁師と漁場秩序／中海の赤貝活かし場争論／半島北岸の水浦・大芦浦漁場争論		
第三節 諸産業の発展		1 0 7
一 藩内における諸産業の特徴		1 0 7
「雲陽国益鑑」にみえる産物／「出雲名物番付」にみえる産物		
二 多種多様な特産物		1 0 9
来待石・大海崎石の利用／紙漉による和紙の生産／松江筆の生産／墨の生産		
三 職人の世界		1 1 3
職人の増加と藩の管理／大工職人／木挽職人／桶屋職人／畳表職人／船大工職人／瓦職人／檜皮職人／石垣師／石切職人／酒の需要と瀧川家の酒造業／郷方酒造業者と技術の伝播／農業・漁業などの透間稼ぎ		
第四節 松江藩の殖産政策		1 2 9
一 木実方と櫨・油木栽培		1 2 9
本実方趣向のはじまり／櫨畑開発の奨励／櫨畑をめぐる藩の助成／蠟木の植え付け方法／蠟実の買い上げと流通統制／蠟実の加工と生蠟／生蠟の用途と流通／「国益」としての木実方蠟／油木（油桐）の栽培／油木実の生産と流通／用益としての櫨と油木		
二 人参方と御種人参栽培		1 4 4
朝鮮人参の国産化／御種人参の試作／御種人参の栽培・製造法／御手作畑と百姓作畑／御手作畑の栽培地／人参畑の機構／松江藩領内での販売流通／他国での販売流通／長崎廻送の実態／貧民救済と功能		
三 釜甑方と鋳物鋳造		1 5 8
釜甑方の設置／生産資材の調達／鋳物生産の展開／販売・流通／反射炉		
四 鯨組方と鯨		1 6 4
鯨組方の設置／操業の開始／鯨製品の普及／藩による奨励／鯨組方の廃		

止

五 御用窯と意東焼の開窯	168
--------------	-----

御用窯の栄枯盛衰／意東焼の開窯

第五節 様々な身分と差別	173
--------------	-----

一 平人と鉢屋・皮太	173
------------	-----

江戸時代の身分制／松江藩領における鉢屋／鉢屋の生業／警吏・刑吏としての鉢屋／苦鉢屋の存在／交流と差別の諸相／皮太による皮革製品の生産／非人と山の者／狐持ちの排斥

二 剃髪人・座頭・警女・虚無僧	189
-----------------	-----

道心・禅門・比丘尼／座頭・警女／虚無僧／【コラム①】清原太兵衛／【コラム②】小林如泥

第六章 交通の整備と流通の発展

第一節 松江藩主の参勤交代と領内出郷	204
--------------------	-----

一 参勤交代	204
--------	-----

参勤交代制／歴代藩主の参勤交代／藩財政と参勤交代／参勤交代の道／大名行列と宿割／本陣と御茶屋／藩主一行の送り迎え

二 領内出郷と御茶屋・御用宿	219
----------------	-----

藩主の領内出郷／鷹狩りと鹿狩り／本陣と御用宿

第二節 宿駅の利用と陸運	225
--------------	-----

一 飛脚による書状と荷物の運送	225
-----------------	-----

松江藩の七里飛脚／七里飛脚による運送の実態／白濁三度飛脚／三度飛脚の利用例

二 宿駅の負担と陸運	230
------------	-----

山陰道の宿駅／横浜町の駒市

第三節 水上交通と舟運	234
-------------	-----

一 松江藩の水運統制	234
------------	-----

松江藩の御船屋／城下町絵図に見る御船屋／御船屋の景観／御船奉行の変遷／廻船方と広江氏／御船屋の御水主／御手船方と御手船場／松江藩の船番所／馬潟・江角の通船手続き／川方役所の成立と変遷／天明三年の船法／島根・秋鹿・意宇郡の船／「松江四季眺望図」に描かれた船

二 松江渡海場と湖上交通	253
--------------	-----

松江渡海場の船頭仲間／松江渡海場と「荷下」／松江渡海場の荷積み船法／大橋川の通行作法／渡海場の特権をめぐる争論／渡海場の特権と上米・上銭／渡海場の御用船勤め／渡海場と藩役人／渡海場の船役人／渡海船仲間と伝渡船仲間／宍道の船座／船座の船稼／船座の設立と「荷下」

半島浦の廻船稼と海上交通
浦方と船宿・船問屋／入津廻船と積荷／兼業する船問屋／浦方商品の売買／十八世紀前半の廻船活動／十九世紀の廻船活動／小型廻船の積荷と稼方／町方廻船と浦方廻船／町方廻船の遠隔地交易／町方廻船による雇用

第四節 商業と流通の発展	289
--------------	-----

一 松江城下の商工業と問屋	289
---------------	-----

座株と商工業／他国問屋／八軒屋宿番座／小問物座／隠岐宿と隠岐産物／村浦より城下への物流／薪の供出

二 松江藩の尾道廻米	298
------------	-----

尾道廻米と瀬戸内海地域／尾道における廻米問屋の役割／尾道廻米の経済効果／尾道廻米と流通構造の変容

三 木綿の生産と流通	309
------------	-----

木綿生産と綿作／松江地域の綿作／繰綿需要の拡大と松江藩政／在地商人による繰綿取引／伯耆への綿もりと繰綿の入手／木綿生産の盛行／村方の木綿生産とその販売／加工部門の発展と松江城下／凶作・飢饉と木綿織／木綿市の成立と展開／木綿の他国流通／雲州木綿と陸運・海運／他国流通の統制／流通統制のその後／三井家の木綿買付と為替取組

四 鉄生産の高まりと流通	327
--------------	-----

生産体制の確立／鉄の流通／松江での鉄取引と問屋／問屋の盛衰／他国産鉄の流入

五 俵物生産の発展	335
-----------	-----

俵物と対外貿易／俵物の請負い／幕府による俵物集荷体制／役場請負制／俵物上納の実態

六 多種多様な物流	339
-----------	-----

献上梨子の江戸出し／博労による牛馬の伯耆・美作・河内出し／松江における薪炭の消費過多と他国炭の松江入り／そのほかの物の流通／松江の問屋による山間部との物流

七 商品の流通と港・船	345
-------------	-----

物流の変化／国益と流通統制／港の競合関係／国産品の移出と港の盛衰

第五節 金融の発展 3 5 3

一 藩と領民の金融関係 3 5 3

小豆沢家と泉府方／泉府方失敗の痕跡／「本泉府方」と「泉府加銀」／借金
の肩代わり／利息も支払われず／虎屋（永井家）と松江藩／文政二年
質物訴訟から見る藩の金融と商人／幕末の藩金融と領民／日歩銭拝借／
本実方の貸付／常平方の貸付／掛屋の機能／藩と領民の金融関係

二 志儀の世界 3 6 5

志儀とは／いろいろな志儀①太田屋作右衛門発起志儀／いろいろな志儀
②京屋万五郎発起志儀／藩役所との関係／新屋手代・太助と志儀／虎屋
と志儀

第七章 人々の暮らし

第一節 ライフコースと家族 3 7 6

一 ライフサイクルとライフコース 3 7 6

奉公と結婚／通婚圏と奉公／町方と武家への奉公／ライフコースの節目
としての奉公／幕末における通婚圏の変化／武家女性の婚姻・離婚／離
婚から見える武家女性のたしなみ／農民女性の離婚

二 子どもの誕生、育児、捨て子 3 9 4

妊娠から出産へ／おたけの成育儀礼／捨て子の諸相／捨て子の人相書／
産子の捨て子

三 老いと介護 4 0 6

褒賞事例にみる老いと介護／介護をする女たち／「家」の維持と介護

第二節 町の暮らし、村の暮らし 4 1 4

一 女性と労働 4 1 4

町屋の女の労働／木綿稼ぎ／乳持ち奉公／乳母募集をめぐる困難

二 暮らしと生活文化 4 2 3

禁令にみる生活をめぐるせめぎあい／いのちを守る生活文化

三 祝いと弔い 4 2 8

身分秩序を示す婚礼／婚礼を祝う／新生児を吊う／出産と生育儀礼／子
どものいのちへの感覚／病の記録の意味

四 町と村のもめごと 4 3 6

もめごとへの着目／乳児殺し事件が語るもの／和多見の遊女置屋と遊女
たち／遊女の逃亡・心中・折檻／売買される性／密通事件の記録

第三節 旅と娯楽 4 4 6

一 旅と寺社参詣 4 4 6

御師などによる寺社参詣の勧誘／寺社参詣の許可願い／行旅難渋者への
対処／松江藩による寺社参詣の禁止令／様々な巡礼と出雲札

二 出雲を訪れた旅人 4 5 5

津山の町人玉置淳助／宗教者の旅／国学者の旅／文人の旅／伊能忠敬に
よる測量

三 温泉 4 6 3

松江藩士の温泉利用／玉造温泉への入湯

四 芸能の興行 4 6 5

御立山における歌舞伎興行の始まり／御立山歌舞伎芝居の頻度／芝居見
物の実態／上方役者による芝居／御立山以外での芝居興行／白濁社・伊
勢宮における見せ物の興行

五 相撲の興行 4 7 3

大名の娯楽としての相撲／松江藩御抱え力士の活躍／雷電為右衛門の活
動／御船屋の水主と相撲／伊勢宮における相撲の興行／松江新土手にお
ける興行と相撲番付／松江城下近郊と各地における相撲興行／【コラム
③】「町絵図」と『大保恵日記』に女の姿を探す

第八章 人々の信仰と医療

第一節 地域の寺院と僧侶の役割 4 9 0

一 人々の信仰対象と宗教者 4 9 0

長江村における信仰対象と宗教施設／長江村における神社と神職／長江
村の寺院と仏堂／村の宗教施設と村民の信仰形態／長江村内の信仰組織

二 寺院の創立と本末関係 4 9 7

中世以前に創立された寺院／富田から松江への寺院の移転／松江城下の
寺院／寺院の創立と本末関係／寺院本末関係とその地域的分布／真言宗
／天台宗／臨済宗／曹洞宗／浄土宗／浄土真宗／時宗／法華宗（日蓮宗）
／松江城下以外の寺院の宗派構成／本寺と末寺の関係／曹洞宗寺院の寺
格／臨済宗寺院の寺格／妙心寺派寺院における僧侶の修学／諸宗派寺院
僧侶の修学先／寺院住職の就任手続き

三 仏教諸宗派における教団運営と触頭支配 5 2 0

松江藩領における寺院触頭／法頭の呼称をめぐる紛争／曹洞宗寺院の僧録

四 葬祭・法事と寺檀関係

寺檀関係／堀尾氏の菩提寺／京極氏の菩提寺／松平氏の菩提寺と墓所／松平家江戸藩邸における仏事／藩主在国時の仏詣／家老神谷家と順光寺／離檀に関する寺院の態度

五 宗門人別改とキリシタン類族改

松江藩領における宗門人別改／キリシタン類族

六 藩主の祈願所と村の祈禱寺

松江藩の祈願所／様々な祈禱／村の寺院と祈禱

第二節 地域の神社と宗教者

一 神仏習合と神社

「神仏習合」の諸側面／僧侶による神々の祭祀／神魂社と淨音寺／大森社祭礼をめぐる争い／熊野権現の造営・遷宮をめぐる争い／愛宕社遷宮をめぐる争い／平浜八幡宮の祭礼をめぐる争い／明治維新と神仏分離

二 出雲国における神社と神職の支配

神社と神職の支配組織／佐陀神社縁起の変容と「神仏分離」／神職の免許発給と幕府の寛文法度／幣頭吉岡家の相続をめぐる神職間の争い／杵築大社と佐陀神社の元禄争論／杵築・佐陀両社頭と幣頭／佐陀触下の幣頭／一社一例社と一社立

三 松江城下の神社と神職

松江城下の神社／本所吉田家との関係／照床社司幡垣氏と七金代社／佐陀神社と末次三社の争論

四 意宇六社と杵築大社

杵築大社と意宇郡東半地域／神魂神社と伊弉諾社（真名井）／「六社」と神職仲間／意宇六社の成立／秋上氏の白川家入門と位階の執奏／六所神社吉岡氏と神魂社秋上氏の争い

第三節 人々の信仰と神仏

一 寺社の造営・修理

藩による建築規制／建築規制の違反事例／松江藩による御修復寺社／寺社建築費用の工面

二 寺社に対する信仰と祭礼・法会

藩主とその家族による神社信仰／照床・中原八幡神社への信仰／白潟社

・伊勢宮の祭祀組織／白潟社・伊勢宮の年中行事と神職の役割／七座神事・神能の広がり／平浜八幡宮の祭礼時の争論／左吉兆（左義長）／開帳

疫病の流行と人々の死への対応
疱瘡に罹った松平幸千代／種痘と祈禱／触穢と服忌／鳴物停止と穏便触れ

第四節 医療と医者たち

一 松江藩に仕えた医師

医者による医療／藩医とその役割／側医岡本瑞庵の履歴

二 町・村の医者と医療

医者の人数と分布／医者となる際の願い／医者の公的役割／診療の実態／飢饉と疫病

三 医者の養成と存済館

殿り合いの展開と医者仲間／医学所の創設／存済館における医学教育の課程／存済館における医学の内容／医者の修学／存済館の移転／医者の他国遊学の統制／領内の医者の統括／種痘の実施／西洋医学教育の開始と存済館の廃止

第九章 学びと教育・文化の展開

第一節 諸学問の展開

一 松江藩と儒学

儒学と儒者の自立／近世初期の儒者／儒医／古義堂に入門した松江藩士／儒者の地位と役割／藩校の創立と儒者／文明館から明教館へ／明教館の変遷と儒学流派／儒学と藩政／城下の家塾と領外への修学／幕末の明教館／明教館から修道館へ

二 神道説と国学

神道説の展開と出雲／出雲国における国学の普及／千家俊信の活動と門人／中村守臣と守手父子／岡部春平の風土記調査と渡部彝／神道講釈の普及

三 松江藩の洋学

成立期の蘭学と松江藩／松平斉貴の時計蒐集と小川友忠／蚕社の獄と望月兎毛・庄司郡平／藤岡観瀾／金森建策と西洋流砲術の普及／修道館における西洋学

第二節 文武の教育

一 松江藩における武芸

藩の軍制と武芸／軍学と武芸／越後流軍学の導入／軍用方による管轄／武芸の指導者たち／直信一流柔道／西洋流の導入／西洋流馬術の導入	683
二 寺子屋から教導所へ	683
寺子屋の分布と就学状況／寺子屋の教師と教育内容／学校設立への動き／教導所の設立／手本による手習いと山中流／太助が見た安蔵と啓坊の手習い	683
第三節 書物の普及と文化の発展	694
一 書物の出版と販売	694
本屋の活動／尼崎屋喜惣右衛門の活動／松江を拠点とした出版	694
二 書物の収集と蔵書	698
有職故実書を伝えた望月家／棲碧楼叢書／松江藩の蔵書	698
三 絵師の画業	702
松江藩御抱え絵師／白隠の禅画と文人画・写生画／風外本高／堀江友声	702
第四節 文芸と遊芸の広まり	708
一 漢詩の世界	708
江戸時代の松江漢詩の特色／詩風の変遷／松江の漢詩の範囲／初期外来の漢詩人黒沢石斎 久城春台／松江生まれの漢詩人長沢粹庵 東海・楽浪兄弟／江戸藩邸に仕えた学者宇佐美瀧水 萩野鳩谷／松江で活躍した学者桃白鹿 園山西山／日謙ら出雲三詩僧田村寧我 海野紫瀾／漢詩人たちの松江来訪菅茶山と碧雲湖／幕末活躍した漢詩人たち雨森精翁 内村鱸香 河野天鱗／明治の隆盛へ松本古堂 松江の漢詩人群／松江漢詩人の層の厚さ	708
二 和歌の世界	717
近世和歌と地域歌壇／近世前期から中期(前半)の様相／近世中期(後半)の様相／近世後期の様相／松江の情景／松江松平家と和歌／歌と松江	717
三 俳諧の世界	726
俳諧の普及／句集に見える松江の俳人	726
四 音楽と歌謡	734
松江藩主と能楽／松平直政・綱隆父子による芸能鑑賞／御能方の松江藩士／狂言を演じた茶道方／松江城下の町人と能楽／松江にいた能楽師／幕末維新期に流行した雅楽／松江藩の御船歌	734
第五節 大名茶人松平不昧と俳人雪川	748
一 大名茶人出現の歴史的背景	748

藩主としての松平治郷／大名子弟の江戸における遊芸	752
二 不昧と雪川の文化活動	752
大名茶人松平不昧の登場／「むたこと」と「茶礎」／茶道と禅／石州流の皆伝と門人への伝授／家老らによる茶道具の献上／国元における御茶屋・茶室の作事／不昧の出郷と御立山の利用／御立山の御茶屋の整備／御立山に招かれた客たち／雪川の文化活動	752
三 茶人としての不昧の活動	774
茶道具の購入／「古今名物類聚」／不昧と宗雅／茶会記にみる茶友との交流	774
四 不昧の隠居と大崎庭園	783
大崎庭園における隠居生活／不昧蒐集品の管理／【コラム④】千社札の元祖 天愚孔平	783
参考文献一覧	791
松江市史編纂関係者名簿	791
執筆分担	791
協力者一覧	791
索引	1

通史編5 近現代 目次

口 絵

発行にあたって

目 次

凡 例

概 観

近現代という時代／松江市域の地域区分と「地域格差」／政府の地方統轄の仕組みと市町村／本巻の時期区分と構成

第一章 近代松江市域のはじまり

この時期の概観

第一節 明治維新後の町・村・浦の足どり

一 廃藩置県から一八八四年戸長管轄区域の拡大まで

戸籍法の制定と区の設置／大区の廃止と地方行政組織の形成／区制下の町村―町村浦の分合・改称／区制下の町村―区会所およびその管轄／郡区町村編制法下の町村浦／一八八四年の改正／宍道町の例／一八八九年「市制及町村制」施行に向けて

二 松江市域の自由民権運動

谷清瀬の民権論／「松江新聞」の国会開設論／「松江新聞」の政体論・政治運用論／若山茂雄の民権論と活動

三 松江出身の民権家・高橋基一の生涯とその立憲主義論

松江出身の民権家と高橋基一／高橋基一の活動分野／高橋基一の立憲主義論

第二節 地租改正から殖産興業へ

一 地租改正の実施過程とその担い手

壬申地券から地租改正へ／地租改正の趣旨と基本方針／改正事業の実務担当／改正事業における測量調査／測量調査の諸問題／収穫量調査と地価算出／山林原野の改正／改正結果をめぐって

二 老農と農事改良

全国農談会／島根県の勸農政策と農談会／農事巡回教師船津伝次平の来

三 島根県の「漁業場区」／統一された漁業採藻税／「出雲石見魚漁図解」／第一回水産博覧会と水産巡回教師指導／漁業組合準則／「水産事項特別調査」と「秋鹿村水産上調査書」

四 殖産興業

殖産興業政策の展開／藩専売制の廃止／島根県の主要産業における勸業政策／勸業政策と土族授産／企業勃興の動き／勸業組織の形成

第三節 暮らしの中の伝統と開化

一 風俗の矯正、徴兵令と住宅建築の変化

文明開化と風俗矯正／「違式註違条例」の布達／散髪をめぐる攻防／「血税」への反発と説得／明治初年の住宅とその変化

二 神仏分離、神社神道と教派神道

神仏分離／神社の列格と氏子域／教派神道の成立／宗派別寺院数／神社の整理

第四節 私塾と私立学校

一 私塾から私立学校へ

明治初年の松江市域の私塾／内村友輔の相長舎と澤野修輔の培塾／三州学校・松江義塾・進取学館と修道館

二 渡部寛一郎と私立中学修道館

渡部寛一郎と修道館／私立中学修道館の生徒の構成／修道館の教員と学校経営

三 松操高等女学校と戦前・戦後の私立学校

松操高等女学校／私立高校と私立中学校

第五節 松江の外の松江

一 同郷会と同郷人雑誌

東京における同郷会の結成と同郷人雑誌の発行／島根県友会と島根県協会の結成／『島根評論』の発行／同郷人雑誌の「裏日本」脱却論

二 東京出雲学生会・島根県協会と在京の松江出身者

東京出雲学生会の結成と活動／同郷会から見た松江市域の町村／雑賀町土族の動向

第二章 近代松江市域のあゆみ

この時期の概観	148
---------	-----

第一節 松江市と町・村の誕生と発展	151
-------------------	-----

一 一八八八年、島根・秋鹿・意宇三郡の町村合併	151
町村合併標準／島根県での町村合併調査／島根郡内の町村合併／秋鹿郡内の町村合併／意宇郡内の町村合併／単独で町村制を施行した村／島根・秋鹿・意宇三郡町村のその後	151

二 市制施行と松江市の誕生	170
町村合併と市域の確定／「市制」施行と松江市の仕組み／第一回松江市会議員選挙	170

三 初代松江市長福岡世徳市政の展開	176
戦前の松江市長と初代市長福岡世徳／松江市勢の衰退と馬潟浚渫開港策／松江振興策と福岡市長の活動／福岡市長の松江振興策／松江振興策の達成と福岡市長の陳情の特徴	176

四 高橋義比市政・高橋節雄市政の展開	186
二人の高橋市長とその時代／上水道敷設事業の開始と竣工（高橋義比市政）／港湾の修築と大橋川の浚渫（高橋節雄市政）／工業都市か遊覧都市か（高橋節雄市政）	186

五 松江市における水道敷設	194
松江城下町の水事情／伝染病の蔓延と上水道敷設の要望／関屋忠正とW・K・バルトンの調査／全国の都市視察と事業実施に向けて／事業の拡大に向けて	194

六 克堂会と憲克倶楽部	206
日露戦争後―一九二〇年代の政治動向と松江市域／松江市域における政党の勢力関係／一九二〇年の衆議院議員選挙と克堂会の結成／克堂会の目的・役割と憲克倶楽部	206

七 市長候補選任をめぐる紛糾と松江市の地域政治構造	214
一九二一年の市会議長選挙と市長候補選任／一九二五年の市長候補選任をめぐる紛糾／市会紛糾の要因／松江市の都市構造と地域政治構造／普通選挙制による一九二九年の松江市市会議員選挙／普通選挙制の実施と松江市の地域政治構造／高橋節雄市長から石倉俊寛市長へ	214

第二節 湖海と陸の産業と近代化	234
-----------------	-----

一 農業問題と農業団体	234
農業の商品生産と農家数の減少／米の単収・品質向上への対応／松江市近郊が起源の養蚕／高率小作料と小作慣行／農業技術普及組織としての	234

農会／農村経済支援組織の産業組合	245
------------------	-----

二 森林・林業と製炭業	245
-------------	-----

松江市・八束郡の森林・林業／八束郡の公有林野／林業補助／林業団体の設立と生産活動／八束郡の山村農家と製炭業／島根木炭の生産量・生産額の推移／八束郡農家の生業と林産物生産／松江市・八束郡の木炭生産と消費	245
--	-----

三 明治漁業法と漁業組合	260
外海漁業の動向／明治漁業法の制定と漁業組合の活動／片江機船底曳船団の登場と機船底曳網漁業の発展／県の水産業奨励と県外出漁／消費地と産地の魚市場	260

四 松江商業会議所と商工業	269
商工業の概観／商工業の近代化／伝統工芸の改良／松江商業会議所と松江経済会／商店街の動向	269

五 水運から鉄道へ	281
三大道路の改修／海運の発展と阪鶴丸／湖上交通の展開と合同汽船／鉄道敷設運動の高まり／山陰線の開通／軽便鉄道の発達／海運の衰退と松江築港	281

第三節 市民と村民の暮らしと活動	293
------------------	-----

一 松江の「静かな」米騒動	293
騒動の全国的展開と島根県／中間層の生活難問題／村役場文書から分かること／再燃する生活難と公設市場	293

二 社会運動の高揚	302
松江市域の社会運動の概要／松江市民大会の系譜／戸谷一雄・福田理三郎・山根積／福田理三郎の松江市市会議員当選	302

三 地域社会のデモクラシーと平等	313
『川津村青年団沿革史』の編纂／地方改良運動と「スポーツ」の時代／デモクラシーの時代の川津村青年団／「文芸復興時代」の川津村青年団／デモクラシーから平等へ／平等を獲得した主体的要因／平等を実現した背景	313

四 社会事業の展開	327
-----------	-----

慈善事業の展開／松江市における社会事業／方面委員制度の発足／福田平治の愛隣社事業／救護法の制定／松江社会事業調査会による報告書	327
---	-----

五 宝満山と鉱害問題	337
宝満山銅鉱山の開業／鉱害問題の発生／施設拡張反対の声／労働者家族	337

の生活世界／公害問題の再燃／文化財保存問題の浮上	344
第四節 学都松江と地域の文化	344

一 官立松江高等学校の開校と地域	344
------------------	-----

官立松江高等学校の設置／高等教育機関設置要求の背景／高等教育機関誘致運動の構成／松江高等学校の開校と学生の構成／戦争の開始と松江高等学校／島根大学の開学

二 漢詩文化と政党政治―若槻礼次郎・渡部寛一郎と松江	356
----------------------------	-----

剪淞吟社の創立／剪淞吟社と山陰の漢詩文化／若槻礼次郎と渡部寛一郎／若槻・渡部と漢詩

三 近代松江における松平治郷（不昧）の顕彰	363
-----------------------	-----

松江の茶文化と不昧／旧藩顕彰事業と不昧／皇太子の行啓と不昧公好み／菓子復活／不昧公百年忌／地誌に見る不昧

四 ラフカディオ・ハーンと松江	376
-----------------	-----

ラフカディオ・ハーンの来松／離松後のラフカディオ・ハーン／小泉八雲（ハーン）の顕彰―根岸磐井と八雲会／小泉八雲の顕彰―小泉八雲記念館の建設

五 桑原羊次郎とその美術工芸研究	388
------------------	-----

松江における桑原家／東京進学と帰郷／私立松江法律学校の設立から米国留学へ／地域経済への寄与と議員就任／装剣金工研究の目覚め／肉筆浮世絵コレクションの展開／「欧米美術行脚」の時代／山陰盲啞保護会と八雲会／郷土美術の顕彰と紹介／近代松江における桑原羊次郎の活動の意義

第五節 県都・軍都と「模範村」	399
-----------------	-----

一 第一次桂太郎内閣の府県廃合計画と県都松江の市長の対応	399
------------------------------	-----

一九〇三年の「府県廃置法律案」と「松江県」設置計画／廃県反対運動の全国的展開／「山陰新聞」の論評と報道／福岡世徳市長の上京活動／府県廃合計画と県都松江の行方

二 歩兵第六十三聯隊誘致と陸軍記念日祝賀行事	408
------------------------	-----

都市間競争の中の聯隊誘致／熱狂的歓迎の背後にあるもの／経済振興への期待が招いたもの／軍事力は何のために／陸軍記念日祝賀行事／歩兵聯隊の誘致がもたらしたものの

三 日露戦争後の地方改良運動と「模範村」	418
----------------------	-----

八東郡青年会の各府県視察修学旅行／地方改良運動と「模範村」／松江地域の「模範村」／熊野村の外勤書記と岩坂村自治信愛会／村の重層的構成

と神社／一九二〇年代の「模範村」／八東郡村長会議／「小村合併」方針への抵抗

第三章 戦時・戦後の松江市域

この時期の概観	436
---------	-----

第一節 松江市と町・村の戦時と戦後	439
-------------------	-----

一 石倉市政期の都市基盤整備事業と観光	439
---------------------	-----

石倉俊寛市長の将来構想／松江の遊覧都市化に向けて／松江観光協会の宣伝活動／博覧会開催ブームの中で／生活・文化水準向上のために／松江市公会堂の建設

二 松江市の都市計画	448
------------	-----

都市計画準備調査／都市計画区域の決定／都市計画街路の策定と事業化／湖岸道路／松江における耕地整理・土地区画整理／松東の土地区画整理事業／戦後への系譜―生産再建整備都市計画街路事業

三 松江市域における総力戦	460
---------------	-----

日中戦争の勃発と言動統制／国家総動員とその余波／新体制運動に因えて／構築される翼賛体制／本土決戦に備えて／建物強制疎開／米軍機による空襲

四 敗戦・無条件降伏と松江騒擾事件	469
-------------------	-----

敗戦と島根県の対応／松江騒擾事件の経過／松江騒擾事件の構造と背景

第二節 昭和恐慌・戦時経済から戦後経済改革へ	476
------------------------	-----

一 昭和恐慌と地域経済	476
-------------	-----

昭和農村恐慌／農山漁村経済更生運動／有畜農業の奨励／農業共済事業の萌芽

二 戦時下の統制経済	485
------------	-----

戦時統制経済体制／食糧増産とその対策／企業・経済団体の統合／農業・漁業団体の統合

三 戦後の経済改革	491
-----------	-----

敗戦直後の行政機構／地元紙社説にみる経済民主化の論調／戦後直後の市の産業構造／一九五一年の二つの商工調査

四 戦後の農地改革と農協の誕生	499
-----------------	-----

第一次農地改革と第二次農地改革／農地改革の実施体制／農地改革の展開と成果／農業協同組合の設立／農業協同組合の経営不振と再建整備

第三節 戦時の宗教・社会と戦後の暮らし・文化

一 第二次大本事件

第二次大本事件と松江／松江における大本布教の始まり／第一次大本事件後の国際活動／満州事変後の大本の活動の拡大／第二次大本事件と松江

二 戦時厚生事業の展開

戦時厚生事業の展開／愛育村に指定された岩坂村／社会保健婦養成所の開設／保健婦の活動と意識

三 市民の暮らしと戦争被害

ヤミ市のある暮らし／治安の悪化／住宅の再建／簡易住宅・転用住宅での暮らし／占領軍による住宅の接収／戦争未亡人・戦災孤児・海外引揚者／開拓地への入植／松江赤十字病院社会事業部の活動／松江市民病院の開設

四 地域文化運動の高揚

「疎開文化人」と文学／松江美術工芸研究所の意義／戦後松江の演劇運動／「地方文化」をめぐる／青年団運動の高揚

第四節 学校と地域の戦争

一 学徒勤労動員と学童疎開の受け入れ

学徒動員の始まり／戦時下の文教政策と皇国民練成／戦地へ工場へ／決戦体制下の教育と動員／大阪からの学童疎開／勤労学徒の思い（1）——不安とあきらめ——／勤労学徒の思い（2）——不安と焦燥感——

二 神国大博覧会と支那事変博覧会

「神国大博覧会」開催計画の発表／神国博覧会開催計画の背景／神国博覧会計画の変容と中止／支那事変博覧会の開催／動員・誘導される見学者

第五節 出征兵士と銃後の市民

一 日清・日露戦争と市民

日清戦争と郷土出身兵／日清戦時下の銃後／日清戦争出征兵士からの手紙／日露戦争と郷土出身兵／日露戦時下の銃後／日露戦争出征兵士からの手紙／徴兵逃れ祈願

二 満州事変／アジア・太平洋戦争と市民

満州事変以降の郷土部隊／歩兵第六十三聯隊以外の郷土部隊／逼迫する消費生活／求められた金属供出／防空訓練と竹やり訓練／松根油採取のための動員／満州事変・日中戦争下の軍事郵便／出征兵士はどう迎えられたか／戦死者はどう迎えられたか

第四章 現代松江市域のなりたち

この時期の概観

第一節 現代松江市の誕生

一 戦後の市町村合併と一市八町村の成立

戦前・戦後の市町村合併と現代松江市の成立／一九五〇年代の市町村合併の背景／島根県・松江市・各町村の合併計画／一九五〇年代の松江市域の合併計画と町村の枠組み

二 二十一世紀の市町村合併と現代松江市の誕生

松江市と八束郡七町村の合併／東出雲町の松江市編入と現代松江市の誕生

第二節 地域産業の再編

一 農業の近代化と農業構造改善事業

新農山漁村の建設／農業基本法の制定と農業構造改善事業／第一次農業構造改善事業／第二次農業構造改善事業

二 水産業の民主化と再編

島根県漁業の長期的動向／漁業制度改革と漁業協同組合の再発足／復興期の島根県水産業／干拓・淡水化前の中海・宍道湖漁業の実態／沿岸漁業等構造改善事業の計画と実施／水産業改良普及活動と県漁連／広報誌『明るい漁村』

三 商工業の変貌

高度経済成長初期の松江市商業／一九六〇年代以降の小売業／流通革命と商業近代化／工業の変貌と近代化／松江商工会議所と中小企業等協同組合

四 平成の広域合併前後の都市部と農漁村部の就業環境

産業立地／農業の就業環境／漁業の就業環境／就業の場としての松江市／観光産業の展開

第三節 暮らしの変化と地域の運動

一 朝鮮戦争・再軍備と地域の運動

「対岸の火災視とはなり得ず」／危険な漂着物／美保基地拡張反対運動

二 新生活運動と地域の民主化

新生活運動の始まり／八雲村の新生活運動／農村女子青年の「農村ざらい」／因習打破と世代間関係／批判やとまどい／公民館結婚式

三	高度成長と暮らし・教育・文化	674
	都市へ……／集団就職／農村民の悩み／都市部の勤労青年対策／松江市立青年高等学院の発足／労演運動の展開／松江勤労者演劇協議会から松江市民劇場へ	
四	地域保健衛生活動の展開	688
	「健康な町」／乳児の保育と母の健康／総合保健計画の立案／保健文化賞の受賞	
第四節	戦後の教育・文化の展開	700
一	公民館活動と社会教育・「地域づくり」	700
	公民館の設置／公民館活動の広がり／「自主運営方式」の公民館へ／生馬公民館の取り組み／公民館活動と地域福祉	
二	民藝運動の展開と継承	713
	柳宗悦と太田直行／島根県の民藝運動の足どり／布志名焼と船木家の人々／湯町窯と福岡家の人々／袖師窯と尾野家の人々／出雲民藝紙と安部家の人々／松江美術工藝研究所の人々／民藝運動の継承と今日の展開／手仕事を松江の産業振興の核に	
三	国際文化観光都市の指定と観光振興	725
	戦後復興期における「観光関係特別都市法」の制定／「松江国際文化観光都市建設法」と小泉八雲／住民投票と市民の意識／戦後松江における大規模行事／施設の充実と観光客の増加	
四	文化財保護行政と埋蔵文化財の保存	735
	松江市域の考古学の始まりと戦後の遺跡調査・研究の展開／開発事業と文化財保護行政／「八雲立つ風土記の丘」の設置／島根大学の考古学研究・人材育成体制／増え続ける大規模開発と発掘調査／島根県・松江市による調査の推進と調査体制の整備／八束郡各町村の専門職員採用と資料館の開館／埋蔵文化財調査報告書・研究論文の刊行／記録に残る遺跡の保存運動／保存運動の実際（1）宍道・女夫岩遺跡／保存運動の実際（2）東出雲町・寺床遺跡／保存運動の実際（3）乃木・田和山遺跡	
第五節	都市と農漁村の変貌	748
一	旧松江城下町の掘割と水路の変遷	748
	——六つの橋が結ぶ橋南と橋北——	
二	掘割と水路の変遷／市街地・埋立地の拡大と橋の整備	758
	郊外における住宅団地の造成	
	戦後の住宅難問題／島根県住宅供給公社の取り組み／公設アパート団地	

と自治会／民間活力による団地造成と自治会（1）／民間活力による団地造成と自治会（2）／団地造成と埋蔵文化財／二十世紀末の住宅団地開発	
三	魚と花の行商
	惠曇の「魚商人」／カゴイナイさんと船／魚商人専用バスの登場／大根島と花の栽培／クサバナを売りに行く／牡丹苗を背負って全国へ
終章	私たちの松江——これまでとこれから
はじめに	
一	松江市域の人口——明治から現代まで
	明治初期の人口減少その後／戦前の人口増加の要因／戦後の人口推移／戦後の自然増加／戦後の社会増加／松江市人口の占める位置
二	水害と火災
	水害が頻発する地理的条件／一八九三年の大洪水／一九七二年の大洪水／斐伊川・神戸川治水事業／昭和期の大火災／消防の取り組みの変遷
三	中国電力島根原子力発電所
	中国電力島根原子力発電所の現況／中電島根原発設置の経緯／立地調査をめぐる島根県議会の議論／鹿島町への原発設置申入れとその波紋／鹿島町内の対応と原発設置反対運動／2号機・3号機の増設と島根原子力発電所反対運動／島根原発設置決定過程が示すもの
四	宍道湖・中海の干拓淡水化事業
	五〇年かかった干拓淡水化事業／戦後日本の干拓事業／始まりは宍道湖淡水化論／ヤンセン講演で干拓を確信（第一期）／農業開発か工業開発か／島根・鳥取の意見対立と治水問題／水面下に広大な圃場が完成（第二期）／進む工事と淡水化への疑問・反対／水門閉め切りは水質悪化——専門家からの警告（第三期）／高揚する住民運動／国際生態学シンポジウムと島根大汽水域研究センター／島根県による再度の干陸推進（第四期）／深化する住民運動／宍道湖・中海の干拓淡水化事業の事後処理（第五期）／干拓淡水化事業の残された課題
おわりに	——松江市域の近現代史の特徴と課題
	松江市域の近現代史の特徴／住民自治をめぐる課題／松江市域の人々の自治をめぐる歴史的経験／地域の歴史的歩みの上に立つて
参考文献一覧	
松江市史編纂関係者名簿	

執筆分担

史料提供者・協力者一覧

年表

索引

.....1

5

.....1

1

別編 1 松江城 目次

口 絵	
発刊にあたって	
目 次	2
凡 例	1
松江城郭呼称概念図、松江城建物呼称概念図	1 3
序 章 概観と本編の構成	
第一節 別編「松江城」の執筆にあたって	2
編集方針と構成／調査と研究の進展／まちづくりと将来への展望	
第二節 日本の城と松江城	4
山城の出現／慶長の築城ラッシュ／堀尾吉晴の築城	
第三節 松江城の歴史概観	1 5
松江城築城以前／松江城の築城／城下町の造成と変遷／明治維新と松江城の売却／二度の大修理／天守国宝指定と三つの取り組み	
第一章 松江城の築城と整備	
第一節 堀尾氏の入国と富田城の改修	2 2
一 堀尾氏の出雲入国	2 2
「出雲国図」に描かれた古城／堀尾氏と関ヶ原合戦	
二 富田城の歴史	2 4
三 富田城の構造	2 5
四 堀尾氏の富田城改修	2 7
吉川広家による第二次改修	
第二節 領内諸城の改修と破城	2 9
一 堀尾氏の出雲支配と支城	2 9
松江築城	
二 三刀屋城	3 1
三刀屋城	
三 赤名瀬戸山城	3 3
瀬戸山城の歴史／瀬戸山城下の構造／支城としての瀬戸山城	
四 富田城	3 7
富田城	
五 三沢城と亀嵩城	3 9
亀嵩城の歴史と構造／三沢城の歴史と構造／亀嵩古城とは	
六 隠岐支配の城	4 3
隠岐の山城	
七 「正保城絵図」に描かれた松江城天守	4 4
「正保城絵図」とは／「正保城絵図」に描かれた松江城天守	
第三節 堀尾氏の城郭普請	5 0
一 松江城築城物語	5 0
『島根県史』にみる「松江城築城物語」／近世・近代の文献史料との比較検討／一次史料にみる築城期の松江／「松江城築城物語」の評価	
二 松江城周辺の山城跡	5 8
末次城／荒隈城／白鹿山城砦跡群	
三 城地の選定と築城経過	6 5
松江築城の経緯	
四 城郭の縄張り	6 9
五 慶長期、西国外様大名の築城	8 4
六 松江城の検討	9 3
第四節 松江城の空間表現	9 4
一 〈城山〉という存在感	9 4
近世城郭であることの意義／荒隈山と亀田山の比較／城山に託されたもの／城郭の潜在性について	
二 松江城の表裏と方向性	9 9
城郭の空間構成と曲輪／豊臣大坂城と松江城の関係／松江城の曲輪の個性とは／城郭の向きと象徴性の問題／松江城をめぐる表裏の感覚／城郭空間の正面性について	
三 城と郊外をめぐる空間設計	1 0 7
松江城という空間の構想／松江の座標系が表す意味／築城のための座標	

系の設定／空間設計の軸線を見立てる

第五節	元和・寛永期の松江城	1	15
-----	------------	---	----

元和・寛永期の築城

第二章 松江城の石垣

第一節	石材とその産地	1	20
-----	---------	---	----

一	石材のもとになった岩石	1	20
---	-------------	---	----

二	石垣をつくる石材とその起源	1	21
---	---------------	---	----

	石材1／石材2／石材3／石材4		
--	-----------------	--	--

三	松江城石垣の石材の分布	1	26
---	-------------	---	----

二之丸東部…A↘B／中曲輪…C↘F／本丸の石垣…G↘K・Q・R／
腰曲輪の石垣…L↘P／天守台の石垣…S／二之丸南東部の石垣と石
墨…T・U・V

四	石垣の場所および年代と石材の変遷	1	30
---	------------------	---	----

第二節	石垣の構造と改修	1	31
-----	----------	---	----

一	石垣の概観―構築場所と特徴―	1	31
---	----------------	---	----

石垣の時期変化

二	様々な石垣―構築と改修―	1	33
---	--------------	---	----

近現代の修理石垣／江戸時代の史料からみた石垣の修理／江戸時代に積
まれた新様式の石垣／堀尾氏築城期の石垣／石垣からうかがえる曲輪の
改造

三	石材の刻印と墨書	1	45
---	----------	---	----

刻印・墨書とは何か／様々な文様／刻印からみた割普請

四	堀尾期の石垣からみた松江城	1	50
---	---------------	---	----

石垣の特徴の背景／場所による偏差とランドデザイン

第三章 松江城の城郭施設

第一節	天守をはじめとする城郭施設の推移	1	58
-----	------------------	---	----

一	松江城の築城とその後の推移	1	58
---	---------------	---	----

二	文献を通して見る松江城城郭施設の推移	1	58
---	--------------------	---	----

堀尾氏・京極氏の時代／松平氏の時代

三	城郭図を通して見る松江城の推移	1	60
---	-----------------	---	----

「堀尾図」／「京極図」／「出雲国松江城絵図」／「御城内絵図面」／堀尾

期の松江城／京極期の松江城／正保期の松江城／享保期の松江城

四	城郭施設推移の特色	1	67
---	-----------	---	----

第二節	松江城天守	1	68
-----	-------	---	----

一	天守の創建	1	68
---	-------	---	----

二	天守の特徴	1	70
---	-------	---	----

三	通し柱	1	73
---	-----	---	----

四	包板	1	78
---	----	---	----

五	帯鉄（鉄輪）	1	80
---	--------	---	----

六	天守の屋根および瓦	1	82
---	-----------	---	----

七	松江城天守の修復に関する検討	1	85
---	----------------	---	----

八	初期松江城天守に関する復原的考察	1	87
---	------------------	---	----

「正保城絵図」の一つ「出雲国松江城絵図」に描かれた天守の描写につい
ての検討／天守初重の比翼千鳥破風の痕跡／天守四階の唐破風出窓およ
び千鳥破風の痕跡／初期松江城天守の復原的検討／今後の検討課題

第三節	本丸・二之丸および周辺の城郭施設とその推移	1	93
-----	-----------------------	---	----

一	基礎史料について	1	93
---	----------	---	----

二	「竹内右兵衛書つけ」に見る松江城城郭施設	1	94
---	----------------------	---	----

	本丸／二之丸／外曲輪（二之丸下ノ段）／新御屋敷之内（上御殿）		
--	--------------------------------	--	--

三	記録史料を対比して見る松江城城郭施設の推移	2	01
---	-----------------------	---	----

「御城内惣間数」（史料B）について／「御城内惣間数」（史料B）に見る周
辺の城郭施設

四	外曲輪および後曲輪の城郭施設について	2	04
---	--------------------	---	----

中原口柵門とその周辺／後曲輪

五	発掘調査の成果	2	08
---	---------	---	----

調査に至る経緯／本丸／二之丸／外曲輪（二之丸下ノ段）／外曲輪（馬溜）
／北之丸（出丸）／門と橋／勢溜（大手前）／腰曲輪

第四節	三之丸の推移と基本構成	2	19
-----	-------------	---	----

一	記録を通して見る三之丸の推移	2	19
---	----------------	---	----

網隆の時代（二六六六～一六七五）／網近の時代（一六七五～一七〇四）

／吉透の時代（一七〇四～一七〇五）／宣維の時代（一七〇五～一七三二）／宗衍の時代（一七三二～一七六七）／治郷の時代（一七六七～一八〇六）／江戸時代後期（一八〇六～一八六八）	2 2 3
二 絵図面を通して見る三之丸の推移 「御三丸御指図三枚之内」／「御城内絵図面」／「二ノ丸御殿間取図」／「安政三辰四月改三丸惣御絵図面」	2 2 3
三 三之丸の基本構成 表向きの空間と奥向きの空間／建物の変遷	2 2 4
四 藩主の住まいとしての三之丸御殿 三之丸の空間構成／綱隆以降の三之丸／三之丸の空間構成／三之丸の特色	2 3 0
五 御花畑と御鷹部屋 御花畑／御鷹部屋	2 3 4
六 発掘調査の成果（三之丸（現島根県庁敷地）） 北面の堀石垣／西面の堀石垣／南面の堀石垣／西部の遺構（池跡）／三之丸之内	2 4 0
第四章 松江城下町の造成	
第一節 造成以前の自然環境 一 これまでの調査 研究史／松江平野の成り立ち	2 4 4
二 松江城下町北東部 地下断面図と地形の発達／築城直前の土地利用と耕作	2 4 5
三 松江城下町東西の「潟湖」 東の「潟湖」／「松江潟」調査／「松江潟」から「松江湖」、さらに「水田」を経て現在に／（西の「潟湖」）「法吉坡」の調査／「古法吉坡」と「法吉潟内」、 「法吉坡」を経て「ふけ田」に	2 4 7
四 松江城下町造成前の景観 二つの鳥瞰図／床几山からの眺望	2 5 1
五 縄文時代後期の松江平野 松江平野北部の景観	2 5 2
第二節 城下町の造成 一 松江城下町造成の謎	2 5 3

松江城下町造成の謎	2 5 4
二 松江城下町地質と盛土の概要 松江平野の基本層序／盛土でできた城下町	2 5 4
三 土質調査地点および項目 調査地点／採取試料／試験項目	2 5 4
四 土質調査結果 自然含水比・間隙比／粒度分布工学的分類／締固め特性	2 5 6
五 宇賀山の伝承の検証 宇賀山の開削／宇賀山の土の盛土・埋土／宇賀山の土の行方	2 5 8
六 築城後の城下町造成 障子堀とその埋土／洪水と造成（嵩上げ）／雑賀町の造成／圧密沈下と浸水	2 6 0
第五章 松江城下の都市と建築	
第一節 松江城下の都市構造 堀尾期の松江城下町―その空間構造と景観演出―	2 6 4
二 松江城下町の基本構成／松江城下町の建設過程／松江城下町の設計手法 武家屋敷の特徴とその推移 十八世紀中頃の「松江城下絵図」／十九世紀中頃の「松江城下絵図」／「武家屋敷明細帳」	2 7 0
三 武家地における屋敷替えと「屋敷方」 近世中・後期の松江城下	2 7 3
四 十八世紀中頃の松江城下／禄高別の屋敷地の分布／屋敷面積にみる松江城下／十九世紀中頃の松江城下 近世中期～後期における城下内部の空間的変容 空地の減少と屋敷の細分化／松江藩の家臣団構成／家臣数の増加と家臣団構成の変化／松江城下武家地の特色	2 7 5
五 雑賀町の形成と基本構成 足軽町雑賀町の形成／雑賀町と鉄炮町の変貌／足軽の総数と役割の変化／雑賀町の基本構成／雑賀町の足軽屋敷	2 8 6
第二節 町人地と寺社地 一 町人地の変遷	2 9 3

城下町成立期の町人地／元禄期町人地の拡張と石橋町の開発／江戸中期町人地の開発／江戸後期町人地の開発／町人地地割の変化／職業構成	296
二 安永期白潟の都市空間	296
「松江白潟町絵図」に見える各町の性格／「松江白潟町絵図」に見える町家の建築構成	296
三 町人地の景観	301
四 寺社地の構成	304
寺町以前考／寺町の変遷	304
第三節 松江藩御作事所と御大工の働き	309
一 松江藩御作事所	309
御作事所の所在／御作事所の組織形態とその変遷／御作事所の陣容／御作事所の員数とその推移／御作事所の特色	309
二 「城普請」とその役割	314
「城普請」の系譜／奥谷の城普請町（谷）／「城普請」の役割	314
三 松江藩御大工とその動向	317
寛永十五年召抱御大工とその系譜／御大工並の召抱／享保三年召抱御大工並とその推移／「松江藩列士録」に見る御大工の働き／竹内有兵衛とその仕事	317
四 御作事所が関わった作事	326
五 松江藩御大工に伝わる建築関連図面	330
山村氏と「山村氏寄贈資料」	330
第四節 松江藩の諸建築と構築物	333
一 武家屋敷	333
上・中・下屋敷を持つ者／上級武家屋敷（三谷家）／中級武家屋敷（氏家家）／下級武家屋敷（雑賀足軽宅見取図）	333
二 町屋	338
松江の町割り／町人の住まい	338
三 橋梁、そのほかの構築物	342
松江大橋の歴史／松江亀田山千鳥城取立之古説／代々の大橋／松江城下の橋／天神橋ほか	342
第五節 松平不昧の茶室	348
一 不昧はどのような茶室をつくろうとしたのか	348

二 『松平不昧伝』に見る「好みの茶室」	349
三 大崎園の茶室	358
四 「大円庵会記」に見る不昧の茶室	365
五 不昧が好んだ茶室	371
第六章 地下に眠る城下町松江	374
第一節 松江城下町の建設	374
一 松江城下町の地層と立地環境	374
二 松江城下町の構造	375
三 武家屋敷地の構造	377
第二節 武家屋敷地の発掘調査成果	380
一 殿町での調査 松江歴史館敷地	380
堀尾期／京極期／松平期／松江の武家屋敷	380
二 母衣町での調査 松江地方裁判所敷地	391
堀尾期／京極期から松平期	391
三 南田町での調査	397
入り堀より東の屋敷／堀と土手	397
第三節 町人地の発掘調査成果	407
一 松江城下町の町人地の構造	407
末次／白潟	407
二 米子町の町屋	410
町屋の復元／町屋からの出土遺物／城下町を横断した発掘調査	410
第七章 歴史遺産としての松江城	416
第一節 松江城と近代の試練	416
一 明治初年の城郭事情	416
城郭の近現代史の可能性／明治維新後の城郭観と政策／明治六年の全国城郭処分	416
二 松江城の危機と保存への道	419
旧城の保存と博覧会の開催／松江城の処分と天守の保存／明治の城下	419

三	松江城天守の修理	4 2 5
	旧城の景況／城内の整備と公園化の端緒	
	明治の天守保存と天守補修の動き／明治二十七年の天守修繕／昭和初期の松江城(国宝指定と天守の調査)／昭和の解体修理／城戸久の「天守の創建と寛永修理」	
第二節	松江市民と松江城	4 4 0
一	ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)と明治の面影	4 4 0
	ラフカディオ・ハーンと松江／松江城の処遇と払い下げ／大橋の開通、松江城の印象	
二	近代の市民生活とともに	4 4 4
	城山界限で起こったこと／松江市民の夢とともに歩む／市民の松江城となる道のり／戦後、新しい時代への出発	
第三節	明治以降の松江城の空間的変容	4 4 9
一	松江城山の変遷	
	明治・大正時代／昭和時代(戦前)／昭和二十六～四十四年／昭和四十五～平成二十二年／平成二十三年～現在	
二	松江城周辺の変容	4 5 7
	初代県庁舎の時代・明治五～十二年／二代目県庁舎の時代・明治十二～四十二年／三代目県庁舎の時代・明治四十二～昭和二十年／四代目県庁舎の時代・昭和二十～三十四年／五代目県庁舎周辺整備計画・昭和三十四年～現在	
第四節	松江城内の近代建築	4 6 3
一	城内の変化	
	廃城を免れた松江城／博覧会の開催／城址の公共的利用／城址公園化の動き／城址に設けられた施設／幻に終わった神国大博覧会開催計画	
二	松江市工芸品陳列所(興雲閣)の建築	4 6 7
	遅れて現れた擬洋風建築／松江市工芸品陳列所(興雲閣)の建設と設計者／興雲閣建築の意義	
三	松江神社、松江護国神社	4 7 0
	移転された松江神社／松江護国神社	
四	三之丸周辺の近代建築推移と戦後の現代建築	4 7 2
	県庁舎とそのほかの現代建築	

第八章

絵図資料

第一節	絵図解説	5 1 2
	松江城関係図の概要／松江城関係図の所在調査／松江城関係図の分類／松江城関係図のそれぞれの特徴	
第二節	絵図解題	5 1 5
一	城郭図	5 1 5
	1 出雲国図／2 堀尾期松江城下町絵図／3 寛永年間松江城家敷町之図／4 出雲国松江城絵図／5 松江城正保年間絵図／6 松江城及城下古図／7 松江城下絵図／8 雲州松江(乗命)／9 諸国当城之図松江／10 出雲国松江城之絵図／11 松江城郭図／12 出雲国松江城(諸国城郭修復図)／13 松江城郭古図／14 出雲国松江本城図／15 御城内絵図面／16 御本・二・三丸御花畑共略絵図面／17 城郭図に描かれた天守／18 御本丸二ノ御丸三の丸共三枚之内／19 松江城縄張り図	
二	建物図	5 2 7
	20 御三丸御指図三枚之内／21 御天守上ヨリ下迄地絵図面／22 式丸御書院御広間絵図／23 御月見御殿絵図／24 三ノ丸御殿間取図／25 安政三辰	

四月改三丸惣御絵図面／26 三助様御屋敷絵図／27 御花畑南 三助様御屋敷絵図／28 若殿様御殿御絵図面／29 御立山惣絵図／30 御立山之内楽山御茶屋絵図／31 三谷家上屋敷絵図／32 有澤権五郎屋敷絵図／33 脇坂十郎兵衛屋敷絵図／34 黒澤家屋敷絵図／35 1 茶室図（妙喜庵絵図）／35 2 茶室図（妙喜庵絵図）／36 旧松江城図面／37 松江城山公園設計図／38 松江城測量図／39 松江城および周辺の平面実測図	5	4	3
絵図資料 掲載絵図・地図一覧表	5	4	3

第九章 松江城下町遺跡

第一節 松江城下町遺跡の概要	5	4	6
第二節 城下町造成以前の松江	5	4	8
一 水田跡	5	4	8
二 低湿地の堆積層や繁茂するコケ類	5	4	9
三 中世の遺物	5	4	9
第三節 城下町造成の開始	5	5	0
一 素掘りの大溝	5	5	0
区画境大溝／屋敷境大溝			
二 堀	5	5	2
三 土 手	5	5	3
四 屋敷地の造成（島状整地）	5	5	4
五 鍛冶関連の遺構と遺物	5	5	5
六 製材関連の遺構と遺物	5	5	6
第四節 堀尾氏の時代	5	5	7
一 絵図の北屋敷（堀尾采女屋敷）の調査	5	5	7
二 絵図の南屋敷（堀尾右近屋敷）の調査	5	5	9
三 絵図の中級家臣屋敷の調査	5	6	0
四 絵図の空白地部分の調査	5	6	1
第五節 京極氏の時代	5	6	2
一 「佐々九郎兵衛」銘木簡が出土した土坑	5	6	2

二 堀の消失	5	6	2
三 屋敷境溝の消滅	5	6	4

第六節 松平氏の時代

一 大橋家与力屋敷の調査	5	6	4
二 松平前期の一括廃棄土坑	5	6	5
三 松平後期の一括廃棄土坑	5	6	6
第七節 そのほかの城下町遺跡	5	6	8
一 町屋（米子町）の調査	5	6	8
二 御船屋跡（東本町）の調査	5	6	9
三 外堀石垣	5	7	1
四 米子橋橋台	5	7	1

第十章 石材・石垣・瓦調査資料

第一節 石垣石材の分類と帯磁率に関する資料	5	7	4
一 松江市周辺の地質と岩石	5	7	4
二 火山岩の分類と化学組成	5	7	5
三 岩石の構成鉱物と岩相	5	7	6
四 岩石の記載と帯磁率	5	7	7
第二節 石垣修理に伴う構造調査	5	8	0
一 天守台	5	8	0
江戸時代の史料／昭和修理時の調査／天守台石垣の構造			
二 二之丸東側高石垣	5	8	7
石垣の概要／石垣修理と調査の概要			
三 中曲輪南端石塁	5	8	9
四 本丸武器櫓下石垣	5	9	0
石垣の概要／石垣修理と調査の概要			
第三節 主要石垣の構造	5	9	3
一 本丸一ノ門北脇石垣	5	9	3

二	二之丸南東高石垣	5	9	4
三	中曲輪東辺石垣	5	9	4
四	外曲輪(二之丸下ノ段)東辺石垣	5	9	5
五	二之丸東側高石垣	5	9	6
六	二之丸月見櫓跡下石垣	5	9	7
七	二之丸南廊下橋北詰石垣	5	9	8
八	本丸祈禱櫓下石垣	5	9	9
第四節	刻印と墨書	6	0	0
一	種類と分布	6	0	0
二	刻印と墨書／刻印の種類／墨書／刻印・墨書の分布	6	0	6
二	中曲輪南端石垣の分銅文	6	0	6
五	昭和四十年代前半～五十年代前半の調査／石垣の発掘調査と修理工事／その後の調査の進展／本格的な刻印調査を継続	6	0	7
第五節	松江城の瓦	6	0	7
一	これまでの調査研究	6	0	7
二	松江城軒瓦の型式分類	6	0	7
三	軒丸瓦／軒平瓦	6	0	7
三	富田城跡出土軒瓦の型式分類	6	1	0
四	軒丸瓦／軒平瓦	6	1	0
四	松江城と富田城跡の軒瓦の年代	6	1	2
四	松江城築城期の軒瓦／堀尾期の富田城の軒瓦／京極氏以降の松江城の軒瓦／おわりに	6	1	2
第十一章	文献史料			
第一節	文献史料解説・解題	6	3	0
一	文献史料解説	6	3	0
二	文献史料解題	6	3	1
一	久代景備書状／二 堀尾氏奉行人連署安堵状写／三 堀尾氏奉行人連署安堵状写／四 別火祐吉誓文／五 墨書頭如上人真影図裏書／六 祈禱札／七 瑞応寺棟札写／八 越後頭宛女房書状／九 堀尾古記／一〇 屋敷方勤	6	3	1

二	二之丸南東高石垣	5	9	4
三	中曲輪東辺石垣	5	9	4
四	外曲輪(二之丸下ノ段)東辺石垣	5	9	5
五	二之丸東側高石垣	5	9	6
六	二之丸月見櫓跡下石垣	5	9	7
七	二之丸南廊下橋北詰石垣	5	9	8
八	本丸祈禱櫓下石垣	5	9	9
第四節	刻印と墨書	6	0	0
一	種類と分布	6	0	0
二	刻印と墨書／刻印の種類／墨書／刻印・墨書の分布	6	0	6
二	中曲輪南端石垣の分銅文	6	0	6
五	昭和四十年代前半～五十年代前半の調査／石垣の発掘調査と修理工事／その後の調査の進展／本格的な刻印調査を継続	6	0	7
第五節	松江城の瓦	6	0	7
一	これまでの調査研究	6	0	7
二	松江城軒瓦の型式分類	6	0	7
三	軒丸瓦／軒平瓦	6	0	7
三	富田城跡出土軒瓦の型式分類	6	1	0
四	軒丸瓦／軒平瓦	6	1	0
四	松江城と富田城跡の軒瓦の年代	6	1	2
四	松江城築城期の軒瓦／堀尾期の富田城の軒瓦／京極氏以降の松江城の軒瓦／おわりに	6	1	2
第十一章	文献史料			
第一節	文献史料解説・解題	6	3	0
一	文献史料解説	6	3	0
二	文献史料解題	6	3	1
一	久代景備書状／二 堀尾氏奉行人連署安堵状写／三 堀尾氏奉行人連署安堵状写／四 別火祐吉誓文／五 墨書頭如上人真影図裏書／六 祈禱札／七 瑞応寺棟札写／八 越後頭宛女房書状／九 堀尾古記／一〇 屋敷方勤	6	3	1

第二節

文献史料

一	久代景備書状(大関家文書〔黒羽芭蕉の館蔵〕)	6	3	8
二	堀尾氏奉行人連署安堵状写	6	3	8
三	堀尾氏奉行人連署安堵状写	6	3	9
四	別火祐吉誓文	6	3	9
五	墨書頭如上人真影図裏書(西光寺蔵)	6	4	0
六	祈禱札(松江歴史館蔵)	6	4	0
七	瑞応寺棟札写(須田主殿筆写〔松江歴史館蔵〕)	6	4	1
八	越後頭宛女房書状(平林家文書〔八束郡誌〕)	6	4	1
九	堀尾古記(堀尾秀樹家蔵)	6	4	2
一〇	屋敷方勤の様子申送之覚	6	5	8
一一	竹内右兵衛書つけ(松江歴史館蔵)	6	6	2
一二	御城内惣間数(雲州松平家文書〔国文学研究資料館蔵〕)	6	6	8
一三	御作事所御役人帳(野津敏夫家蔵)	6	7	4
一四	博覧会稟告(大野家文書〔松江歴史館蔵〕)	6	7	7
一五	(参考) 雲州松江城之縁起(万寿寺文書〔松江市誌〕)	6	7	8
一六	(参考) 雲州松江城之事書(円成寺蔵)	6	7	9
一七	(参考) 小瀬甫庵由緒書	6	8	1
一八	(参考) 仁多郡中湯野村運龍山覚融寺書出帳写	6	8	2

一九	(旧島根県史編纂資料 近筆写編二五二) (島根県立図書館蔵)	6	8	3
二〇	(参考) 松江亀田山千鳥城取立之古説 (島根県立図書館蔵)	6	8	8
二一	(参考) 森羅萬象 (大野家文書 [松江歴史館蔵])	6	8	8
二二	(参考) 千鳥城の築造とその城下 [『郷土資料 島根叢書』第一篇]	6	8	9
第十二章	松江城伝来資料			
第一節	伝来資料解説	7	0	6
第二節	祈祷札	7	0	7
	「奉讀誦如意珠經長栄処」 祈祷札 / 「奉轉讀大般若經六百部武運長久処」 祈祷札 / 祈祷札の墨書と宗教的背景			
第三節	鎮宅祈祷札	7	1	1
第四節	鎮物	7	1	3
	祈祷札 / 槍 / 玉石			
第五節	鎮物・祈祷札の梵字解説	7	1	5
第六節	松江城天守雛形	7	1	6
第七節	木造銅板貼鯨	7	1	7
	右側の鯨 / 左側の鯨 / 木造銅板貼鯨の特徴			
第八節	富の刻印のある部材	7	2	0
	「分銅文に富」の刻印のある部材			
第九節	墨書資料	7	2	2
第十節	天守出土の塩札	7	2	7
一	塩札の発見に至る経緯	7	2	7
二	塩札の概要	7	2	8
	I 類 / II 類			
三	塩札と塩の生産	7	3	0
四	天守出土塩札の特徴	7	3	2
第十一節	道具瓦	7	3	2
一	鯨瓦	7	3	2
	鯨瓦1 / 鯨瓦2			
二	鬼瓦	7	3	5

第十三章 写真資料

三	鳥衾瓦	7	3	7
	鬼瓦1 / 鬼瓦2 / 鬼瓦3 / 鬼瓦4 / 鬼瓦5 / 鬼瓦6 / 鬼瓦7			
四	軒丸瓦・棟込瓦	7	3	7
	鳥衾瓦1 / 鳥衾瓦2 / 鳥衾瓦3 / 鳥衾瓦4 / 鳥衾瓦5			
	軒丸瓦1 / 軒丸瓦2 / 棟込瓦1			
五	刻印瓦	7	3	8
	刻印瓦1 / 刻印瓦2 / 刻印瓦3 / 刻印瓦4 / 刻印瓦5 / 刻印瓦6			
六	金物類	7	3	9
	金物類1 / 金物類2 / 金物類3 / 金物類4 / 金物類5 / 金物類6 / 金物類7 / 金物類8 / 金物類9			
第十二節	天守地階保管の五輪塔・宝篋印塔	7	4	0
第十三節	「御廣間」銘の楽山手水鉢	7	4	1
写真解説		8	7	9
一	松江城天守古写真 (明治初年から明治二十七年まで)	8	7	9
二	絵葉書、風景写真に写る松江城と城下町	8	8	0
三	松江城天守昭和の大修理	8	8	3
	写真資料一覧表	8	8	8
	用語解説 (五十音順)	8	9	4
	参考文献一覧	9	0	2
	松江市史編纂関係者名簿	9	0	8
	執筆分担	9	0	9
	協力者・協力機関一覧	9	1	1
	掲載資料の所蔵者・提供者一覧	4	7	
	『松江市史』付帯出版物等一覧	4	1	

（松江市ふるさと文庫・松江城研究・松江市歴史叢書・松江城調査研究集 録・松江歴史館研究紀要・松江歴史館展示図録）	
主な松江城関係文献一覧（刊本）	19
松江城関連事項編年表	8
索引	1

別編2 民俗 目次

口絵		
発刊にあたって		
目次		2
凡例		18
地図		20
序章		2
第一章 社会組織と人とのつながり		
第一節 松江市域のムラ		11
一 ムラの変遷		11
村とムラ／藩政村とムラ／部落／部落から自治会へ／町内会／区		
二 松江市域の集落地名		19
ムラの始まり／別所／本郷／○○口		
第二節 ムラの運営と規則		25
一 総会		25
ムラの寄り合い／常会／総会の開催時期／集会所		
二 規約		30
自治会会則／手間賃／休日の定め		
三 ムラの経費		33
会費収入／位数／事業経費		
四 共同作業		37
タカヤク／道路・川の掃除／山の作業		
第三節 ムラの組織		39
一 自治会長と役員組織		39
自治会長／ムラの役職／祭礼の執行／農事実行組合長／諮問機関／ムラの階層／カシラホンガン		
二 村落内集団と村落連合		49

1 村組		49
シバ組／大組		
2 講中（コウチュウ）		54
朝酌地区／鹿島町／松江南部／葬式組		
3 村落連合		56
秋鹿／大庭／玉湯		
三 ムラの生活組織		58
1 水利組織		58
目無水／空山／秋鹿川／来待川		
2 共有山		62
ノヤマ／共有林の法人化		
3 漁業者の組織		65
漁業者の会／網組		
第四節 松江市南部のムラと北部のムラ		68
一 多重的な村落		68
村落の機能／多重的な村落／玉湯町大谷／大谷自治会／大谷四地区／四・五・六・七地区連合／八雲町別所／柳原		
二 村落の二分組織		76
島根半島のムラ／二分組織／古浦・御津／野波の二分組織／笠浦		
第五節 町の社会組織		82
一 町内会		82
町内会と区／集会所／横浜町／鑿行列／天神町		
二 職人の組織		91
大工職人／畳職人		
第六節 家族と親族		93
一 家族		93
家族の世帯構成／家族類型／屋号／親戚関係／同族／通婚圏／擬制親族／デイリ		
第二章 漁業・農業・手工業		

第一節 漁業

一 日本海沿岸部の漁業	1 0 8
1 網漁	1 0 9
敷網漁業／底曳網漁業／曳網漁業／旋網漁業／刺網漁業（建網漁業）／シイラ網漁業	
2 釣漁業	1 1 5
釣漁業／イカ釣漁業／延縄漁業	
3 その他	1 1 7
カニ漁／カナギ漁	
4 山立て（山あて）	1 1 9
二 中海の漁業	1 2 0
1 網漁	1 2 1
刺網／叩き網／置き立て／浮き立て／セイゴ網／流し網／マス網（定置網）／四つ手網／地曳網／大網（千尋網）／中網／ボラ網／フ網／手繰網／カンザシ網（コウガイ網）	
2 釣漁業	1 2 6
一本釣／延縄	
3 ケタ曳	1 2 7
赤貝ゲタ／稚貝ゲタ（刃ゲタ）／エビゲタ／オゴゲタ／棒ゲタ	
4 その他	1 3 0
モバ（モンバ）獲り／地獄カゴ／タケポツポ	
三 宍道湖の漁業	1 3 0
1 刺網	1 3 1
浮き付き刺網／張り刺網／シラウオ網／アマサギ（ワカサギ）網／スズキ網／ゴズ（マハゼ）網／フナ網・コイ網	
2 定置網	1 3 3
越中網・小袋網／マス網／オダ網（キガカリ）／シバ手網	
3 シジミ漁	1 3 5
4 その他	1 3 6
延縄／栓／タケポツポ／朶葉（タバ）漬け、柴漬け／アマサギ掻き／四つ手網／投網	

第二節 農業

一 稲作の作業暦	1 3 8
田植神事／仕事始め（ウチゾメ、百姓の正月）／社日つつあん／苗代作りと播種／田の整備／田植え始め／田植え／シロミテ／草取り／虫送り／収穫／コナシ（調整）／鞍下牛／機械化	
二 その他	1 5 3
1 薬用人参	1 5 3
2 牡丹	1 5 5
第三節 諸職	1 5 7
一 和菓子	1 5 8
二 楽山焼・布志名焼	1 5 9
三 八雲塗	1 6 0
四 出雲蕎麦	1 6 1
五 製茶	1 6 1

第三章 食生活と住まい

第一節 食生活

一 農山村の食	1 6 4
1 主食	1 6 5
2 副食	1 6 6
汁（おつけ）／煮しめ／漬物／梅干・らんきよ漬／山菜	
3 はしま（間食）	1 6 7
4 行事食	1 6 7
正月（二月一～五日）／七草粥（二月七日）／節分（立春の前日）／ひな祭り（三月三日・四月三日）／春の彼岸（三月二十一日）／端午の節句（五月五日）／半夏（夏至より一日目）／土用の丑の日／七夕祭（八月七日）／盆（八月十三～十六日）／秋の彼岸／氏神さんの例祭／ひざぬり（十二月一日）／針供養（十二月八日）／冬至（十二月二十二日頃）／年末	
5 食品・加工	1 7 0
味噌／醤油	

二 宍道湖・中海沿岸の食

1 主食 1 8 0

2 副食 1 8 1

シジミ／赤貝（サルボウ貝）／寒ブナ／コイ／アマサギ（ワカサギ）／シ
ラウオ／ゴズ（マハゼ）／オダエビ（ニホンイサザアミ）／テナガエビ／
サヨリ／ボラ／スズキ

3 はしま（間食） 1 8 4

4 行事食 1 8 5

正月／七草粥（一月七日）／節分（立春の前日）／ひな祭り（旧暦三月三日）
／端午の節句（六月五日）／代満（しろみて）／天神祭り（七月二十五日）
／盆（八月十三～十六日）／秋祭り／ひざぬり（十二月一日）／針供養（十二
月八日）

三 海岸（漁村地域）の食

1 主食 1 9 4

2 副食 1 9 4

3 はしま（間食） 1 9 4

4 行事食 1 9 5

正月（一月一～五日）／節分（立春の前日）／ひな祭り（三月三日・旧暦
四月三日）／端午の節句（六月五日）／盆（八月十三～十六日）／秋の彼
岸／秋祭り（十月十四日）／大晦日／乗り初め

まとめ 2 0 5

第二節 住まい

一 松江の住まいの特徴と環境

気候と建物の関係 2 0 7

1 建築材料 2 0 7

石材／瓦／茅などの草葺／板／柿・檜皮／杉皮／土／竹

2 建築工法 2 1 3

伝統工法の衰退

3 建築の形態 2 1 4

屋根の形と構造／鉄板葺・石綿板葺

4 建築の構造 2 1 6

5 和小屋と洋小屋・又首構造／基礎／柱と梁・桁
家具・建具ほか 2 1 8

箱階段／建具

二 民家の間取り

1 民家の間取りと生活形態の変化 2 1 9

土間の炊事場から板の間へ／茶の間から居間へ／客間と冠婚葬祭／仏壇
と神棚／子ども部屋と寝室の登壇／浴室と便所

三 工事に際しての儀式、建築の行事

1 儀式 2 2 2

地鎮祭／棟上げ／竣工祭

2 建築の行事 2 2 4

チヨウナ初め／土用・竹伐り

四 各地域、各時代の間取り

武家の間取りは身分次第／商家は細長い敷地を持つ／農・漁村住宅は白
庭に続く田の字型の部屋配置／土間のない現代住宅

時代別家屋間取図面

第四章 人の一生と儀礼

第一節 婚姻の成立

一 配偶者選び 2 4 0

二 婚礼

1 出立ちと人家 2 4 2

2 披露宴 2 4 4

自宅婚／一日目／二日目（あくる日）／三日目

3 様々な風習 2 4 9

地蔵担ぎ／足入れ婚

4 公民館結婚式 2 5 1

第二節 誕生儀礼

一 妊娠から出産へ 2 5 4

1 帯祝いと安産祈願 2 5 4

2	出産	2	5	6
3	後産の始末	2	5	9
4	日明け	2	6	1
二	産にまつわる忌み 産前／産後	2	6	3
第三節	成長儀礼	2	6	5
一	命名とお七夜	2	6	5
二	宮参り	2	6	7
三	食い初め	2	6	9
四	初節句	2	7	0
五	初誕生	2	7	2
六	紐落とし	2	7	4
七	成人儀礼 十三参りの事例	2	7	5
第四節	厄年・年祝い	2	7	7
第五節	葬送儀礼	2	7	8
一	島根町大芦における事例 葬式の当日	2	7	9
二	島根町における事例	2	8	2
三	忌部における事例	2	8	3
四	八雲町熊野における事例	2	8	4
五	島根町瀬崎における事例	2	8	5
六	本庄における事例	2	8	5
七	宍道における事例	2	8	6
八	市街地の事例	2	8	8
九	その他の事例 大垣町／生馬	2	8	9

第五章 年中行事

第一節	年中行事の変化	2	9	2
	旧暦と新暦／神仏分離による変化／表作儀礼の衰退			
第二節	大餅さん・オトウ・伽藍さん・オコナイ	3	0	0
第三節	水辺の祭り 船神事・櫛祭／エビス祭／龍神信仰	3	0	7
第四節	子どもと伝統行事 歳徳神祭・トンド／子どものエビス祭／サイノカミの遷宮神事／要害山祭（カンカラ祭）／七タ／地藏負い・地藏盆／亥の子	3	1	3
第五節	伝染病と信仰 本野山信仰／畑鴉の延命地藏尊	3	3	0
第六節	季節ごとの行事	3	3	5
一	正月	3	3	5
	煤払い／ケジョ／餅搗き／鰯／正月の神／門松・注連飾り／ミノグミ／歳俵／蓬莱飾り／神飾りの事例／豆撒き・人形・小注連／セキ／大晦日の食事／大歳の火／神送り／初詣／若水／雑煮／モリカケ／オセチ／元日／二日／年始回り／三日／四日／鳥追いと七草粥／鰯ぞめ・田打ち／帳開き／小正月行事／ホトホト／十六日／二十日正月とヒフテ正月／ボテボテ茶と茶道			
二	冬から春へ	3	5	4
	田植神事／オモツツアン・オトウ・伽藍さん・オコナイ／日待／金毘羅祭／節分／粥占／折日／大日祭／初午／春の社日／春の彼岸／ナマス祭／春の巡礼			
三	春から夏へ	3	6	3
	御種祭／雛祭り／流鏝馬神事／焼火祭／大師祭／花祭り／マムシ除けの砂／大山祭／伊勢大神楽／端午の節句／夏越祓／シロミテ・泥落とし／虫除け／祇園祭／秋葉祭／夏の二十日正月／和霊祭／愛宕祭／天神祭			
四	七夕と盆	3	7	6
	盆前の大掃除／七夕／墓掃除／花市／精霊棚／棚経／墓参り／迎え団子・送り団子／迎え火・送り火／施餓鬼会／供膳／鯖／仏拝み／精霊送り／精霊舟			
五	夏から秋へ	3	8	3
	本庄の人形祭／観音祭／地藏盆／穂掛祭／八朔／堂参りと念仏／武内神			

社・平濱八幡宮祭礼／十五夜／秋の社日／秋の彼岸／古浦の荒神祭	397
秋から冬へ	397

七十五膳／高野宮の秋祭り／社人祭・オトクンチ／長海の笠たたき／ガ
ツチ祭／鑿行列／ハンボカベリ／亥の子さん／紐落とし／カラサデ／荒
神祭／オト朔日／初子／ヨウカマチ／冬至

第六章 祭りと信仰

第一節 出雲東部の宗教民俗をめぐって

一 柳田国男と島根半島の正月行事	410
二 島根半島をめぐるフィールド・ワーカーたち	412
1 宮本常一と瀬川清子	412
2 堀一郎と和歌森太郎	413
3 松平斉光と牛尾三千夫	414
4 石塚尊俊	416
三 フィールド・ワーカーたちのまなざし	416
1 和歌森太郎の場合	416
2 堀一郎の場合	418
3 松平斉光の場合	418
4 厳しい潔斎と深い信心	420
5 石塚尊俊の場合	421
四 宗教民俗の現在	423
五 文献案内	424
第二節 社寺に関わる祭りと信仰	426
一 美保神社	426
1 美保神社の祭祀組織	426
2 頭人への信仰	429
3 烏帽子着	429
4 神迎神事	430

5 虫探神事	432
6 客人社祭・諸手船神事	433
7 青柴垣神事	437
役人揃え／下灘潮カキ・六社参り／神楽参籠・トーマー／人別式／大棚 組／トコロ洗い／粉はたぎ／龍造・紙細工／餅搗き・西造り・トコロ蒸 し／才浦潮カキ／鑽火・男柱・佐賀の下盛り／西揚げ／大棚飾り・御祓 解／総振舞／甘酒作り・習幣／祓解奏・トロー／御船絡・下灘潮カキ ／練初めの儀・トーマー／例大祭・トーマー／神事当日の神事会所／御 解除下向・御迎い／注連懸け・御陣立／御船下向・御船神事／下船／奉 幣・頭指し／御船番の舞・當為知相撲／直会／後宴祭・客人頭頭指し／ 真魚箸式（後宴祭振舞）／注越の儀／一度祭 神事の意味と祭祀組織	451
二 佐太神社	455
1 管粥祭	455
2 直会祭	455
3 御田植祭	457
4 莫座（御座）替祭	458
三 神魂神社	459
1 禱家行事	459
祭祀組織／お柴たて／お供田での稲作／お柴直し／御供桶・オスシ桶 の準備／御神幸／歩射／禱指し・禱渡し／禱屋行事の意味と歴史	463
2 古伝新嘗祭	463
四 熊野大社	464
1 亀太夫神事（鑽火祭）	464
2 亀太夫神事と出雲大社古伝新嘗祭・神魂神社古伝新嘗祭	465
五 氷川神社祇園祭	466
六 揖屋神社穂掛祭	467
七 八重垣神社 身隠神事	468
八 神在祭	469

1	神集い伝承と神在祭	4	6	9
2	佐太神社	4	7	0
3	神魂神社	4	7	3
4	熊野大社	4	7	4
5	多賀神社	4	7	4
6	売豆紀神社	4	7	5
7	六所神社・真名井神社	4	7	6
8	神集いの理由	4	7	6
	佐太神社／神魂神社／熊野大社			
第三節 特徴的な宗教民俗				
一	荒神信仰	4	8	1
1	荒神信仰の概略	4	8	1
2	荒神祭祀のバリエーション	4	8	3
①	藁束二本で製作される蛇頭			
②	島根町垣の内／八雲町西岩坂桑並／東出雲町出雲郷			
③	三つ編みした藁束で製作される蛇頭			
④	神木に巻き付けられない藁蛇			
⑤	サンダワラ状の蛇頭			
⑥	八頭の藁蛇			
⑦	藁蛇が作られない荒神			
⑧	神木脇に埋められている甕			
⑨	神楽が奉納され、その中で託宣がなされる荒神			
⑩	荒神の性格			
3	荒神と藁蛇	4	9	5
二	歳徳神祭	4	9	7
1	歳徳神	4	9	7
2	歳徳宮造営年代	4	9	9
3	歳徳神祭の概略	4	9	9
	美保関町片江／美保関町七類／歳徳神祭の一般的傾向			
4	歳徳神祭と鑿行列	5	0	5
三	オコナイ系の行事	5	0	7
1	オコナイ系の行事の概略	5	0	7
2	大日堂大餅さん(秋鹿大日堂御頭行事)	5	0	8
	御頭行事の概要／カズラ伐り／餅搗き／餅絡み／餅上げ／前座敷／餅おろし／行事の変化			
3	星上寺の大餅行事	5	1	1
4	伽藍さん	5	1	3
5	田村神社七日塔(秋吉の大餅さん)	5	1	3
6	宇由比神社のお当(御戸開祭)	5	1	5
7	廃絶・簡略化されたオコナイ系の行事	5	1	6
	大日堂頭開き／地藏堂賀門の式(オコナイ)			
四	社寺を巡る民俗	5	1	8
1	出雲巡礼	5	1	8
2	島根札	5	2	0
3	大師信仰と八十八ヶ所巡り	5	2	0
4	四十二浦巡礼	5	2	1
五	社寺に対する講	5	2	2
1	一畑薬師講	5	2	2
2	大山講(大山権現・大山さん)	5	2	3
3	関講(明神講)	5	2	4
六	小祠をめぐる宗教民俗	5	2	4
1	「松江神社取調帳」について	5	2	4
2	「松江神社取調帳」の翻刻	5	2	6
3	旧松江城下の神社・小祠について	5	3	4
七	死をめぐる宗教民俗―両墓制と墓上施設	5	3	6

第七章 民俗芸能

第一節 松江の民俗芸能について

第二節 神 楽

一 佐陀神能

1 七座神事

「剣舞」／「散供」／「御座」／「清目」／「勧請」／「八乙女」／「手草」

5 5
6 6
0

2 式三番

5 6
6 1

3 神能

「大社」／「真切妻」／「恵比寿」／「八幡」／「日本武」／「磐戸」／
「三韓」／「武甕槌」／「八重垣」／番外など／「山神祭」／「国護」／
「住吉」／「荒神」／「厳島」

二 亀尾神能

1 七座の神事

5 6
6 7

2 式三番

5 6
7 7

3 神能

5 7
0 7

三 宍道神楽（神栄会）

1 七座の神事

5 7
2 2

2 神楽能

「山神祭」／「茅の輪」／「日本武」／「天神記」／「国護」／「簸の川」
大蛇退治

5 7
3 3

1 両墓制とは

5 3
6 6

2 山陰地方の両墓制

5 3
8 8

3 大芦地区の両墓制

5 3
9 9

4 大芦地区の両墓制の意味づけ

5 4
4 4

5 「両墓制」の解体

5 4
5 5

6 墓上施設

5 4
7 7

第三節 盆踊り

一 旧市内の盆踊り

5 7
4 4

二 東出雲町の盆踊り

5 8
2 2

三 竹矢の盆踊り

5 8
6 6

四 玉湯町の盆踊り

5 8
6 6

1 布志名の盆踊り

5 8
6 6

2 玉造の盆踊り

5 9
0 0

3 茶町の盆踊り

5 9
2 2

4 宍道町の盆踊り

5 9
2 2

5 宍道町部の盆踊り

5 9
2 2

1 菅原の盆踊り

5 9
3 3

2 魚瀬町の盆踊り

5 9
5 5

3 鹿島町の盆踊り

5 9
5 5

4 恵曇の盆踊り

5 9
5 5

5 古浦の盆踊り

5 9
7 7

6 手結の盆踊り

5 9
7 7

7 片句の盆踊り

5 9
7 7

8 茶町通いの盆踊り

5 9
7 7

9 島根町の盆踊り

5 9
8 8

1	大芦の盆踊り	5	9	8
	「甚句」／「こだいじ」			
九	美保関町の盆踊り	6	0	0
1	美保関の盆踊り	6	0	0
	「盆踊りくじき」(伊勢音頭系)			
2	雲津の盆踊り	6	0	0
	「えびやの甚句」(伊勢音頭系)			
3	片江の盆踊り	6	0	1
	片江盆踊り歌			
十	八束町の盆踊り	6	0	2
	「八百屋お七」／「清三くじや」			
第四節	祭礼風流	6	0	3
一	ホーランエンヤ	6	0	3
	ホーランエンヤの由来／平成二十一年のホーランエンヤ／渡御祭／五大地の權伝馬船／中日祭／還御祭			
二	鑿行列	6	1	5
	武家の左義長／町家の左義長／鑿行列の始まり			
第五節	その他	6	2	3
一	佐太神社「直会祭」の神楽舞	6	2	3
二	長見神社の「笠たたき」神事	6	2	7
第八章	言語伝承			
第一節	民話の部	6	3	0
一	神話	6	3	1
	加賀の潜戸／大野の起原			
二	伝説	6	3	3
	与三狐／五輪さん美人塚／座頭小路			
三	昔話	6	3	8
	桃太郎／天人女房／鈍盗られ物語			
四	世間話	6	4	9

	ヤッテさん／オシヨネの話／雨子の話／盆の怪―蛸坊主	6	5	1
第二節	民謡の部			
一	労作歌	6	5	2
1	田植え歌	6	5	2
2	白挽き歌・唐臼挽き歌	6	5	2
3	木綿ひき歌	6	5	3
4	木遣り歌	6	5	3
5	地搗き歌	6	5	3
6	大木遣り	6	5	4
7	さんよ突き	6	5	4
8	大漁歌	6	5	5
9	仕事歌	6	5	6
	ステテコ／関の五本松／安来節			
10	馬子歌	6	5	7
二	座敷歌	6	5	8
1	松坂	6	5	8
2	若松	6	6	0
3	島芝翫節	6	6	0
三	歳事歌	6	6	1
1	盆踊り歌	6	6	1
	甚句／こだいじ／茶町通い／口説き			
2	虫送りの歌	6	6	7
第三節	わらべ歌の部	6	6	8
1	遊びの初め	6	6	8
	じゃんけん／仲間集めの歌			
2	手まり歌	6	6	9
3	羽根つき歌・お手王歌	6	7	2
4	手遊び歌	6	7	2

第九章 民具

第一節 民具の概況

第二節 衣食住

一 日本海沿岸部の事例

1 衣

コダナシ(コデナシ)／ドンザ／コシミノ／フジヌノボウセキ(藤布紡績)

2 食

..... 7 0 6

5 鬼遊び歌 6 7 4

草履隠し

6 縄とび歌 6 7 5

7 外遊び歌 6 7 6

仕事あて／インド人の黒ん坊

8 自然の歌 6 7 9

9 動物・植物の歌 6 8 0

10 歳事歌 6 8 1

正月の神さん迎え／ダンジリ舞の歌／うれしき舞・トンドの行列の歌／大黒舞(トンドの行列の歌)／こっしやれ／七草の歌／狐蛙送り／地藏さんの祭り／精霊迎えの歌／精霊送りの歌／亥の子

11 ことば遊び歌 6 8 7

法事の鉦の音／はやし歌／からかい言葉／尻取り歌／指切り歌

12 子守歌 6 8 9

第四節 俚諺など

一 唱え詞 6 9 0

若水汲みの唱え／田打ち正月の唱え／成木責めの唱え

二 俚諺 6 9 1

道德・批判／天候／生活・清算の知恵

三 まじない 6 9 6

マムシ／蜂／悪病祓い／足などチカツと痛むとき／シャツクリを止める

まじない／出針(朝出がけに針を使うこと)を許してもらったときのまじない

メチ／鉄鍋／水ダル

3 住 7 0 7

クド(カマド)・イロリ／ウミゴタツ

二 山間部の事例 7 0 8

1 衣 7 0 8

ツツレ／コモグツ／ヒゴモ・キゴザ

2 食 7 1 0

ハンボ・メシジウキ／カラウス／チャモミロ

3 住 7 1 2

クド・イロリ／コタツ／ヤネフキドウグ

第三節 生産用具 7 1 4

一 農耕具 7 1 4

1 稲作 7 1 4

スキ(犁)／マグワ(馬鍬)／タゲタ(田下駄)／ババ／タスリ(田摺り)・タグルマ(田車)／タブネ(田舟)／センバ(千歯)／トウミ(唐箕)／マ

ンゴクドオシ(万石篩)

2 畑作 7 2 1

ムギオトシダイ(麦落とし台)／ヨコヅチ(横槌)／ホリグシ(掘り串)／セイロ(蒸籠)／クサトリジウキ(草取りぞうき)

二 漁撈具 7 2 4

1 日本海の漁撈具 7 2 4

ウキゴンガラ／シャクシコンガラ／エサマキトンボ(餌巻きトンボ)／フカバリ／ウミバコ(海箱)

(一) 釣具

ウキゴンガラ／シャクシコンガラ／エサマキトンボ(餌巻きトンボ)／フカバリ／ウミバコ(海箱)

(二) 突き漁具

ハコメガネ(箱めがね)／サザエヤス／アワビオコシ・アワビオコシカ

ギ／メバルヤス・タコヤス／ボラヤス／テンヤツキ／メノハガマ

(三) 網具

モジアミ(網網)

(四) 陷阱具

タコツボ

(五) 灯火具	
カガリビタキ	
(六) 舟	
サンパ	
2 内海の漁撈具	7 3 2
(一) 網 具	
アマサギアミ(アマサギ網)／シラウオアミ(シラウオ網)／セイゴアミ(セイゴ網)／ハゼアミ(ハゼ網)／モンドリ	
(二) 陷阱具	
シバヅケ(ダバヅケ)／ウナギセン(ウナギ筌)／タケポツポ(竹ポツポ)	
(三) 貝類捕採具	
ジョレン／アカガイケタ(赤貝桁)／ソリコブネ(ソリコ舟)	
三 その他の事例	7 3 9
1 養 蚕	7 3 9
クワカゴ(桑籠)／サンザ(蚕座)／ザグリ(座繰り)	
2 山仕事	7 4 1
ノコ(鋸)／ウルシガンナ(漆匏)／シシヤリ(猪槍)	
3 紙漉き	7 4 2
コウゾコシキ(楮紙)／カミタタキダイ(紙叩き台)／スキブネ(漉き船)／スキズ(漉簀)	
第四節 交通・交易	7 4 4
一 旅行用具	7 4 4
キゴザ(着莫座)／ツマオリガサ(棲折り笠)	
二 運搬具	7 4 5
セナカチ(背カチ)／オイコ(負いこ)	
三 交易具	7 4 6
トマス(斗枰)／サオバカリ(棹秤)	
第五節 信 仰	7 4 8
一家・個人の信仰用具	7 4 8
マモリフダ(守り札)／シオクミヅツ(潮汲み筒)／ドロテンジン(泥天)	

神)／ホウノウナリモノ(奉納鳴り物)	
二 その他	7 5 0
リュウジンセン(龍神船)／カグラメン(神楽面)	
参考文献一覧	7 5 1
聞き取り調査協力者名	7 6 3
伝承者名	7 6 5
建物調査協力者名	7 6 6
松江市史編纂関係者名簿	7 6 7
執筆分担	7 6 8
協力者一覧	7 6 9
写真一覧	7 7 0
附録DVDに収録された松江市の民俗行事	7 7 8
索引	1

史料編 1 自然環境 目次

発行にあたって	松江市長 松浦正敬
凡例	7
巻末に添付されている「電子版附録」(DVD)について	8
序章	9
巻頭カラー	
地形・地質	1
気候・気象	4
生物	5
哺乳類	5
鳥類	5
魚類	8
両生・は虫類	9
昆虫類 (トンボ目)	9
昆虫類 (ハサミムシ目、ヘビトンボ目、ネジレバネ目など)	10
昆虫類 (カワゲラ目、カマキリ目、ゴキブリ目、シロアリ目)	10
昆虫類 (バッタ目)	10
昆虫類 (カメムシ目)	10
昆虫類 (コウチュウ目)	10
昆虫類 (ハチ目)	10
昆虫類 (ハエ目)	10
昆虫類 (チョウ目・チョウ類)	11
昆虫類 (チョウ目ガ類)	11
甲殻類	11
クモ類	12
貝類	12
植物 (シダ類)	12
植物	13
島根県植生自然度図	16
松江市域の植生図	17
菌類 (きのこ類)	17

第1章 地形・地質

第1節 地形

1. 概説	1
2. 山地	1
3. 河川	1
4. 平野・湖沼	1
5. 海岸	1
6. まとめ	1
第2節 松江市を中心とした地質研究史	1
明治時代～1945年(昭和20)	1
1945年以降	1
第3節 松江市の地質	2
1. 概説	2
2. 松江市周辺の深部基盤	2
3. 日本海形成以前(白亜紀から古第三紀)	2
4. 日本海形成前後(前・期中中新世)	2
5. 末期中新世以降の火山活動	2
6. 松江市周辺の地質構造	2
7. 第四紀中期更新世以降の段丘形成	2
8. 中海・宍道湖・出雲平野の形成	2
9. 化石	2
第4節 松江市とその周辺の自然災害	2
1. 概説	2
2. 過去の地震災害	2
3. 過去の津波災害	2
4. 将来の地震・津波災害発生の可能性と対策	2

5. 地すべり・斜面崩壊・落石・土石流による災害	2	3	8
6. 洪水・浸水による災害	2	3	9
7. そのほかの自然災害	2	4	1
第5節 鉱産資源	2	4	4
1. 金属資源	2	4	4
2. 石 材	2	4	6
3. 窯業用粘土	2	5	1
4. そのほかの非金属資源	2	5	2
5. 燃料資源（石炭・石油・天然ガス）	2	5	4
6. 温泉・湧水	2	5	6
第6節 松江市における人と地質との関わり	2	5	9
1. 松江市の黒曜石と瑪瑙を出土する遺跡	2	5	9
2. 松江城にまつわる地質と岩石	2	7	3
3. 土木地質と歴史	2	9	0
4. 治水・利水・干拓事業	2	9	0
第7節 松江市の地形・地質関連の指定文化財	2	9	4
地形・地質関連文献	3	0	0
第2章 気候・気象			
第1節 松江における気象観測の歴史	3	1	9
1. 日本と島根県における気象観測	3	1	9
2. 松江地方気象台の沿革	3	1	9
3. 松江地方気象台の主な業務	3	1	9
4. 気象台以外での気象観測	3	2	0
5. 付属気象史料について	3	2	2
第2節 データで見る松江の気候	3	2	7
1. 平年値と極値で見る松江の気候	3	2	7
2. 各季節における主な気象現象	3	3	1
3. 生物季節	3	3	6
第3節 松江における気象災害	3	3	8
1. 気象災害の歴史	3	3	8
2. 松江藩松平氏代々「藩主年譜」に見る	3	5	6
3. 近年における主な気象災害	3	6	3
第4節 大保恵日記の天気記録	3	6	6
第5節 漁村に伝えられる天気予測の手法ならびに	3	9	9
気象に関する慣用句・俚諺	3	9	9
1. はじめに	3	9	9
2. 浦々の天気予測と慣用句・俚諺	3	9	9
気候・気象関連文献	4	0	3
第3章 生 物			
第1節 松江市の哺乳類	4	0	7
松江市の哺乳類総説	4	0	7
松江市哺乳類目録	4	0	8
第2節 松江市の鳥類	4	1	0
松江市の鳥類総説	4	1	0
松江市鳥類目録	4	1	2
第3節 松江市の魚類	4	2	2
松江市の魚類総説	4	2	2
松江市魚類目録	4	2	6
第4節 松江市の両生・は虫類	4	4	5
松江市の両生・は虫類総説	4	4	5
松江市両生類目録	4	4	8

松江市は虫類目録	4
第5節 松江市の昆虫類	4
松江市の昆虫類総説	5
松江市昆虫類目録	4
松江市の昆虫類引用文献	6
第6節 松江市の甲殻類	5
松江市の甲殻類総説	7
松江市甲殻類目録	7
第7節 松江市のクモ類	5
松江市のクモ類総説	8
松江市クモ類目録	8
第8節 松江市の貝類	5
松江市の貝類総説	9
松江市貝類目録	9
第9節 松江市の植物	5
松江市の植物総説	9
松江市植物目録(シダ植物)	0
松江市植物目録(シダ植物を除く維管束植物)	0
第10節 松江市の菌類(きのこ類)	6
松江市の菌類(きのこ類)総説	3
松江市菌類(きのこ類)目録	3
松江市史編纂関係者名簿	6
執筆分担一覧	4
資料・写真提供一覧	4
協力者一覧	7

史料編2 考古資料 目次

発刊にあたって 松江市長 松浦正敬

凡例 6

用語解説 6

序章 松江考古学のあゆみ 1

第1章 旧石器時代 2

第1節 旧石器時代の概観 2

第2節 松江市の旧石器時代 2

松江市域の主要遺跡分布図（旧石器時代） 2

第3節 松江市域の主要遺跡解説 2

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 古曾志平廻田遺跡 2 | 2. 古曾志清水遺跡 2 |
| 3. 大門遺跡・白鹿谷遺跡 2 | 4. 田和山遺跡（旧石器時代） 2 |
| 5. 下黒田遺跡 3 | 6. 上立遺跡 3 |
| 7. 堤平遺跡（旧石器時代） 3 | 8. 鳥ヶ崎遺跡 3 |
| 9. 岩屋遺跡 3 | 10. 花仙山北麓遺跡群 3 |
| 11. 折原上堤東遺跡 4 | 12. 空山遺跡 4 |

第2章 縄文時代

第1節 縄文時代の概観 4

第2節 松江市の縄文時代 5

松江市域の主要遺跡分布図（縄文時代） 5

第3節 松江市域の主要遺跡解説 5

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 3. 中海沿岸部の遺跡群 5 | 1. 4. 堀部第1遺跡（縄文時代） 6 |
| 1. 5. 佐太講武貝塚 7 | 1. 6. 島根大学構内遺跡 7 |
| 1. 7. 西川津遺跡群（縄文時代） 7 | 1. 8. 九日田遺跡 8 |
| 1. 9. 寺ノ脇遺跡 8 | 2. 0. 夫手遺跡 9 |
| 2. 1. 福富I遺跡（縄文時代） 9 | 2. 2. 石台遺跡 9 |
| 2. 3. 勝負遺跡 9 | 2. 4. 弘長寺遺跡 9 |
| 2. 5. 面白谷遺跡（縄文時代） 9 | 2. 6. 前田遺跡（縄文時代） 10 |
| 2. 7. 竹ノ花上遺跡 10 | |

第3章 弥生時代

第1節 弥生時代の概観 1

第2節 松江市の弥生時代 1

松江市域の主要遺跡分布図（弥生時代） 1

第3節 松江市域の主要遺跡解説 1

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 2. 8. 古浦砂丘遺跡 1 | 2. 9. 稗田遺跡 1 |
| 3. 0. 志谷奥遺跡 1 | 3. 1. 鶴灘山遺跡・大勝間山城跡 1 |
| 3. 2. 佐太前遺跡 1 | 3. 3. 北講武氏元遺跡 1 |
| 3. 4. 堀部第1遺跡（弥生時代） 1 | 3. 5. 南講武小廻遺跡 1 |
| 3. 6. 南講武草田遺跡 1 | 3. 7. 田中谷遺跡（弥生時代） 1 |
| 3. 8. 二反田遺跡 1 | 3. 9. タテチョウ遺跡 1 |
| 4. 0. 柴III遺跡 1 | 4. 1. 西川津遺跡 1 |
| 4. 2. 沢下遺跡 1 | 4. 3. 田和山遺跡（弥生時代） 1 |
| 4. 4. 友田遺跡 1 | 4. 5. 東城ノ前遺跡 1 |
| 4. 6. 来美墳墓 1 | 4. 7. 平所遺跡 1 |
| 4. 8. 間内越墳墓群 1 | 4. 9. 上小紋遺跡 1 |
| 5. 0. 布田遺跡 1 | 5. 1. 的場遺跡 1 |
| 5. 2. 上野II遺跡 1 | 5. 3. 上野遺跡 1 |
| 5. 4. 清水谷2号墓 1 | 5. 5. 野津原II遺跡 1 |
| 5. 6. 三成墳墓群 1 | 5. 7. 布志名大谷III遺跡 1 |
| 5. 8. 折原中堤遺跡 1 | 5. 9. 夫敷遺跡（弥生時代） 1 |
| 6. 0. 寺床遺跡（弥生時代） 1 | 6. 1. 磯近遺跡 1 |
| 6. 2. 伝竹矢出土銅剣 1 | 6. 3. 木幡家伝世銅鐸 1 |
| 6. 4. 伝熊野出土銅鐸 1 | |

第4章 古墳時代

第1節 古墳時代の概観 1

第2節 松江市の古墳時代 1

松江市域の主要遺跡分布図（古墳時代） 1

第3節 松江市域の主要遺跡解説 1

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 6. 5. 亀田横穴墓群 2 | 6. 6. 牛谷古墳 2 |
| 6. 7. 宮尾横穴墓群 2 | 6. 8. 岩山古墳群 2 |
| 6. 9. 郷の坪遺跡 2 | 7. 0. 天神社裏山古墳群 2 |
| 7. 1. 海崎古墳群 2 | 7. 2. 美保神社境内遺跡 2 |

145.	狐谷横穴墓群	354	146.	大庭鶏塚古墳	356	217.	勝負遺跡	500	218.	下中意東古墳	502
143.	東光古墳	349	144.	石屋古墳	350	215.	洪山池遺跡・原ノ前遺跡	495	216.	四ツ廻Ⅱ古墳	498
141.	論田古墳群	346	142.	向山1号墳	347	213.	寺床遺跡(古墳時代)	490	214.	洪山池古墳群	492
140.	洪ヶ谷1号窯	344				211.	島田池横穴墓群	486	212.	島田古墳群・横穴墓群	488
139.	奥山古墳群・奥山横穴墓群				342	209.	古城山古墳	483	210.	栗坪1号墳	484
137.	乃木二子塚古墳	338	138.	長砂古墳群	339	207.	夫敷遺跡(古墳時代)	479	208.	古城山遺跡	478
135.	田和山遺跡(古墳時代)	334	136.	田和山1号墳	336	206.	西ノ後古墳・居地分家後の古墳	476			
133.	福富Ⅰ遺跡(古墳時代)	330	134.	弥陀原横穴墓群	332	205.	松廻古墳群	472	204.	岩屋口横穴墓群	474
131.	大角山古墳群	327	132.	屋形1号墳	328	203.	前田遺跡(古墳時代)	468	202.	増福寺古墳群	470
129.	二名留古墳群	323	130.	大角山玉作跡	325	201.	雨乞山古墳	468	200.	小屋谷古墳群	466
127.	客山古墳群	320	128.	八日山古墳群	322	199.	布志名大谷1号墳	464			
125.	客山墳墓群	317	126.	的場遺跡	319	198.	狐廻遺跡	463			
123.	杉ヶ撓遺跡	314	124.	連行横穴墓群	315	197.	面白谷遺跡(古墳時代・杉谷遺跡)				460
122.	春日山古墳群	313			307	195.	徳連場古墳	458	196.	鳥場古墳群	459
121.	大井窯跡関連遺跡群(1)(古墳時代)					193.	玉造築山古墳	452	194.	史跡出雲玉作跡	454
119.	イガラビ古墳群	296	120.	大井窯跡群(1)(古墳時代)	298	191.	花立古墳群	448	192.	花立横穴墓群	450
117.	朝酌岩屋古墳	293	118.	魚見塚古墳	295	189.	岩屋寺跡横穴墓群	444	190.	岩屋古墳群	446
115.	観音山古墳群	289	116.	廻原古墳群	291	187.	報恩寺古墳群	441	188.	扇廻古墳	443
113.	米坂古墳群	285	114.	廟所古墳	287	185.	林古墳群	436	186.	堂床遺跡	439
111.	薄井原古墳	280	112.	西宗寺古墳	283	183.	松石古墳群	433	184.	鏡北廻古墳	435
109.	太田古墳群	276	110.	道仙古墳群	278	181.	知原古墳群	431	182.	栗屋山横穴墓群	432
107.	大源1号墳	274	108.	日吉垣の内古墳	275	179.	椎山1号墳	428	180.	伊賀見1号墳	429
105.	馬込山古墳群	270	106.	堤廻遺跡	272	177.	才横穴墓群	425	178.	水溜古墳群	426
103.	金崎古墳群	264	104.	原の前遺跡	268	175.	竹ノ崎横穴墓群	423	176.	宋道要害山古墳	424
101.	菅田ヶ丘古墳	261	102.	薬師山古墳	262	173.	中島遺跡	419	174.	上野古墳群	420
99.	折廻古墳群	257	100.	菅田横穴墓群	259	171.	大草岩船古墳	416	172.	安部谷横穴墓群	417
97.	伝宇牟加比売命御陵古墳	253	98.	岡田薬師古墳	255	169.	東・西百塚山古墳群	411	170.	古天神古墳	414
95.	久傳遺跡	249	96.	塚山古墳	250	167.	御崎山古墳	406	168.	出雲国府跡(下層)	409
93.	月廻古墳群	245	94.	比津小丸山古墳	248	165.	岡田山古墳群	400	166.	岩屋後古墳	404
91.	かいつき山古墳	242	92.	敷居谷古墳群	243	163.	上竹矢古墳群	396	164.	観音寺古墳群	398
89.	石田遺跡	239	90.	高田尾横穴墓	241	161.	社日1号墳	392	162.	中竹矢古墳群	394
87.	釜代1号墳	236	88.	寺津横穴墓群	238	159.	竹矢岩船古墳	388	160.	才ノ峠古墳群	390
85.	古曾志大塚古墳群	234	86.	北小原横穴墓群	235	157.	廻田古墳群	384	158.	手間古墳	386
83.	丹花庵古墳	231	84.	大塚荒神古墳	233	155.	寺山小田遺跡	379	156.	十王免横穴墓群	381
81.	牛切会場古墳	227	82.	古曾志大谷1号墳	228	153.	井ノ奥古墳群	374	154.	平所埴輪墓跡	376
79.	大垣大塚古墳群	223	80.	筆ノ尾横穴墓群	225	151.	東淵寺古墳	369	152.	荒神谷・後谷古墳群	371
77.	堀部古墳群	221	78.	鍛冶屋谷古墳群	222	149.	永久宅後古墳	365	150.	団原古墳	367
75.	講武岩屋古墳	218	76.	講武向山古墳	220	147.	山代二子塚古墳	358	148.	山代方墳	362
73.	名分丸山古墳群	214	74.	奥才古墳群	215						

第5章 奈良・平安時代

第1節 奈良・平安時代の概観

504

第2節 松江市域の奈良・平安時代

506

松江市域の主要遺跡分布図（奈良・平安時代）

509

第3節 松江市域の主要遺跡解説

219	修理田遺跡	510	220	尾崎遺跡	512
221	名分塚田遺跡	513	222	奥才古墳群（古代道路）	514
223	成相寺遺跡	515	224	常楽寺瓦窯跡	517
225	古曾志平廻田窯跡群	518	226	法恩寺瓦窯跡	520
227	平ノ前廃寺	521			
228	田中谷遺跡（奈良・平安時代）				
229	塚山古墳周溝の水場遺構	524	230	久米遺跡群	525
231	西川津遺跡群（奈良・平安時代）				
232	坊床廃寺	528			
234	中嶺遺跡	532	233	芝原遺跡	529
236	大井窯跡群（2）（飛鳥・奈良・平安時代）		235	連行遺跡	533
237	大井窯跡関連遺跡群（2）（飛鳥・奈良時代）				
238	キコロジ遺跡	546	239	古代山陰道道跡（松本古墳群）	547
240	福富I遺跡（奈良・平安時代）				
241	指松遺跡	550			
243	山代郷正倉跡	554	244	鏡池遺跡	552
245	中西遺跡	558			
246	山代郷南新造院瓦窯跡（小無田II遺跡）				
247	山代郷南新造院跡（四王寺跡）				
248	大坪遺跡	563	249	出雲国府跡	564
250	山代郷北新造院跡（来美廃寺）				
251	才ノ峠遺跡	574	252	出雲国分寺跡	576
253	中竹矢遺跡・社日古墳	580	254	出雲国分寺瓦窯跡群	582
255	出雲国分尼寺跡	583	256	湯峠窯跡	585
257	萩田遺跡	586	258	女夫岩遺跡	587
259	堤平遺跡（奈良・平安時代）	588	260	白石大谷I遺跡	589
261	小松窯跡群	590	262	松之前廃寺	592
263	岩屋遺跡	593	264	宮ノ前・正源寺遺跡	595
265	蛇喰遺跡	597	266	青木遺跡	599
267	禅定寺遺跡	600	268	洪山池窯跡群	601
269	洪山池遺跡	603	270	林廻り遺跡	605

第6章 中世・近世

第1節 中世・近世の概観と松江市域の遺跡

608

松江市域の主要遺跡分布図（中世・近世）

610

第2節 松江市域の主要遺跡解説

271	池平山城跡	611	272	本郷池頭遺跡（古墓）	612
273	荒隈城跡	613	274	下がり松遺跡	615
275	二反田古墓	616	276	藤ヶ谷遺跡（城砦跡）	617
277	元宮遺跡（経塚）	618	278	的場古墓群	619
279	稲葉城跡	620	280	米坂遺跡（古墓）	621
281	岩汐峠遺跡（経塚）	623	282	福富I遺跡（中世・近世）	624
283	袋尻古墓群	625	284	乃木西廻遺跡	626
285	黒田館跡	627	286	茶臼山城跡	629
287	社日遺跡（古墓）	630	288	出雲中世府中関連遺跡	631
289	城山城跡	640	290	叶ザコ遺跡（古墓）	641
291	松江城下町遺跡	642	292	檜山古墓群	644
293	布志名才の神遺跡	645	294	勝負谷遺跡	646
295	近世山陰道道跡（宍道・佐々布下―萩田）				
296	半坂古墓群	650			
297	玉造御茶屋跡	651	298	堀尾民部（推定）石廟	653
299	布志名焼窯跡	654	300	谷ノ奥遺跡（古墓）	656

第7章 出土文字資料

第1節 出土文字資料の概観

658

第2節 松江市域出土文字資料集成

662

凡例

- 1、墨書土器
 - 2、漆紙文書
 - 3、文字瓦
 - 4、金石文・古代印
- 「二」木簡（松江市域出土木簡、松江市域外出土古代出雲国関連木簡）

720

第8章 考古資料集成

第1節	東京国立博物館所蔵資料紹介（松江市域出土品）	7
第2節	資料集成	2
集成	山陰地域く中国山地地域の旧石器時代の遺跡	7
集成	西日本の湧別技法関連資料出土遺跡	2
集成	隠岐産黒曜石が出土した旧石器時代の遺跡	7
集成	松江市域より出土した縄文時代の装身具・祭祀具	3
集成	弥生時代の土笛	7
集成	島根・鳥取県内出土の青銅器（銅鐸・銅剣・銅矛・銅戈）	4
集成	島根県の弥生時代鉄器	7
集成	四隅突出型墓	5
集成	出雲地域の子持壺	7
集成	出雲地域の古墳時代「朝鮮半島系土器」	6
集成	出雲地域の須恵器窯跡	7
集成	出雲地域の鏡	8
集成	出雲地域の装飾付大刀	8
集成	出雲地域の甲冑	7
集成	出雲地域の玉作関連資料出土遺跡	9
集成	出雲地域の前方後円墳・前方後方墳	0
集成	石棺式石室と意字型横穴墓	8
集成	出雲地域の古代寺院跡・火葬墓・仏教遺物出土地	1
集成	出雲地域の経塚と関連遺跡	8
松江市史編纂関係者名簿		3
		6

史料編3 古代・中世 I 目次

発刊にあたって 松江市長 松浦正敬

古代

細目次 5

凡例 22

史料 23

史料解題 467

出雲国司表 491

中世 I

細目次 505

凡例 544

史料 547

花押一覧 945

松江市史編纂関係者名簿 954

史料提供者・協力者一覧 956

古代

細目次

1 五八〇年頃 「額田部臣」銘文入円頭大刀 25

2 推古二十五年（六一七）六月 日本書紀 25

3 斉明四年（六五八） 日本書紀 25

4 斉明五年（六五九） 日本書紀 26

5 持統三年（六八九）正月九日 日本書紀 26

6 持統六年（六九二）五月 金銅觀音菩薩造像記 26

7 文武二年（六九八）三月九日 続日本紀 27

8 六九四〜七〇〇年 松江市域外出土木簡6 27

9 六九四〜七〇〇年 松江市域外出土木簡9 27

10 六九四〜七〇〇年 松江市域外出土木簡11 27

11 六九四〜七〇〇年 松江市域外出土木簡18 27

12 七〇〇年頃 松江市域外出土木簡出雲国府跡12 28

13 大宝元年（七〇一）八月二十一日 続日本紀 28

14 慶雲三年（七〇六）四月二十九日 続日本紀 28

15 慶雲四年（七〇七）四月二十九日 続日本紀 28

16 七〇一〜七〇七年 松江市域外出土木簡2 29

17 和銅元年（七〇八）三月十三日 続日本紀 29

18 和銅五年（七一〇）正月二十八日 古事記 29

31 和銅五年（七一〇）七月十五日 続日本紀 47

32 和銅五年（七一〇）九月 一代要記 48

33 和銅六年（七一三）五月十一日 続日本紀 48

34 霊龜二年（七一六）二月十日 続日本紀 48

35 霊龜二年（七一六）四月二十七日 続日本紀 48

36 霊龜三年（七一七） 播磨国風土記 49

41 七一〜七二一年 松江市域外出土木簡35 51

42 七一〜七二一年 松江市域外出土木簡36 51

43 七一〜七二一年 松江市域外出土木簡37 51

44 七一〜七二一年 松江市域外出土木簡38 51

45 七一〜七二一年 松江市域外出土木簡39 51

46 養老二年（七一八） 常陸国風土記 51

47 養老三年（七一九）七月十三日 続日本紀 52

48 養老四年（七二〇）三月二十三日 続日本紀 53

49 養老四年（七二〇）五月二十一日 日本書紀 53

69 養老五年（七二二）八月十九日 続日本紀 90

70 養老七年（七二四）十一月十六日 令集解 90

71 神龜元年（七二四）正月二十七日 続日本紀 90

72 神龜元年（七二四）正月二十八日 続日本紀 91

73 神龜元年（七二四）十月二十九日 続日本紀 91

8 0	天平五年(七三三) 二月三十日	出雲国風土記	1 1 5	天平勝宝六年(七五四) 十一月一日	続日本紀	1 7 0
8 1	天平六年(七三四) 四月二十一日	続日本紀	1 1 6	天平勝宝七年(七五五) 十月	松江市域外出土木簡 1	1 7 0
8 2	天平六年(七三四) 四月二十三日	続日本紀	1 1 7	天平勝宝八年(七五六) 五月十日	続日本紀	1 7 0
8 3	天平六年(七三四) 八月	出雲国計会帳	1 1 8	天平勝宝八年(七五六) 十二月二十日	続日本紀	1 7 1
8 4	天平七年(七三五) 四月二十三日	公卿補任	1 1 9	天平勝宝八年(七五六) 十二月三十日	続日本紀	1 7 1
8 5	天平九年(七三七) 十月十一日	松江市域外出土木簡 4	1 2 0	天平宝字元年(七五七) 五月八日	続日本紀	1 7 2
8 6	天平九年(七三七) 十一月	松江市域外出土木簡 3	1 2 1	天平宝字元年(七五七) 六月十六日	続日本紀	1 7 3
8 7	天平九年(七三七) 十二月八日	石川年足灌頂随願往生經奥書	1 2 2	天平宝字元年(七五七) 七月四日	続日本紀	1 7 3
8 8	天平九年(七三七)	但馬国正税帳	1 2 3	天平宝字二年(七五八) 正月五日	続日本紀	1 7 3
8 9	天平九年(七三七)	但馬国移	1 2 4	天平宝字二年(七五八) 四月二十八日	続日本紀	1 7 4
9 0	天平十年(七三八) 二月十九日	続日本紀	1 2 5	天平宝字二年(七五八) 六月十六日	続日本紀	1 7 5
9 1	天平十年(七三八) 六月二十九日	石川年足觀弥勒菩薩上生兜率天經奥書	1 2 6	天平宝字二年(七五八) 八月二十五日	続日本紀	1 7 5
9 2	天平十年(七三八) 頃	令集解	1 2 7	天平宝字二年(七五八)	天平宝字二年八月二十五日太政官奏	1 7 5
9 3	天平十一年(七三九) 正月一日	続日本紀	1 2 8	天平宝字二年(七五八) 九月二十八日	続日本紀	1 7 6
9 4	天平十一年(七三九) 六月二十三日	続日本紀	1 2 9	天平宝字三年(七五九) 五月九日	続日本紀	1 7 6
9 5	天平十一年(七三九) 七月十日	石川朝臣年足私願書写大般若經願文	1 3 0	天平宝字三年(七五九) 六月二十二日	続日本紀	1 7 7
9 6	天平十一年(七三九)	出雲国大税賑給歴名帳	1 3 1	天平宝字三年(七五九) 九月十九日	続日本紀	1 7 7
9 7	天平十二年(七四〇) 九月三日	続日本紀	1 3 2	天平宝字四年(七六〇) 正月二十一日	続日本紀	1 7 8
9 8	天平十二年(七四〇)	出雲国大税賑給歴名帳	1 3 3	天平宝字四年(七六〇) 九月十日	雑物請用帳	1 7 8
9 9	天平十五年(七四三) 正月八日	出雲国優婆塞貢進解	1 3 4	天平宝字四年(七六〇) 以降	万葉集	1 7 9
1 0 0	天平十六年(七四四) 七月五日	続日本紀	1 4 5	天平宝字五年(七六一) 十月一日	続日本紀	1 8 2
1 0 1	天平十六年(七四四) 九月十五日	続日本紀	1 4 6	天平宝字五年(七六一) 十月十日	続日本紀	1 8 2
1 0 2	天平十八年(七四六) 三月七日	続日本紀	1 4 7	天平宝字六年(七六二) 三月二十日	奉写石山大般若經所解	1 8 3
1 0 3	天平十八年(七四六) 四月五日	続日本紀	1 4 8	天平宝字六年(七六二) 六月二十一日	石山院奉写大般若經所解	1 8 4
1 0 4	天平十九年(七四七) 二月二十二日	続日本紀	1 4 9	天平宝字六年(七六二) 九月三十日	続日本紀	1 8 5
1 0 5	天平二十年(七四八) 七月三十日	続日本紀	1 5 0	天平宝字六年(七六二) 十月三日	石山院奉写大般若經所解	1 8 5
1 0 6	天平勝宝二年(七五〇) 二月四日	続日本紀	1 5 1	天平宝字六年(七六二) 十一月三十日	石山務所解	1 8 6
1 0 7	天平勝宝二年(七五〇) 三月十二日	続日本紀	1 5 2	天平宝字六年(七六二) 十二月二十四日	石山院奉写大般若經所解	1 8 7
1 0 8	天平勝宝二年(七五〇) 五月二十六日	造東大寺司移	1 5 3	天平宝字七年(七六三) 正月九日	続日本紀	1 8 8
1 0 9	天平勝宝三年(七五一)	懷風藻	1 5 4	天平宝字七年(七六三) 九月二十一日	続日本紀	1 8 8
1 1 0	天平勝宝三年(七五一) 三月二十二日	続日本紀	1 5 5	天平宝字八年(七六四) 正月二十日	続日本紀	1 8 8
1 1 1	七四七、七五一年頃	松江市域外出土木簡 4 2	1 5 6	天平宝字八年(七六四) 三月十九日	続日本紀	1 8 8
1 1 2	天平勝宝四年(七五二) 十一月三日	続日本紀	1 5 7	天平宝字八年(七六四) 十一月五日	続日本紀	1 8 8
1 1 3	天平勝宝五年(七五三) 六月十五日	貢進仕丁歴名帳	1 5 8	天平神護元年(七六五) 三月九日	続日本紀	1 8 8
1 1 4	天平勝宝六年(七五四) 七月十三日	続日本紀	1 5 9	天平神護元年(七六五) 十月二十二日	続日本紀	1 8 9
			1 6 0	七五七、七六五年	松江市域外出土木簡 1 7	1 8 9

161	七五七、七六五年	松江市域外出土木簡21	190	197	延暦四年(七八五)正月十五日	続日本紀	203
162	天平神護二年(七六六)六月二十八日	続日本紀	190	198	延暦四年(七八五)二月十八日	続日本紀	203
163	天平神護二年(七六六)七月二十二日	続日本紀	191	199	延暦四年(七八五)	漆紙文書2	203
164	天平神護二年(七六六)九月二十三日	続日本紀	191	200	延暦四年(七八五)	漆紙文書3	203
165	天平神護二年(七六六)十月八日	続日本紀	192	201	延暦五年(七八六)正月二十八日	続日本紀	204
166	神護景雲元年(七六七)二月十四日	続日本紀	192	202	延暦五年(七八六)二月九日	続日本紀	204
167	神護景雲二年(七六八)正月二十四日	日本三代実録	192	203	延暦七年(七八八)六月二十六日	続日本紀	204
168	神護景雲二年(七六八)二月五日	続日本紀	192	204	延暦八年(七八九)十二月二十九日	続日本紀	204
169	神護景雲二年(七六八)八月二日	続日本紀	193	205	延暦九年(七九〇)三月九日	続日本紀	205
170	神護景雲三年(七六九)六月九日	続日本紀	193	206	延暦九年(七九〇)四月十七日	続日本紀	205
171	宝龜元年(七七〇)五月九日	続日本紀	194	207	延暦十年(七九一)八月三日	続日本紀	205
172	宝龜元年(七七〇)	公卿補任	194	208	延暦十年(七九一)九月十九日	続日本紀	205
173	宝龜三年(七七二)八月十一日	出雲国員外大掾大宅船人牒	194	209	延暦十一年(七九二)六月十四日	類聚三代格	205
174	宝龜三年(七七二)九月二十三日	出雲国国師牒	195	210	延暦十四年(七九五)二月二十六日	日本後紀	206
175	宝龜三年(七七二)九月二十五日	続日本紀	196	211	延暦十五年(七九六)十一月二十一日	日本後紀	206
176	宝龜三年(七七二)十一月一日	続日本紀	196	212	延暦十六年(七九七)三月十七日	日本後紀	207
177	宝龜四年(七七三)九月八日	続日本紀	196	213	延暦十六年(七九七)四月二十三日	類聚三代格	207
178	宝龜五年(七七四)三月五日	続日本紀	196	214	延暦十六年(七九七)八月	公卿補任	209
179	宝龜五年(七七四)六月二十二日	続日本紀	196	215	延暦十七年(七八八)三月二十九日	類聚三代格	209
180	宝龜五年(七七四)	図書寮解	196	216	延暦十七年(七八八)六月二十一日	類聚国史	209
181	宝龜六年(七七五)七月一日	続日本紀	197	217	延暦十七年(七八八)十月十一日	類聚三代格	210
182	宝龜七年(七七六)正月十九日	続日本紀	198	218	延暦十九年(八〇〇)三月一日	類聚国史	211
183	宝龜七年(七七六)三月五日	続日本紀	198	219	延暦二十年(八〇一)閏正月十六日	類聚国史	211
184	宝龜七年(七七六)三月五日	公卿補任	198	220	延暦二十年(八〇一)閏正月十七日	類聚国史	212
185	宝龜八年(七七七)三月二十九日	続日本紀	198	221	延暦二十年(八〇一)六月二十七日	類聚国史	212
186	宝龜八年(七七七)八月十九日	続日本紀	199	222	延暦二十一年(八〇二)九月二日	類聚国史	212
187	宝龜八年(七七七)十月十三日	続日本紀	199	223	延暦二十一年(八〇二)九月三日	類聚国史	212
188	宝龜九年(七七八)二月四日	続日本紀	199	224	延暦二十四年(八〇五)九月二十七日	日本後紀	213
189	宝龜十年(七七九)三月	元亨釈書	199	225	大同元年(八〇六)正月二十八日	日本後紀	213
190	宝龜十一年(七八〇)三月三日	続日本紀	200	226	大同元年(八〇六)	祭主補任	213
191	宝龜十一年(七八〇)七月十五日	続日本紀	200	227	大同元年(八〇六)閏六月十四日	公卿補任	213
192	天応元年(七八一)五月二十五日	続日本紀	201	228	大同二年(八〇七)四月六日	類聚三代格	213
193	天応元年(七八一)六月二十五日	続日本紀	201	229	大同二年(八〇七)五月十三日	類聚国史	214
194	延暦二年(七八三)正月二十日	続日本紀	202	230	大同三年(八〇八)四月三日	日本後紀	215
195	延暦三年(七八四)四月七日	続日本紀	202	231	大同三年(八〇八)十一月二十七日	日本後紀	215
196	延暦三年(七八四)十一月十七日	続日本紀	202	232	弘仁元年(八一〇)九月十六日	日本後紀	215

271	承和九年(八四二)	七月二十三日	続日本後紀	228	307	貞觀六年(八六四)	七月十一日	日本三代実録	238
270	承和九年(八四二)	五月二十九日	続日本後紀	228	306	貞觀六年(八六四)	三月八日	日本三代実録	238
269	承和六年(八三九)	正月一日	続日本後紀	227	305	貞觀五年(八六三)	十月十七日	日本三代実録	238
268	承和三年(八三六)	十月一日	続日本後紀	227	304	貞觀四年(八六二)	八月是月	日本三代実録	237
267	承和二年(八三五)	五月二十九日	続日本後紀	227	303	貞觀四年(八六二)	二月十六日	日本三代実録	237
266	承和二年(八三五)	三月五日	続日本後紀	227	302	貞觀三年(八六一)	五月二十一日	日本三代実録	237
265	承和元年(八三四)	十一月十九日	続日本後紀	227	301	貞觀三年(八六一)	五月二十一日	日本三代実録	236
264	承和元年(八三四)	七月十七日	続日本後紀	227	300	貞觀三年(八六一)	正月二十一日	日本三代実録	236
263	天長十年(八三三)	四月二十五日	続日本後紀	226	299	貞觀二年(八六〇)	正月二十七日	日本三代実録	236
262	天長十年(八三三)	正月十九日	類聚国史	225	298	貞觀元年(八五九)	七月十一日	日本三代実録	235
259	天長七年(八三〇)	四月十九日	異本公卿補任	225	295	貞觀元年(八五九)	五月二十八日	日本三代実録	235
258	天長七年(八三〇)	四月二日	類聚国史	225	294	貞觀元年(八五九)	四月七日	日本三代実録	235
257	天長六年(八二九)	六月十九日	日本紀略	225	293	貞觀元年(八五九)	二月十三日	日本三代実録	235
256	天長六年(八二九)	六月二十四日	類聚国史	224	292	貞觀元年(八五九)	正月二十七日	日本三代実録	235
255	天長三年(八二六)	三月二十九日	類聚国史	224	291	貞觀元年(八五九)	正月十三日	日本三代実録	234
254	天長二年(八二五)	十二月四日	類聚国史	223	289	天安二年(八五八)	正月十六日	日本文德天皇実録	234
253	天長二年(八二五)	二月	日本文德天皇実録	223	288	天安二年(八五七)	六月十九日	日本文德天皇実録	234
249	弘仁十年(八一九)	五月二十一日	政事要略	221	287	斉衡二年(八五五)	正月二十二日	日本文德天皇実録	233
248	弘仁十年(八一九)	三月二日	類聚国史	220	286	斉衡二年(八五五)	正月十五日	日本文德天皇実録	233
247	弘仁九年(八一八)	正月三十日	類聚国史	220	285	仁寿元年(八五一)	十二月十五日	日本文德天皇実録	233
246	弘仁五年(八一四)	十一月九日	日本後紀	219	284	仁寿元年(八五一)	九月十六日	日本文德天皇実録	232
245	弘仁五年(八一四)	九月三十日	日本後紀	219	283	仁寿元年(八五一)	五月十一日	日本文德天皇実録	232
244	弘仁五年(八一四)	九月二十二日	類聚三代格	218	282	嘉祥二年(八四九)	二月二十七日	続日本後紀	232
243	弘仁五年(八一四)	二月十日	類聚国史	217	279	嘉祥二年(八四九)	正月十三日	続日本後紀	232
242	弘仁五年(八一四)	二月十五日	類聚国史	217	278	承和十年(八四三)	七月二十三日	続日本後紀	229
239	弘仁三年(八二二)	正月十二日	日本後紀	216	275	承和十年(八四三)	六月二十五日	続日本後紀	229
238	弘仁三年(八二二)	三月十五日	日本後紀	217	276	承和十年(八四三)	七月二十三日	続日本後紀	229
237	弘仁三年(八二二)	三月十五日	日本後紀	217	277	承和十年(八四三)	十二月二十九日	続日本後紀	231
236	弘仁二年(八一二)	六月一日	日本後紀	215	273	承和十年(八四三)	正月十二日	続日本後紀	229
235	弘仁二年(八一二)	三月二十五日	日本後紀	215	274	承和十年(八四三)	三月二日	続日本後紀	229
234	弘仁二年(八一二)	三月二十七日	日本後紀	215	272	承和九年(八四二)	十二月十日	続日本後紀	228

3 0 8	貞觀六年（八六四）	十月一日	日本三代実録	2 3 8	3 4 4	元慶六年（八八二）	六月二十五日	日本三代実録	2 5 5
3 0 9	貞觀七年（八六五）	二月十三日	日本三代実録	2 3 9	3 4 5	元慶八年（八八四）	三月九日	日本三代実録	2 5 5
3 1 0	貞觀七年（八六五）	五月十日	日本三代実録	2 3 9	3 4 6	元慶八年（八八四）	八月二十八日	日本三代実録	2 5 5
3 1 1	貞觀七年（八六五）	五月十三日	日本三代実録	2 3 9	3 4 7	仁和元年（八八五）	正月十六日	日本三代実録	2 5 6
3 1 2	貞觀七年（八六五）	十月九日	日本三代実録	2 4 0	3 4 8	仁和三年（八八七）	六月二日	日本三代実録	2 5 6
3 1 3	貞觀七年（八六五）	十月二十八日	日本三代実録	2 4 0	3 4 9	寛平元年（八八九）	十二月二十五日	丹波国桑田郡川人郷長解写	2 5 6
3 1 4	貞觀八年（八六六）	閏三月十七日	日本三代実録	2 4 0	3 5 0	寛平三年（八九一）	二月二十六日	日本紀略	2 5 8
3 1 5	貞觀八年（八六六）	十一月十七日	日本三代実録	2 4 0	3 5 1	寛平四年（八九二）	正月八日	日本紀略	2 5 8
3 1 6	貞觀九年（八六七）	二月二十九日	日本三代実録	2 4 1	3 5 2	寛平四年（八九二）	正月十一日	日本紀略	2 5 8
3 1 7	貞觀九年（八六七）	四月八日	日本三代実録	2 4 1	3 5 3	寛平四年（八九二）	六月二十四日	日本紀略	2 5 8
3 1 8	貞觀九年（八六七）	五月二日	日本三代実録	2 4 2	3 5 4	寛平四年（八九二）	六月二十九日	日本紀略	2 5 8
3 1 9	貞觀九年（八六七）	五月二十六日	日本三代実録	2 4 2	3 5 5	寛平四年（八九二）	八月七日	日本紀略	2 5 8
3 2 0	貞觀十年（八六八）	正月十六日	日本三代実録	2 4 2	3 5 6	寛平六年（八九四）	四月十七日	日本紀略	2 5 9
3 2 1	貞觀十年（八六八）	九月二十一日	日本三代実録	2 4 3	3 5 7	寛平六年（八九四）	九月十九日	類聚三代格	2 5 9
3 2 2	貞觀十年（八六八）	十一月十六日	政事要略	2 4 3	3 5 8	延喜元年（九〇一）	正月二十七日	政事要略	2 6 0
3 2 3	貞觀十一年（八六九）	正月十三日	日本三代実録	2 4 4	3 5 9	延喜元年（九〇一）	七月十一日	扶桑略記	2 6 1
3 2 4	貞觀十二年（八七〇）	二月十二日	日本三代実録	2 4 4	3 6 0	延喜五年（九〇五）	七月十一日	佐伯院付属状	2 6 1
3 2 5	貞觀十二年（八七〇）	五月十九日	類聚三代格	2 4 5	3 6 1	延喜五年（九〇五）	閏十二月十七日	古今和歌集	2 6 3
3 2 6	貞觀十二年（八七〇）	九月八日	日本三代実録	2 4 6	3 6 3	延喜六年（九〇六）	正月十一日	日本紀竟宴和歌	2 6 5
3 2 7	貞觀十三年（八七一）	十一月十日	類聚三代格	2 4 6	3 6 4	延喜九年（九〇九）	正月十一日	外記補任	2 6 6
3 2 8	貞觀十三年（八七一）	十一月十日	日本三代実録	2 4 7	3 6 5	延喜十三年（九一三）	五月七日	除目大成抄	2 6 6
3 2 9	貞觀十五年（八七三）	三月十九日	日本三代実録	2 4 8	3 6 6	延喜十四年（九一四）	八月八日	類聚符宣抄	2 6 6
3 3 0	貞觀十六年（八七四）	九月八日	日本三代実録	2 4 8	3 6 7	延喜十四年（九一四）	八月八日	政事要略	2 6 7
3 3 1	貞觀十八年（八七六）	六月二十一日	日本三代実録	2 4 8	3 6 8	延喜十四年（九一四）	八月八日	政事要略	2 7 0
3 3 2	元慶元年（八七七）	正月十六日	日本三代実録	2 4 9	3 6 9	延喜十四年（九一四）	八月十五日	政事要略	2 7 0
3 3 3	元慶元年（八七七）	六月二十五日	日本三代実録	2 5 0	3 7 0	延喜十六年（九一六）	十二月八日	日本紀略	2 7 2
3 3 4	元慶元年（八七七）	八月二十二日	日本三代実録	2 5 1	3 7 1	延喜三年（九二五）	十二月八日	政事要略	2 7 2
3 3 5	元慶二年（八七八）	二月三日	類聚三代格	2 5 1	3 7 2	延喜五年（九二七）	十二月二十六日	延喜式	2 7 2
3 3 6	元慶二年（八七八）	三月三日	日本三代実録	2 5 2	4 1 7	延喜五年（九二七）	五月二十三日	貞信公記抄	2 9 0
3 3 7	元慶二年（八七八）	六月二十三日	日本三代実録	2 5 2	4 1 8	承平元年（九三一）	五月二十五日	別聚符宣抄	2 9 0
3 3 8	元慶四年（八八〇）	二月二十八日	日本三代実録	2 5 3	4 1 9	承平元年（九三一）	五月二十五日	貞信公記抄	2 9 1
3 3 9	元慶四年（八八〇）	六月十七日	日本三代実録	2 5 3	4 2 0	承平三年（九三三）	正月二十九日	扶桑略記	2 9 1
3 4 0	元慶四年（八八〇）	八月七日	類聚三代格	2 5 4	4 2 1	承平六年（九三六）	十一月二日	外記補任	2 9 1
3 4 1	元慶四年（八八〇）	十月二十七日	日本三代実録	2 5 4	4 2 2	承平六年（九三六）	十一月二日	九条年中行事	2 9 2
3 4 2	元慶五年（八八一）	九月二十六日	日本三代実録	2 5 4	4 2 3	天慶二年（九三九）	十二月二十一日	本朝世紀	2 9 3

4 2 6	天慶三年(九四〇)五月	類聚符宣抄	2 9 3	4 6 5	長保元年(九九九)	除目大成抄	3 1 7
4 2 7	天慶三年(九四〇)十二月上旬	古今著聞集	2 9 3	4 6 6	長保三年(一〇〇一)九月六日	權記	3 1 7
4 2 8	天慶四年(九四一)正月下旬	古今著聞集	2 9 4	4 6 7	長保三年(一〇〇一)頃	枕草子	3 1 7
4 2 9	天慶四年(九四一)六月二十二日	西宮記	2 9 4	4 6 8	長保四年(一〇〇二)五月十五日	類聚符宣抄	3 1 8
4 3 0	天慶五年(九四二)四月十日	本朝世紀	2 9 4	4 6 9	寛弘元年(一〇〇四)閏九月十八日	御堂関白記	3 1 8
4 3 1	天慶五年(九四二)四月十四日	本朝世紀	2 9 5	4 7 0	寛弘四年(一〇〇七)	除目大成抄	3 1 8
4 3 2	天慶五年(九四二)十一月十五日	日本紀略	2 9 7	4 7 1	寛弘六年(一〇〇九)九月二日	御堂関白記	3 1 8
4 3 3	天慶六年(九四三)十二月十七日	別聚符宣抄	2 9 7	4 7 2	寛弘七年(一一〇一)二月三十日	衛門府根料下用注文	3 1 9
4 3 4	天慶六年(九四三)十二月二十四日	日本紀略	2 9 8	4 7 3	長和四年(一一〇一)五月二日	小右記	3 2 1
4 3 5	天慶九年(九四六)八月十三日	別聚符宣抄	2 9 8	4 7 5	長和四年(一一〇一)五月二日	小右記	3 2 1
4 3 6	天曆元年(九四七)二月十六日	日本紀略	2 9 9	4 7 6	長和五年(一一〇一)正月六日	小右記	3 2 2
4 3 7	天曆元年(九四七)	貞信公記抄	3 0 0	4 7 7	寛仁元年(一一〇一)九月二十日	左経記	3 2 2
4 3 8	天曆元年(九四七)閏七月二十三日	政事要略	3 0 0	4 7 8	寛仁元年(一一〇一)十月二日	左経記	3 2 3
4 3 9	天曆二年(九四八)正月	押小路家譜	3 0 3	4 7 9	寛仁二年(一一〇一)四月二十四日	小右記	3 2 6
4 4 0	天曆六年(九五二)十一月九日	朝野群載	3 0 3	4 8 0	寛仁二年(一一〇一)四月二十七日	小右記	3 2 7
4 4 1	天曆十年(九五六)四月二十一日	朝野群載	3 0 4	4 8 1	寛仁二年(一一〇一)十一月一日	御堂関白記	3 2 8
4 4 2	応和二年(九六二)四月十九日	日本紀略	3 0 5	4 8 2	寛仁三年(一一〇一)正月三十日	小右記	3 2 8
4 4 3	天祿二年(九七二)七月十九日	別聚符宣抄	3 0 6	4 8 3	寛仁三年(一一〇一)四月十八日	小右記	3 2 9
4 4 4	天祿三年(九七二)五月三日	天台座主良源遺告	3 0 7	4 8 4	寛仁三年(一一〇一)七月十九日	小右記	3 3 1
4 4 5	永延元年(九八七)以前	古今和歌六帖	3 0 8	4 8 5	治安元年(一一〇二)十一月二十九日	小右記	3 3 1
4 4 6	永延元年(九八七)頃	書写山田教寺旧記	3 0 8	4 8 6	治安三年(一一〇三)正月二十六日	小右記	3 3 1
4 4 7	正暦五年(九九四)	道信集	3 0 9	4 8 7	治安三年(一一〇三)四月十六日	小右記	3 3 2
4 4 8	長徳元年(九九五)十月六日	權記	3 1 0	4 8 8	治安三年(一一〇三)五月二日	小右記	3 3 2
4 4 9	長徳二年(九九六)四月二十四日	日本紀略	3 1 0	4 8 9	治安三年(一一〇三)五月十四日	小右記	3 3 2
4 5 0	長徳二年(九九六)	小右記	3 1 1	4 9 0	治安三年(一一〇三)五月二十四日	小右記	3 3 3
4 5 1	長徳二年(九九六)	公卿補任	3 1 1	4 9 1	治安三年(一一〇三)七月十一日	小右記	3 3 4
4 5 2	長徳二年(九九六)	後拾遺和歌集	3 1 1	4 9 2	治安三年(一一〇三)七月十七日	小右記	3 3 4
4 5 3	長徳二年(九九六)	小右記	3 1 1	4 9 3	治安三年(一一〇三)	除目大成抄	3 3 4
4 5 4	長徳二年(九九六)五月十五日	小右記	3 1 2	4 9 4	万寿二年(一一〇五)二月二十七日	小右記	3 3 4
4 5 5	長徳二年(九九六)六月八日	扶桑略記	3 1 3	4 9 5	万寿二年(一一〇五)三月十八日	小右記	3 3 6
4 5 6	長徳二年(九九六)十月七日	百練抄	3 1 4	4 9 6	万寿二年(一一〇五)三月十九日	小右記	3 3 6
4 5 7	長徳三年(九九七)四月五日	小右記	3 1 4	4 9 7	万寿二年(一一〇五)三月二十三日	小右記	3 3 7
4 5 8	長徳三年(九九七)	公卿補任	3 1 5	4 9 8	万寿二年(一一〇五)七月二十日	小右記	3 3 7
4 5 9	長徳三年(九九七)	小右記	3 1 5	4 9 9	万寿三年(一一〇六)正月二十七日	左経記	3 3 7
4 6 0	長徳三年(九九七)六月十三日	小右記	3 1 6	5 0 0	万寿三年(一一〇六)五月十三日	類聚符宣抄	3 3 7
4 6 1	長徳三年(九九七)八月二十八日	權記	3 1 6	5 0 1	万寿三年(一一〇六)九月十六日	小右記	3 3 9
4 6 2	長徳三年(九九七)九月五日	權記	3 1 6				

502	万寿四年(一〇二七)	七月十七日	小右記		340	541	長元九年(一〇三六)	頃	杵築大社造宮遷宮旧記注進		356
503	万寿四年(一〇二七)	七月二十一日	小右記		341	542	長曆二年(一〇三八)	八月二十五日	類聚符宣抄		357
504	長元元年(一〇二八)	八月十七日	左経記		341	543	長久元年(一〇四〇)	正月五日	師守記		358
505	長元二年(一〇二九)	閏二月二十五日	小右記		342	544	長久二年(一〇四一)	二月七日	春記		358
506	長元二年(一〇二九)	七月一日	小右記		342	546	永承四年(一〇四九)	二月	除目大成抄		359
507	長元二年(一〇二九)	七月十一日	小右記		343	547	永承四年(一〇四九)	二月	後拾遺和歌集		359
510	長元二年(一〇二九)	八月二十七日	朝野群載		345	548	永承四年(一〇四九)	二月	能因集		359
511	長元二年(一〇二九)	八月二十七日	朝野群載		345	549	天喜元年(一〇五三)	正月	祭主補任		360
512	長元四年(一〇三一)	正月二十二日	左経記		346	550	天喜元年(一〇五三)	以前	本朝統文粹		360
513	長元四年(一〇三一)	正月二十三日	左経記		346	552	天喜三年(一〇五五)	十二月二十五日	朝野群載		362
514	長元四年(一〇三一)	十月十六日	小記目録		347	553	天喜三年(一〇五五)	二月	丹波国後河莊司田堵等解		362
515	長元四年(一〇三一)	十月十七日	左経記		347	554	康平四年(一〇六一)	二月	除目大成抄		364
516	長元四年(一〇三一)	十月十七日	小記目録		347	555	康平四年(一〇六一)	十一月二十九日	百練抄		364
517	長元四年(一〇三一)	十月十七日	日本紀略		347	556	康平五年(一〇六二)	二月十二日	百練抄		364
518	長元四年(一〇三一)	十月二十二日	日本紀略		348	557	治暦三年(一〇六七)	二月六日	朝野群載		364
520	長元四年(一〇三一)	十月二十二日	小記目録		348	558	治暦三年(一〇六七)	二月六日	杵築大社造宮遷宮旧記注進		365
521	長元四年(一〇三一)	十月二十六日	小記目録		348	559	延久元年(一〇六九)	十月十九日	杵築大社造宮遷宮旧記注進		366
522	長元四年(一〇三一)	閏十月三日	左経記		348	560	承暦元年(一〇七七)	八月二十九日	扶桑略記		366
523	長元四年(一〇三一)	閏十月五日	小記目録		349	561	承暦元年(一〇七七)	十月二日	水左記		367
524	長元四年(一〇三一)	閏十月九日	小記目録		349	562	承暦元年(一〇七七)	十月三日	水左記		367
525	長元四年(一〇三一)	閏十月十日	小記目録		349	563	承暦元年(一〇七七)	十月五日	水左記		367
526	長元四年(一〇三一)	閏十月十五日	左経記		349	564	承暦元年(一〇七七)	十一月九日	水左記		368
527	長元五年(一〇三二)	正月十二日	小右記		350	565	承暦元年(一〇七七)	十一月九日	水左記		368
528	長元五年(一〇三二)	正月二十三日	小右記		350	568	承暦元年(一〇七七)	十一月九日	水左記		368
529	長元五年(一〇三二)	二月二十六日	左経記		351	574	承暦二年(一〇七八)	十二月三十日	出雲国正税返却帳(延久二年帳)		369
530	長元五年(一〇三二)	三月十一日	左経記		351	575	承暦二年(一〇七八)	十二月三十日	出雲国正税返却帳(延久三年帳)		393
531	長元五年(一〇三二)	六月三日	左経記		351	576	承暦二年(一〇七八)	十二月三十日	出雲国正税返却帳(延久四年帳)		406
532	長元五年(一〇三二)	六月十七日	左経記		352	577	承暦二年(一〇七八)	十二月三十日	出雲国正税返却帳(承保元年帳)		424
533	長元五年(一〇三二)	八月二日	小右記		353	578	承暦四年(一〇八〇)	六月十日	朝野群載		450
534	長元五年(一〇三二)	八月七日	小右記		353	579	承暦四年(一〇八〇)	六月十日	後拾遺往生伝		452
535	長元五年(一〇三二)	八月二十日	小右記		354	580	承暦年間(一〇七七)	八月〇〇	本朝新修往生伝		452
536	長元五年(一〇三二)	九月二十日	百練抄		354	581	承暦年間(一〇七七)	八月〇〇	帥記		453
537	長元五年(一〇三二)	十一月十日	扶桑略記		355	582	永保元年(一〇八二)	正月二十九日	公卿補任		453
538	長元五年(一〇三二)	十一月十日	小右記		355	583	永保二年(一〇八二)	五月一日	為房卿記		453
539	長元九年(一〇三六)	八月三十日	類聚符宣抄		355	584	永保二年(一〇八二)	六月十六日	江家次第		453
540	長元九年(一〇三六)	八月三十日	類聚符宣抄		355	585	永保二年(一〇八二)	六月十六日	江家次第		453

586	永保三年（一〇八三）	正月二十九日	参議要抄	454
587	永保三年（一〇八三）	閏六月十五日	小朝熊社神鏡沙汰文	454
588	応徳元年（一〇八四）	正月十七日	水左記	455
589	応徳二年（一〇八五）	九月十一日	朝野群載	455
590	応徳二年（一〇八五）	九月十四日	朝野群載	455
591	応徳二年（一〇八五）	九月十五日	朝野群載	455
592	応徳三年（一〇八六）	閏二月四日	後二条師通記	457
593	応徳三年（一〇八六）	頃	杵築大社造宮遷宮旧記注進	457
594	寛治元年（一〇八七）	十一月十八日	本朝世紀	458
595	寛治五年（一〇九一）	四月十七日	続左丞抄	458
596	嘉保元年（一〇九四）	十一月二十四日	中右記	458
597	嘉保元年（一〇九四）	十一月二十五日	中右記	459
598	嘉保二年（一〇九四）		除目大成抄	459
599	嘉保二年（一〇九五）	八月十四日	中右記	459
600	永長元年（一〇九六）	四月十一日	中右記	460
601	永長元年（一〇九六）	五月十日	中右記	460
602	永長元年（一〇九六）	五月二十日	中右記	461
603	永長元年（一〇九六）	十一月八日	後二条師通記	461
604	永長元年（一〇九六）	十一月二十日	中右記	461
605	永長元年（一〇九六）	十二月二十二日	中右記	462
606	承徳元年（一〇九七）	正月三十日	中右記	462
607	承徳元年（一〇九七）	三月十一日	中右記	462
608	承徳元年（一〇九七）	三月十四日	中右記	463
609	承徳元年（一〇九七）	三月十七日	中右記	463
610	承徳二年（一〇九八）	正月二十六日	中右記	463
611	康和三年（一一〇一）		後拾遺往生伝	464
612	天治元年（一一二四）	四月十日	後拾遺往生伝	464
613	治承二年（一一七八）	七月十八日	続左丞抄	465
614	年未詳		尊卑分脈	466
615	年未詳		菅原氏系図	466
616	617	年未詳	尊卑分脈	466

64

7 2	養和元年二月	（参考）忌部総社神宮寺縁起（忌部神社文書）	5 9 3	1 0 9	建暦元年六月	出雲国司庁宣（手家家文書）	6 2 7
7 3	治承五年三月六日	吉記	5 9 3	1 1 0	建暦三年二月二日	出雲国宣（鰐淵寺文書）	6 2 7
7 4	寿永元年八月二〇日	吉記	5 9 5	1 1 1	建保二年七月二五日	神祇官下文（京大・朝山文書）	6 2 8
7 5	元暦元年二月四日	吾妻鏡	5 9 5	1 1 2	建保二年八月	土御門院庁下文（北島家文書）	6 2 8
7 6	元暦元年二月四日	平家物語長門本（巻第十六）	5 9 5	1 1 3	建保三年三月二三日	卜部某下文（真名井神社広江家文書）	6 2 9
7 7	元暦元年二月四日	延慶本平家物語（巻九）	5 9 6	1 1 4	建保三年六月六日	後鳥羽上皇逆修進物注文（伏見宮記録利58）	6 2 9
7 8	元暦元年五月	梶原景時下文案（益田家文書）	5 9 7	1 1 5	建保三年七月	左兵衛尉某下知状（北島家文書）	6 3 0
7 9	元暦二年正月九日	源頼朝下文案（石清水八幡宮文書）	5 9 8	1 1 6	承久元年十一月三日	関東下知状（千家家文書）	6 3 0
8 0	年月日未詳	成勝寺年中相折帳（祈雨法御書裏文書）	5 9 8	1 1 7	承久二年三月八日	杵築大社造宮遷宮勘例案（北島家文書）	6 3 0
8 1	文治元年一月三日	出雲国司庁宣（千家家文書）	6 0 1	1 1 8	（承久三年）七月二二日	北条泰時書状（島津家文書）	6 3 1
8 2	文治二年五月三日	吾妻鏡	6 0 1	1 1 9	承久三年七月二二日	北条泰時書状案（島津家文書）	6 3 1
8 3	文治二年九月一五日	鰐淵寺古記録写（鰐淵寺文書）	6 0 2	1 2 0	承久三年七月一三日	皇代暦・四巻	6 3 2
8 4	文治五年二月二二日	吾妻鏡	6 0 3	1 2 1	承久三年七月一五日	北条泰時書状案（島津家文書）	6 3 2
8 5	文治五年三月一〇日	後白河法皇院官（吾妻鏡文治五年三月廿日条）	6 0 3	1 2 2	承久三年七月二七日	吾妻鏡	6 3 2
8 6	文治五年四月一三日	仲資王記	6 0 5	1 2 3	年月日未詳	莊々所濟日記写（安楽寿院古文書）	6 3 3
8 7	文治五年四月二二日	源頼朝書状（吾妻鏡文治五年四月廿一日条）	6 0 5	1 2 4	年月日未詳	宣陽門院（内親王）所領目録（島田文書）	6 3 3
8 8	文治五年六月一五日	吾妻鏡	6 0 6	1 2 5	貞応二年七月二八日	関東下知状写（成相寺文書・根岡郡神社書出帳）	6 3 5
8 9	文治六年正月四日	吾妻鏡	6 0 6	1 2 6	貞応二年十一月二日	関東下知状（萩野由之氏所蔵文書）	6 3 5
9 0	文治六年四月	主殿寮年預伴守方注由状（壬生家文書）	6 0 6	1 2 7	貞応三年六月一日	領家藤原藤隆袖判御教書（平岡家文書）	6 3 6
9 1	建久元年六月二日	源頼朝寄進状（熊野神社文書）	6 0 9	1 2 8	嘉祿元年正月二八日	明月記	6 3 6
9 2	建久二年三月二二日	官宣旨（三代制符）	6 1 0	1 2 9	嘉祿元年二月二八日	明月記	6 3 6
9 3	建久二年七月	出雲国在庁官人等解（千家家文書）	6 1 2	1 3 0	嘉祿二年四月二九日	明月記	6 3 7
9 4	建久二年七月	出雲国在庁官人等解写（佐草家文書）	6 1 2	1 3 1	嘉祿二年四月	出雲国目代藤原家忠寄進状写（青木家文書）	6 3 7
9 5	建久二年八月二日	出雲国在庁官人文書紛失状（千家家文書）	6 1 3	1 3 2	嘉祿二年七月二三日	將軍藤原頼経下文（讃岐三木家文書）	6 3 7
9 6	建久五年三月一九日	出雲国司庁宣（出雲大社文書）	6 1 4	1 3 3	安貞元年五月	（参考）忌部総社神宮寺根元録（忌部神社所蔵）	6 3 8
9 7	建久五年三月	出雲国在庁官人等解（佐草家文書）	6 1 5	1 3 4	安貞元年七月九日	明月記	6 3 8
9 8	建久六年四月	出雲国司庁宣（北島家文書）	6 1 6	1 3 5	寛喜二年三月二六日	太政官符案（播磨田教寺本措拾抄）	6 3 9
9 9	建久八年一〇月四日	北条九代記上	6 1 6	1 3 6	寛喜三年九月八日	出雲守時通請文（民経記貞永元年十月巻裏文書）	6 3 9
1 0 0	建久一〇年四月	某家政所下文（掛夜神社文書）	6 1 7	1 3 7	貞永元年九月	出雲国留守所下文（富家文書）	6 3 9
1 0 1	正治元年五月二〇日	小槻広房勘文（小朝熊神社鏡沙汰文）	6 1 7	1 3 8	貞永元年一〇月二日	関東下知状（神門寺文書）	6 4 0
1 0 2	元久二年正月二九日	明月記	6 1 8	1 3 9	天福元年三月二日以前	明月記	6 4 0
1 0 3	元久二年四月二二日	関東下知状（北島家文書）	6 2 1	1 4 0	天福元年六月二〇日	吾妻鏡	6 4 0
1 0 4	元久二年一月二九日	明月記	6 2 1	1 4 1	天福元年一〇月	出雲平浜八幡宮田畠坪付（青木家文書）	6 4 1
1 0 5	元久二年一月二九日	（参考）大伴氏系図（出雲市国富稲田家文書）	6 2 3	1 4 2	天福二年九月一〇日	出雲加賀莊起請田目録写（水無瀬神宮文書）	6 4 1
1 0 6	建永元年八月	平浜別宮預所某下文写（青木家文書）	6 2 6	1 4 3	嘉禎二年三月八日	持田莊所当米注進写（水無瀬神宮文書）	6 4 2
1 0 7	承元二年一月	（参考）忌部総社神宮寺根元録（忌部神社所蔵）	6 2 6	1 4 4	嘉禎二年三月	領家下文写（水無瀬神宮文書）	6 4 3
1 0 8	承元四年二月一四日	源実朝書状（千家家文書）	6 2 7	1 4 5	嘉禎四年六月一九日	安斎隨筆十八	6 4 3

146	曆仁二年二月九日	後鳥羽天皇宸翰御手印置文（水無瀬神宮文書）	644	183	正元二年三月四日	多資綱讓狀（富家文書）	682
147	曆仁二年二月一日	後鳥羽上皇書狀案（三条西家文書）	644	184	弘長二年二月三日	国造出雲義孝讓狀（千家家文書）	682
148	延応元年八月一日	関東下知狀（酒井宇吉氏所藏文書）	645	185	弘長二年二月	藏人所牒写（尾張真継家文書）	683
149	延応元年八月一日	関東下知狀（神門寺文書）	646	186	弘長三年二月一日	弘長寺縁起（弘長寺旧藏文書）	684
150	仁治三年二月二六日	平戸記	646	187	文永元年一月八日	出雲国司庁宣（千家家文書）	685
151	寛元元年四月二九日	地頭藤原某下文（掛夜神社文書）	647	188	文永二年三月吉日	持田大宮大明神棟札写（明治三十五年島根県神社由緒書）	685
152	宝治元年三月一日	藏人方恒例公事用途注進狀（葉黄記）	648	189	文永二年八月二二日	関東下知狀（北島家文書）	685
153	宝治元年一月一日	杵築大社神官等解（鰐淵寺文書）	649	190	文永二年九月六日	出雲守護佐々木泰清施行狀（北島家文書）	685
154	宝治二年二月	藏人所牒写（肥後阿蘇品家文書）	650	191	文永三年四月	出雲国司庁宣（出雲大社文書）	686
155	年月日未詳	杵築大社造宮遷宮旧記注進（北島家文書）	651	192	文永三年五月二四日	六波羅下知狀（北島家文書）	686
156	宝治二年	宝治二年遷宮神事次第写（佐草家文書）	661	193	文永五年五月一日	後嵯峨上皇院宣（九条家文書）	686
157	建長元年六月	杵築大社造宮所注進狀（出雲大社文書）	661	194	文永八年正月二五日	土屋某添狀写（忌部総社大宮神宮寺秘事記）	687
158	建長元年八月	杵築社遷宮神宝注記（千家家文書）	665	195	文永八年一月一日	関東御教書写（佐草家文書）	687
159	建長元年一月二九日	鎌倉將軍 九条頼朝 家御教書（北島家文書）	667	196	文永八年一月一日	関東下知狀写（千家家文書）	687
160	建長元年二月二二日	出雲守護佐々木泰清書狀（北島家文書）	668	197	文永八年一月一日	関東下知狀写（佐草家文書）	692
161	建長二年一月	九条道家初度惣処分狀（九条家文書）	668	198	文永九年四月二二日	関東御教書（千家家文書）	694
162	建長二年一月	九条道家処分狀（九条家文書）	671	199	文永九年七月一七日	出雲守護佐々木泰清書狀（千家家文書）	694
163	建長三年八月	出雲国司庁宣（千家家文書）	673	200	〔文永九年〕九月	鰐淵寺衆徒等申狀案（鰐淵寺文書）	695
164	建長三年八月	出雲国司庁宣（千家家文書）	673	201	〔文永九年〕九月	鰐淵寺衆徒等申狀案（鰐淵寺文書）	695
165	建長三年八月	出雲国司庁宣（千家家文書）	674	202	文永九年二月二二日	將軍 親王 家下知狀案（備中平川家文書）	696
166	建長三年一月一日	出雲国宣（出雲大社文書）	674	203	〔文永九年〕二月二二日	後深草院々々宣（出雲大社文書）	696
167	建長四年三月	〔参考〕忌部総社神宮寺根源録（忌部神社所藏）	674	204	〔文永九年〕二月二二日	出雲国宣（出雲大社文書）	696
168	建長四年六月二七日	六波羅下知狀（千家家文書）	675	205	文永九年二月	出雲国司庁宣（出雲大社文書）	697
169	建長四年九月二二日	將軍 親王 家政所下文（讃岐三木家文書）	675	206	文永一〇年正月一九日	杵築大社仮殿造営目録写（千家家文書）	697
170	建長五年二月二〇日	関東裁許狀写（肥前青方文書）	675	207	文永一二年四月	杵築大社正殿造営日記目録写（千家家文書）	699
171	建長五年二月	出雲国司庁宣（千家家文書）	676	208	文永一二年四月	木像十一面觀音立像墨書銘（松江市大庭町浄音寺所藏）	703
172	建長六年三月一日	出雲国宣（千家家文書）	677	209	文永年中正月	祇園社記二（八坂神社記録）	703
173	建長六年四月	出雲守護佐々木泰清書下（鰐淵寺文書）	677	210	文永年中	祇園社家々々記録（八坂神社記録）	703
174	〔建長六年〕二月二〇日	出雲国宣写（千家家文書写乙）	678	211	文永年中	祇園社記二	703
175	建長六年	鰐淵寺衆徒勸進狀案（鰐淵寺文書）	678	212	文永年中	関東御教書案（東寺百合文書了）	704
176	建長七年二月	出雲国司庁宣（千家家文書）	679	213	建治元年二月八日	沙弥 泰清 書狀（千家家文書）	704
177	建長七年二月	六波羅御教書（北島家文書）	680	214	弘安二年六月二日	後宇多天皇綸旨写（忌部総社大宮神宮寺秘事記）	705
178	康元二年二月三日	出雲国司庁宣（千家家文書）	680	215	弘安二年六月六日	出雲国宣（出雲大社文書）	705
179	康元二年二月	出雲国司庁宣（千家家文書）	681	216	〔弘安三年〕九月二二日	出雲国宣（出雲大社文書）	706
180	康元二年二月	郷司某下文写（青木家文書）	681	217	弘安三年一月一七日	〔参考〕慧日山宗派図	706
181	正嘉二年一月一五日	出雲国司庁宣（千家家文書）	682	218	弘安四年五月	〔参考〕忌部総社神宮寺根源元録（忌部神社文書）	707
182	正元二年二月	出雲国司庁宣（千家家文書）	682	219			707

250	弘安四年六月二八日	弘安四年日記抄	707	256	応長元年七月七日	六波羅下知狀(九条家文書)	727
221	〔弘安四年〕七月三日	龜山上皇院宣(鰐淵寺文書)	708	257	正和元年七月七日	六波羅下知狀案(集古文書)	727
222	弘安五年	祇園社記一(八坂神社記録)	708	258	正和元年七月二七日	六波羅下知狀(九条家文書)	729
223	弘安五年	祇園社家条々記録(八坂神社記録)	708	259	正和五年三月六日	平家保請文案(東大寺文書)	730
224	弘安九年一月	東大寺三綱等申狀土代(東大寺文書)	709	260	文保二年十一月一日	国造出雲孝時去渡狀(千家家文書)	730
225	弘安一〇年二月一八日	將軍 ^{惟康親王} 家政所下文(讀岐三木家文書)	710	261	元応元年閏七月九日	関東御教書(千家家文書)	731
226	弘安一一年五月一六日	勘仲記	710	262	元応二年三月二日	関東下知狀(飯野八幡宮文書)	731
227	弘安一一年六月二〇日	勘仲記	711	263	元応二年六月二五日	関東下知狀(小野家文書)	732
228	〔正応三年〕四月二日	国造泰孝代雲三政行着到狀(千家家文書)	712	264	元亨三年三月五日	関東御教書(出雲大社文書)	733
229	永仁五年八月二七日	関東御教書(鰐淵寺文書)	712	265	元亨四年八月二七日	国造出雲孝時讓狀(平岡家文書)	733
230	永仁六年五月二五日	関東御教書(出雲大社文書)	713	266	正中二年二月	〔参考〕忌部総社神宮寺根元録(忌部神社文書)	734
231	永仁六年一〇月二日	関東御教書(出雲大社文書)	713	267	正中二年三月	最勝光院莊園目錄(宮内庁書陵部所蔵文書)	734
232	永仁七年二月一日	某注進狀(若狹秦金藏氏文書)	713	268	正中二年	最勝光院領被物月充注文(東寺百合文書)	738
233	永仁七年二月一日	関東下知狀(飯野八幡宮文書)	714	269	嘉暦二年九月五日	最勝光院領相伝系図并莊園目錄(教王護国寺文書)	739
234	年月日未詳	大中臣氏略系図(桐村正春文書)	714	270	嘉暦二年閏九月二九日	工藤貞祐書下(摂津多田神社文書)	739
235	〔正安二年〕二月九日	出雲国宣(出雲大社文書)	716	271	嘉暦四年七月	鰐淵寺衆徒等解狀案(千家古文書写乙)	740
236	年月日未詳	室町院 ^(内親王) 所領目錄写(八代恒治氏所蔵文書)	717	272	元徳元年一〇月二九日	散位某他二名連署奉書写(千家古文書写乙)	741
237	正安二年閏七月五日	関東御教書(出雲大社文書)	719	273	元徳二年一月二五日	藤原隆俊寄進狀写(迎接寺文書)	741
238	正安二年閏七月	出雲国司庁宣(出雲大社文書)	720	274	元徳二年八月二九日	平某等連署奉書(小野家文書)	741
239	〔正安二年〕九月二八日	伏見院院宣(出雲大社文書)	720	275	元弘二年三月	舟上記	742
240	正安三年七月九日	〔参考〕東福寺誌	720	276	元弘二年三月	梅松論上	742
241	〔正安三年〕九月一六日	後宇多院院宣(出雲大社文書)	721	277	元弘二年三月	太平記(巻四)	743
242	〔正安三年〕九月二〇日	出雲国宣(出雲大社文書)	721	278	元弘二年三月	若狹国守護職次第	744
243	正安三年一二月五日	関東御教書(出雲大社文書)	721	279	正慶元年九月	〔参考〕忌部総社神宮寺根元録(忌部神社文書)	744
244	正安三年	正安三年大嘗会記	721	280	年月日未詳	大乗院日記目錄一	744
245	正安四年四月一〇日	関東御教書(出雲大社文書)	722	281	元弘三年閏二月	大乗院日記目錄一	744
246	乾元元年一二月八日	智覚庵開山大道和尚行狀	722	282	元弘三年閏二月二四日	大乗院日記目錄一	744
247	乾元二年四月一日	佐々木貞清寄進狀(鰐淵寺文書)	722	283	正慶二年閏二月二七日	〔参考〕舟上記	745
248	〔嘉元元年〕八月二二日	出雲国宣(出雲大社文書)	723	284	元弘三年四月一日	後醍醐天皇綸旨写(熊野神社文書)	745
249	嘉元元年八月二二日	前石見守某奉書(出雲大社文書)	723	285	元弘三年四月一〇日	後醍醐天皇綸旨(小野家文書)	746
250	乾元二年一二月一〇日	関東御教書写(朝山系図勘記)	723	286	元弘三年四月	日置政高軍忠狀写(小野家文書)	746
251	嘉元二年五月三日	出雲末次莊地頭平宗綱和与狀案 ^(山城東福寺文書)	723	287	元弘三年五月一五日	後醍醐天皇綸旨写(忌部総社大官神宮寺秘事)	746
252	嘉元四年六月一二日	昭慶門院領目錄案(竹内文平文書)	724	288	元弘三年五月	加治屋村惣領日置政高軍忠狀 ^(小野雄彦氏所蔵文書)	747
253	徳治二年一二月五日	国造出雲泰孝讓狀(北島家文書)	725	289	元弘三年六月三日	書写山行幸記	747
254	延慶二年八月二五日	將軍 ^{守邦親王} 家政所下文(小田部氏蔵宇都宮文書)	726	290	〔元弘三年〕六月二二日	豊島時光着到狀(小野家文書)	748
255	応長元年六月一三日	御内村一分地頭奈子宗重代成光和与狀 ^(九条家文書)	726	291	元弘三年夏	海滴集・附記	748
				292	元弘三年八月三日	若狹国守護次第	748

293	〔元弘三年〕一月二二日	後醍醐天皇綸旨（水無瀬神宮文書）	749	330	建武五年三月三日	諏訪部信忠軍忠目安狀写（諸家文書纂・三刀屋文書）	773
294	元弘三年二月二四日	雜訴決斷所牒（前田育徳会所藏文書）	749	331	建武五年三月二〇日	足利直義感狀（京大・朝山文書）	774
295	鎌倉末期	太平記（卷七）	749	332	建武五年閏七月二五日	柳田左衛門尉書下案（南山巡狩録）	774
296	鎌倉末期	〔参考〕古本伯耆卷	752	333	曆応元年九月五日	出雲国宣（神門寺文書）	774
297	鎌倉末期	〔参考〕大山寺縁起（上卷一）	754	334	曆応元年九月	出雲国司庁宣（神門寺文書）	775
298	鎌倉末期	〔参考〕大山寺縁起（上卷二）	755	335	曆応元年十一月二七日	沙弥長禪置文（迎接寺文書）	775
299	鎌倉末期	〔参考〕大山寺縁起（上卷七）	756	336	曆応二年二月二七日	出雲国守護塩治高貞書狀（千家家文書）	775
300	鎌倉末期	〔参考〕大山寺縁起（上卷七）	757	337	曆応二年三月一五日	某寄進狀写（熊野神社文書）	775
301	建武元年三月二八日	出雲国々宣（諸家文書纂・三刀屋文書）	758	338	曆応二年六月二八日	足利尊氏寄進狀（二尊院文書）	776
302	建武元年五月一八日	雜訴決斷所牒（千家家文書）	758	339	曆応二年七月一〇日	高師直施行狀案（二尊院文書）	776
303	建武元年八月	雜訴決斷所結番交名	759	340	曆応二年七月二〇日	塩治高貞遵行狀（二尊院文書）	776
304	建武元年九月二七日	足利尊氏行幸供奉隨兵次第写（小早川家証文）	760	341	曆応二年十二月二一日	足利尊氏下文（讃岐三木家文書）	777
305	建武元年九月二七日	賀茂社行幸供奉足利尊氏隨兵交名（朽木文書）	761	342	興国元年六月二五日	後村上天皇綸旨（内神社文書）	777
306	建武元年	太平記（卷一三）	762	343	曆応三年一月二四日	足利尊氏安堵御教書写（毛利徳正氏所藏古見系譜）	777
307	建武元年二月八日	出雲国宣（佐草家文書）	762	344	曆応四年三月二〇日	鶴岡社務記録	777
308	建武二年五月三日	地頭沙弥長禪寄進狀写（迎接寺文書）	762	345	曆応四年三月二五日	師守記	778
309	建武二年九月五日	雜訴決斷所牒案（德禪寺文書）	763	346	曆応四年三月二九日	師守記	778
310	建武二年九月二五日	名和長年軍勢催促狀写（忌部總社大宮・神宮寺秘事記）	763	347	曆応四年三月	太平記（卷二）	778
311	建武二年二月二五日	布志名判官避狀写（德禪寺文書）	763	348	興国二年三月	山名系図	780
312	建武三年正月	日置政高軍忠狀（日御碕神社文書）	764	349	曆応四年四月一一日	足利尊氏軍勢催促狀写（忌部總社大宮・神宮寺秘事記）	780
313	建武三年三月五日	足利尊氏感狀（小切紙、日御碕神社文書）	764	350	曆応四年四月	北垣光昌着到狀（小野家文書）	780
314	建武三年三月二五日	足利尊氏袖判下文（日御碕神社文書）	764	351	曆応四年四月一一日	足利直義裁許狀（水無瀬神宮文書）	781
315	延元元年四月	建武記	765	352	曆応五年四月一三日	揖屋大社別火職補任狀（揖夜神社文書）	781
316	建武三年五月一四日	足利直義御判御教書（京大・朝山文書）	766	353	康永元年二月三日	足利尊氏宛行狀写（正聞史料二一）	782
317	〔建武三年〕六月二日	尼寛日書狀（北島家文書）	766	354	康永二年三月一六日	出雲孝景和与狀（千家家文書）	782
318	建武三年九月五日	出雲国宣（神門寺文書）	767	355	康永二年三月一六日	出雲孝景申狀（千家家文書）	782
319	建武三年一〇月四日	足利尊氏院宣施行狀写（朝山系図勘記）	767	356	康永二年三月一六日	杵築大社紛失文書目録（千家家文書）	783
320	建武三年一〇月四日	足利直義御判御教書（京大・朝山文書）	767	357	康永二年三月一六日	出雲泰孝讓狀案并出雲孝宗裏封（千家家文書）	784
321	建武三年一〇月一一日	出雲国宣（神門寺文書）	767	358	康永二年三月二五日	吉田貞景打渡狀（神門寺文書）	785
322	建武三年	佐草自清覚書（千家古文書写甲）	768	359	康永三年六月五日	千家孝宗・北島貞孝連署和与狀（千家家文書）	785
323	建武四年三月	諏訪部信忠軍忠狀写（諸家文書纂・三刀屋文書）	771	360	康永三年一〇月三日	足利直義書下（神魂神社文書）	786
324	建武四年四月二七日	足利直義御判御教書（安国寺文書）	772	361	康永四年四月九日	足利直義御判御教書（安国寺文書）	786
325	建武四年四月二七日	足利直義御判御教書写（神魂神社文書）	772	362	〔貞和二年〕二月三日	沙弥覚照（羽田井高泰）書狀（千家家文書）	786
326	建武四年七月二日	寿聖寺妙用請文（尊經閣所藏東福寺文書）	772	363	貞和二年七月二一日	足利尊氏寄進狀写（安国寺文書）	787
327	建武四年一〇月一九日	足利尊氏袖判下文写（朝山系図勘記）	772	364	貞和二年閏九月	山代郷半分地頭源氏代宗道申狀写（千家古文書写丙）	787
328	建武四年一〇月一九日	足利直義軍勢催促狀（京大・朝山文書）	773	365	正平元年一月	神魂神社本殿心御柱古材墨書銘（神魂神社所藏）	787
329	建武四年一〇月二三日	伊藤義明軍忠狀写（萩藩閩閩録）	773				

366	貞和二年一月	目代幸松丸・田所某連署寄進狀(青木家文書)	788	402	觀応二年一〇月一五日	山名時氏寄進狀(出雲大社文書)	801
367	貞和二年一二月三日	出雲守護佐々木導誓高氏注進狀(北島家文書)	788	403	觀応三年四月五日	足利義詮御判御教書(安國寺文書)	801
368	貞和二年一二月二日	高師泰書下案(備後浄土寺文書)	788	404	觀応三年五月	大野禪覺光成軍忠狀(讃岐三木家文書)	801
369	年月日未詳	賀茂御祖社社領目録(賀茂古代莊園御厨)	789	405	觀応三年八月三日	足利義詮宛行狀写(朝山系圖勘記)	802
370	貞和三年三月一九日	室町幕府御教書(出雲大社文書)	789	406	觀応三年八月三〇日	祇園社家記録(二)	802
371	貞和三年四月一七日	足利直義裁許狀(水無瀬神宮文書)	789	407	文和元年一二月二二日	足利義詮寄進狀(前田家所藏古蹟文徴(三))	802
372	貞和三年七月	東福寺領諸庄園文書目録(東福寺文書)	790	408	正平八年五月一日	菅近江守寄進狀写(忌部大宮濫觴記抄)	802
373	貞和三年一二月二八日	佐々木導誓軍勢催促狀(讃岐三木家文書)	790	409	正平八年九月一日	山名時氏寄進狀写(忌部總社大宮神宮寺秘事記)	803
374	貞和四年二月一三日	諏訪部三郎人道信恵代同扶直軍忠狀写(諸家文書・三刀屋文書)	790	410	文和三年三月二八日	国造北島貞孝去渡狀写(千家家文書)	803
375	貞和四年六月一六日	朝山義景書狀(千家家文書)	791	411	正平九年八月九日	土屋秀遠請文(九条家文書)	803
376	貞和四年一〇月八日	守護代吉田嚴覺書下(迎接寺文書)	791	412	正平九年八月二三日	松田秀貞請文(九条家文書)	804
377	貞和四年一〇月八日	光明院本堂立柱上棟記録(大覺寺文書)	791	413	正平九年八月二五日	佐々木秀貞請文(九条家文書)	804
378	貞和五年八月九日	足利直冬書下(安國寺文書)	793	414	文和三年一〇月二二日	足利義詮袖判寄進狀(神門寺文書)	804
379	貞和五年九月八日	足利直冬書下(神魂神社文書)	793	415	文和三年一〇月二三日	足利義詮宛行狀写(朝山系圖勘記)	804
380	貞和五年一二月二四日	室町幕府引付頭人奉書(千家家文書)	794	416	正平一〇年一二月二九日	足利直冬願文写(東寺藏南狩遺文四)	805
381	觀応元年二月一五日	左大臣某書狀(熊野神社文書)	794	417	正平一〇年三月	鰐淵寺大衆条々連署起請文案(鰐淵寺文書)	806
382	觀応元年二月二一日	足利尊氏御判御教書写(忌部總社大宮・神宮寺秘事記)	794	418	正平一〇年六月七日	某揖屋社別火職補任狀(揖夜神社文書)	808
383	正平五年五月六日	照床神社鑑銘写(明治三十五年島根縣神社由緒書)	795	419	正平一〇年六月一六日	太平記(卷三)	818
384	貞和六年八月三〇日	佐陀八人社家中契約狀(古曾志吉岡・弊頭家文書)	795	420	正平一四年二月八日	揖屋莊惣田数注文写(千家古文書写内)	819
385	觀応元年八月	諏訪部貞助軍忠狀写(諸家文書・三刀屋文書)	795	421	正平一四年五月三日	中務大輔某奉書(益田家文書)	819
386	觀応元年八月	北垣光昌軍忠狀(小野家文書)	796	422	正平一四年一〇月二八日	前筑前守(羽田井貞高力)書下(迎接寺文書)	819
387	觀応二年正月	八省御齋会条々(醍醐寺文書)	796	423	正平一八年二月二一日	某袖判証狀(揖夜神社文書)	820
388	正平六年二月一〇日	常陸親王令旨写(忌部大宮濫觴記抄)	797	424	貞治三年九月三〇日	師守記	820
389	貞和七年二月一一日	左近大夫將監義繼寄進狀(千家家文書)	797	425	貞治三年一二月三〇日	足利義詮安堵狀(讃岐三木家文書)	820
390	觀応二年二月一八日	足利直義感狀(讃岐三木家文書)	798	426	貞治四年二月二日	足利義詮御判御教書(神魂神社文書)	820
391	貞和七年二月	小境元智軍忠狀写(萩藩閤閥録)	798	427	貞治四年二月八日	足利義詮御判御教書(神魂神社文書)	821
392	貞和七年二月	小境(伊藤)元智軍忠狀写(萩藩閤閥録)	798	428	貞治四年二月八日	足利義詮御判御教書(内神社文書)	821
393	正平六年三月二二五日	常陸親王令旨写(忌部大宮濫觴記)	798	429	貞治四年四月五日	足利義詮御判御教書(神魂神社文書)	821
394	觀応二年四月五日	足利義詮書下(神魂神社文書)	799	430	貞治四年五月七日	足利義詮御判御教書(神魂神社文書)	821
395	觀応二年五月一八日	僧長円寄進狀(迎接寺文書)	799	431	貞治四年一〇月一〇日	出雲国守護佐々木導誓高氏書下(安國寺文書)	822
396	觀応二年六月一三日	山名時氏奉行人奉書写(諸家文書・三刀屋文書)	799	432	貞治四年一〇月二二五日	出雲時孝讓狀(北島家文書)	822
397	觀応二年八月六日	足利尊氏軍勢催促狀写(佐草家文書)	800	433	貞治四年一〇月	国造北島資孝代時国支狀案(北島家文書)	822
398	觀応二年八月	大野禪覺着到狀(讃岐三木家文書)	800	434	貞治五年一二月一四日	室町幕府引付頭人奉書案(水無瀬神宮文書)	824
399	觀応二年九月八日	足利尊氏軍勢催促狀(讃岐三木家文書)	800	435	貞治五年一二月五日	佐々木導誓高氏遵行狀案(水無瀬神宮文書)	824
400	正平六年九月一八日	後村上天皇綸旨(小野家文書)	800	436	年月日未詳	詞林采葉抄・第六	824
401	觀応二年九月	大野禪覺代子息光盛着到狀(讃岐三木家文書)	801	437	貞治六年三月五日	高真寄進狀(迎接寺文書)	826
				438	貞治六年三月二一日	佐々木高秀書狀写(水無瀬神宮文書)	826

439	貞治六年五月二日	守護代佐々木隠岐入道施行状写（水無瀬神宮文書）	826	476	永徳元年十一月一日	室町幕府御教書案（水無瀬神宮文書）	839
440	貞治六年六月一日	寿阿寄進状（迎接寺文書）	827	477	年月日未詳	新阿弥陀寺註文（迎接寺文書）	839
441	応安元年九月九日	室町幕府御教書（出雲大社文書）	827	478	永徳二年九月二四日	室町幕府御教書（安国寺文書）	840
442	応安元年一〇月一七日	南禅寺造宮方文書渡状（南禅寺文書）	827	479	永徳三年八月三日	和漢朗詠集（神門寺所蔵）	840
443	応安元年十一月八日	大津清重・山田勝秀連署書状（神魂神社文書）	828	480	永徳四年正月一日	出雲孝綱田地去状写（千家家古文書写丙）	840
444	応安二年二月一日	佐々木高秀施行状（出雲大社文書）	828	481	至徳元年九月二日	室町幕府御教書（小野家文書）	841
445	応安二年三月一日	山田勝秀・大津清宗連署奉書（青本家文書）	828	482	〔至徳二年〕三月一日	布志名宗清書状（高野山文書）	841
446	応安二年二月	黒漆御供台裏銘（佐太神社所蔵）	829	483	至徳二年四月二七日	室町幕府御教書（成相寺文書）	842
447	応安二年二月一三日	権檢校出雲經孝壳券写（千家家古文書写乙）	829	484	至徳二年二月二六日	国造千家直国安堵状（千家家文書）	842
448	応安三年二月九日	高資寄進状（迎接寺文書）	830	485	至徳二年二月二六日	出雲国孝安堵状（千家家文書）	842
449	応安三年二月九日	高資寄進状（迎接寺文書）	830	486	〔嘉慶元年〕八月二二日	沙弥自勝書状案（九条家文書）	842
450	応安三年二月三日	国造千家孝宗宛行状（平岡家文書）	830	487	嘉慶二年五月二五日	太政官牒（東福寺文書）	843
451	年月日未詳	知覚庵開山大道和尚行状	831	488	嘉慶二年五月二五日	官宣旨（東福寺文書）	843
452	応安四年八月	大野貞成着到状（讃岐三木家文書）	831	489	嘉慶二年五月二五日	官宣旨（東福寺文書）	844
453	応安四年二月一九日	国造出雲孝宗讓状（千家家文書）	831	490	嘉慶二年七月一〇日	常樂記	844
454	年未詳五月二一日	佐々木導書書状案（九条家文書）	832	491	明徳二年九月二八日	西大寺末寺帳（極楽寺文書）	845
455	応安六年八月	隠岐氏俊寄進状（迎接寺文書）	832	492	明徳二年一〇月一一日	常樂記	845
456	応安六年一〇月一七日	出雲国守護佐々木高秀書下（安国寺文書）	832	493	明徳二年一〇月一一日	明徳記（後鑑）	845
457	応安六年一二月二一日	出雲国守護佐々木高秀書下（安国寺文書）	833	494	明徳二年一〇月一一日	竹中貞昌讓状（多久和文書）	846
458	応安七年一月一一日	惣社造宮棟札写（国代考証 所収文書）	833	495	明徳二年二月二一日	向秀孝讓状（千家家文書）	846
459	応安七年五月四日	出雲国守護佐々木高秀書下（安国寺文書）	833	496	明徳三年四月五日	山名久太書下（平林家文書）	847
460	応安七年五月一三日	守護代隠岐氏俊遵行状（安国寺文書）	833	497	明徳三年一〇月八日	隠岐守某施行状（平岡家文書）	847
461	応安七年	国府尾八幡棟札写（国代考証 所収文書）	834	498	明徳三年一〇月二六日	西堂聖璨請文（九条家文書）	847
462	年月日未詳	類聚既驗抄	834	499	明徳三年	相国寺供養記	847
463	永和三年三月一〇日	某書下（迎接寺文書）	835	500	明徳四年三月一六日	某寄進状写（熊野神社文書）	849
464	永和三年一〇月二〇日	沙弥自勝請文（内神社文書）	835	501	応永二年一〇月二一日	宝光寺開山門徒中掟書（迎接寺文書）	849
465	永和五年三月	守護佐々木高秀禁制（安国寺文書）	836	502	応永二年一二月一三日	遠永補任状（迎接寺文書）	849
466	康暦元年三月	出雲国司庁宣（神門寺文書）	836	503	応永三年二月九日	成相寺置文（成相寺文書）	850
467	康暦元年四月	守護佐々木高秀袖判禁制（迎接寺文書）	836	504	応永三年六月	覚祐申状（迎接寺文書）	850
468	康暦元年五月二七日	足利義満袖判下文写（朝山系図勘記）	836	505	応永四年二月四日	足利義満寄進状（三宝院文書）	851
469	康暦二年正月二〇日	鹿苑院殿御直衣始記	837	506	応永八年五月三日	後愚昧記	851
470	康暦二年九月五日	〔参考〕東福寺誌	837	507	応永八年六月八日	康富記	852
471	康暦二年一二月二五日	花宮三代記	837	508	応永九年八月	惣檢校紀高義置文（青木家文書）	852
472	康暦三年正月七日	花宮三代記	838	509	応永一〇年六月一七日	後小松天皇口宣案（狩野家文書）	852
473	康暦三年二月二九日	守護代道彭安堵状（安国寺文書）	838	510	応永一〇年九月九日	西岩坂村桑並志多備神社棟札写（明治三十五年島根県神社由緒書）	852
474	永徳元年三月一一日	さかくく花上	838	511	応永一〇年九月九日	足利義満御判御教書案（山田聖栄日記）	853
475	永徳元年七月一八日	後円融天皇綸旨写（水無瀬神宮文書）	839				

512	応永一年六月二九日	旧典類聚 ^{二十一} 下 東目西目由来記	853	548	永享三年四月	大日堂鰐口銘（松江市八雲町西岩坂大日地区所蔵）	869
513	応永一年一月一七日	平浜八幡宮正殿棟札写（青木家文書）	854	549	永享三年九月二二日	室町幕府奉行人奉書写（御前落居奉書）	870
514	応永二年一月一二日	名僧行録 ^四 栗棘門下	854	550	永享六年二月九日	千家高国安堵状（秋上家文書）	870
515	応永二年一月一二日	九峯和尚伝	854	551	年月日未詳	海山佳処（東海瓊華集）	870
516	応永二年一月一二日	本朝高僧伝 ^{三十七} 京兆南禅寺沙門韶奏伝	854	552	年月日未詳	謝華藏咲岩和尚惠布（東海瓊華集）	871
517	応永二年一月一二日	九峰奏首座住華藏山門疏（無規矩坤）	855	553	年月日未詳	謝華藏咲岩和尚惠布（東海瓊華集）	871
518	応永二年一月一二日	江湖 奉九峰住東福（峨眉鳴集）	855	554	年月日未詳	剛首座住雲州安国寺諸山疏（惟肖巖禪師疏）	871
519	応永三年六月三日	伊原義次讓状（湯原家旧記2）	856	555	年月日未詳	笑山闇首座住雲州華藏江湖疏（惟肖巖禪師疏）	872
520	応永三年七月五日	室町幕府御教書（東寺文書 數十—十三）	856	556	永享九年九月二二日	狩野円明讓状写（狩野家文書）	872
521	応永三年七月五日	室町幕府御教書（東寺百合文書）	856	557	永享一〇年九月一三日	朝山昌景母祈禱状写（惠曇神社文書）	873
522	応永三年七月五日	佐々木数綱申状案（東寺百合文書）	856	558	永享一〇年	片句浦惠比寿神社御神体墨書写 （明治三十五年島根県神社由緒書）	873
523	応永一四年	湯原家旧記	857	559	永享一年二月二二日	痰氏碧信宗等寄進状（弘長寺旧藏文書）	873
524	応永一六年八月	東寺雜掌申状（東寺百合文書）	857	560	永享一年三月三日	若宮榮藤田地寄進状（売布神社文書）	874
525	応永一八年六月一日	太宗恭定大王実録 ^{二十一}	857	561	永享一年三月一八日	東福寺領出雲末次庄給主・公文・名主等 連署起請文案（東福寺文書）	874
526	応永一九年八月	本朝皇胤紹運録	858	562	永享一年五月二四日	蔭涼軒日録	875
527	応永一九年九月一日	室町幕府管領奉書案（東寺百合文書）	858	563	永享二年九月二二日	某感状写（惠曇神社文書 明治三十五年島 根県神社由緒書）	875
528	応永一九年一〇月	東寺雜掌重申状案（東寺百合文書）	859	564	嘉吉元年三月四日	足利義教御判御教書（東福寺文書）	875
529	応永一九年	杵築大社造営覚書（佐草家文書）	859	565	嘉吉元年一〇月二八日	北島幸孝讓状（北島家文書）	876
530	応永二〇年八月一九日	常樂記	860	566	嘉吉二年八月一五日	杵築大社両国造神官系譜（千家家文書）	876
531	応永二〇年一〇月一七日	鳥居僧都道秀処分状（潮崎八百主文書）	861	567	嘉吉二年九月二八日	佐太神社境内出土鰐口銘（佐太神社所蔵）	877
532	年未詳 二月二一日	京極高光書状（九条家文書）	861	568	嘉吉二年二月三日	室町幕府御教書（東福寺文書）	877
533	応永二二年六月二一日	杵築大社遷宮入目日記案（千家古文書写丙）	861	569	嘉吉三年六月一日	秋上秀尊讓状（秋上家文書）	877
534	応永二二年六月	大草郷坪付（秋上家文書）	862	570	嘉吉三年六月一八日	直經讓状写（千家古文書写丙）	878
535	応永二二年一〇月二三日	竹下幸満起請文（千家家文書）	862	571	嘉吉三年六月	北島高孝袖判安堵状（秋上家文書）	878
536	応永二二年二月二六日	狩野某讓状写（狩野家文書）	863	572	文安元年六月九日	東福寺領出雲末次庄領家方年不開田数注文 （東福寺文書）	878
537	〔応永二四年〕 一一月一三日	北島資孝・佐草泰信連署書状（秋上家文書）	863	573	文安元年八月晦日	沙弥賢中讓状写（千家古文書写丙）	879
538	応永二四年一月二一日	国造北島資孝讓状（北島家文書）	863	574	文安元年九月	平浜八幡宮惣檢校分田畠注文（青木家文書）	879
539	応永二六年九月八日	室町幕府御教書（出雲大社文書）	864	575	文安二年一二月一七日	京極持清書下（安国寺文書）	880
540	応永二七年五月二〇日	室町將軍足利四家御教書案（東福寺文書）	864	576	文安五年五月二六日	基恒日記	881
541	応永三〇年五月	柳原宮雜掌定勝申状案（山科家古文書）	865	577	文安五年九月一五日	康富記	881
542	応永三〇年九月一二日	〔参考〕 慧日山 東福禅寺住持歴代	866	578	文安六年二月九日	朝山禅朝讓状写（朝山系図勘記）	881
543	応永三一年七月一〇日	千家北島両国造連署契約状（北島家文書）	866	579	文安六年三月二八日	国造千家高国讓状（千家家文書）	882
544	応永三二年九月三〇日	看聞日記	866	580	文安六年四月八日	京極持清書状（安国寺文書）	882
545	正長二年九月	朝山清綱申状（京大・朝山文書）	867	581	文安年中	室町幕府結番帳案（蜷川家文書）	882
546	永享二年三月一八日	国造千家高国知行宛行状（折紙、佐草家文書）	867	582	宝徳二年一〇月八日	木造神馬胎内銘（平浜八幡宮所蔵）	883
547	永享二年三月一八日	杵築大社三月会一番饗（一番饗神物引付 （北島家文書）	867				

583	享徳元年一月一五日	出雲守護京極持清寄進状（出雲大社文書）	583	619	文正二年二月	海東諸国紀	897
584	享徳二年三月一日	北島方分秋上知行大庭田畠等目録写（秋上家文書）	884	620	室町末期	釣舟	897
585	享徳二年三月一日	浄音寺分田地注文案（秋上家文書）	884	621	応仁元年一〇月一八日	国造千家直信寄進状（千家家文書）	898
586	享徳二年三月一日	浄音寺分田地注文案（秋上家文書）	885	622	応仁元年	海東諸国紀（史料編纂所影印）	898
587	享徳二年八月九日	出雲守護京極持清安堵状（神魂神社文書）	885	623	応仁二年七月二八日	京極生觀感状（切紙、佐々木文書）	899
588	康正元年四月二八日	出雲守護京極持清安堵状（神魂神社文書）	885	624	応仁二年九月一日	京極生觀感状（切紙、佐々木文書）	899
589	〔享徳四年〕閏四月一七日	京極持清書状（安国寺文書）	886	625	応仁二年一〇月一日	京極生觀感状（切紙、佐々木文書）	900
590	享徳四年八月九日	京極持清書下（安国寺文書）	886	626	応仁二年一〇月二〇日	京極生觀感状（切紙、佐々木文書）	900
591	康正二年二月二三日	京極持清書下（安国寺文書）	886	627	応仁二年一〇月二三日	京極生觀感状（切紙、佐々木文書）	900
592	康正二年四月一五日	東福寺領出雲末次庄年貢算用状（東福寺文書）	886	628	〔応仁二年〕一〇月二三日	京極生觀感状（切紙、佐々木文書）	901
593	康正二年六月三〇日	京極持清書下（安国寺文書）	887	629	〔応仁二年〕一一月二二日	京極生觀感状（切紙、佐々木文書）	901
594	康正二年七月二六日	足利義政御判御教書（東福寺文書）	887	630	〔応仁二年〕一一月二二日	京極生觀感状（切紙、佐々木文書）	901
595	康正三年五月二九日	將軍義政公大将御拝賀記（彰考館所蔵典籍）	887	631	応仁二年一二月二九日	京極生觀感状（切紙、佐々木文書）	902
596	長禄二年八月二四日	東福寺領出雲末次庄年貢錢送文（東福寺文書）	889	632	文明元年九月二二日	京極生觀感状（切紙、佐々木文書）	902
597	長禄二年八月二五日	蔭涼軒日録	889	633	〔文明二年〕四月一六日	京極生觀書状案（切紙、佐々木文書）	903
598	長禄二年九月二九日	蔭涼軒日録	889	634	〔文明二年〕四月二三日	京極生觀書状案（切紙、佐々木文書）	903
599	長禄二年一〇月二二日	室町幕府御教書（安国寺文書）	889	635	〔文明二年〕四月二五日	京極生觀書状（切紙、佐々木文書）	903
600	〔長禄二年〕一二月二二日	蔭涼軒日録	890	636	〔文明二年〕四月二六日	京極生觀書状（切紙、佐々木文書）	904
601	長禄二年	京極持清書状（安国寺文書）	890	637	〔文明二年〕四月二六日	京極生觀書状（切紙、佐々木文書）	904
602	長禄三年四月二一日	海東諸国紀（史料編纂所影印）	890	638	〔文明二年〕四月二六日	京極生觀書状（切紙、佐々木文書）	904
603	長禄三年九月二四日	足利義政御判御教書（東福寺文書）	890	639	〔文明二年〕六月二日	京極生觀書状（切紙、佐々木文書）	905
604	寛正二年二月二八日	蔭涼軒日録	891	640	文明二年六月二日	京極生觀書状（切紙、佐々木文書）	905
605	寛正二年三月二三日	矢野高久田地売券（秋上家文書）	891	641	文明二年一二月一六日	秋上栄国知行付立（秋上家文書）	905
606	寛正二年五月二二日	矢野国泰・宮原高久連署屋敷売券（秋上家文書）	892	642	文明三年三月二三日	〔参考〕金蔵山豊龍寺過去帳写（豊龍寺文書）	906
607	寛正二年七月五日	国造千家持国讓状（千家家文書）	892	643	文明三年七月八日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	907
608	寛正二年九月一五日	菅井直房畠地売券（秋上家文書）	892	644	文明三年七月八日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	907
609	寛正三年四月四日	蔭涼軒日録	893	645	文明三年七月八日	室町幕府奉行人連署奉書（日御碕神社文書）	907
610	寛正三年三月二三日	臥雲日件録	893	646	文明三年九月二一日	京極政高感状（切紙、佐々木文書）	908
611	寛正五年七月二〇日	京極氏奉行人連署奉書（出雲朝山家文書）	894	647	文明三年一〇月九日	某書状（佐々木文書）	908
612	寛正五年一月一一日	某安堵状（京大・朝山文書）	894	648	文明三年	海東諸国紀・日本本国之図（史料編纂所影印）	908
613	寛正六年二月二〇日	直信売券（秋上家文書）	894	649	文明四年正月	山科家礼記	908
614	寛正六年九月二九日	親基日記	894	650	文明四年三月二〇日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	909
615	寛正六年一月一一日	多賀清忠寄進状（大徳寺文書）	895	651	文明四年三月二〇日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	910
616	寛正六年一月一五日	多賀清忠置文（大徳寺文書）	895	652	文明四年三月二〇日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	910
617	文正元年閏二月二一日	親基日記	896	653	文明四年三月二〇日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	910
618	文正元年三月一〇日	蔭涼軒日録	897			室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	910

654	文明四年三月二〇日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	910	686	〔文明八年〕五月二日	京極政高 経政 書狀（切紙、佐々木文書）	920
655	文明四年三月二〇日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	911	687	文明八年五月一日	京極政高 経政 書狀（切紙、佐々木文書）	920
656	文明四年三月二〇日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	911	688	文明八年二月二日	宮富綱泰田地売券（秋上家文書）	921
657	文明四年三月二〇日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	911	689	文明八年二月二日	山科家領所々年貢注文案（『山科家礼記』文明九年二月十六日条）	921
658	文明四年三月二〇日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	912	690	文明九年二月九日	多賀秀長寄進狀（大徳寺文書）	922
659	文明四年三月二〇日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	912	691	文明九年二月一六日	山科家礼記	922
660	文明四年三月二〇日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	912	692	文明一〇年三月一五日	足利義政御判御教書（東福寺文書）	922
661	文明四年三月二〇日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	912	693	文明一〇年三月一五日	室町幕府奉行人連署奉書（九条家文書）	922
662	文明四年三月二〇日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	913	694	文明一〇年三月一五日	室町幕府奉行人連署奉書（九条家文書）	923
663	文明四年三月二〇日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	913	695	文明一〇年五月四日	蜷川親元日記 六	923
664	文明四年六月九日	室町幕府奉行人連署奉書（折紙、日御碕神社文書）	913	696	年月日未詳	末次莊政所元朔書狀包紙（九条家文書）	923
665	文明四年六月九日	室町幕府奉行人連署奉書案（『山科家礼記』文明四年六月三日条）	914	697	文明一一年三月	清水寺再興奉加帳（成就院文書）	923
666	文明四年六月九日	室町幕府奉行人連署奉書案（『山科家礼記』文明四年六月一三日条）	914	698	文明一一年八月二六日	京極政経安堵狀（佐々木文書）	925
667	文明四年六月一日	伊志見郷代官職補任狀案（『山科家礼記』文明九年二月一六日条）	914	699	文明一二年正月二〇日	平浜別宮掟写（青木家文書）	925
668	文明四年六月一日	山科家大原久守書下案（『山科家礼記』文明九年二月一六日条）	915	700	文明一二年三月二二日	山科家礼記	926
669	文明五年二月一日	出雲守護京極政高安堵狀（小野家文書）	915	701	文明一二年四月八日	国造北島高孝袖判宛行狀（竹下家文書）	926
670	文明五年八月一六日	室町幕府奉行人連署奉書写（法王寺文書）	915	702	文明一二年四月二八日	国造北島高孝袖判宛行狀（秋上家文書）	926
671	〔文明六年〕五月七日	京極政高書狀（切紙、佐々木文書）	915	703	文明一二年十一月一日	山科家礼記	927
672	〔文明六年〕五月七日	京極政高書狀（切紙、佐々木文書）	916	704	文明一三年正月	兼邦百首歌抄	928
673	〔文明六年〕五月七日	京極政高書狀（切紙、佐々木文書）	916	705	文明一三年五月二二日	親元日記	931
674	文明六年一〇月二〇日	政所賦銘引付	916	706	文明一三年五月二八日	湯彦五郎寄進狀写（忌部總社大宮神宮寺秘事記）	931
675	文明六年一〇月二〇日	京極氏奉行人連署奉書（切紙、佐々木文書）	916	707	文明一三年八月	国造北島高孝知行宛行狀（切紙、秋上家文書）	931
676	文明六年一〇月二〇日	京極政高書狀（佐々木文書）	917	708	文明一三年八月	国造北島高孝宛行狀（竹下家文書）	932
677	文明六年一〇月二〇日	京極政高書狀（佐々木文書）	917	709	文明一四年正月二四日	宮富秀頼屋敷売券（秋上家文書）	932
678	文明六年一〇月二〇日	京極政高書狀（佐々木文書）	918	710	文明一四年五月一〇日	中兼孝売券（秋上家文書）	932
679	文明六年一〇月二〇日	京極氏奉行人連署奉書（モト折紙力、佐々木文書）	918	711	文明一四年五月一九日	室町幕府奉行人連署奉書案（切紙、佐々木文書）	933
680	〔文明七年〕正月一〇日	狩野資秀置文写（狩野家文書）	918	712	文明一四年五月二三日	室町幕府奉行人連署奉書案（佐々木文書）	933
681	〔文明七年〕一〇月一七日	京極政高書狀（切紙、佐々木文書）	919	713	文明一五年五月二三日	親元日記	933
682	〔文明七年〕一〇月一七日	京極政高書狀（切紙、佐々木文書）	919	714	文明一六年一〇月	常徳院集	934
683	〔文明八年〕三月二七日	京極政高書狀（切紙、佐々木文書）	919	715	文明一六年一〇月	補菴京華別集 招春陽西堂詩有序	934
684	〔文明八年〕四月二九日	京極政高書狀（切紙、佐々木文書）	920	716	文明一七年六月二九日	薩涼軒日記	934
685	文明八年四月二九日	京極政高書狀（切紙、佐々木文書）	920	717	文明一七年七月一日	薩涼軒日記	934
				718	文明一七年七月二日	薩涼軒日記	935
				719	文明一七年七月二七日	親元日記	935
				720	文明一七年八月一日	親元日記	935
				721	文明一七年九月三日	薩涼軒日記	935
				722	文明一七年九月一〇日	薩涼軒日記	936

7 2 3	文明一七年九月一五日	蔭涼軒日録……………	9 3 7
7 2 4	文明一七年一〇月一八日	親元日記……………	9 3 7
7 2 5	文明一七年一〇日	揖屋村金比羅神社縁起写（明治三十五年島根県神社由緒書）……………	9 3 7
7 2 6	〔文明一八年〕一二月一日	大庭内佐草知行田畠注文写（切紙、佐草家文書）……………	9 3 8
7 2 7	〔文明一八年〕一二月一日	大庭内佐草知行田畠注文写（佐草家文書）……………	9 3 9
7 2 8	〔文明一八年〕一二月一日	大庭内佐草分田畠坪付注文（切紙、佐草家文書）……………	9 4 0
7 3 0	〔文明一八年〕一二月一日	大庭内佐草分田地注文写（佐草家文書）……………	9 4 1
7 3 1	〔文明一八年〕一二月一日	大庭内佐草分畠注文写（佐草家文書）……………	9 4 1
7 3 2	文明一九年四月二日	蔭涼軒日録……………	9 4 1
7 3 3	長享元年九月一二日	長享元年九月十二日常徳院殿様江州御動座當時在陣衆着到……………	9 4 1
7 3 3	年月日未詳	出雲国島根郡西長田郷所領目録写（毛利家文庫諸臣証文・多胡家）……………	9 4 2

史料編4 中世Ⅱ 目次

発行にあたって 松江市長 松浦正敬

細目次 3

凡例 8

史料 9

史料解題 10

花押一覧 9

松江市史編纂関係者名簿 9

史料提供者・協力者一覧 9

細目次

7 3 4 長享二年八月一日 上東川津村新宮三所権現棟札写 9

7 3 5 長享二年八月一日 上東川津村熊野三所権現棟札写 9

7 3 6 延徳元年一月二日 八郎大夫・六郎太郎連署田島壳券(秋上家文書) 9

7 3 7 延徳元年月日未詳 清泉寺々領目録(大徳寺文書) 9

7 3 8 延徳二年二月一日 佐草泰信讓状(佐草家文書) 9

7 3 9 延徳二年三月二日 熊野神社養蚕社棟札写(熊野大杜所蔵) 9

7 4 0 延徳二年春 絹本着色尼子経久画像賛(松江・洞光寺所蔵) 9

7 4 1 延徳二年五月 延徳御八講記 9

7 4 2 延徳二年閏八月一日 同書記録 9

7 4 3 延徳二年九月三日 足利義植御判御教書(軸子、東福寺文書) 9

7 4 4 延徳二年九月三日 東福寺領諸莊園目録(軸子、東福寺文書) 9

7 4 5 延徳二年九月三日 佐草泰信讓状案(佐草家文書) 9

7 4 6 延徳二年二月二日 佐草知行分田島坪付(折紙、佐草家文書) 9

7 4 7 延徳二年二月二日 佐草泰信・同新六讓状(佐草家文書) 9

7 4 8 延徳二年二月二日 秋上益綱誓約状(佐草家文書) 9

7 4 9 延徳二年三月一日 佐草泰信書状案(佐草家文書) 9

7 5 0 延徳三年五月二日 山科家礼記 9

7 5 1 延徳三年五月二日 山科家礼記 9

7 5 2 明応二年一月二日 北島利孝証文(秋上家文書) 1

7 5 3 明応二年二月二日 室町幕府奉行人連署奉書(出雲朝山文書) 1

7 5 4 明応四年正月一日 松浦道念寄進状(賣布神社文書) 1

7 5 5 明応四年三月一日 佐陀大杜縁起(神宮文庫所蔵) 1

7 5 6 明応四年六月一日 佐草泰信・同新六連署田島壳券案(佐草家文書) 1

7 5 7 年月日未詳 佐草泰信・同新六連署田地坪付案(佐草家文書) 1

7 5 8 年月日未詳 佐草泰信・同新六連署田地坪付案(佐草家文書) 1

7 5 9 明応四年九月二日 鳥屋重孝書状(秋上家文書) 1

7 6 0 明応四年十一月一日 国造千家高俊讓状(千家家文書) 1

7 6 1 明応五年四月二日 室町幕府奉行人連署奉書(折紙、出雲朝山文書) 1

7 6 2 明応五年六月一日 海崎村天神社棟札写(美保神社文書) 1

7 6 3 明応五年九月一日 弘長寺文書目録(弘長寺文書) 1

7 6 4 明応六年七月三日 日置政継讓状(日御碕神社文書) 1

7 6 5 明応八年九月二日 宗慶証状(賣布神社文書) 1

7 6 6 明応年中 新撰類聚往来下 1

7 6 7 文龜三年二月二日 延喜式神名帳頭注 1

7 6 8 永正元年一月二日 宮富与四郎田地壳券(秋上家文書) 1

7 6 9 永正元年一月二日 宮富与四郎田地壳券(秋上家文書) 1

7 7 0 永正二年六月六日 秋上経重寄進状(迎接寺文書) 1

7 7 1 永正三年八月一日 尼子経久寄進状写(忌部総社大宮神宮寺秘事記) 1

7 7 2 永正三年八月一日 京極政経書状(秋上家文書) 1

7 7 3 永正五年三月三日 宝光寺領目録(迎接寺文書) 1

7 7 4 永正六年五月一日 実隆公記 1

7 7 5 永正七年三月一日 井上隼人・同家長連署壳券(成相寺文書) 1

7 7 6 永正七年三月一日 井上隼人・同家長連署壳券(成相寺文書) 1

7 7 7 永正七年八月 中清知行書立写(千古古文書写丙) 1

7 7 8 永正七年十一月一日 二子村地神社棟札写(明治三十五年島根神社由緒書) 1

7 7 9 永正七年十一月一日 井上隼人・同家長連署壳券(成相寺文書) 1

7 8 0 永正八年四月吉日 上東川津村熊野三所権現棟札写(享保十二年島根郡上川津村・下川津村神社差出帳) 1

7 8 1 永正八年十一月二日 大草郷六所神社遷宮次第第写(千古古文書写乙) 1

7 8 2 永正九年三月一日 坪和家重・寺津家盛連署証状(成相寺文書) 1

7 8 3 永正九年五月八日 佐陀社頭覽書断簡(宮川家文書) 1

7 8 4 永正一〇年三月二日 富重孝・林孝秀連署神田壳券案(富家文書・島根県教育委員会) 1

7 8 5 永正一〇年九月二日 報恩寺友福契約状(富家文書・島根県教育委員会) 1

7 8 6 年月日未詳 大館常興書札抄 1

7 8 7 永正一一年五月二日 後柏原天皇口宣案写(九条家文書朝山家伝) 1

7 8 8	永正二年六月五日	平浜八幡宮造立入目注文写(青木家文書)……	1 2 4	8 2 4	大永四年一月一九日	北島雅孝証文(秋上家文書)……	1 4 8
7 8 9	永正二年六月二八日	平浜八幡宮棟札銘写(平浜八幡宮文書)……	1 2 4	8 2 5	大永五年六月	秋上孝国置文(秋上家文書)……	1 4 8
7 9 0	永正三年七月	親孝日記……	1 2 5	8 2 6	大永五年七月二六日	神魂社目銭算用状(秋上家文書)……	1 4 9
7 9 1	永正四年一月五日	守光公記……	1 2 5	8 2 7	大永六年二月	下川津村羽黒権現社棟札写 (宝永三年秋鹿・島根両郡神社書出帳)……	1 4 9
7 9 2	永正四年一月二三日	宮迫四郎衛門他三名連署売券(成相寺文書)……	1 2 5	8 2 8	大永六年一月二一日	御湯殿上日記……	1 4 9
7 9 3	永正四年四月未詳	湯町村八幡宮棟札写(根県神社由緒書) ……	1 2 6	8 2 9	大永七年八月二八日	永平寺比丘以貫書状(豊龍寺文書)……	1 4 9
7 9 4	永正五年三月一三日	庄原村下庄原佐支多神社棟札写 (明治三十五年島根県神社由緒書)……	1 2 6	8 3 0	大永七年八月二八日	美浦村八幡宮棟札写(明治十七年社寺 宝物文書目録)……	1 5 0
7 9 5	永正五年一月	客神社棟札銘写(美保神社文書)……	1 2 6	8 3 1	大永七年一月九日	御湯殿上日記……	1 5 0
7 9 6	永正六年四月一五日	杵築大社社頭定条々(千家家文書)……	1 2 7	8 3 2	大永七年 年月日未詳	永享以来御番帳……	1 5 0
7 9 7	永正六年四月晦日	永正年中大社造営・遷宮次第(千家家文書) ……	1 2 7	8 3 3	大永七年月日未詳	神祇拾遺……	1 5 0
7 9 8	永正七年閏六月	杵築大社旧記断簡(千家家文書)……	1 3 0	8 3 4	大永七年月日未詳	手結津上神社棟札写(明治三十五年島 根県神社由緒書)……	1 5 1
7 9 9	永正七年一〇月	千家豊俊旧記(千家家文書)……	1 3 0	8 3 5	享祿元年八月	家原勝重寄附帖序写(内神社縁起書所収文書) ……	1 5 1
8 0 0	永正七年一〇月	千家豊俊旧記写(千家家文書)……	1 3 1	8 3 6	享祿元年一〇月二五日	御湯殿上日記……	1 5 1
8 0 1	永正七年一月一三日	善等誓書(秋上家文書)……	1 3 2	8 3 7	享祿二年四月吉日	平浜八幡宮大鳥居銘写(平浜八幡宮文書) ……	1 5 2
8 0 2	永正八年正月一五日	太郎左衛門尉家氏讓状(竹下家文書)……	1 3 2	8 3 8	享祿二年一月七日	宍道久俊安堵状(沖洲八幡宮文書)……	1 5 2
8 0 3	永正一八年四月二二日	北島雅孝書状(秋上家文書)……	1 3 2	8 3 9	享祿三年二月一〇日	塩治興久安堵状(切紙、成相寺文書)……	1 5 2
8 0 4	年未詳一月一三日	尼子経久書状写(千家古文書写乙)……	1 3 3	8 4 0	享祿三年五月五日	多胡久愛寄進状写(毛利家文庫諸臣証文・多胡家・ 尼子経久袖判多胡久愛預々状写 (毛利家文庫諸臣証文・多胡家)……	1 5 2
8 0 5	年月日未詳	某覚書(中川文書)……	1 3 3	8 4 1	享祿三年五月一三日	御湯殿上日記……	1 5 3
8 0 6	大永二年正月吉日	本宮神社所蔵太刀銘……	1 3 4	8 4 2	享祿三年五月一三日	鞍智久信寄進状(賣布神社文書)……	1 5 4
8 0 7	大永二年二月	岩屋寺快日記(岩屋寺旧蔵・鳥取県立博物館) ……	1 3 4	8 4 3	享祿三年七月吉日	細川両家記(後鑑卷二百九十六)……	1 5 4
8 0 8	大永二年六月二日	杵築大社三月会相撲頭神物注文(千家家文書) ……	1 3 5	8 4 4	享祿三年八月二七日	龜井秀綱書状(切紙、秋上家文書)……	1 5 4
8 0 9	大永二年六月二二日	足利義晴御判御教書(軸子、東福寺文書)……	1 4 0	8 4 5	享祿三年一〇月一三日	御湯殿上日記……	1 5 5
8 1 0	大永二年六月二八日	清水給田坪付帳(秋上家文書)……	1 4 0	8 4 6	享祿三年一月七日	鞍智久信寄進状(折紙、賣布神社文書)……	1 5 5
8 1 1	大永二年二月八日	尼子経久書状写(富家文書・島根県教育委員会) ……	1 4 1	8 4 7	享祿四年四月六日	河副重信書状(秋上家文書)……	1 5 5
8 1 2	大永三年三月九日	北島雅孝書状(モト折紙力、秋上家文書)……	1 4 1	8 4 8	享祿四年四月一六日	美保神社太鼓銘写(明治十七年社寺宝物文書目録) 御湯殿上日記……	1 5 6
8 1 3	大永三年三月一五日	三村久孝・同家定連署証文(秋上家文書)……	1 4 1	8 4 9	享祿四年九月一八日	北島雅孝書状(切紙、秋上家文書)……	1 5 6
8 1 4	大永三年六月一三日	経尋記九(寺院雜要抄六・内閣文庫所蔵)……	1 4 2	8 5 0	享祿四年十一月二四日	宍道久俊安堵状(沖洲八幡宮文書)……	1 5 7
8 1 5	大永三年七月六日	長寿開祖雜実録 円光国師生縁……	1 4 2	8 5 1	年未詳二月五日	北島雅孝安堵状(秋上家文書)……	1 5 7
8 1 6	大永三年二月九日	北島雅孝書状(秋上家文書)……	1 4 2	8 5 2	享祿五年三月二六日	北島雅孝書状(秋上家文書)……	1 5 7
8 1 7	年月日未詳	秋上氏由緒断簡(秋上家文書)……	1 4 2	8 5 3	天文二年一〇月八日	北島雅孝書状(秋上家文書)……	1 5 8
8 1 8	年月日未詳	天淵八又大蛇記(内神社文書)……	1 4 4	8 5 4	天文二年一〇月八日	尼子詮久書状写(毛利家文庫諸臣証文・多胡家・ 出雲紀行(東京大学史料編纂所蔵)……	1 5 8
8 1 9	大永四年三月五日	国造北島雅孝讓状(北島家文書)……	1 4 6	8 5 5	天文三年四月一六日	阿弥陀如来坐像胎内銘(弘長寺所蔵)……	1 6 4
8 2 0	大永四年四月一九日	日御崎社修造勸進簿(日御崎神社文書)……	1 4 6	8 5 6	天文三年初秋	毛利隆元感状写(小切紙、劍持家文書)……	1 6 8
8 2 1	大永四年六月八日	龜井秀綱寄進状(迎接寺文書)……	1 4 7	8 5 7	天文三年九月吉日	……	……
8 2 2	大永四年六月八日	龜井秀綱寄進灌頂道具注文(迎接寺文書)……	1 4 7	8 5 8	天文三年九月	……	……
8 2 3	大永四年六月八日	両界曼陀羅銘文案(迎接寺文書)……	1 4 8				

859	天文三年一〇月一四日	御湯殿上日記……………	168	896	天文八年一〇月一八日	与四郎証文（秋上家文書）……………	183
860	天文三年一〇月吉日	足高大明神縁起写（家原文書）……………	168	897	天文八年一〇月吉日	加茂若宮神社棟札（加茂神社所蔵）……………	184
861	天文四年四月二五日	湯原為重田地売券（小野家文書）……………	169	898	天文八年一二月一一日	証如上人日記……………	185
862	〔天文五年〕三月一四日	湯原幸清・河副久盛連署書狀（ （切紙、吉川家文書） ）……………	169	899	天文八年一二月二二日	御湯殿上日記……………	185
863	〔天文五年〕四月二三日	湯原幸清・河副久盛連署書狀（ （切紙、吉川家文書） ）……………	170	900	天文八年一二月二五日	湯原幸清禁制（法光寺文書）……………	185
864	〔天文五年〕七月二七日	湯原幸清・河副久盛連署書狀（吉川家文書）……………	172	901	天文八年一二月三〇日	鹿苑日記……………	186
865	天文五年一〇月一十九日	御湯殿上日記……………	172	902	年月日未詳	玉塵（卷二十六）（卷七）……………	186
866	天文五年閏一〇月一〇日	尼子詮久署判和歌（秋上家文書）……………	173	903	年月日未詳	詩学大成抄 第二冊（市立米沢図書館）……………	187
867	天文六年三月六日	鳥屋秀重奉書写（富家文書・島根県教育委員会）……………	173	904	年月日未詳	中興禪林風月集抄（京都府立総合資料館）……………	187
868	天文六年五月一九日	永平寺比丘以貫書狀（豊龍寺文書）……………	173	905	天文九年五月五日	鹿苑日記……………	187
869	天文六年六月三日	高浜秀孝書狀（秋上家文書）……………	174	906	天文九年五月一〇日	大館常興日記……………	187
870	天文六年八月二五日	幡垣主目誓書写（吉岡家文書）……………	174	907	天文九年五月一七日	大館常興日記……………	188
871	年未詳八月三〇日	佐陀社神官等申狀写（吉岡家文書）……………	174	908	天文九年五月二三日	大館常興日記……………	188
872	天文六年九月一日	御湯殿上日記……………	175	909	天文九年五月二四日	大館常興日記……………	188
873	〔天文六年〕九月七日	永平寺宗縁書狀（豊龍寺文書）……………	175	910	天文九年五月二五日	大館常興日記……………	188
874	天文七年四月四日	鹿苑日記……………	175	911	〔天文九年〕六月二五日	証如上人日記……………	189
875	天文七年四月八日	木像十一面観音立像墨書銘（ （松江市玉湯町 報恩寺所蔵） ）……………	176	912	天文九年七月一七日	国造北島雅孝安堵状（秋上家文書）……………	190
876	天文七年四月一〇日	鹿苑日記……………	176	913	天文九年八月一日	竹生島奉加帳（竹生島宝蔵寺文書）……………	190
877	天文七年五月二七日	鹿苑日記……………	177	914	天文九年八月一九日	証如上人日記……………	194
878	天文七年六月五日	鹿苑日記……………	177	915	天文九年九月九日	杵築大社棟上入目注文写（千家古文書写丙）……………	194
879	天文七年六月八日	鹿苑日記……………	177	916	天文九年一〇月二日	尼子経久書狀（安国寺文書）……………	194
880	天文七年六月一〇日	鹿苑日記……………	178	917	年未詳二月二〇日	尼子経久書狀（秋上家文書）……………	195
881	天文七年七月二五日	鹿苑日記……………	178	918	年未詳五月一〇日	尼子経久書狀（秋上家文書）……………	195
882	天文七年八月一六日	証如上人日記……………	178	919	年未詳七月二〇日	古岡通照書狀（佐太神社文書）……………	195
883	天文七年一二月五日	許曾志神社縁起写（ （宝永三年秋鹿・島根両郡神社書出帳） ）……………	179	920	天文一〇年八月二七日	御湯殿上日記……………	196
884	天文八年二月吉日	見聞諸家紋……………	179	921	天文一〇年八月二八日	国造北島雅孝安堵状（秋上家文書）……………	196
885	天文八年四月一九日	鹿苑日記……………	180	922	天文一〇年八月吉日	須衛都久神社刀劍銘写（ （明治十七年社寺宝物文書目録） ）……………	197
886	天文八年五月三日	大内氏家臣連署書狀案写（ （萩藩閥閥録） ）……………	180	923	天文一〇年一〇月一三日	信重讓状写（ （宝永三年秋鹿・島根両郡神社書出帳） ）……………	197
887	年未詳六月一七日	湯原幸清・河副久盛連署書狀（ （切紙、吉川家文書） ）……………	181	924	天文一〇年一〇月一五日	国造北島雅孝安堵状（秋上家文書）……………	197
888	天文八年閏六月三日	鹿苑日記……………	181	925	天文一〇年一〇月一九日	大館常興日記……………	197
889	天文八年閏六月六日	鹿苑日記……………	182	926	天文一〇年一〇月一一日頃	〔参考〕忌部総社神宮寺根元録（忌部神社文書）……………	197
890	天文八年閏六月七日	鹿苑日記……………	182	927	天文一〇年一二月六日	尼子晴久書狀（ （切紙、迎接寺文書） ）……………	198
891	天文八年閏六月一三日	大館常興日記……………	182	928	天文一〇年一二月八日	惠曇神社棟札写（ （明治三十五年島根県神社由緒書） ）……………	198
892	天文八年七月二五日	大館常興日記……………	182	929	年月日未詳	尼子経久袖判寄進状断簡写（ （富家文書） ）……………	198
893	天文八年七月二六日	鹿苑日記……………	183	930	年月日未詳	東福寺領末次莊役者礼物日記案（ （東福寺文書） ）……………	199
894	天文八年八月二一日	御湯殿上日記……………	183	931	天文一一年正月	〔参考〕忌部総社神宮寺根元録（忌部神社文書）……………	199
895				932			

9 3 3	〔天文二年〕七月一日	相良武任書狀(三沢文書)……………	2 0 0	9 6 9	〔天文四年〕六月二日	湯原幸清・河副久盛連署書狀(切紙、 吉川家文書)……………	2 1 3
9 3 4	天文二年九月三日	尼子晴久袖判福頼勘兵衛奉書寫(佐太神 社文書)……………	2 0 0	9 7 0	〔天文四年〕六月二日	湯原幸清・河副久盛連署書狀(切紙、 吉川家文書)……………	2 1 3
9 3 5	天文二年九月一三日	冷泉隆豐軍忠狀(切紙、冷泉家文書)……………	2 0 1	9 7 1	〔天文四年〕六月二日	湯原幸清・河副久盛連署書狀(切紙、 吉川家文書)……………	2 1 4
9 3 6	天文二年九月一三日	白井房種軍忠狀(切紙、岩瀬文庫所藏文書)……………	2 0 1	9 7 2	〔天文四年〕六月二日	大内権現御由來寫(島根県史神社資料)……………	2 1 4
9 3 7	天文二年九月一七日	大内義隆書狀寫(萩藩譜録・中原治兵衛良定)……………	2 0 1	9 7 3	〔天文四年〕六月二日	柳原資定書狀(切紙、真繼文書)……………	2 1 5
9 3 8	〔天文二年〕一〇月二日	大内義隆書狀(切紙、冷泉家文書)……………	2 0 2	9 7 4	〔天文四年〕六月二日	次良左衛門尉亮券寫(佐太神社文書)……………	2 1 6
9 3 9	天文二年一〇月二日	大内義隆書狀(切紙、岩瀬文庫所藏文書)……………	2 0 2	9 7 5	〔天文四年〕六月二日	深田豊澄田地亮券(秋上家文書)……………	2 1 6
9 4 0	天文二年一〇月二日	大内義隆書狀(萩藩譜録)……………	2 0 2	9 7 6	〔天文四年〕六月二日	秋上重孝他十一名連署書狀(坪内家文書)……………	2 1 7
9 4 1	天文二年一〇月二日	大内義隆書狀(長州萩町引頭某所藏文書)……………	2 0 2	9 7 7	〔天文四年〕六月二日	本田家吉書狀(秋上家文書)……………	2 1 7
9 4 2	天文二年一〇月一五日	北島雅孝袖判いとう連署安堵狀(秋上家文書)……………	2 0 2	9 7 8	〔天文四年〕六月二日	湯町村八幡宮棟札寫(明治三十五年島 根県神社由緒書)……………	2 1 8
9 4 3	天文二年一〇月一六日	某書狀寫(毛利家文庫諸臣証文・多胡家)……………	2 0 3	9 7 9	〔天文四年〕六月二日	尼子氏奉行人連署書狀(折紙、北島家文書)……………	2 1 8
9 4 4	天文二年一〇月二三日	立原幸隆書狀(折紙、日御碕神社文書)……………	2 0 3	9 8 0	〔天文四年〕六月二日	下笠重秀書狀(折紙、北島家文書)……………	2 1 8
9 4 5	天文二年一〇月二二日	親俊日記……………	2 0 3	9 8 1	〔天文四年〕六月二日	尼子氏奉行人連署書狀(折紙、北島家文書)……………	2 1 9
9 4 6	天文二年三月二七日	大内義隆寄進狀(掛夜神社文書)……………	2 0 4	9 8 2	〔天文四年〕六月二日	北島雅孝・いとう連署置文(秋上家文書)……………	2 1 9
9 4 7	天文二年四月六日	大内義隆安堵狀(小野家文書)……………	2 0 4	9 8 3	〔天文四年〕六月二日	日野家雜掌申狀寫(徳政賦引付)……………	2 2 0
9 4 8	天文二年五月七日	八代日記……………	2 0 4	9 8 4	〔天文四年〕六月二日	尼子晴久袖判奉行人連署奉書(接寺文書)……………	2 2 0
9 4 9	年月日未詳	岩屋寺快円日記(岩屋寺旧藏・鳥取県立博物館)……………	2 0 4	9 8 5	〔天文四年〕六月二日	尼子晴久袖判奉行人連署奉書(折紙、北 島家文書)……………	2 2 0
9 5 0	天文二年六月六日	大内義隆感狀寫(萩藩譜録・山田五左衛門直賢)……………	2 0 5	9 8 6	〔天文四年〕六月二日	尼子晴久袖判奉行人連署書狀(折紙、北 島家文書)……………	2 2 1
9 5 1	天文二年六月二四日	立原幸隆書狀(成相寺文書)……………	2 0 5	9 8 7	〔天文四年〕六月二日	国造北島雅孝年貢請取狀(竹下家文書)……………	2 2 1
9 5 2	天文二年七月三日	尼子晴久安堵狀(切紙、迎接寺文書)……………	2 0 5	9 8 8	〔天文四年〕六月二日	尼子晴久書狀(切紙、秋上家文書)……………	2 2 1
9 5 3	天文二年七月二三日	尼子晴久袖判多胡久盛知行注文寫 (毛利家文庫諸臣証文・多胡家) ……………	2 0 6	9 8 9	〔天文四年〕六月二日	尼子氏奉行人連署奉書(折紙、北島家文書)……………	2 2 2
9 5 4	天文二年八月二日	尼子晴久寄進狀寫(富家文書・毛利博物館)……………	2 0 6	9 9 0	〔天文四年〕六月二日	大内義隆感狀(切紙、惠良文書)……………	2 2 2
9 5 5	天文二年八月三日	北島雅孝証文(秋上家文書)……………	2 0 7	9 9 1	〔天文四年〕六月二日	中興阿弥讓狀寫(千家古文書寫乙)……………	2 2 2
9 5 6	天文二年八月二日	北島雅孝証文(秋上家文書)……………	2 0 7	9 9 2	〔天文四年〕六月二日	天文十七年惣社仮殿遷宮次第(折紙、 佐草家文書)……………	2 2 4
9 5 7	天文二年一月一六日	北島雅孝書狀(秋上家文書)……………	2 0 8	9 9 3	〔天文四年〕六月二日	二子村地神神社棟札寫(根島神社由緒書)……………	2 2 5
9 5 8	天文二年一月二三日	尼子晴久書狀寫(毛利家文庫諸臣証文・多胡家)……………	2 0 8	9 9 4	〔天文四年〕六月二日	下川津村羽黒権現社棟札寫(宝永三年秋鹿・島 根両郡神社書出帳)……………	2 2 5
9 5 9	天文二年四月一四日	屋葺幸保内彦兵衛田地亮券(秋上家文書)……………	2 0 8	9 9 5	〔天文四年〕六月二日	北島秀孝書狀(秋上家文書)……………	2 2 5
9 6 0	天文二年四月二三日	二山祐盛書狀(切紙、吉川家文書)……………	2 0 9	9 9 6	〔天文四年〕六月二日	上東川津村若宮大明神棟札寫 (宝永三年秋鹿・島根両郡神社書出帳) ……………	2 2 5
9 6 1	年未詳六月九日	尼子晴久奉納太刀箱銘(佐太神社所藏)……………	2 1 0	9 9 7	〔天文四年〕六月二日	国造北島秀孝神火相統次第(秋上家文書)……………	2 2 5
9 6 2	天文二年九月五日	隱岐豊清寄進狀(清安寺文書)……………	2 1 0	9 9 8	〔天文四年〕六月二日	神火相統入物道具覺書(折紙、秋上家文書)……………	2 3 0
9 6 3	天文二年九月一七日	隱岐豊清書狀(折紙、清安寺文書)……………	2 1 1	9 9 9	〔天文四年〕六月二日	杵築大社造宮遷宮次第寫(千家家文書)……………	2 3 1
9 6 4	天文二年九月一七日	隱岐氏家臣連署書狀(折紙、清安寺文書)……………	2 1 1	1 0 0 0	〔天文四年〕六月二日	杵築大社造宮遷宮次第(佐草家文書)……………	2 3 2
9 6 5	天文二年九月一七日	尼子晴久寄進狀寫(秋上家文書)……………	2 1 1	1 0 0 1	〔天文四年〕六月二日	杵築大社造宮遷宮次第(佐草家文書)……………	2 3 3
9 6 6	天文二年九月二〇日	尼子晴久袖判奉行人連署書狀(折紙、 迎接寺文書)……………	2 1 2	1 0 0 2	〔天文四年〕六月二日	国造北島秀孝書狀(秋上家文書)……………	2 3 5
9 6 7	天文二年九月二〇日	湯原幸清・河副久盛連署書狀(切紙、 吉川家文書)……………	2 1 2				
9 6 8	〔天文四年〕六月二日						

1003	〔天文一九年〕一月七日	国造北島秀孝書狀(秋上家文書)……………	235
1004	天文一九年一月二三日	北島秀孝・いとう連署安堵狀(秋上家文書)……	236
1005	天文一九年一月吉日	上宇部尾村竹宮大明神棟札写 (宝永三年秋鹿・島根両郡神社書出帳)……………	236
1006	年未詳三月八日	上野信恵書狀写(萩藩譜録・湯原宇兵衛国安)	236
1007	天文二〇年三月九日	尼子氏奉行人連署書狀(折紙、出雲大社文書)……	236
1008	天文二〇年四月三日	面箱裏蓋銘写(佐太神社文書)……………	237
1009	天文二〇年四月二七日	尼子氏奉行人連署書狀(折紙、秋上家文書)……	237
1010	天文二〇年五月二三日	後奈良天皇綸旨(撰津水無瀬神宮文書)……………	237
1011	天文二〇年六月一五日	伊弉諾社神宮寺弟榮從誓書(秋上家文書)……………	238
1012	天文二〇年六月二八日	多賀久幸書狀(折紙、秋上家文書)……………	238
1013	天文二〇年八月九日	伊弉諾社一神子書狀(秋上家文書)……………	238
1014	天文二〇年八月一〇日	伊弉諾社神宮寺榮高書狀(秋上家文書)……………	239
1015	天文二〇年十一月一四日	神魂社領黒田分坪付帳(秋上家文書)……………	239
1016	天文二〇年十一月二三日	伊弉諾社神宮寺榮高書狀(秋上家文書)……………	240
1017	年未詳二月一四日	尼子晴久書狀(切紙、秋上家文書)……………	240
1018	天文二〇年日未詳	佐陀神社禰宜舞矛銘写(佐太神社文書)……………	241
1019	天文二一年四月一五日	千酌爾佐神社棟札写(明治三十五年島根県神社由緒書)……………	241
1020	天文二一年二月一二日	西尾国石大明神棟札写(宝永三年秋鹿・島根両郡神社書出帳)……………	241
1021	天文二一年一月一日	宗養歌日記(多胡家文書)……………	241
1022	天文二二年二月晦日	岡幸重・野海家歳連署書(松江藩郡奉所行所文書)……………	243
1023	天文二二年三月一三日	千酌村笠浦日御碕神社棟札写 (明治三十五年島根県神社由緒書)……………	244
1024	天文二二年六月三日	波入村三所神社棟札写(明治三十五年島根県神社由緒書)……………	244
1025	年未詳七月二一日	尼子氏奉行人連署書狀(折紙、坪内家文書)……………	244
1026	天文二二年一月七日	菅井重綱契約狀写(千家古文書写丙)……………	245
1027	天文二二年日未詳	宮廻利正覚書写(享保十二年島根郡北講武村・南講武村・上講武村神社指出帳)……………	245
1028	天文二三年一月六日	湯原隆綱渡狀(坪内家文書)……………	246
1029	天文二三年八月一二日	尼子晴久袖判奉行人連署奉書 (モト折紙カ、秋上家文書)……………	246
1030	天文二三年八月	北講武八幡宮棟札写(明治三十五年島根県神社由緒書)……………	246
1031	天文年間二月二五日	東福寺領出雲国末次莊公文起請文(東福寺文書)……………	247
1032	天文二四年二月二八日	尼子晴久寄進狀(出雲大社文書)……………	248
1033	天文二四年二月二八日	尼子晴久寄進狀(揖夜神社文書)……………	249
1034	天文二四年六月二八日	尼子晴久袖判奉行人連署奉書(折紙、尼子晴久神社文書)……………	249
1035	弘治元年七月一一日	尼子晴久感狀写(萩藩閥閥録)……………	250
1036	天文二四年一〇月二九日	神魂社遷宮入目注文写(折紙、佐草家文書)……………	250
1037	弘治元年一月晦日	弘治元年一月晦日	251
1038	弘治二年三月	高宮大鳥居再興棟札写(家原家文書)……………	251
1039	〔弘治二年〕四月二八日	永平寺祇棟書狀(豊龍寺文書)……………	251
1040	弘治二年七月二八日	永平寺祇棟書狀(豊龍寺文書)……………	252
1041	弘治二年一〇月二五日	尼子晴久書狀写(忌部總社大宮神宮寺秘事記)……	252
1042	弘治二年一〇月二五日	平右衛門・太郎右衛門連署誓書(秋上家文書)……	252
1043	弘治二年一〇月二七日	神魂社諸神事覚書(折紙、秋上家文書)……………	253
1044	弘治二年一二月二三日	平右衛門尉・太郎右衛門尉連署書狀(文書)……………	253
1045	弘治三年四月二〇日	西尾八幡宮棟札写(宝永三年秋鹿・島根両郡神社書出帳)……………	254
1046	弘治三年六月八日	光福寺僧乘継寄進狀(神門寺文書)……………	254
1047	弘治三年七月三日	尼子晴久判物写(秋上家文書)……………	254
1048	弘治三年一〇月二八日	長谷信昌・同三郎次田地売券(秋上家文書)……………	255
1049	弘治三年一〇月吉日	二子村地神神社棟札写(明治三十五年島根県神社由緒書)……………	255
1050	弘治四年三月二日	大社三月会三番饗錢注文(佐草家文書)……………	255
1051	永祿元年四月一七日	御湯殿上日記……………	257
1052	永祿元年九月二〇日	湯姫大明神棟札写(島根県史神社資料)……………	257
1053	永祿元年九月二三日	尼子晴久書下(安国寺文書)……………	258
1054	年月日未詳	神魂社規式(秋上家文書)……………	258
1055	年月日未詳	秋上久国覚書(秋上家文書)……………	259
1056	年月日未詳	秋上久国伝授神道口決(秋上家文書)……………	260
1057	年月日未詳	秋上久国伝授神道口決(秋上家文書)……………	260
1058	年月日未詳	神道口決断簡(秋上家文書)……………	261
1059	年月日未詳	神魂社法度覚書案(秋上家文書)……………	262
1060	〔永祿二年〕四月七日	湯原家寿他二名連署書狀(折紙、秋上家文書)……	262
1061	永祿二年六月一五日	熊野神社養蚕社神徳記奉納札写(熊野大社所蔵)……………	263
1062	永祿二年九月吉日	上東川津熊野三所権現棟札写(享保十二年島根郡上川津村・下川津村神社差出帳)……………	264
1063	永祿二年一〇月五日	尼子氏奉行人連署書狀(折紙、秋上家文書)……………	264
1064	永祿二年一〇月六日	神魂社御供入目注文案(折紙、秋上家文書)……………	264
1065	永祿二年一二月二三日	龜井久清書狀(折紙、秋上家文書)……………	265
1066	年未詳五月一日	尼子晴久書狀(切紙、秋上家文書)……………	265
1067	年未詳五月一五日	尼子晴久書狀(切紙、秋上家文書)……………	266
1068	年未詳五月二七日	尼子晴久書狀(切紙、早稲田大学所蔵文書)……………	266
1069	永祿三年七月五日	秋上久国覚書(秋上家文書)……………	266
1070	年未詳八月一日	中井綱家書狀(折紙、秋上家文書)……………	267
1071	年未詳八月二二日	尼子晴久書狀写(佐太神社文書)……………	267
1072	年未詳八月	御津神社棟札写(明治三十五年島根県神社由緒書)……………	267

1073	永祿三年九月二一日	中井綱家書狀(切紙、秋上家文書)……………	268	1108	年月日未詳	毛利隆元書狀(佐藤文書)……………	281
1074	永祿三年九月吉日	中井綱家寄進狀(秋上家文書)……………	268	1109	年月日未詳	毛利元就書狀(萩藩閩閩録)……………	282
1075	年未詳十一月二日	立原幸隆書狀(折紙、秋上家文書)……………	269	1110	永祿六年二月二日	尼子義久袖判奉行人連署奉書寫 (萩藩譜録・中原治兵衛良定)……………	283
1076	永祿三年十一月	入江村三所神社棟札写(明治十七年社寺 宝物文書目録)……………	269	1111	永祿六年二月二五日	毛利元就寄進狀写(国造千家所持之内古書類写)……………	284
1077	年未詳十一月八日	尼子晴久書狀写(秋上家文書)……………	269	1112	〔永祿六年〕二月二九日	北島秀孝書狀(折紙、秋上家文書)……………	284
1078	年月日未詳	伊賀諾社社事得分注文(秋上家文書)……………	269	1113	〔永祿六年〕三月一八日	小早川隆景書狀(乃美文書)……………	284
1079	年月日未詳	成相寺条数書(成相寺文書)……………	270	1114	〔永祿六年〕三月二三日	津森幸俊書狀(富家文書・島根県教育委員会)	285
1080	永祿四年六月六日	尼子義久袖判目賀田幸宣奉書狀 (モト折紙、竹矢家文書)……………	271	1115	〔永祿六年〕三月二四日	毛利隆元書狀(益田家文書)……………	285
1081	永祿四年六月二五日	千酌村笠浦日御碕神社棟札写 (明治三十五年島根県神社由緒書)……………	272	1116	〔永祿六年〕三月二五日	毛利元就書狀写(萩藩閩閩録)……………	286
1082	永祿四年九月一五日	尼子義久安堵狀(安国寺文書)……………	272	1117	永祿六年三月二八日	湯原春綱頌注文写(萩藩閩閩録)……………	286
1083	永祿四年十一月二日	上田久忠誓約狀写(千家古文書写乙)……………	272	1118	年月日未詳	毛利元就書狀写(萩藩閩閩録)……………	287
1084	永祿四年十一月五日	尼子義久感狀写(伯者志・末次家文書)……………	272	1119	〔永祿六年〕四月六日	毛利隆元書狀写(萩藩閩閩録)……………	288
1085	永祿四年十一月二三日	尼子義久袖判奉行人連署奉書(折紙、 北島家文書)……………	273	1120	永祿六年四月一八日	毛利元就感狀写(萩藩閩閩録)……………	288
1086	永祿四年十一月二七日	尼子義久袖判湯原信綱知行宛行狀写(秋藩閩 閩録)……………	273	1121	〔永祿六年〕四月二二日	毛利隆元書狀写(萩藩閩閩録)……………	288
1087	永祿四年十二月二日	沖洲八幡宮棟札写(明治十二、十三、十七年 社寺宝物文書目録)……………	273	1122	〔永祿六年〕五月七日	宍道隆慶書狀(切紙、相国寺光源院文書)……………	288
1088	年未詳十二月二六日	尼子義久書狀(切紙、秋上家文書)……………	273	1123	〔永祿六年〕五月九日	吉川元春書狀(益田家文書)……………	289
1089	永祿四年月日未詳	杵築大社三月会頭役進未注文写断簡(佐草家 文書)……………	274	1124	永祿六年五月一七日	尼子義久袖判奉行人連署奉書(折紙、 尼子義久袖判奉行人連署奉書)……………	289
1090	年未詳	籌海図編(紅葉山文庫本)……………	274	1125	永祿六年五月二〇日	中誠親他二名連署書狀(切紙、千家家文書)……………	290
1091	〔永祿五年〕正月二六日	毛利氏家臣連署書狀写(萩藩閩閩録)……………	275	1126	永祿六年六月二日	尼子義久袖判奉行人連署奉書(折紙、 尼子義久袖判奉行人連署奉書)……………	290
1092	〔永祿五年〕正月二六日	毛利氏家臣連署書狀写(萩藩閩閩録)……………	275	1127	〔永祿六年〕六月二三日	毛利隆元書狀写(萩藩閩閩録)……………	291
1093	年未詳二月三日	尼子義久書狀(モト折紙カ、松浦文書)……………	275	1128	永祿六年六月二四日	毛利元就判物(萩藩閩閩録)……………	291
1094	永祿五年二月一七日	多胡久盛讓狀写(毛利家文庫諸臣証文・多胡家・ 乃木村宇賀神社棟札写(明治三十五年島 根県神社由緒書)……………	276	1129	〔永祿六年〕七月二五日	毛利隆元書狀写(萩藩閩閩録)……………	291
1095	永祿五年二月	本宮神社棟札銘(本宮神社所蔵)……………	277	1130	〔永祿六年〕七月二六日	毛利隆元書狀写(萩藩閩閩録)……………	292
1096	永祿五年三月吉日	二宮春次・桂春房連署書狀写(岡本家文書)……………	277	1131	〔永祿六年〕八月一日	毛利隆元書狀写(萩藩閩閩録)……………	292
1097	〔永祿五年〕七月一七日	毛利隆元書狀(厳島野坂文書)……………	278	1132	〔永祿六年〕八月六日	吉川元春書狀写(御書感狀写)……………	292
1098	〔永祿五年〕七月二三日	尼子義久書狀(切紙、小野家文書)……………	278	1133	〔永祿六年〕八月一〇日	毛利元就書狀写(萩藩閩閩録)……………	293
1099	〔永祿五年〕八月一日	毛利隆元書狀写(萩藩閩閩録)……………	278	1134	〔永祿六年〕八月一四日	毛利元就書狀(切紙、富家文書・毛利博物館)	293
1100	〔永祿五年〕八月二四日	尼子義久寄進狀(日御碕神社文書)……………	279	1135	〔永祿六年〕八月一五日	毛利元就書狀写(萩藩閩閩録)……………	293
1101	永祿五年九月二六日	毛利元就・同隆元連署起請文写(萩藩閩閩録)……………	279	1136	永祿六年八月一八日	尼子義久感狀写(島根県立図書館所蔵文書)……………	294
1102	永祿五年九月二七日	毛利氏奉行人連署書狀写(萩藩閩閩録)……………	279	1137	永祿六年八月一八日	尼子義久感狀写(伯者志・末次家文書)……………	294
1103	〔永祿五年〕九月二七日	桂元忠他二名連署書狀写(萩藩閩閩録)……………	279	1138	永祿六年八月一八日	尼子義久感狀写(朝山八幡宮文書)……………	294
1104	永祿五年九月二七日	尼子義久宛行狀写(毛利家文庫諸 臣証文・多胡家)……………	280	1139	永祿六年八月一八日	尼子義久感狀写(西備名区)所収文書……………	294
1105	永祿五年九月二八日	平賀広相感狀写(平賀共昌集録日記)……………	280	1140	〔永祿六年〕八月二〇日	毛利元就書狀(切紙、厳島野坂文書)……………	295
1106	永祿五年十一月一三日	〔参考〕忌部総社神社宮寺根元録(忌部神社文書)……………	281	1141	永祿六年八月二三日	雲樹寺善瑞注進狀(雲樹寺文書)……………	295
1107	永祿五年二二月初め頃			1142		毛利元就書狀写(萩藩閩閩録)……………	296
1108				1143	〔永祿六年〕八月二三日		

1144	永祿六年八月二八日	北島秀孝・同幸孝連署下知狀(秋上家文書)	296	1180	永祿七年八月一日	毛利元就袖判平浜別宮領書立(折紙、 野村家文書)	310
1145	永祿六年八月	伊弉諾社神田注文(秋上家文書)	296	1181	永祿七年一〇月二三日	尼子義久判物(切紙、迎接寺文書)	311
1146	年月日未詳	伊弉諾社修理免注文(秋上家文書)	297	1182	永祿七年一〇月二七日	毛利元就官途書出(秋上家文書)	311
1147	永祿六年九月一日	毛利元就感狀写(萩藩閤閥録)	298	1183	永祿七年一月一八日	毛利元就預ケ狀写(辛未紀行所収文書)	311
1148	〔永祿六年〕九月五日	毛利元就書狀写(萩藩閤閥録)	298	1184	〔永祿七年〕一月二〇日	毛利元就書狀(切紙、嚴島野坂文書)	311
1149	永祿六年九月二〇日	尼子義久書狀(折紙、佐太神社文書)	299	1185	〔永祿七年〕二月六日	毛利輝元書狀写(野村家文書)	312
1150	永祿六年九月二八日	毛利元就書狀写(忌部總社大宮神宮寺秘事記)	299	1186	永祿七年二月二八日	毛利元就一行狀(益田家文書)	312
1151	年月未詳九月二九日	毛利元就書狀写(萩藩譜録・三吉藤馬雅郷)	299	1187	〔永祿七年〕二月二九日	吉川元春書狀(益田家文書)	312
1152	〔永祿六年〕一〇月六日	児玉元良書狀(折紙、秋上家文書)	300	1188	永祿八年正月二日	神魂社秋上氏所管神事覚書(秋上家文書)	312
1153	〔永祿六年〕一〇月一七日	吉川元春卷数并供米返事(切紙、嚴島野坂文書)	300	1189	〔永祿八年〕正月二五日	毛利元就書狀(切紙、秋上家文書)	313
1154	〔永祿六年〕一〇月一八日	毛利元就感狀写(萩藩閤閥録)	301	1190	〔永祿八年〕正月二八日	毛利元就書狀(切紙、嚴島野坂文書)	313
1155	〔永祿六年〕一〇月一八日	毛利元就感狀写(萩藩閤閥録)	301	1191	永祿八年二月一〇日	毛利元就判物写(伯耆志・末次家文書)	314
1156	永祿六年一〇月一八日	毛利元就感狀写(萩藩閤閥録)	301	1192	永祿八年二月一〇日	毛利氏奉行人連署打渡狀(益田家文書)	314
1157	永祿六年一〇月一八日	毛利元就感狀(小切紙、毛利博物館所蔵譜家文書)	301	1193	永祿八年三月一八日	熊野大社棟札写(熊野大社所蔵)	315
1158	永祿六年一〇月吉日	上宇部尾村津森神社棟札写(明治三十五年島根神社由緒書)	301	1194	永祿八年三月一八日	熊野三社棟札写(熊野大社所蔵)	315
1159	永祿六年十一月一日	尼子義久書狀(モト折紙、松浦文書)	302	1195	永祿八年四月一五日	尼子義久宛行狀写(折紙、米原文書・東大影写)	315
1160	永祿六年十一月三日	毛利元就知行宛行狀写(萩藩閤閥録)	302	1196	〔永祿八年〕四月二〇日	尼子義久感狀(切紙、松浦文書)	315
1161	永祿六年十一月三日	吉川元春軍忠狀(吉川家文書)	302	1197	〔永祿八年〕四月二九日	児玉元良書狀(折紙、秋上家文書)	316
1162	〔永祿六年〕十二月二日	毛利元就書狀(冷泉家文書)	304	1198	永祿八年五月六日	尼子義久宛行狀(折紙、笠置家文書)	316
1163	〔永祿六年〕十二月六日	尼子義久書狀(佐太神社文書)	304	1199	永祿八年五月九日	毛利元就・同輝元連署感狀写(萩藩閤閥録)	316
1164	永祿六年十二月二二日	毛利元就知行宛行狀写(伯耆志・末次家文書)	304	1200	永祿八年七月二〇日	小早川隆景一字書出写(伯耆志・末次家文書)	317
1165	年月日未詳	玉塵抄(卷三)	305	1201	永祿八年七月二六日	尼子義久宛行狀写(米原文書・東北 大学附属図書館)	317
1166	年月未詳正月一六日	毛利輝元書狀(切紙、思文閣古書 資料目録二三五号)	305	1202	〔永祿八年〕七月晦日	毛利元就書狀(切紙、秋上家文書)	317
1167	年月未詳正月二四日	毛利輝元書狀(秋上家文書)	305	1203	永祿八年七月	熊野元親寄進狀(熊野神社文書)	317
1168	年月未詳二月四日	児玉元良書狀(切紙、秋上家文書)	305	1204	永祿八年九月一日	隆明判物(成相寺文書)	318
1169	永祿七年二月一〇日	尼子義久感狀写(萩藩譜録・中原治兵衛良定)	306	1205	永祿八年九月一日	大森主計宮山寄進狀(吉岡家文書)	318
1170	〔永祿七年〕二月一〇日	平佐就之書狀(宮本文書)	306	1206	永祿八年九月二〇日	毛利元就奉行連署打渡坪付(富家文書・島根 県教育委員会)	319
1171	〔永祿七年〕二月一五五	小早川隆景書狀(山田家文書)	307	1207	年月日未詳	山代郷神田坪付(富家文書・島根県教育委員会)	319
1172	〔永祿七年〕三月六日	毛利元就感狀写(萩藩閤閥録)	307	1208	永祿八年九月二三日	毛利元就知行安堵狀(北島家文書)	320
1173	〔永祿七年〕三月一一日	吉川元春書狀写(伯耆志・末次家文書)	308	1209	〔永祿八年〕一〇月一二日	毛利元就書狀(切紙、秋上家文書)	320
1174	永祿七年四月一五五	尼子義久判物(モト折紙、 中村ブレイス所蔵文書)	308	1210	永祿八年一月吉日	加知弥神社棟札写(加知弥神社所収)	320
1175	永祿七年五月一四日	尼子義久安堵狀写(毛利家文庫諸 臣証文・多胡家)	308	1211	年月未詳一二月一七日	小早川隆景書狀写(萩藩閤閥録)	321
1176	永祿七年五月二四日	尼子義久袖判奉行人連署奉書(成相寺文書)	308	1212	〔永祿八年〕一二月二二日	毛利元就書狀(切紙、秋上家文書)	321
1177	永祿七年六月一四日	毛利元就・吉川元春・小早川隆景連署免許 狀写	309	1213	年月未詳九月一二日	井上就重・児玉元良連署書狀(折紙、 成相寺文書)	321
1178	〔永祿七年〕六月二二日	毛利元就書狀(野村家文書)	310	1214	年月未詳九月一二日	井上就重・児玉元良連署書狀(折紙、 成相寺文書)	321
1179	年月未詳七月九日	毛利元就書狀写(萩藩閤閥録)	310	1215	〔永祿九年〕一二月二三日	毛利元就書狀(萩藩閤閥録)	322
				1216	年月未詳二月二七日	尼子氏奉行人連署書狀(折紙、秋上家文書)	322

1217	永祿九年五月九日	毛利輝元知行宛行狀(鰐淵寺文書)……………	322
1218	永祿九年五月九日	毛利氏奉行人連署奉書(折紙、鰐淵寺文書)……………	323
1219	永祿九年五月一日	毛利輝元安堵狀(北島正子家文書)……………	323
1220	年未詳六月一日	口羽通良書狀(富家文書・毛利博物館)……………	324
1221	永祿九年八月三日	宍道隆慶書狀(切紙、相國寺光源院文書)……………	325
1222	永祿九年八月八日	神魂社領檢地帳(秋上家文書)……………	325
1223	永祿九年八月一〇日	神魂社領檢地帳(秋上家文書)……………	326
1224	永祿九年八月一〇日	秋上周防守領檢地帳(秋上家文書)……………	327
1225	年月日未詳	秋上周防守領知行付立(秋上家文書)……………	327
1226	永祿九年閏八月一三日	毛利元就安堵狀(八重垣文書)……………	328
1227	〔永祿九年〕閏八月一五日	毛利元就書狀写(萩藩閩閩録)……………	328
1228	年未詳九月二日	尼子氏奉行人連署書狀(折紙、坪内家文書)……………	329
1229	年未詳九月四日	湯原為綱書狀(折紙、坪内家文書)……………	329
1230	永祿九年一〇月二日	毛利元就安堵狀(多賀劍逸所藏文書)……………	329
1231	年未詳一〇月二日	毛利氏奉行人連署書狀写(萩藩閩閩録)……………	330
1232	〔永祿九年〕一一月二四日	小倉元悦書狀(切紙、富家文書・毛利博物館)……………	330
1233	永祿九年一一月二五日	岡本保多太神社棟札写(明治十七年社寺文物文書目録)……………	330
1234	〔永祿九年〕一二月二日	小倉元悦書狀(折紙、富家文書・毛利博物館)……………	331
1235	永祿九年一二月九日	二宮俊実覚書(吉川家文書)……………	331
1236	永祿九年一二月二八日	北島秀孝安堵狀(岡垣家文書)……………	331
1237	永祿一〇年二月一七日	井上就重書狀(切紙、秋上家文書)……………	332
1238	年未詳二月二〇日	井上就久書狀(折紙、秋上家文書)……………	332
1239	年未詳四月五日	宗智書狀(切紙、秋上家文書)……………	333
1240	〔永祿一〇年〕四月八日	毛利元就書狀写(萩藩閩閩録)……………	333
1241	年未詳六月一二日	神西信通書狀(秋上家文書)……………	333
1242	永祿一〇年六月二六日	毛利元就安堵狀(成相寺文書)……………	334
1243	永祿一〇年六月二六日	成相寺領打渡狀(成相寺文書)……………	334
1244	年月日未詳	成相寺領付立(成相寺文書)……………	334
1245	年月日未詳	佐陀大社祭田坪付断簡(成相寺文書)……………	335
1246	永祿一〇年七月二一日	毛利氏奉行人連署証狀(折紙、秋上家文書)……………	335
1247	〔永祿一〇年〕一〇月二日	毛利氏奉行人連署書狀(折紙、秋上家文書)……………	336
1248	永祿一〇年一〇月一五日	言繼卿記……………	336
1249	〔永祿一〇年〕一一月一日	小早川隆景書狀(益田家文書)……………	337
1250	永祿一〇年一二月二五日	毛利輝元判物写(萩藩閩閩録)……………	337
1251	永祿一〇年日未詳	山代郷神田毛損注文(富家文書・島根県教育委員会)……………	338
1252	〔永祿一一年〕三月九日	井上就良書狀(切紙、秋上家文書)……………	338
1253	永祿一一年三月一五日	富孝隆塩冶八幡宮領不知行地注文案……………	339
1254	永祿一一年四月一八日	(富家文書・島根県教育委員会)……………	339
1255	永祿一一年四月一八日	宍道隆慶書狀(相國寺光源院文書)……………	339
1256	永祿一一年五月二日	相國寺光源院領書立(相國寺光源院文書)……………	340
1257	永祿一一年五月一七日	秋上孝重讓狀(秋上家文書)……………	340
1258	永祿一一年八月五日	朝倉亭御成記……………	340
1259	永祿一一年八月五日	口宣案(青木家文書)……………	341
1260	永祿一一年八月六日	孝昌証狀写(迎接寺文書)……………	341
1261	永祿一一年九月九日	毛利氏奉行人連署奉書(秋上家文書)……………	341
1262	永祿一一年九月九日	国造千家義広書狀(北島家文書)……………	342
1263	〔永祿一一年〕九月二七日	北島久孝契約狀(千家家文書)……………	342
1264	永祿一一年一〇月二七日	国造千家義広書狀(折紙、北島家文書)……………	342
1265	年未詳一一月二一日	秋上良国当知行書立写并安堵裏書写(秋上家文書)……………	343
1266	年月日未詳	祐庵宗信書狀(折紙、秋上家文書)……………	343
1267	永祿一二年二月二日	神魂・伊弉諾向社先例覚書断簡(卷子、秋上家文書)……………	344
1268	〔永祿一二年〕四月二八日	六所惣社修正会頭役差定注文(秋上家文書)……………	349
1269	〔永祿一二年〕五月六日	吉川元春・小早川隆景連署書狀写(折紙、堀井家証文写)……………	350
1270	〔永祿一二年〕六月七日	井上就重書狀(野村家文書)……………	350
1271	年未詳八月五日	小早川隆景書狀写(萩藩閩閩録)……………	351
1272	〔永祿一二年〕八月二日	口羽通良書狀(清水寺文書)……………	351
1273	〔永祿一二年〕八月二日	尼子勝久知行宛行狀(切紙、松原家文書)……………	351
1274	〔永祿一二年〕八月二日	尼子勝久書狀(切紙、松原家文書)……………	352
1275	〔永祿一二年〕八月二三日	朝山日乗書狀案(益田家文書)……………	352
1276	〔永祿一二年〕八月二三日	天野隆重・新藤就勝連署書狀(多賀文書)……………	353
1277	永祿一二年八月二八日	毛利元就・同輝元連署書狀(切紙、多賀文書)……………	354
1278	永祿一二年八月	尼子勝久感狀写(三浦周行「上月城」)……………	354
1279	永祿一二年八月	吉川家祖先勲功覚書上……………	355
1280	〔永祿一二年〕九月一四日	吉川家旧記四……………	355
1281	永祿一二年九月一五日	秋上宗信書狀(折紙、坪内家文書)……………	356
1282	永祿一二年九月一五日	尼子勝久寄進狀(日御崎神社文書)……………	357
1283	永祿一二年九月二四日	尼子氏家臣連署奉書(切紙、日御崎神社文書)……………	357
1284	永祿一二年九月二七日	天野隆重他二名連署起請文写(毛利氏四代実録考証論断・諸家証文写)……………	357
1285	永祿一二年九月二八日	天野隆重書狀(折紙、竹矢家文書)……………	358
1286	〔永祿一二年〕九月二八日	立原久綱書狀(折紙、迎接寺文書)……………	358
1287	〔永祿一二年〕一〇月五日	天野隆重書狀写(萩藩閩閩録)……………	359
		毛利元就・同輝元連署書狀写(萩藩閩閩録)……………	359

1 2 8 8	〔永祿二年〕一〇月六日	毛利元就・同輝元連署書狀(切紙、多賀文書) :	3 5 9
1 2 8 9	永祿二年一〇月一二日	尼子勝久安堵狀(切紙、迎接寺文書) :	3 6 0
1 2 9 0	永祿二年一〇月一二日	富尾幸氏書狀(迎接寺文書) :	3 6 0
1 2 9 1	永祿二年一〇月二二日	毛利元就・同輝元連署宛行狀(三沢文書)	3 6 0
1 2 9 2	永祿二年一月一三日	尼子勝久宛行狀(折紙、米原文書、 〔東北大学附属図書館〕)	3 6 1
1 2 9 3	年未詳一月一四日	千家義広書狀写(尼子家古記類) :	3 6 1
1 2 9 4	〔永祿二年〕十一月二〇日	尼子勝久書狀(切紙、北島家文書) :	3 6 1
1 2 9 5	〔永祿二年〕十一月二三日	北島久孝書狀(折紙、秋上家文書) :	3 6 1
1 2 9 6	永祿二年一月二三日	毛利元就知行宛行狀写(萩藩閥閥録) :	3 6 2
1 2 9 7	永祿二年二月七日	惣檢校義氏安堵狀(迎接寺文書) :	3 6 2
1 2 9 8	永祿年間二月一七日	秋上宗信書狀(折紙、坪内家文書) :	3 6 3
1 2 9 9	永祿二年二月一九日	毛利元就・同輝元連署宛行狀(厚狭毛利家文書)	3 6 3
1 3 0 0	永祿二年二月二〇日	毛利元就・同輝元連署宛行狀写(萩藩閥閥録) :	3 6 3
1 3 0 1	年月日未詳	尼子勝久袖判家臣連署奉書写(富家文書・島根県教育委員会)	3 6 3
1 3 0 2	永祿二年二月日未詳	尼子晴久判物案(秋上家文書) :	3 6 4
1 3 0 3	永祿二年二月日未詳	尼子晴久判物案(秋上家文書) :	3 6 4
1 3 0 4	〔永祿二年〕正月五日	吉川元春自筆書狀(毛利家文書) :	3 6 5
1 3 0 5	永祿二年正月十七日	毛利元就・輝元連署書下写(多伎芸神社文書)	3 6 5
1 3 0 6	〔永祿二年〕二月七日	毛利元就感狀写(萩藩閥閥録) :	3 6 6
1 3 0 7	〔永祿二年〕二月七日	小早川隆景書狀写(萩藩閥閥録) :	3 6 6
1 3 0 8	永祿二年一月九日	益田藤兼讓渡所領注文(益田家文書) :	3 6 6
1 3 0 9	永祿二年一月一日	吉川家旧記五 :	3 6 7
1 3 1 0	永祿二年一月一四日	吉川家祖先勲功覺書上 :	3 6 8
1 3 1 1	〔永祿二年〕二月一七日	毛利元就書狀(折紙、石田文書) :	3 6 9
1 3 1 2	〔永祿二年〕二月一八日	毛利元就書狀写(萩藩閥閥録) :	3 7 0
1 3 1 3	〔永祿二年〕二月二〇日	吉川元春自筆書狀(毛利家文書) :	3 7 0
1 3 1 4	〔永祿二年〕二月二一日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録) :	3 7 1
1 3 1 5	〔永祿二年〕二月三〇日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録) :	3 7 1
1 3 1 6	〔永祿二年〕二月三〇日	毛利元秋書狀写(萩藩譜録・南方九左衛門親政)	3 7 1
1 3 1 7	〔永祿二年〕二月吉日	孝昌書狀(青木家文書) :	3 7 2
1 3 1 8	〔永祿二年〕三月三日	吉川元春書狀写(萩藩閥閥録) :	3 7 2
1 3 1 9	〔永祿二年〕三月一二日	毛利元就書狀写(入江文書、山口県史編纂所史料)	3 7 3
1 3 2 0	〔永祿二年〕三月二五日	毛利元秋書狀写(佐太神社文書) :	3 7 3
1 3 2 1	〔永祿二年〕三月二七日	吉川元春書狀写(萩藩閥閥録) :	3 7 3
1 3 2 2	永祿二年四月一七日	出雲国牛尾要害合戦頸注文(切紙、毛利家文書)	3 7 4
1 3 2 3	〔永祿二年〕四月一七日	吉川元春自筆書狀(毛利家文書) :	3 7 9
1 3 2 4	永祿二年四月一七日	吉川家祖先勲功覺書上 :	3 7 9
1 3 2 5	永祿二年四月一九日	尼子勝久袖判権檢校領知行書立(平岡家文書)	3 8 0
1 3 2 6	〔永祿二年〕四月二〇日	毛利輝元書狀(折紙、冷泉家文書) :	3 8 1
1 3 2 7	〔元龜元年〕五月九日	毛利元就書狀写(宮本文書) :	3 8 1
1 3 2 8	永祿二年五月一〇日	小早川隆景・吉川元春連署起請文(讃岐三木家文書) :	3 8 1
1 3 2 9	〔元龜元年〕五月一〇日	毛利氏奉行人連署書狀(讃岐三木家文書) :	3 8 2
1 3 3 0	〔元龜元年〕五月一〇日	大野氏知行分書立(讃岐三木家文書) :	3 8 2
1 3 3 1	元龜元年五月一四日	毛利輝元書狀(モト折紙、野村家文書) :	3 8 3
1 3 3 2	〔元龜元年〕五月一四日	小早川隆景書狀(モト折紙、野村家文書) :	3 8 3
1 3 3 3	〔元龜元年〕五月一五日	毛利輝元書狀(切紙、清水寺文書) :	3 8 3
1 3 3 4	〔元龜元年〕五月一六日	毛利元就書狀(毛利家文書) :	3 8 3
1 3 3 5	〔元龜元年〕五月一六日	毛利元就書狀(毛利家文書) :	3 8 4
1 3 3 6	〔元龜元年〕五月一六日	毛利元就書狀(毛利家文書) :	3 8 4
1 3 3 7	〔元龜元年〕五月一七日	小早川隆景書狀写(宮本文書) :	3 8 5
1 3 3 8	〔元龜元年〕五月一七日	小早川隆景書狀(宮本文書) :	3 8 5
1 3 3 9	〔元龜元年〕五月二五日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録) :	3 8 6
1 3 4 0	〔元龜元年〕五月二六日	小早川隆景書狀(モト折紙、野村家文書) :	3 8 6
1 3 4 1	〔元龜元年〕五月二七日	毛利元就書狀写(萩藩閥閥録) :	3 8 6
1 3 4 2	〔元龜元年〕五月二八日	毛利輝元書狀(小早川文書) :	3 8 6
1 3 4 3	〔元龜元年〕五月二八日	毛利輝元書狀(清水寺文書) :	3 8 7
1 3 4 4	〔元龜元年〕五月二八日	毛利元就書狀(切紙、毛利家文書) :	3 8 7
1 3 4 5	〔元龜元年〕五月二九日	毛利元就書狀(切紙、長府毛利家文書) :	3 8 7
1 3 4 6	〔元龜元年〕五月二九日	小早川隆景書狀(モト折紙、野村家文書) :	3 8 8
1 3 4 7	〔元龜元年〕六月一日	毛利元就書狀(切紙、中川文書) :	3 8 8
1 3 4 8	〔元龜元年〕六月二日	吉川元春書狀写(萩藩閥閥録) :	3 8 8
1 3 4 9	〔元龜元年〕六月五日	毛利元秋書狀写(萩藩閥閥録) :	3 8 8
1 3 5 0	永祿二年六月五日	三沢為清書狀(岩屋寺文書) :	3 8 9
1 3 5 1	〔元龜元年〕六月六日	毛利元就書狀(萩藩閥閥録) :	3 8 9
1 3 5 2	〔元龜元年〕六月八日	吉川元春書狀写(堀立家証文写) :	3 8 9
1 3 5 3	〔元龜元年〕六月九日	福原貞俊・小早川隆景連署書狀写(萩藩閥閥録)	3 9 0
1 3 5 4	〔元龜元年〕六月一二日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録) :	3 9 1
1 3 5 5	〔元龜元年〕六月一三日	児玉元良・井上春忠連署書狀(折紙、多賀文書)	3 9 1
1 3 5 6	〔元龜元年〕六月一三日	毛利氏・小早川氏家臣連署書狀(折紙、 〔家文書〕)	3 9 2
1 3 5 7	〔元龜元年〕六月一三日	毛利元就書狀(切紙、讃岐三木家文書) :	3 9 2
1 3 5 8	〔元龜元年〕六月一四日	毛利輝元書狀写(吉川家中并寺社文書) :	3 9 3
1 3 5 9	〔元龜元年〕六月一四日	三沢為清寄進狀(晋叟寺文書) :	3 9 3
1 3 6 0	永祿二年六月一五日		

1361	〔元龜元年〕 七月二日	毛利元秋書狀（モト折紙、野村家文書）……………	393	1397	永祿一三年九月二九日	尼子勝久宛行狀写（国代考証・所収文書）……………	406
1362	〔元龜元年〕 七月九日	毛利元就書狀写（萩藩閤閱録）……………	394	1398	元龜元年九月晦日	毛利元就知行宛行付立写（萩藩譜録・所収文書）……………	406
1363	〔元龜元年〕 七月一〇日	毛利元就書狀写（萩藩閤閱録）……………	394	1399	〔元龜元年〕 一〇月一二日	毛利元就書狀（切紙、清水寺文書）……………	406
1364	〔元龜元年〕 七月一〇日	毛利元就書狀（切紙、清水寺文書）……………	394	1400	〔元龜元年〕 一〇月一五日	毛利元就・同輝元連署書狀写（平賀家文書）……………	407
1365	〔元龜元年〕 七月一八日	毛利輝元・小早川隆景連署感狀（切紙、多賀文書）……………	394	1401	〔元龜元年〕 一〇月一七日	毛利元就書狀写（萩藩閤閱録）……………	407
1366	〔元龜元年〕 七月一八日	毛利隆元書狀写（萩藩閤閱録）……………	395	1402	〔元龜元年〕 一〇月一九日	毛利元就書狀写（萩藩閤閱録）……………	408
1367	〔元龜元年〕 七月二〇日	小早川隆景書狀写（萩藩閤閱録）……………	395	1403	〔元龜元年〕 一〇月一九日	毛利輝元書狀写（萩藩閤閱録）……………	408
1368	〔元龜元年〕 七月二二日	小早川隆景書狀写（萩藩閤閱録）……………	395	1404	〔元龜元年〕 一〇月一九日	尼子勝久宛行狀（モト折紙、松浦文書）……………	409
1369	元龜元年七月二二日	尼子勝久感狀（切紙、明治百年大古書展出品目録）……………	396	1405	〔元龜元年〕 一〇月二五日	毛利元就・同輝元連署書狀（知新集・所収文書）……………	409
1370	永祿一三年七月二二日	毛利輝元袖判家臣連署書狀写（出雲鑑所収・常栄寺文書）……………	396	1406	〔元龜元年〕 一〇月二七日	毛利元就・同輝元連署書狀写（萩藩閤閱録）……………	410
1371	〔元龜元年〕 七月二六日	吉川元春書狀写（萩藩閤閱録）……………	397	1407	〔元龜元年〕 一〇月二八日	毛利元就・同輝元連署書狀写（萩藩閤閱録）……………	410
1372	永祿一三年七月二八日	福屋隆兼感狀（玉川文書）……………	397	1408	〔元龜元年〕 一一月一日	毛利元就・同輝元連署書狀写（萩藩閤閱録）……………	410
1373	永祿一三年七月二九日	毛利元秋書狀（八重垣文書）……………	397	1409	〔元龜元年〕 一一月二日	毛利元就・同輝元連署書狀写（萩藩閤閱録）……………	411
1374	〔元龜元年〕 七月二九日	宋戸隆家書狀（切紙、厳島野坂文書）……………	398	1410	永祿一三年一一月四日	毛利元就・同輝元連署感狀写（萩藩閤閱録）……………	411
1375	〔元龜元年〕 七月晦日	毛利輝元書狀（厳島野坂文書）……………	398	1411	〔元龜元年〕 一一月二二日	毛利元秋書狀写（萩藩閤閱録）……………	412
1376	〔元龜元年〕 八月三日	毛利輝元書狀写（萩藩閤閱録）……………	398	1412	元龜元年一一月一四日	吉川家祖先勲功覚書上……………	412
1377	〔元龜元年〕 八月五日	毛利元就書狀（鰐淵寺文書）……………	399	1413	〔元龜元年〕 一一月一九日	吉川元春書狀写（萩藩閤閱録）……………	413
1378	〔元龜元年〕 八月七日	毛利元就書狀写（萩藩閤閱録）……………	399	1414	〔元龜元年〕 一一月一九日	尼子勝久袖判奉行人連署奉書（モト折紙、松浦文書）……………	413
1379	〔元龜元年〕 八月一四日	小早川隆景他三名連署書狀（野村家文書）……………	399	1415	〔元龜元年〕 一一月二〇日	尼子勝久書狀（切紙、松浦文書）……………	413
1380	〔元龜元年〕 八月一五日	毛利輝元書狀写（萩藩閤閱録）……………	400	1416	〔元龜元年〕 一一月二〇日	毛利元就・同輝元連署書狀（折紙、岡家文書）……………	413
1381	〔元龜元年〕 八月一六日	毛利輝元書狀（妙蓮寺藏末国家文書）……………	400	1417	〔元龜元年〕 一一月二二日	吉川元春他二名連署書狀写（萩藩閤閱録）……………	414
1382	〔元龜元年〕 八月一六日	毛利輝元書狀写（萩藩閤閱録）……………	401	1418	〔元龜元年〕 一一月二三日	毛利輝元感狀写（萩藩閤閱録）……………	415
1383	〔元龜元年〕 八月一九日	小早川隆景書狀写（萩藩閤閱録）……………	401	1419	〔元龜元年〕 一一月二三日	吉川元春・口羽通良連署書狀写（萩藩閤閱録）……………	415
1384	永祿一三年八月二一日	吉川元春外三名連署禁制（八重垣神社文書）……………	401	1420	〔元龜元年〕 一一月二八日	毛利輝元書狀写（萩藩閤閱録）……………	415
1385	〔元龜元年〕 八月二六日	毛利元就書狀写（萩藩閤閱録）……………	402	1421	永祿一三年一一月二八日	毛利元就・同輝元連署感狀写（萩藩閤閱録）……………	416
1386	永祿一三年八月二九日	毛利輝元判物（八重垣文書）……………	402	1422	永祿一三年一一月二八日	毛利元就・同輝元連署書狀写（萩藩閤閱録）……………	416
1387	永祿一三年九月三日	吉川元春他三名連署書狀写（萩藩閤閱録）……………	403	1423	〔元龜元年〕 一一月二九日	毛利輝元書狀写（萩藩閤閱録）……………	416
1388	〔元龜元年〕 九月五日	毛利輝元・小早川隆景連署書狀写（萩藩閤閱録）……………	403	1424	〔元龜元年〕 一一月二九日	毛利元就・同輝元連署書狀写（萩藩閤閱録）……………	416
1389	〔元龜元年〕 九月一一日	小早川隆景書狀写（萩藩閤閱録）……………	403	1425	〔元龜元年〕 一一月四日	毛利元就書狀写（萩藩閤閱録）……………	417
1390	〔元龜元年〕 九月一一日	吉川元春書狀（八重垣文書）……………	404	1426	年未詳一二月四日	毛利元就書狀写（千家古文書写乙）……………	417
1391	〔元龜元年〕 九月二二日	児玉春種書狀（折紙、八重垣文書）……………	404	1427	〔元龜元年〕 一一月九日	小早川隆景書狀（口羽家文書）……………	417
1392	〔元龜元年〕 九月二〇日	毛利元就書狀写（萩藩閤閱録）……………	404	1428	永祿一三年一二月一一日	毛利元就・同輝元袖判奉行人連署書狀（折紙、多賀文書）……………	418
1393	永祿一三年九月二二日	毛利氏禁制案（成相寺文書）……………	404	1429	永祿一三年一二月一一日	毛利元就・同輝元知行宛行狀（多賀文書）……………	418
1394	元龜元年九月二四日	尼子勝久感狀（切紙、松浦文書）……………	405	1430	永祿一三年一二月一一日	毛利元就・同輝元連署宛行狀写（富家文書・島根県教育委員会）……………	418
1395	〔元龜元年〕 九月二五日	毛利輝元・同元就・小早川隆景連署書狀写（萩藩閤閱録）……………	405	1431	〔元龜元年〕 一二月二二日	毛利輝元書狀（妙蓮寺藏末国家文書）……………	419
1396	〔元龜元年〕 九月二八日	吉川元春書狀写（萩藩閤閱録）……………	405				

1432	〔元龜元年〕二月三日	吉川元春・口羽通良連署書狀写〔萩藩閥閥録〕	419	1469	〔元龜二年〕五月一日	出羽元俱書狀〔吉川家文書〕	434
1433	〔元龜元年〕二月八日	毛利元就書狀写〔萩藩閥閥録〕	419	1470	〔元龜二年〕五月一日	吉川元春書狀写〔山田家古文書〕	435
1434	〔元龜元年〕二月八日	吉川元春書狀写〔萩藩閥閥録〕	420	1471	〔元龜二年〕五月九日	毛利元就書狀写〔萩藩閥閥録〕	436
1435	〔元龜元年〕二月二〇日	口羽通良書狀〔モト折紙、湯浅家文書〕	420	1472	〔元龜二年〕五月二一日	富田元秋書狀写〔萩藩閥閥録〕	436
1436	〔元龜元年〕二月二六日	毛利元就書狀写〔萩藩閥閥録〕	421	1473	年未詳五月二一日	毛利輝元書狀写〔萩藩閥閥録〕	436
1437	永祿一三年月日未詳	神魂神社祝詞写〔秋上家文書〕	421	1474	元龜二年五月二三日	小早川隆景他三名連署書狀〔熊野神社文書〕	437
1438	年月日未詳	某書狀案〔右田毛利家文書〕	421	1475	〔元龜二年〕五月二五日	毛利元秋書狀写〔萩藩閥閥録〕	437
1439	年月日未詳	西岩坂村磐坂神社宝刀銘写〔明治三十五年島根県神社由緒書〕	422	1476	年未詳五月二九日	毛利元就安堵狀〔富家文書・毛利博物館〕	437
1440	〔元龜二年〕正月一九日	吉川元春書狀〔切紙、多賀文書〕	422	1477	〔元龜二年〕六月五日	毛利元秋書狀写〔萩藩閥閥録〕	438
1441	〔元龜二年〕正月二三日	吉川元春書狀写〔萩藩閥閥録〕	422	1478	〔元龜二年〕六月一五日	小早川隆景書狀写〔萩藩閥閥録〕	438
1442	〔元龜二年〕二月三日	吉川元春書狀写〔萩藩閥閥録〕	423	1479	年未詳六月二二日	吉川元春書狀〔毛利博物館所蔵文書〕	438
1443	〔元龜二年〕二月一三日	毛利輝元書狀写〔萩藩閥閥録〕	423	1480	〔元龜二年〕六月二三日	吉川元春書狀写〔萩藩閥閥録〕	439
1444	〔元龜二年〕三月三日	毛利元秋書狀写〔萩藩閥閥録〕	423	1481	〔元龜二年〕六月二三日	吉川元春書狀写〔萩藩閥閥録〕	439
1445	元龜二年三月一一日	尼子勝久袖判奉行人連署奉書〔切紙、鴻池家文書〕	424	1482	元龜二年七月三日	毛利元秋書狀写〔萩藩閥閥録〕	440
1446	元龜二年三月一四日	毛利輝元書狀写〔萩藩閥閥録〕	425	1483	〔元龜二年〕七月四日	小早川隆景書狀写〔萩藩閥閥録〕	440
1447	元龜二年三月二一日	内藤元榮書狀写〔萩藩閥閥録〕	426	1484	〔元龜二年〕七月九日	吉川元春書狀写〔山田家古文書〕	440
1448	〔元龜二年〕三月二二日	毛利元就・同輝元連署書狀写〔萩藩閥閥録〕	426	1485	元龜二年七月二三日	吉川元春起請文写〔萩藩閥閥録〕	441
1449	年未詳三月二三日	毛利氏奉行人連署奉書〔鰐淵寺文書〕	426	1486	元龜二年八月一十五日	毛利輝元書下写〔忌部総社大宮神宮寺秘事記〕	441
1450	〔元龜二年〕三月二三日	吉川元春書狀写〔萩藩閥閥録〕	427	1487	元龜二年八月一八日	吉川家祖先勲功覽書上	441
1451	〔元龜二年〕三月二九日	毛利元就・同輝元連署書狀〔切紙、森木家文書〕	427	1488	〔元龜二年〕八月二〇日	毛利元秋書狀写〔萩藩閥閥録〕	443
1452	〔元龜二年〕四月三日	小早川隆景書狀写〔萩藩閥閥録〕	428	1489	〔元龜二年〕八月二〇日	吉川元春書狀写〔萩藩閥閥録〕	443
1453	元龜二年四月三日	毛利元就・同輝元連署知行宛行狀〔鰐淵寺文書〕	428	1490	〔元龜二年〕八月二四日	毛利輝元書狀〔野村家文書〕	443
1454	年未詳四月三日	毛利輝元書狀〔鰐淵寺文書〕	428	1491	〔元龜二年〕八月二八日	小早川隆景他三名連署書狀写〔萩藩閥閥録〕	444
1455	年月日未詳	鰐淵寺和多坊知行宛	429	1492	〔元龜二年〕八月二九日	吉川元春・口羽通良・志道元保連署書狀案〔多賀文書〕	444
1456	年月日未詳	鰐淵寺和多坊知行書立〔鰐淵寺文書〕	430	1493	〔元龜二年〕九月一一日	吉川元春書狀写〔萩藩閥閥録〕	444
1457	年月日未詳	鰐淵寺和多坊知行書立〔鰐淵寺文書〕	430	1494	元龜二年一〇月一一日	毛利輝元判物写〔萩藩閥閥録〕	445
1458	年月日未詳	和多坊領不知行分書立〔鰐淵寺文書〕	430	1495	〔元龜二年〕一〇月二三日	尼子勝久書狀写〔家原家文書〕	445
1459	元龜二年四月四日	毛利輝元書狀〔野村家文書〕	430	1496	〔元龜二年〕一〇月一三日	毛利輝元書狀〔井上文書〕	445
1460	元龜二年四月五日	吉川元春起請文〔三沢文書〕	431	1497	〔元龜二年〕一〇月一三日	毛利輝元書狀写〔萩藩閥閥録〕	446
1461	〔元龜二年〕四月二三日	宍道隆慶書狀写〔萩藩閥閥録〕	431	1498	〔元龜二年〕一〇月四日	吉川元春書狀〔讃岐三木家文書〕	446
1462	〔元龜二年〕四月二四日	毛利元就書狀写〔萩藩閥閥録〕	431	1499	〔元龜二年〕一一月八日	毛利元秋書狀〔井上文書〕	446
1463	元龜二年四月二五日	宍道隆慶宛行狀〔一畑寺文書〕	432	1500	年月日未詳	毛利元就書狀〔井上文書〕	447
1464	元龜二年四月二五日	宍道隆慶袖判西尾松菊丸給地地付〔一畑寺文書〕	432	1501	年未詳三月二八日	毛利元就書狀写〔萩藩閥閥録・福井十郎兵衛信之〕	447
1465	〔元龜二年〕四月二七日	毛利元就書狀写〔萩藩閥閥録〕	432	1502	年未詳三月二九日	毛利元就書狀〔秋上家文書〕	447
1466	〔元龜二年〕五月二一日	吉川元春書狀写〔萩藩閥閥録〕	433	1503	年未詳五月一七日	毛利元秋書狀写〔萩藩閥閥録〕	447
1467	〔元龜二年〕五月四日	毛利元就・同輝元連署書狀写〔萩藩閥閥録〕	433				
1468	〔元龜二年〕五月九日	毛利元秋他二名連署書狀写〔萩藩閥閥録〕	434				

1504	年未詳五月二四日	毛利元秋書狀写 (萩藩閥閥録)	448	1541	元龜三年一月三日	天野隆重安堵狀 (熊野神社文書)	462
1505	年未詳六月二四日	毛利元就書狀写 (萩藩閥閥録)	448	1542	年未詳十一月一日	養拙斎周棟書狀写 (国造千家所持古書類写)	462
1506	年未詳九月一三日	毛利元就書狀写 (萩藩譜録・柳沢新右衛門元詮)	448	1543	元龜三年月未詳吉日	忌部村東忌部大宮神社棟札写 (明治三十五年島根県神社由緒書)	463
1507	年未詳九月二八日	毛利元就書狀 (秋上家文書)	448	1544	元龜四年正月二〇日	安倍善左衛門尉直狀写 (忌部大宮湊幡記)	463
1508	年未詳十一月二三日	吉川元春・小早川隆景連署書狀写 (萩藩閥閥録)	449	1545	〔元龜四年〕三月二二日	天野隆重書狀写 (萩藩閥閥録)	463
1509	年未詳十一月二三日	毛利元就書狀 (切紙、富家文書・毛利博物館)	449	1546	元龜四年四月一六日	白紙綱正田地寄進狀 (小野雄彦氏所蔵文書)	464
1510	年月日未詳	毛利元就書狀 (小幡氏) 消息写 (小幡家文書)	449	1547	〔元龜四年〕四月二六日	井上春忠書狀 (モト折紙、野村家文書)	464
1511	年月日未詳	毛利元秋書狀写 (萩藩閥閥録)	450	1548	〔元龜四年〕五月一日	福原貞俊書狀写 (萩藩閥閥録)	465
1512	年月日未詳	毛利元秋書狀写 (萩藩閥閥録)	450	1549	〔元龜四年〕五月四日	小早川隆景書狀写 (萩藩閥閥録)	466
1513	元龜三年正月一〇日	橋姫大明神縁起 (賣布神社文書)	451	1550	元龜四年一〇月一日	小早川隆景感狀写 (萩藩閥閥録)	466
1514	〔元龜三年〕正月二八日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	452	1551	〔天正元年〕十一月二五日	毛利輝元書狀写 (萩藩閥閥録)	466
1515	〔元龜三年〕閏正月二〇日	毛利輝元書狀写 (湯原文書・山口県文書館三卿伝編纂所史料)	452	1552	〔天正元年〕十一月二二日	安国寺恵瓊自筆書狀 (吉川家文書)	467
1516	〔元龜三年〕閏正月二一日	吉川元春書狀 (切紙、吉川家文書)	452	1553	〔天正二年〕二月一五五	真木島昭光奉書 (切紙、相国寺光源院文書)	469
1517	〔元龜三年〕閏正月二七日	毛利家奉行連署奉書写 (萩藩閥閥録)	453	1554	〔天正二年〕三月一三日	小早川隆景書狀写 (萩藩閥閥録)	469
1518	元龜三年二月四日	口羽通良書狀 (折紙、秋上家文書)	453	1555	〔天正二年〕三月一九日	湯原春綱申狀写 (萩藩閥閥録)	469
1519	〔元龜三年〕二月六日	毛利輝元書狀 (多賀文書)	454	1556	天正二年四月五日	正親町天皇口宣案写 (九条家文書朝山家伝)	470
1520	元龜三年三月一五五	八幡山中坊孝昌書下 (青木家文書)	454	1557	天正二年四月五日	正親町天皇口宣案写 (九条家文書朝山家伝)	470
1521	元龜三年三月一九日	白紙家正寄進狀 (一畑寺文書)	454	1558	天正二年四月五日	歴名士代	470
1522	元龜三年三月二一日	毛利輝元判物 (熊野神社文書)	454	1559	天正二年四月二二日	毛利氏奉行人連署書狀写 (萩藩閥閥録)	470
1523	〔元龜三年〕四月二日	毛利輝元書狀写 (萩藩閥閥録)	455	1560	天正二年四月二二日	毛利氏奉行人連署書狀写 (萩藩閥閥録)	471
1524	〔元龜三年〕四月六日	天野隆重書狀写 (萩藩閥閥録)	455	1561	天正二年四月二四日	毛利氏奉行人連署奉書写 (萩藩閥閥録)	471
1525	年未詳四月一〇日	福原貞俊書狀 (鰐淵寺文書)	455	1562	〔天正二年〕五月四日	毛利元秋書狀写 (萩藩閥閥録)	472
1526	元龜三年四月二〇日	国造千家義広知行宛行狀 (千家家文書)	456	1563	天正二年八月吉日	大竜寺点司寮棟札写 (千手寺蔵团扇常用所収)	472
1527	元龜三年四月二〇日	三刀屋久扶宛行狀 (切紙力、土屋家文書)	457	1564	〔天正二年〕九月二〇日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	473
1528	〔元龜三年〕五月二二日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	457	1565	天正二年九月二五日	須衛都久神社棟札写 (明治十七年社寺宝物文書目録)	473
1529	〔元龜三年〕五月一八日	毛利元秋・天野隆重連署書狀写 (萩藩閥閥録)	457	1566	天正二年九月二五日	大芦村字天神天幡宮鏡台銘写 (明治三十五年島根県神社由緒書)	473
1530	〔元龜三年〕五月二一日	天野隆重書狀写 (萩藩閥閥録)	458	1567	〔天正二年〕九月二七日	吉川元春書狀写 (萩藩譜録・井上正幸)	474
1531	〔元龜三年〕五月二七日	毛利元秋書狀 (鰐淵寺文書)	458	1568	天正二年十一月二〇日	神魂社釜神祝詞 (秋上家文書)	474
1532	元龜三年六月二〇日	毛利元秋奉書 (摺夜神社文書)	458	1569	天正二年十一月二五日	吉川元長書狀 (牛尾家文書)	474
1533	〔元龜三年〕六月晦日	吉川元春・福原貞俊連署書狀 (千家家文書)	459	1570	〔天正三年〕二月一三日	中林藤兵衛尉書狀 (折紙、賣布神社文書)	476
1534	元龜三年七月二五日	毛利輝元判物 (讃岐三木家文書)	459	1571	年未詳二月二三日	秋上幸益書狀 (折紙、秋上家文書)	476
1535	元龜三年八月六日	毛利元秋寄進狀 (阿羅波比神社文書)	459	1572	天正三年三月一〇日	迎接寺鐘銘 (迎接寺所蔵)	477
1536	元龜三年八月七日	吉川元春書狀 (千家家文書)	460	1573	〔天正三年〕四月二二五	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	478
1537	〔元龜三年〕九月一三日	小早川隆景書狀写 (萩藩閥閥録)	460	1574	天正三年五月五日	常栄寺開山正灯普光禪師実録写 (萩藩閥閥録)	478
1538	元龜三年九月	大森神社造宮棟札銘写 (永川神社所蔵)	461	1575	年未詳六月三日	毛利輝元書狀 (切紙、家原家文書)	480
1539	元龜三年九月	宍道松寿丸寄進狀写 (富家文書・島根県教育委員会)	461				
1540	元龜三年一〇月二二日	尼子勝久宛行狀 (モト折紙力、松浦文書)	461				

1576	天正三年六月二二日	中務大輔家久公御上京日記（島津家文書）	480	1612	天正五年二月四日	尼子勝久判物（熊野神社文書）	491
1577	天正三年七月二二日	野村士悦書狀（折紙、家原文書）	480	1613	天正六年二月三日	毛利輝元判物（三浦家文書）	492
1578	天正三年七月二四日	二宮右忠・赤川就武連署書狀（折紙、家原文書）	481	1614	年未詳三月二〇日	仁保元棟書狀（折紙、嚴島野坂文書）	492
1579	天正三年八月三日	三沢為虎一行狀（折紙、賣布神社文書）	481	1615	年未詳三月二〇日	山県春棟書狀（折紙、嚴島野坂文書）	492
1580	年未詳九月二日	某宗良書狀（切紙、木次井上柳太郎家文書）	481	1616	〔天正六年〕四月二二日	吉川元春書狀写（萩藩閥閥録）	493
1581	天正三年十一月一六日	野村士悦安堵狀（家原文書）	482	1617	〔天正六年〕六月二八日	毛利輝元書狀写（萩藩閥閥録）	493
1582	天正三年十一月二二日	朝山資綱書狀案（京大朝山文書）	482	1618	天正六年七月四日	佐陀社神官等連署末社書上（宮川家文書）	493
1583	年月日未詳	〔参考〕出雲国朝山家系図（九条家文書）	482	1619	〔天正六年〕七月一七日	小早川隆景書狀写（萩藩閥閥録）	499
1584	天正三年十一月	千酌爾佐神社棟札写（明治三十五年島根神社由緒書）	483	1620	天正六年八月	大井村大井神社棟札写（明治十七年社寺宝物文書目録）	499
1585	天正四年正月一四日	秋上幸益書狀写（折紙、嚴島野坂文書）	483	1621	天正六年九月吉日	熊野神社棟札（松江市西川津町熊野神社所蔵）	499
1586	天正四年正月一四日	秋上幸益書狀写（切紙、嚴島野坂文書）	484	1622	天正六年九月吉日	大内谷村住吉大明神棟札写（享保十二年島根郡朝酌村・大内谷村神社指出帳扣）	500
1587	天正四年二月四日	吉川元春受領書出写（伯耆志・末次家文書）	484	1623	天正六年十一月五日	宮迫清秀願文（宮川家文書）	500
1588	天正四年二月六日	美野村芦高神社棟札写（明治十七年社寺宝物文書目録）	484	1624	年未詳十二月一五日	熊谷高直書狀（右田毛利家文書）	501
1589	天正四年二月一五日	毛利氏奉行入書狀（折紙、嚴島野坂文書）	484	1625	天正七年三月三日	毛利輝元安堵狀写（萩藩閥閥録）	501
1590	〔天正四年〕三月一八日	毛利輝元書狀（切紙、鰯淵寺文書）	485	1626	年未詳三月一七日	毛利輝元書狀写（萩藩閥閥録）	502
1591	〔天正四年〕三月二三日	吉川元春書狀（切紙、鰯淵寺文書）	485	1627	〔天正七年〕四月三日	毛利輝元書狀写（萩藩閥閥録）	502
1592	天正四年四月一二日	佐陀本郷村須賀神社棟札写（明治十七年社寺宝物文書目録）	485	1628	〔天正七年〕五月一八日	吉川元春書狀写（萩藩閥閥録）	502
1593	年未詳五月四日	野村士悦書狀（折紙、家原文書）	486	1629	天正七年五月二七日	吉川元春書狀写（萩藩閥閥録）	502
1594	年未詳五月四日	野村士悦書狀（折紙、家原文書）	486	1630	年未詳六月四日	毛利元秋書狀写（萩藩閥閥録）	503
1595	天正四年九月一三日	佐陀本郷須賀神社棟札写（明治三十五年島根神社由緒書）	487	1631	天正七年八月三日	棘林志四	503
1596	〔天正四年〕一〇月一一日	六角義堯書狀案（切紙、三沢文書）	487	1632	天正七年八月五日	大庭保寛書（秋上家文書）	504
1597	天正四年十一月一一日	毛利輝元判物（成相寺文書）	487	1633	天正七年八月五日	某寛書（秋上家文書）	504
1598	天正四年十一月一一日	児玉元良書狀（モト折紙、成相寺文書）	487	1634	天正七年八月一〇日	六所社領書立（秋上家文書）	504
1599	天正四年十一月一一日	児玉元良打渡狀（成相寺文書）	488	1635	年月日未詳	六所社神田書立（秋上家文書）	505
1600	〔天正四年〕十一月四日	吉川元春安堵狀（成相寺文書）	488	1636	年月日未詳	伊弉諾社神田書立（秋上家文書）	505
1601	天正四年十一月五日	猪尾神社棟札	488	1637	天正七年八月二日	宍道政慶書狀（相国寺光源院文書）	505
1602	天正四年十二月一四日	天野隆重判物（熊野神社文書）	489	1638	天正七年八月二日	宍道政慶袖判佐々布慶輔奉書（モト折紙、相国寺光源院文書）	506
1603	天正五年二月一四日	毛利輝元宛行狀（阿川毛利家文書）	489	1639	〔天正七年〕八月二五日	吉川元春書狀写（萩藩閥閥録）	506
1604	〔天正五年〕三月五日	毛利輝元書狀（切紙、鰯淵寺文書）	489	1640	〔天正七年〕九月一〇日	吉川元春書狀（井原家文書）	506
1605	〔天正五年〕三月五日	毛利輝元書狀（切紙、鰯淵寺文書）	490	1641	〔天正七年〕九月一〇日	吉川元春書狀（折紙、多賀文書）	507
1606	天正五年四月三日	吉川元春書狀（久利家文書）	490	1642	〔天正七年〕九月一四日	伊賀田春法書狀（井原家文書）	507
1607	天正五年四月五日	吉川元長書狀（久利家文書）	490	1643	〔天正七年〕九月二二日	吉川元春書狀（切紙、多賀文書）	508
1608	天正五年五月二〇日	豊龍寺開基心月普得座像墨書銘（豊龍寺所蔵）	490	1644	〔天正七年〕九月二二日	吉川元春書狀（折紙、多賀文書）	508
1609	年未詳九月二〇日	小早川隆景書狀（萩藩閥閥録）	491	1645	〔天正七年〕九月二二日	吉川元春書狀（折紙、多賀文書）	508
1610	〔天正五年〕一〇月八日	真木島昭光書狀写（秋鹿郡許曾志神社指出）	491	1646	年未詳九月二二日	小早川隆景書狀写（萩藩閥閥録）	509
1611	天正五年十一月吉日	持田大宮大明神棟札写（明治三十五年島根神社由緒書）	491				

1647	〔天正七年〕一〇月五日	小早川隆景書狀(多賀文書)……………	509	1684	天正八年二月五日	小早川隆景書狀写(吉川家中并社文書)……………	521
1648	〔天正七年〕一〇月五日	井上春忠書狀(切紙、多賀文書)……………	509	1685	〔天正八年〕一月一三日	小早川隆景・吉川元春連署書狀写(萩藩閥閥録)……………	522
1649	年未詳一〇月七日	小早川隆景書狀写(萩藩閥閥録)……………	510	1686	〔天正八年〕二月一五日	小早川隆景・吉川元春連署書狀写(萩藩閥閥録)……………	522
1650	天正七年一〇月一〇日	国司大明神社棟札写(享保十二年秋鹿郡神社指出帖)……………	510	1687	〔天正八年〕二月一五日	毛利輝元袖札林就長副狀写(朝山家文書)……………	522
1651	天正七年一〇月一〇日	西長江国司神社棟札写(根長江国司神社由緒書)……………	510	1688	天正八年二月二四日	美保神社翁面銘写(明治十七年社寺宝物文書目録)……………	523
1652	天正七年一〇月一〇日	長江国司大明神社棟札写(宝曆十四年長江村社号書出帳)……………	510	1689	天正八年三月五日	吉川元春書狀写(萩藩閥閥録)……………	523
1653	〔天正七年〕一〇月一三日	毛利輝元書狀(井原家文書)……………	511	1690	年未詳三月八日	吉川元春書狀写(萩藩閥閥録)……………	524
1654	天正七年一〇月一三日	毛利輝元加冠狀(井原家文書)……………	511	1691	〔天正八年〕三月二四日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録)……………	524
1655	〔天正七年〕一〇月一四日	吉川元春書狀(萩藩閥閥録)……………	511	1692	〔天正八年〕三月二四日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録)……………	524
1656	〔天正七年〕一〇月一五日	児玉元良書狀(折紙、多賀文書)……………	511	1693	天正八年三月二四日	毛利輝元受領書出写(萩藩閥閥録)……………	524
1657	〔天正七年〕一〇月一五日	児玉元良書狀(折紙、多賀文書)……………	512	1694	〔天正八年〕閏三月一日	仁保元棟書狀(井原家文書)……………	525
1658	天正七年一〇月二日	吉川元春書狀写(伯耆志・末次家文書)……………	512	1695	〔天正八年〕閏三月一二日	吉川元春他三名連署書狀写(萩藩閥閥録)……………	525
1659	〔天正七年〕十一月一日	児玉元貫書狀(家原家文書)……………	512	1696	〔天正八年〕閏三月一二日	吉川元春書狀写(藩中諸家古文書纂)……………	525
1660	〔天正七年〕十一月二日	小早川隆景外二名連署書狀(吉川家文書)……………	513	1697	天正八年閏三月上旬	房頭寛書……………	526
1661	〔天正七年〕十一月九日	小早川隆景書狀写(萩藩閥閥録)……………	514	1698	天正八年閏三月一八日	天野隆重判物(本庄熊野神社文書)……………	527
1662	〔天正七年〕十一月二二日	吉川元春書狀(多賀文書)……………	514	1699	〔天正八年〕閏三月二二日	国司元武書狀(モト折紙、坪内家文書)……………	528
1663	天正七年十一月二七日	仁保元棟官途書出写(秋上家文書)……………	514	1700	〔天正八年〕閏三月二三日	吉川元春・小早川隆景連署書狀写(萩藩閥閥録)……………	528
1664	年未詳二月一三日	小早川隆景書狀写(萩藩閥閥録)……………	514	1701	〔天正八年〕四月一日	吉川元春書狀写(萩藩閥閥録)……………	529
1665	〔天正七年〕二月一七日	吉川元春書狀写(萩藩閥閥録)……………	515	1702	天正八年四月一〇日	吉川元春書狀写(萩藩閥閥録)……………	529
1666	年未詳二月一九日	小早川隆景書狀写(萩藩閥閥録)……………	515	1703	〔天正八年〕四月一五日	吉川元春書狀写(萩藩閥閥録)……………	529
1667	年未詳二月二一日	毛利元秋書狀(萩藩閥閥録)……………	515	1704	天正八年五月一六日	吉川元春書狀写(湯原文書・山口県文書館三卿伝編纂所史料)……………	529
1668	年未詳二月二二日	毛利元秋書狀写(湯原文書・山口県文書館三卿伝編纂所史料)……………	516	1705	〔天正八年〕五月一七日	小早川隆景書狀写(萩藩閥閥録)……………	530
1669	〔天正七年〕二月二九日	吉川元長書狀写(吉川家中并社文書)……………	516	1706	〔天正八年〕五月二八日	小早川隆景書狀写(萩藩閥閥録)……………	530
1670	年未詳二月二九日	吉川元春書狀写(萩藩閥閥録)……………	517	1707	天正八年五月	正覚寺護摩壇座板裏書(正覚寺所蔵)……………	531
1671	天正八年正月二日	吉川元春・小早川隆景連署書狀写(萩藩閥閥録)……………	517	1708	〔天正八年〕六月九日	小早川隆景書狀写(萩藩閥閥録)……………	531
1672	〔天正八年〕正月五日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録)……………	517	1709	〔天正八年〕六月一五日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録)……………	531
1673	天正八年正月五日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録)……………	518	1710	〔天正八年〕六月一九日	小早川隆景書狀写(萩藩閥閥録)……………	532
1674	〔天正八年〕正月六日	吉川元春書狀写(萩藩閥閥録)……………	518	1711	〔天正八年〕六月二一日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録)……………	532
1675	〔天正八年〕正月九日	藏田元貞書狀写(萩藩閥閥録)……………	518	1712	〔天正八年〕六月二二日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録)……………	532
1676	〔天正八年〕正月九日	吉川元春書狀写(萩藩閥閥録)……………	518	1713	〔天正八年〕六月二三日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録)……………	533
1677	年未詳正月二二日	吉川元春書狀写(萩藩閥閥録)……………	519	1714	〔天正八年〕六月二三日	織田信長朱印狀写(萩藩閥閥録)……………	533
1678	年未詳正月二〇日	吉川元春書狀写(萩藩譜録・湯原宇兵衛国安)……………	519	1715	〔天正八年〕六月二四日	小早川隆景書狀写(萩藩閥閥録)……………	533
1679	年未詳正月二〇日	吉川元春書狀写(湯原文書・山口県文書館三卿伝編纂所史料)……………	519	1716	〔天正八年〕六月二五日	羽柴秀吉書狀写(萩藩閥閥録)……………	534
1680	年未詳正月二四日	小早川隆景書狀写(萩藩閥閥録)……………	520	1717	〔天正八年〕六月二八日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録)……………	534
1681	年未詳正月二四日	小早川隆景書狀写(萩藩閥閥録)……………	520	1718	〔天正八年〕六月晦日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録)……………	534
1682	天正八年正月二六日	井上元植寄進狀(須衛都久神社文書)……………	520	1719	天正八年七月四日	吉川元春書狀写(萩藩閥閥録)……………	534
1683	〔天正八年〕二月一日	小早川隆景他三名連署書狀写(萩藩閥閥録)……………	521	1720	〔天正八年〕七月一〇日	小早川隆景書狀写(萩藩閥閥録)……………	535

1721	(天正八年) 七月一日	小早川隆景書狀写 (萩藩閥閥録)	535	1758	(天正八年) 一月二六日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	549
1722	(天正八年) 七月二〇日	小早川隆景書狀写 (萩藩閥閥録)	535	1759	天正八年 一月二八日	東村鹿園寺村社山口神社棟札 (明治三十五年島根神社由緒書)	549
1723	(天正八年) 七月二〇日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	536				
1724	(天正八年) 七月二〇日	小早川隆景・福原元俊連署書狀写 (吉川家中并 社社文書)	536	1760	(天正八年) 一月二九日	福原貞俊・口羽春良・小早川隆景連署 書狀写 (萩藩閥閥録)	549
1725	(天正八年) 七月二二日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	536				
1726	(天正八年) 七月二二日	毛利輝元書狀写 (萩藩閥閥録)	537	1761	(天正八年) 一月二九日	毛利輝元書狀写 (萩藩閥閥録)	550
1727	(天正八年) 八月五日	毛利輝元書狀写 (萩藩閥閥録)	537	1762	天正八年十一月吉日	熊野神社棟札 (松江市西川津町熊野神社所蔵)	550
1728	天正八年八月二二日	名分村大井神社棟札写 (明治三十五年島 根神社由緒書)	538	1763	(天正八年) 二月一六日	小早川隆景書狀写 (萩藩閥閥録)	551
1729	(天正八年) 八月一五五	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	538	1764	天正八年二月二〇日	毛利輝元・袖判家臣連署書狀写 (出雲縣所収 常楽寺文書)	551
1730	(天正八年) 八月二〇日	小早川隆景書狀写 (萩藩閥閥録)	538	1765	(天正八年) 二月二八日	吉川元春書狀 (児玉家文書)	552
1731	(天正八年) 八月二〇日	毛利輝元書狀写 (萩藩閥閥録)	539	1766	天正八年二月吉日	岡本村羽鳥大明神棟札写 (享保十二年秋鹿 郡神社指出帖)	552
1732	(天正八年) 八月二二日	天野隆重書狀写 (萩藩閥閥録)	539	1767	天正八年二月吉日	筑陽神社棟札写 (島根県史神社資料)	552
1733	(天正八年) 八月二四日	小早川隆景書狀写 (萩藩閥閥録)	540	1768	天正八年二月吉日	岡本保多太神社棟札写 (明治十七年社寺 宝物文書目録)	553
1734	(天正八年) 八月二四日	小早川隆景書狀写 (萩藩閥閥録)	540	1769	天正八年月日未詳	(参考) 来待神社棟札写	553
1735	(天正八年) 九月三日	毛利輝元書狀写 (萩藩閥閥録)	540	1770	(天正九年) 正月一七日	侍衣瑞植外二名連署書狀 (安国寺文書)	553
1736	(天正八年) 九月三日	毛利輝元書狀写 (萩藩閥閥録)	541	1771	(天正九年) 正月二二日	吉川元春書狀 (児玉家文書)	554
1737	(天正八年) 九月四日	毛利輝元書狀 (佐太神社文書)	541	1772	(天正九年) 正月二二日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	554
1738	(天正八年) 九月六日	小早川隆景書狀写 (萩藩閥閥録)	541	1773	(天正九年) 正月二三日	小鴨経春書狀写 (萩藩閥閥録)	554
1739	(天正八年) 九月七日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	542	1774	年未詳 一月二二日	毛利輝元書狀 (切紙、秋上家文書)	555
1740	(天正八年) 九月八日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	542	1775	(天正九年) 二月五日	小早川隆景書狀写 (吉川家中并寺社文書)	555
1741	(天正八年) 九月一〇日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	542	1776	(天正九年) 二月五日	小早川隆景書狀写 (吉川家中并寺社文書)	555
1742	(天正八年) 九月一日	小早川隆景書狀写 (萩藩閥閥録)	543	1777	(天正九年) 二月二六日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	556
1743	(天正八年) 九月一五五	藏田元貞書狀写 (萩藩閥閥録)	543	1778	年未詳 二月二七日	毛利輝元書狀 (切紙、秋上家文書)	556
1744	(天正八年) 九月一六日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	544	1779	天正九年三月吉日	野波村日御碕神社棟札写 (明治三十五年島 根神社由緒書)	556
1745	(天正八年) 九月二九日	小早川隆景書狀写 (萩藩閥閥録)	544	1780	天正九年三月吉日	野波村日御碕神社棟札写 (明治三十五年島 根神社由緒書)	557
1746	(天正八年) 一〇月一〇日	児玉元良書狀写 (萩藩閥閥録)	545	1781	(天正九年) 四月二二日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	557
1747	天正八年一〇月一日	野波村爾佐神社棟札写 (明治三十五年島 根神社由緒書)	545	1782	天正九年五月一五五	南禅寺住持職補任狀 (安国寺文書)	557
1748	(天正八年) 一〇月一四日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	545	1783	(天正九年) 五月一九日	吉川経家書狀 (折紙、石見吉川家文書)	558
1749	(天正八年) 一〇月一四日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	546	1784	(天正九年) 六月一三日	吉川元春・同夫人熊谷氏連署書狀 (吉川家文書)	559
1750	(天正八年) 一〇月一七日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	546	1785	(天正九年) 六月一三日	吉川元長書狀写 (大野毛利萩藩譜録一)	561
1751	(天正八年) 一〇月二七日	口羽春良他三名連署書狀写 (萩藩閥閥録)	547	1786	(天正九年) 七月二二日	吉川元春書狀写 (萩藩閥閥録)	561
1752	天正八年一〇月六日	宍道政慶安堵狀 (沖洲八幡宮文書)	547	1787	年未詳 七月一五五	吉川元長書狀 (讃岐三木家文書)	561
1753	(天正八年) 一一月一五五	毛利輝元書狀写 (萩藩閥閥録)	547	1788	(天正九年) 七月二二日	吉川元長書狀写 (萩藩譜録・宍道式部広慶)	562
1754	(天正八年) 一一月一五五	国司元武・児玉元良連署書狀写 (萩藩閥閥録)	548	1789	(天正九年) 七月二六日	吉川元長書狀写 (萩藩閥閥録)	562
1755	天正八年一一月二〇日	仁保元棟家臣連署奉書 (秋上家文書)	548	1790	(天正九年) 七月二八日	吉川元長書狀写 (萩藩譜録・宍道式部広慶)	563
1756	天正八年一一月二〇日	仁保元棟家臣連署奉書 (秋上家文書)	548	1791	(天正九年) 八月二一日	吉川元春・同元長連署書狀写 (萩藩閥閥録)	563
1757	天正八年一一月二〇日	仁保元棟家臣連署書狀 (切紙、秋上家文書)	549	1792	(天正九年) 八月二一日	吉川元春・同元長連署書狀写 (萩藩閥閥録)	563

1793	年未詳八月一四日	毛利輝元書狀(切紙、秋上家文書)……………	564
1794	天正九年八月二二日	鹿苑院瑞超他二名連署書狀(安国寺文書)……………	564
1795	年未詳九月二八日	吉川元春書狀写(萩藩閤閱録)……………	565
1796	天正九年九月二八日	稻岡村大年神社棟札写(明治三十五年島根県神社由緒書)……………	565
1797	天正九年九月	玉造村一人女神社棟札写(明治三十五年島根県神社由緒書)……………	565
1798	天正九年一月	熊野社神主源俱家覚書写(熊野神社文書)……………	565
1799	天正九年一月	熊野社神主源俱家覚書写(熊野神社文書)……………	567
1800	天正九年二月二二日	天正九年村山檀那帳(村山家檀那帳)……………	570
1801	天正九年二月一五五	毛利元康袖判熊谷秋忠書狀(宮川家文書)……………	570
1802	天正一〇年二月二日	穴道政慶判物(内神社文書)……………	571
1803	天正一〇年二月二日	奥上慶勝打渡狀(内神社文書)……………	571
1804	(天正一〇年)二月二日	某袖判奥上保勝奉書(折紙、内神社文書)……………	571
1805	(天正一〇年)三月四日	児玉元良書狀(佐太神社文書)……………	572
1806	(天正一〇年)三月二二日	吉川元春書狀写(萩藩譜録・穴道広慶)……………	572
1807	(天正一〇年)四月一〇日	吉川元春・同元長連署書狀写(萩藩閤閱録)……………	572
1808	年未詳五月二四日	吉川元春他三名連署書狀(讀岐三木家文書)……………	573
1809	年未詳五月二六日	吉川元春他三名連署書狀(富家文書、毛利博物館)……………	573
1810	天正一〇年五月吉日	森山・横田美保両神社棟札(明治十七年社寺宝物文書目録)……………	574
1811	(天正一〇年)六月八日	杉原景盛書狀写(萩藩閤閱録)……………	574
1812	天正一〇年七月一日	熊野大社棟札写(熊野大社所蔵)……………	574
1813	天正一〇年七月二五日	毛利元康袖判熊谷秋忠・白紙綱正連署書狀(佐太神社文書)……………	574
1814	天正一〇年七月二五日	毛利元康袖判熊谷秋忠・白紙綱正連署書狀(折紙、佐太神社文書)……………	575
1815	(天正一〇年)八月七日	神田元忠書狀(佐太神社文書)……………	575
1816	年未詳八月七日	聖護院権僧正実献書狀(切紙、家原家文書)……………	575
1817	天正一〇年九月一日	熊野三社棟札写(熊野大社所蔵)……………	576
1818	天正一〇年九月一九日	大芦村字將軍神社棟札写(明治三十五年島根県神社由緒書)……………	576
1819	(天正一〇年)十二月一九日	吉川元長書狀(益田家文書)……………	576
1820	天正一一年正月二二日	多賀元忠安堵狀(折紙、西宗寺文書)……………	577
1821	(天正一一年)閏正月五日	吉川元長書狀写(萩藩閤閱録)……………	577
1822	(天正一一年)閏正月八日	小早川隆景書狀写(萩藩閤閱録)……………	577
1823	(天正一一年)閏正月一二日	吉川元春書狀写(湯原文書、山口県文書館三卿伝編纂所史料)……………	578
1824	(天正一一年)閏正月一五五	福原貞俊書狀写(萩藩閤閱録)……………	578
1825	(天正一一年)閏正月二二日	毛利輝元書狀写(萩藩閤閱録)……………	578
1826	(天正一一年)二月二三日	天野隆重書狀(折紙、秋上家文書)……………	579
1827	(天正一一年)二月二三日	国造千家義広書狀(折紙、秋上家文書)……………	579
1828	(天正一一年)二月二三日	毛利元秋書狀(神魂神社文書)……………	579
1829	(天正一一年)二月二八日	毛利輝元書狀(切紙、秋上家文書)……………	580
1830	天正一一年三月三日	千家義広書狀(折紙、秋上家文書)……………	580
1831	(天正一一年)三月六日	神魂社別火秋上久国・同神主良忠・淨音寺恵運連署書狀(折紙、秋上家文書)……………	581
1832	(天正一一年)三月八日	吉川元春書狀写(秋上家文書)……………	582
1833	(天正一一年)三月一九日	千家義広書狀(折紙、秋上家文書)……………	582
1834	天正一一年三月二二日	神魂社造宮覚書断簡(秋上家文書)……………	582
1835	(天正一一年)三月二三日	吉川元春書狀(毛卜折紙力、秋上家文書)……………	586
1836	天正一一年三月吉日	浜佐田七金代大明神社棟札写(享保十二年(社方差出帳)……………	586
1837	天正一一年三月	美野村八幡宮棟札写(明治十七年社寺宝物文書目録)……………	586
1838	天正一一年四月一九日	北島久孝書狀(折紙、秋上家文書)……………	586
1839	天正一一年四月一九日	高橋慶信書狀(折紙、秋上家文書)……………	587
1840	天正一一年四月二〇日	神魂社遷宮支度次第日記案(秋上家文書)……………	587
1841	天正一一年四月	白石鞍馬寺棟札写(明治十七年社寺宝物文書目録)……………	590
1842	天正一一年五月二〇日	毛利輝元書狀写(萩藩閤閱録)……………	590
1843	天正一一年六月一〇日	鰐淵寺和多坊栄芸覚書(神魂神社文書)……………	591
1844	天正一一年七月八日	毛利元康書狀(毛卜折紙力、成相寺文書)……………	591
1845	天正一一年七月一日	神魂社遷宮式諸道具注文(秋上家文書)……………	591
1846	(天正一一年)七月一五五	北島久孝書狀(折紙、秋上家文書)……………	592
1847	(天正一一年)八月一日	多陀寺清円書狀(折紙、秋上家文書)……………	592
1848	(天正一一年)八月一六日	淨音寺榮孝書狀(秋上家文書)……………	593
1849	(天正一一年)九月二二日	桂春忠書狀(折紙、秋上家文書)……………	593
1850	天正一一年九月二五日	生馬村薦津天若宮神社棟札写(明治三十五年島根県神社由緒書)……………	593
1851	年未詳九月晦日	穴道隆慶書狀写(萩藩閤閱録)……………	594
1852	天正一一年一〇月三日	沖洲八幡宮棟札写(明治十二年(十七年)……………	594
1853	天正一一年一〇月七日	大芦村字天神八幡宮祝詞箱銘写(明治三十五年島根県神社由緒書)……………	594
1854	年未詳一〇月一六日	佐々布慶輔書狀(鰐淵寺文書)……………	594
1855	年未詳一〇月二九日	佐々布慶輔書狀(鰐淵寺文書)……………	595
1856	天正一一年一二月二日	神魂社神事覚書(折紙、秋上家文書)……………	595
1857	天正一一年一二月二四日	掛屋神社棟札写(神魂神社文書)……………	596
1858	天正一一年一二月一日	毛利輝元寄進狀(秋上家文書)……………	597
1859	天正一一年一二月二二日	神魂大社建立棟札写(鰐淵寺文書)……………	597
1860	天正一一年一二月二二日	神魂神社棟札銘写(佐草家文書)……………	599
1861	年月未詳	神魂神社遷宮覚書(佐草家文書)……………	599
1862	年月未詳	神魂社由緒注進狀案(秋上家文書)……………	600

1863	(天正二年) 正月五日	吉川元春・同元長連署書狀写(萩藩閥閥録)……	601	1899	(天正三年) 五月八日	吉川元春・同元長連署書狀写(萩藩閥閥録)……	621
1864	(天正二年) 正月六日	吉川元春書狀(切紙、秋上家文書)……	602	1900	天正三年六月吉日	祇園社造宮棟札銘写(氷川神社文書)……	621
1865	(天正二年) 正月六日	吉川元春書狀写(秋上家文書)……	602	1901	(天正三年) 七月二六日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録)……	622
1866	年未詳正月一日	宍道隆慶書狀写(萩藩閥閥録)……	602	1902	(天正三年) 八月五日	小早川隆景書狀写(萩藩閥閥録)……	622
1867	年未詳正月一日	宍道政慶書狀写(萩藩閥閥録)……	602	1903	年未詳八月七日	毛利氏奉行人連署書狀(折紙、千家文書)……	622
1868	年未詳正月一七日	宍道隆慶書狀写(萩藩閥閥録)……	603	1904	(天正三年) 八月二〇日	吉川元春書狀(切紙、秋上家文書)……	623
1869	天正二年四月吉日	神魂社造宮神主方渡物注文(秋上家文書)……	603	1905	(天正三年) 閏八月二日	国司元藏書狀(切紙、日御碕神社文書)……	623
1870	天正二年四月吉日	比津突貫大明神棟札写(明治三十五年島根県神社由緒書)……	605	1906	(天正三年) 閏八月七日	吉川元春書狀(切紙、日御碕神社文書)……	623
1871	年未詳六月二四日	毛利元秋書狀写(萩藩閥閥録)……	605	1907	(天正三年) 閏八月一七日	吉川元春書狀(折紙、日御碕神社文書)……	624
1872	(天正二年) 六月二八日	内藤隆春書狀写(萩藩閥閥録)……	605	1908	天正三年閏八月二三日	和多坊榮哉書狀(秋上家文書)……	624
1873	(天正二年) 七月一日	桂春忠書狀(切紙、秋上家文書)……	606	1909	年未詳九月一二日	宍道政慶書狀(折紙、日御碕神社文書)……	624
1874	(天正二年) 七月晦日	吉川元春・同元長連署書狀(鰐淵寺文書)……	606	1910	(天正三年) 九月一三日	吉川元春書狀(秋上家文書)……	625
1875	年未詳八月二八日	毛利元秋書狀(切紙、秋上家文書)……	607	1911	(天正三年) 九月一三日	桂春忠書狀(折紙、秋上家文書)……	625
1876	天正二年九月一日	吉川元春安堵狀写(富家文書・毛利博物館)……	607	1912	(天正三年) 九月一三日	桂春忠書狀(折紙、秋上家文書)……	625
1877	天正二年九月一三日	杵築大社年中行事目録写(千家古文書乙)……	607	1913	天正三年九月一三日	神魂社祭田坪付(折紙、秋上家文書)……	626
1878	天正二年九月一九日	毛利輝元書狀(一畑寺文書)……	613	1914	天正三年九月一三日	貴布祢御供田坪付(折紙、秋上家文書)……	626
1879	天正二年一〇月吉日	朝酌多賀大明神棟札写(享保十二年島根郡朝酌村・大内谷村神社指出帳扣)……	613	1915	年未詳九月一五日	三刀屋久扶書狀(折紙、日御碕神社文書)……	627
1880	天正二年一〇月吉日	多賀神社棟札写(享保三年秋鹿・島根同郡神社書出帳)……	613	1916	年未詳九月二〇日	湯原春綱書狀(折紙、日御碕神社文書)……	627
1881	年未詳一〇月晦日	吉川元春書狀(折紙、成相寺文書)……	613	1917	天正三年九月二七日	正親町天皇口宣案(京大朝山文書)……	627
1882	(天正二年) 一二月四日	吉川元春・元長連署書狀写(藩中諸家古文書纂)……	614	1918	天正三年九月二七日	正親町天皇口宣案(京大朝山文書)……	627
1883	(天正二年) 一二月一日	吉川元春書狀写(吉川家中并寺社文書)……	614	1919	天正三年九月吉日	吉川元春・同元長連署寄進狀(秋上家文書)……	628
1884	年未詳一二月一四日	笠原新次郎書狀(秋上家文書)……	615	1920	天正三年九月吉日	吉川元春袖判神魂社御神事次第(秋上家文書)……	628
1885	年未詳一二月一九日	天野隆重書狀写(萩藩閥閥録)……	615	1921	年月日未詳	伊賀諸社修理免坪付(秋上家文書)……	629
1886	年未詳一二月二二日	毛利元秋書狀写(湯原文書・山口県文書館三卿伝編纂所史料)……	615	1922	年未詳一〇月二三日	吉川元春書狀(北島家文書)……	630
1887	天正三年二月二三日	宍道政慶書狀(切紙、益田家文書)……	616	1923	天正三年一〇月吉日	朝酌大森大明神棟札写(享保十二年島根郡朝酌村・大内谷村神社指出帳扣)……	630
1888	天正三年二月二六日	吉川元春安堵狀案(秋上家文書)……	616	1924	年未詳一一月一六日	吉川元春書狀(熊野神社文書)……	630
1889	天正三年二月二六日	桂春忠書狀(折紙、秋上家文書)……	616	1925	年未詳一一月一八日	吉川氏奉行人連署書狀(坪内家文書)……	631
1890	天正三年三月一日	毛利氏奉行人連署書狀(折紙、八重垣文書)……	617	1926	天正三年一二月一日	(参考) 毛利輝元安堵狀写(富家文書・島根県教育委員会)……	631
1891	(天正三年) 三月二〇日	毛利輝元書狀(切紙、益田家文書)……	617	1927	天正三年一二月三日	末次元康起請文(毛利家文書)……	631
1892	(天正三年) 三月二四日	吉川元春書狀(益田家文書)……	617	1928	年未詳一二月九日	北島久孝書狀(折紙、秋上家文書)……	632
1893	天正三年三月	吉川元春書狀(真名井神社広江家文書)……	618	1929	年未詳一二月一九日	毛利輝元書狀写(萩藩閥閥録)……	632
1894	天正三年四月二三日	千家義広書狀(折紙、秋上家文書)……	618	1930	天正三年月日未詳	湯町村八幡宮棟札写(明治三十五年島根県神社由緒書)……	633
1895	(天正三年) 四月二五日	北島久孝書狀(折紙、秋上家文書)……	619	1931	(天正四年) 正月一〇日	末次元康書狀写(萩藩閥閥録)……	633
1896	年未詳四月二八日	成田慶孝書狀(折紙、鰐淵寺文書)……	619	1932	年未詳二月五日	吉川元春書狀写(伯耆志・末次家文書)……	633
1897	(天正三年) 五月一日	吉川元春・同元長連署書狀写(萩藩閥閥録)……	620	1933	天正一四年二月一〇日	末次元康書狀(北島家文書)……	634
1898	年未詳五月三日	宍道政慶書狀(鰐淵寺文書)……	620	1934	天正一四年三月九日	波入村三所神社棟札写(明治三十五年島根県神社由緒書)……	634

1935	年未詳三月一日	吉川元春書狀写 (萩藩閤閣録) ……	634	1971	〔天正一五年〕一〇月二三日	湯家綱起請文 (切紙、吉川家文書) ……	650
1936	天正一四年春月日未詳	福岡元明覚書写 (萩藩閤閣録) ……	634	1972	天正一五年一二月二日	宍道氏朱印狀 (モト折紙カ、家原家文書) ……	651
1937	年未詳四月一八日	吉川元春書狀 (切紙、富家文書・毛利博物館) ……	635	1973	天正一五年一二月三日	奥上右兵衛尉下知狀写 (家原家文書) ……	651
1938	年未詳四月二六日	吉川元春書狀 (折紙、多賀文書) ……	635	1974	〔天正一五年〕一二月二八日	毛利輝元書狀 (折紙、多賀文書) ……	651
1939	年未詳四月二六日	吉川元長書狀 (多賀文書) ……	636	1975	年月日未詳	吉川元長領地付立案 (切紙、吉川家文書) ……	652
1940	年未詳六月四日	吉川元春書狀写 (伯耆志・末次家文書) ……	636	1976	年未詳二月一三日	神田元忠書狀 (折紙、宮川家文書) ……	653
1941	天正一四年六月二二日	仁保元棟領知付立案 (厳島野坂文書) ……	636	1977	年未詳二月一四日	神田元忠・二宮就辰連署書狀 (折紙、 吉川家文書) ……	653
1942	天正一四年七月	美保神社翁面銘写 (明治十七年社寺宝物文書目録) ……	637	1978	年未詳二月一六日	神田元忠・二宮就辰連署書狀 (折紙、 吉川家文書) ……	654
1943	年未詳八月一日	吉川元長書狀 (熊野神社文書) ……	638	1979	年未詳四月一日	三沢為清書狀 (相国寺光源院文書) ……	654
1944	天正一四年八月二二日	毛利元康奉行人連署掟書 (揖屋神社文書) ……	638	1980	年未詳四月四日	三沢為清書狀 (切紙、相国寺光源院文書) ……	654
1945	年未詳九月八日	吉川元長書狀写 (萩藩閤閣録) ……	638	1981	年未詳四月一六日	三沢為清書狀 (切紙、相国寺光源院文書) ……	655
1946	〔天正一四年〕九月二四日	吉川元長書狀 (吉川家文書) ……	639	1982	年未詳四月一六日	三沢為景書狀 (切紙、相国寺光源院文書) ……	655
1947	年未詳一〇月四日	吉川元春書狀 (モト折紙、雲樹寺文書) ……	639	1983	天正一六年閏五月一日	末次元康官途書出 (別火家文書) ……	656
1948	〔天正一四年〕一〇月五日	吉川元春書狀写 (萩藩閤閣録) ……	639	1984	天正一六年閏五月二七日	内藤元榮預狀 (竜王神社文書) ……	656
1949	年未詳一〇月一五日	毛利元康書狀写 (萩藩閤閣録) ……	640	1985	〔天正一六年〕八月二日	天野元珍書狀写 (萩藩閤閣録) ……	656
1950	〔天正一四年〕一一月一三日	吉川元春書狀写 (萩藩閤閣録) ……	640	1986	〔天正一六年〕八月二六日	小早川隆景書狀写 (萩藩閤閣録) ……	656
1951	年未詳一二月二九日	吉川元長書狀写 (吉川家中井寺社文書) ……	640	1987	〔天正一六年〕八月二六日	毛利輝元書狀写 (萩藩閤閣録) ……	657
1952	天正一五年正月一七日	吉川元長書狀写 (石見吉川家文書) ……	641	1988	年未詳一一月二八日	神田元忠書狀 (宮川家文書) ……	657
1953	年未詳正月二二日	吉川元長書狀写 (萩藩閤閣録) ……	642	1989	〔天正一七年〕正月二三日	井上春忠書狀写 (萩藩閤閣録) ……	657
1954	年未詳二月二二日	吉川元長書狀写 (萩藩閤閣録) ……	642	1990	天正一七年二月二八日	佐世元嘉書狀 (折紙、八重垣文書) ……	658
1955	年未詳二月二二日	吉川元長書狀写 (書原文書・山口県文書館三卿伝編纂所史料) ……	642	1991	天正一七年四月二五日	黒川元格寄進狀 (八重垣文書) ……	658
1956	年未詳三月一日	吉川元長書狀写 (萩藩閤閣録) ……	643	1992	〔天正一七年〕五月晦日	毛利輝元書狀 (折紙、多賀文書) ……	658
1957	年未詳三月二七日	吉川元長書狀 (切紙、多賀文書) ……	643	1993	天正一七年八月一日	安部藤左衛門尉誓書 (秋上家文書) ……	658
1958	年未詳四月七日	仁保元棟書狀 (井原家文書) ……	643	1994	〔天正一七年〕八月晦日	毛利輝元書狀 (折紙、多賀文書) ……	659
1959	天正一五年四月二六日	九州道の記 ……	644	1995	〔天正一七年〕九月五日	毛利輝元書狀 (折紙、多賀文書) ……	659
1960	天正一五年五月	〔参考〕温泉津恵瑠寺旧記 (恵瑠寺所蔵) ……	645	1996	天正一七年一一月一〇日	厳島社祭料并御供田辻付立 (野坂文書) ……	659
1961	天正一五年六月五日	益田元祥他一四名連署起請文 (吉川家文書) ……	646	1997	天正一七年一二月一日	毛利輝元官途書出写 (毛利文庫五国証文) ……	662
1962	天正一五年六月六日	宍道政慶起請文 (吉川家文書) ……	646	1998	〔天正一七年〕一二月一八日	毛利輝元東国出馬兵船次第 (多賀文書) ……	662
1963	天正一五年六月六日	宍道政慶起請文 (吉川家文書) ……	647	1999	〔天正一七年〕一二月二〇日	毛利輝元武具賦付立 (多賀文書) ……	662
1964	天正一五年七月二八日	和多坊栄哉祈念注文 (秋上家文書) ……	647	2000	天正一七年一二月二三日	雲津浦諏訪神社棟札写 (明治十七年社寺 宝物文書目録) ……	663
1965	天正一五年八月二九日	毛利輝元安堵狀写 (萩藩閤閣録) ……	647	2001	天正一七年一二月二六日	小川方友・神右衛門尉連署狀 (折紙、 吉川家文書) ……	663
1966	〔天正一五年〕九月一二日	宍道政慶書狀 (鰐淵寺文書) ……	648	2002	〔天正一七年〕一二月二九日	毛利輝元書狀 (折紙、多賀文書) ……	663
1967	〔天正一五年〕九月一二日	友雲斎安栖書狀 (折紙、鰐淵寺文書) ……	648	2003	〔天正一八年〕正月二七日	毛利輝元書狀 (折紙、多賀文書) ……	664
1968	〔天正一五年〕九月一三日	友雲斎安栖書狀 (折紙、鰐淵寺文書) ……	648	2004	天正一八年正月二九日	小川方友・神右衛門尉連署狀 (賣布神社文書) ……	664
1969	〔天正一五年〕九月一四日	安威豊信書狀 (折紙、鰐淵寺文書) ……	649	2005	〔天正一八年〕四月八日	桂春房・小坂春信連署書狀案 (折紙、 秋上家文書) ……	664
1970	天正一五年九月吉日	高宮神社縁起書写 (家原家文書) ……	649	2006	天正一八年六月二二日	八重垣社別火注進狀 (八重垣文書) ……	665

2007	天正一八年八月一〇日	八重垣社別火注進狀（八重垣文書）	666	2041	年月日未詳	六所社年中祭田注文（秋上家文書）	695
2008	天正一八年九月二九日	後陽成天皇口宣案（佐太神社文書）	667	2042	年月日未詳	六所社神田注文（秋上家文書）	695
2009	天正一八年一〇月五日	朝喜兵進物注文（佐太神社文書）	668	2043	〔天正一〇年〕一月一日	毛利輝元条々写（武田金三氏所藏文書）	696
2010	天正一八年一〇月一五日	児玉某書狀写（忌部大官濫觴記抄）	668	2044	天正二〇年二月九日	藏田就貞軍忠次第覺写（萩藩閥閥録）	697
2011	天正一八年一〇月	六所分竹矢郷別火分石別算用狀案（秋上家文書）	668	2045	天正二〇年二月一八日	吉川広家寄進狀（秋上家文書）	698
2012	天正一八年一〇月	幡屋村幡屋郷幡屋八幡宮棟札写	669	2046	天正二〇年三月七日	忌部村東忌部大宮神社棟札写（明治三十五年島根県神社由緒書）	699
2013	天正一八年一〇月一〇日	白濁橋姫神田坪付（賣布神社文書）	669	2047	〔天正一〇年〕三月二五日	末次元康書狀写（萩藩閥閥録）	699
2014	天正一八年一〇月一〇日	片江村上戸神社棟札写（明治三十五年島根県神社由緒書）	670	2048	〔天正一〇年〕三月二九日	毛利輝元書狀写（萩藩閥閥録）	699
2015	天正一八年一〇月二六日	津田村東津田鷹日神社棟札写	670	2049	〔天正一〇年〕五月二三日	安国寺恵瓊書狀写（萩藩閥閥録）	699
2016	天正一八年正月一一日	八幡村内迎接寺領打渡注文（迎接寺文書）	670	2050	天正二〇年七月二二日	兵糧渡衆中書立写（萩藩閥閥録）	700
2017	天正一八年三月二九日	八重垣社領檢地帳（八重垣文書）	671	2051	〔天正一〇年〕九月一四日	長谷広佐書狀（折紙、秋上家文書）	701
2018	天正一八年四月五日	田中信重・佐世宗良連署打渡狀（折紙、八重垣文書）	674	2052	文祿元年一〇月	佐々木家記録写（郷原幸年所藏文書）	701
2019	年未詳六月八日	檜崎元兼書狀写（萩藩譜録・湯原宇兵衛国安）	674	2053	〔文祿二年〕六月二五日	毛利輝元書狀写（萩藩閥閥録）	710
2020	〔天正一九年〕七月四日	高橋慶信書狀（折紙、秋上家文書）	674	2054	〔文祿二年〕八月二六日	小坂春信他二名連署書狀（折紙、秋上家文書）	710
2021	〔天正一九年〕八月一六日	吉川広家書狀（切紙、秋上家文書）	675	2055	文祿二年閏九月九日	神魂社神主秋上良忠・別火同久国連署注進狀（北島家文書）	711
2022	天正一九年八月吉日	森山・横田美保両神社棟札写	675	2056	文祿二年閏九月九日	秋上久国・同良忠連署書狀案（秋上家文書）	711
2023	天正一九年一月七日	来待神社神田注文（来待神社文書）	675	2057	〔文祿二年〕閏九月九日	北島広孝書狀（秋上家文書）	712
2024	天正一九年一月一三日	吉川広家寄進狀（安国寺文書）	676	2058	〔文祿二年〕閏九月一〇日	秋上久国書狀（折紙、佐草家文書）	712
2025	天正一九年一月一四日	大草村六所神田付立（秋上家文書）	676	2059	文祿二年閏九月一五日	佐世元嘉書狀案（折紙、秋上家文書）	713
2026	天正一九年一月一五日	山田出雲守領打渡狀写（山田家古文書）	676	2060	〔文祿二年〕一〇月二九日	北島康兼・天徳寺祖吟連署書狀（折紙、秋上家文書）	714
2027	天正一九年二月二日	大庭保神魂神田檢地帳（秋上家文書）	677	2061	文祿二年一〇月二九日	佐草貴清・竹下慶親連署書狀（折紙、秋上家文書）	714
2028	天正一九年二月二日	大草村六所神田檢地帳（秋上家文書）	681	2062	文祿二年一〇月吉日	片江村七類美穂神社棟札写（明治三十五年島根県神社由緒書）	714
2029	天正一九年二月一四日	毛利氏奉行人連署打渡坪付（別火家文書）	681	2063	年未詳正月五日	井上春忠書狀写（萩藩閥閥録）	714
2030	天正一九年二月一六日	毛利氏奉行人連署打渡狀（鰐淵寺文書）	683	2064	年未詳正月五日	小早川隆景書狀写（萩藩閥閥録）	715
2031	天正一九年九月未詳	杵築大社領付立写（佐草家文書）	683	2065	年未詳正月二二日	小早川隆景書狀写（萩藩閥閥録）	715
2032	天正一九年九月未詳	阿式神社領書上写（佐草家文書）	684	2066	年未詳正月二二日	小早川隆景書狀写（萩藩譜録・湯原宇兵衛国安）	715
2033	天正一九年九月未詳	国造北島氏領不知行分付立（切紙、佐草家文書）	685	2067	文祿三年二月二日	神道裁許狀（家原家文書）	715
2034	天正一九年九月未詳	六所神田坪付斷簡（秋上家文書）	687	2068	〔文祿三年〕三月二一日	北島慶孝・同康兼連署書狀（折紙、秋上家文書）	716
2035	年月日未詳	六所神田坪付斷簡（秋上家文書）	689	2069	文祿三年六月二三日	前田玄以寄進狀（熊野神社文書）	716
2036	年月日未詳	六所神田坪付斷簡（秋上家文書）	690	2070	〔文祿三年〕一〇月八日	久佐倫久書狀写（萩藩閥閥録）	716
2037	年月日未詳	大草郷内六所神田坪付（秋上家文書）	691	2071	〔文祿三年〕一〇月八日	友林心覚尼子義久書狀写（萩藩閥閥録）	717
2038	年月日未詳	竹矢郷内六所神田坪付（秋上家文書）	691	2072	文祿三年一〇月一四日	福原村新宮神社棟札写（明治十七年寺宝物文書目録）	717
2039	年月日未詳	六所御供田坪付（秋上家文書）	692	2073	文祿三年一〇月一四日	足高大明神棟札写（家原家文書）	717
2040	年月日未詳	六所神田坪付斷簡（秋上家文書）	692	2074	文祿三年一〇月一四日	足高大明神棟札写（家原家文書）	718
				2075	文祿三年一〇月一六日	神道裁許狀写（宗源宣旨并裁許狀之案）	718
				2076	〔文祿三年〕一二月五日	久佐倫久書狀写（萩藩閥閥録）	719

2077	〔文祿三年〕二月一日	北島康兼書狀（折紙、秋上家文書）	719	2110	慶長三年月日未詳	杵築大社年中行事次第（佐草家文書）	733
2078	文祿三年二月一日	毛利輝元加冠狀（多賀文書）	720	2111	慶長三年月日未詳	本庄村熊野神社棟札写 （享保十二年島根郡本庄村神社指出帳扣）	739
2079	年未詳二月二日	北島広孝書狀（折紙、秋上家文書）	720	2112	慶長四年二月吉日	高宮社祭祀次第（家原文書）	740
2080	文祿四年三月	野崎主計覚書写（野崎姓名代々名記）	720	2113	慶長四年三月五日	七釜代神社棟札写（宝永三年秋鹿・島根郡神社書出帳）	742
2081	〔文祿四年〕四月二七日	安国寺恵瓊書狀写（萩藩閥閥録）	722	2114	〔慶長四年〕閏三月七日	毛利輝元直狀（折紙、多賀文書）	742
2082	文祿四年七月二〇日	聖護院門跡御教書（家原文書）	722	2115	〔慶長四年〕四月二日	益田元祥書狀（毛利家文書）	742
2083	文祿四年七月二〇日	聖護院門跡御教書写（家原文書）	723	2116	慶長四年五月五日	七釜代大明神社棟札写（享保十二年社方差出帳）	744
2084	年月日未詳	鰐淵寺領覚断簡（鰐淵寺文書）	723	2117	慶長四年五月九日	廊之坊諸国旦那帳（熊野那智大社文書）	744
2085	慶長元年二月八日	吉川氏奉行人連署書狀（折紙、賣布神社文書）	723	2118	慶長四年六月一日	毛利輝元条書写（長府毛利文書）	745
2086	文祿五年三月吉日	足高大明神随神門造宮棟札写（宝永三年秋鹿郡神社書出帳）	724	2119	〔慶長四年〕一〇月一日	毛利輝元書狀（長府毛利文書）	746
2087	文祿五年五月吉日	美保神社棟札	724	2120	慶長四年一〇月吉日	照床神社棟札写（明治三十五年島根県神社由緒書）	747
2088	文祿五年五月吉日	美保神社棟札	725	2121	慶長四年一〇月二五日	佐陀社幣主職安堵狀（宮川家文書）	747
2089	文祿五年閏七月二〇日	千家元勝神火相続次第引付断簡（秋上家文書）	726	2122	慶長四年一〇月二五日	六坊浦須賀大明神棟札写（享保十二年秋鹿郡神社書出帳）	748
2090	文祿五年閏七月二〇日	千家元勝神火相続次第引付断簡（秋上家文書）	726	2123	慶長五年二月二日	山田家秀書狀（切紙、熊野大社文書）	748
2091	年未詳八月八日	穴戸隆家書狀写（檜崎文書）	727	2124	慶長五年六月四日	高宮社棟札写（家原文書）	748
2092	文祿五年八月吉日	西持田村子守三所権現棟札写 （宝永三年秋鹿・島根郡神社書出帳）	727	2125	慶長五年八月二三日	足高大明神棟札写（家原文書）	749
2093	年月日未詳	兩國造代官入賀先例（秋上家文書）	727	2126	慶長五年八月二三日	足高大明神棟札写（宝永三年秋鹿郡神社書出帳）	750
2094	慶長二年三月一日	雲伯境目証文写（大西氏旧藏文書）	728	2127	〔慶長五年〕八月二六日	伊勢国津城合戦手負討死注文（吉川家文書）	750
2095	慶長二年五月九日	毛利輝元安堵狀写（萩藩閥閥録）	729	2128	〔慶長五年〕九月二日	福原広俊書狀写（萩藩閥閥録）	756
2096	年未詳八月一日	千家元勝書狀（折紙、秋上家文書）	729	2129	〔慶長五年〕九月二日	福原広俊書狀写（萩藩閥閥録）	757
2097	慶長二年九月五日	上來待村天満宮棟札写（明治十七年社寺宝物文書目録）	729	2130	慶長五年九月二日	深弥・初弘寺連署証狀（成相寺文書）	757
2098	慶長二年一〇月七日	毛利氏奉行人連署宛行狀（須衛都久神社文書）	729	2131	慶長五年一〇月二日	足立次郎右衛門書狀（成相寺文書）	757
2099	慶長二年一〇月吉日	忌部村東忌部大宮神社棟札写 （明治三十五年島根県神社由緒書）	730	2132	慶長五年一〇月二日	毛利野元政知行目録（右田毛利家文書）	758
2100	慶長二年一〇月吉日	忌部村東忌部大宮神社棟札写（根県神社由緒書）	730	2133	慶長五年一〇月二日	棕梨景良知行書立（小早川家文書）	759
2101	慶長二年一〇月二二日	大庭別火彦八郎・同長門守連署契約狀写 （千家家文書）	730	2134	年月日未詳	国造火繼旧記（北島家文書）	759
2102	慶長三年三月吉日	法吉村松崎神社棟札写（宝永三年秋鹿・島根郡神社書出帳）	731	2135	年月日未詳	国造北島火繼旧記（佐草家文書）	762
2103	慶長三年六月吉日	大円鏡裏書写（神魂神社文書）	731	2136	年月日未詳	国造火繼旧記断簡（秋上家文書）	766
2104	〔慶長三年〕七月九日	毛利氏奉行人連署書狀（折紙、秋上家文書）	731	2137	年月日未詳	神魂社関係記録断簡（秋上家文書）	769
2105	慶長三年七月吉日	神魂社所蔵鏡裏銘写（秋上家文書）	732	2138	年月日未詳	神魂社宝物覚書（秋上家文書）	772
2106	慶長二年九月一日	毛利輝元宛行狀写（萩藩閥閥録）	732	2139	年月日未詳	武家御寄進年代記断簡（秋上家文書）	775
2107	慶長三年九月二三日	秋鹿郡国司大明神棟札写 （享保十二年秋鹿郡神社指出帳扣）	732	2140	年未詳正月四日	毛利元康書狀写（萩藩閥閥録）	783
2108	慶長三年九月二三日	西長江村国司神社棟札写（明治十七年社寺宝物文書目録）	733	2141	年未詳正月六日	毛利輝元直狀（折紙、多賀文書）	783
2109	慶長三年九月二三日	西長江国司神社棟札写（宝永三年秋鹿・島根郡神社書出帳）	733	2142	年未詳正月一〇日	毛利元康書狀写（萩藩閥閥録）	784
				2143	年未詳正月一日	毛利輝元書狀（切紙、多賀文書）	784
				2144	年未詳正月一六日	毛利秀元書狀（折紙、多賀文書）	784
				2145	年未詳正月一六日	毛利元康書狀（成相寺文書）	784

2146	年未詳正月二八日	毛利輝元黒印状写(湯原文書・山口県文書館三)	785	2183	年月日未詳	成相寺領檢地帳断簡(成相寺文書)	810
2147	年未詳二月九日	末次元康書状写(萩藩閥閥録)	785	2184	年月日未詳	神魂社遷宮覚書写(佐草家文書)	810
2148	年未詳二月一日	吉川広家書状(熊野神社文書)	785	2185	年月日未詳	毛利輝元書状写(萩藩閥閥録)	810
2149	年未詳二月一六日	毛利輝元印判状(折紙、多賀文書)	786	2186	年月日未詳	佐世元嘉書状(折紙、多賀文書)	811
2150	年未詳二月一八日	毛利輝元書状(萩藩閥閥録)	786	2187	年月日未詳	吉川広家目筆覚書(吉川家文書)	811
2151	年未詳二月二三日	津入元祝書状写(湯原文書・山口県文書館三)	786	2188	年月日未詳	湯原正綱書状(切紙、蒲生文書)	811
2152	年未詳二月二七日	毛利輝元書状(切紙、多賀文書)	786	2189	年月日未詳	乘阿起請文写(吉川家中并寺社文書)	812
2153	年未詳二月二八日	毛利輝元書状(折紙、多賀文書)	787	2190	慶長六年八月吉日	許曾志神社棟札写(享保十二年庄村・古曾志・村・西谷村神社差出帖)	812
2154	年未詳三月一日	安国寺恵瓊書状写(萩藩閥閥録)	787	2191	年月日未詳	二宮俊実覚書(吉川家文書)	813
2155	年未詳五月二八日	成相寺書状写(成相寺文書)	787	2192	(慶長九年)九月二日	佐世元嘉書状(神門寺文書)	816
2156	年未詳六月九日	吉川広家書状(折紙、井原家文書)	788	2193	慶長一二年四月	日御崎社文書目録(日御崎神社文書)	817
2157	年未詳六月一八日	天野元珍書状写(萩藩閥閥録)	788	2194	慶長一四年一月六日	後陽成天皇口宣案写(九条家文書朝山家伝)	818
2158	年未詳七月三〇日	天野元珍書状写(萩藩閥閥録)	788	2195	慶長一五年四月二三日	伊志美作守覚書写(吉川家中并寺社文書)	821
2159	年未詳八月一日	毛利秀元書状(折紙、多賀文書)	789	2196	慶長一六年三月一三日	渡辺助允覚書(島根県立図書館蔵文書)	821
2160	年未詳八月二日	毛利輝元書状(折紙、多賀文書)	789	2197	慶長一七年正月九日	小川信秀覚書写(萩藩閥閥録)	823
2161	年未詳八月一四日	毛利輝元書状(青木家文書)	789	2198	年月日未詳	杵築大社旧記御遷宮次第(鰐淵寺文書)	824
2162	年未詳八月一七日	安国寺恵瓊書状写(湯原文書・山口県文書館三)	789	2199	元和三年四月二四日	吉川広家功臣人数帳(折本、吉川家文書)	830
2163	年未詳八月二二日	末次元康書状写(萩藩閥閥録)	790	2200	年月日未詳	森脇覚書	830
2164	年未詳八月晦日	毛利元康書状(切紙、成相寺文書)	790	2201	元和八年三月五日	小川信秀覚書写(萩藩閥閥録)	839
2165	年未詳九月六日	佐陀神社神官等連署書状(折紙、宮川家文書)	790	2202	年月日未詳	高野山報恩院中島坊過去帳写(佐々木文書)	839
2166	年未詳九月九日	吉川氏家臣連署書状(折紙、秋上家文書)	791	2203	年月日未詳	富田下城衆書立(佐々木文書)	841
2167	年未詳九月二四日	村井清知書状(秋上家文書)	791	2204	年月日未詳	富田下城衆書立(佐々木文書)	845
2168	年未詳九月二五日	毛利輝元書状(折紙、多賀文書)	791	2205	年月日未詳	日御崎社領覚書(小野家文書)	848
2169	年未詳一〇月三日	末次元康書状写(萩藩閥閥録)	792	2206	年月日未詳	六所社造宮覚書(秋上家文書)	849
2170	年未詳一〇月六日	佐世九郎左衛門書状(八重垣文書)	792	2207	年月日未詳	乃美宗勝軍功覚書写(萩藩閥閥録)	850
2171	年未詳一〇月六日	某元勝書状(八重垣文書)	792	2208	年月日未詳	内藤家之次第覚書(内藤家文書)	851
2172	年未詳一〇月一四日	毛利輝元書状写(萩藩閥閥録)	793	2209	年月日未詳	三刀屋文書目録(諸家文書・三刀屋文書)	852
2173	年未詳一〇月二七日	吉川広家書状(折紙、多賀文書)	793	2210	万治二年八月一日	山内就通被尋問返答付立案(山内家文書)	854
2174	年未詳一二月六日	富田奉行入連署書状(折紙、竹矢家文書)	793	2211	万治三年一〇月	(参考) 枕木山縁起(華藏寺文書)	856
2175	年未詳一二月一三日	某書状(折紙、秋上家文書)	794	2212	年月日未詳	同性連枝同子孫之諸靈写(佐々木文書)	859
2176	年未詳一二月二三日	天野元珍書状写(萩藩閥閥録)	794	2213	年月日未詳	佐々木京極尼子有縁靈写(佐々木文書)	862
2177	年未詳一二月二七日	毛利輝元書状写(湯原文書・山口県文書館三)	794	2214	年月日未詳	冷厳寺様御付筆之過去帳之膳(佐々木文書)	863
2178	年未詳一二月晦日	毛利輝元書状写(湯原文書・山口県文書館三)	795	2215	年月日未詳	湯原家譜(萩藩閥閥録)	869
2179	年月日未詳	清滝宮勸請神名帳	795	2216	年月日未詳	多々良盛衰記(内閣文庫)	874
2180	年月日未詳	佐陀社年中祭祀料田御供注文(佐太神社文書)	796				
2181	年月日未詳	成相寺領神堂田付立(成相寺文書)	808				
2182	年月日未詳	佐陀社神官諸役書上断簡写(吉岡家文書)	809				

附録 松江市内所在文書

一 雨森文書（松江歴史館）

1	〔永祿四年〕二月九日	浅井賢政書状	8	7	5
2	元龜元年九月五日	磯野員政書状（折紙）	8	7	5

二 庵原家文書（島根県立図書館）

1	建武四年七月二五日	小笠原貞宗代桑原家兼軍忠状	8	7	5
2	暦応二年八月二〇日	小笠原貞宗代武田弥三郎入道軍忠状	8	7	6
3	文和二年二月一〇日	荒川詮頼遵行状	8	7	6
4	永和二年七月二四日	細川頼之感状	8	7	6
5	康暦二年四月二八日	大内義弘宛行状案	8	7	6
6	明德元年四月一〇日	大内義弘遵行状写	8	7	6
7	文明一〇年正月二一日	井原経但讓状	8	7	7
8	文明一〇年正月二一日	井原経但讓状	8	7	7
9	永正五年六月一日	小笠原長隆宛行状	8	7	7
10	永正六年八月一九日	小笠原長隆書状	8	7	7
11	永正九年六月一日	小笠原長隆安堵状	8	7	8
12	永正九年六月一日	小笠原長隆宛行状	8	7	8
13	永正一〇年三月二日	小笠原長隆安堵状	8	7	8
14	永正一〇年三月二日	小笠原長隆諸役免除状	8	7	8
15	永正一六年九月六日	小笠原長隆感状	8	7	9
16	永正一六年九月八日	小笠原長隆感状	8	7	9
17	大永五年十一月一〇日	小笠原長隆感状	8	7	9
18	享祿四年四月七日	小笠原長隆・同長徳連署感状	8	7	9
19	天文九年九月九日	小笠原長隆感状	8	7	9
20	永祿四年四月六日	小笠原長雄宛行状	8	8	0
21	天正二年二月吉日	井原経信讓状	8	8	0
22	天正七年三月七日	小笠原長治・同長実連署安堵状	8	8	0
23	天正一三年九月二八日	小笠原元枝書状	8	8	1
24	天正一六年二月一三日	小笠原元枝書状	8	8	1
25	年未詳九月二八日	小笠原長旌書状	8	8	1
26	年未詳二月二二日	小笠原長旌書状（折紙）	8	8	1

三 石見小笠原文書（島根大学附属図書館）

1	永正八年九月二三日	大内義興感状（切紙）	8	8	2
2	年未詳二月六日	問田興之書状写（切紙）	8	8	2
3	年未詳二月七日	大内義隆書状	8	8	2

4	天文八年閏六月一四日	小笠原長実讓状写	8	8	2
---	------------	----------	---	---	---

5	天文一一年二月六日	大内義隆書状	8	8	3
---	-----------	--------	---	---	---

6	天文一二年九月七日	小笠原長正知行坪付写	8	8	3
---	-----------	------------	---	---	---

7	天文一五年三月一二日	小笠原長実讓状	8	8	3
---	------------	---------	---	---	---

8	年未詳三月二二日	小笠原長実・同長相連署書状	8	8	3
---	----------	---------------	---	---	---

9	年未詳二月二六日	小笠原長相書状	8	8	4
---	----------	---------	---	---	---

10	天文一八年二月五日	小笠原長雄書状	8	8	4
----	-----------	---------	---	---	---

11	年未詳三月二二日	大内義隆書状	8	8	4
----	----------	--------	---	---	---

12	年未詳九月一八日	河副久盛書状（切紙）	8	8	4
----	----------	------------	---	---	---

13	弘治元年閏一〇月一六日	小笠原長雄書状（折紙）	8	8	4
----	-------------	-------------	---	---	---

14	弘治二年三月一〇日	尼子晴久感状写（切紙）	8	8	5
----	-----------	-------------	---	---	---

15	弘治四年四月六日	尼子晴久感状写（切紙）	8	8	5
----	----------	-------------	---	---	---

16	年未詳七月二七日	吉川元春・小早川隆景連署書状（折紙）	8	8	5
----	----------	--------------------	---	---	---

17	〔永祿五年〕三月二二日	毛利隆元書状（折紙）	8	8	6
----	-------------	------------	---	---	---

18	〔永祿五年〕三月二二日	毛利隆元書状（折紙）	8	8	6
----	-------------	------------	---	---	---

19	〔永祿五年〕二月一三日	毛利元就・同隆元連署書状	8	8	6
----	-------------	--------------	---	---	---

20	年未詳六月一五日	小早川隆景・口羽通良連署書状（切紙）	8	8	7
----	----------	--------------------	---	---	---

21	〔元龜元年〕一〇月一六日	吉川元春書状（切紙）	8	8	7
----	--------------	------------	---	---	---

22	天正五年一〇月七日	吉川元春書状	8	8	7
----	-----------	--------	---	---	---

23	天正一一年閏正月一九日	小笠原元枝・同長扶連署坪付写（折紙）	8	8	8
----	-------------	--------------------	---	---	---

1	天正一〇年九月九日	羽柴秀吉書状（折紙）	8	8	8
---	-----------	------------	---	---	---

2	天正一三年閏八月一七日	長谷川秀一知行目録	8	8	9
---	-------------	-----------	---	---	---

3	文祿三年二月一五日	某秀康知行宛行状	8	8	9
---	-----------	----------	---	---	---

4	慶長三年八月五日	小早川秀秋知行宛行状	8	8	9
---	----------	------------	---	---	---

5	慶長四年二月五日	豊臣五奉行連署知行宛行状	8	8	9
---	----------	--------------	---	---	---

6	熊野神社文書（松江市八雲町）	足利義親書状（切紙）	8	9	0
---	----------------	------------	---	---	---

7	1 年未詳一月一九日	細川政元書状	8	9	0
---	------------	--------	---	---	---

2	年未詳三月四日	大内義興書状（切紙）	8	9	0
---	---------	------------	---	---	---

3	年未詳七月二一日	松永久秀書状（切紙）	8	9	1
---	----------	------------	---	---	---

4	年未詳二月一七日	松永久秀書状（切紙）	8	9	1
---	----------	------------	---	---	---

5	年未詳九月一〇日	松永久秀書状（切紙）	8	9	1
---	----------	------------	---	---	---

6	〔天正一八年〕正月九日	豊臣秀吉書状	8	9	1
---	-------------	--------	---	---	---

7	〔文祿二年〕三月一三日	豊臣秀次朱印状	8	9	2
---	-------------	---------	---	---	---

8	〔慶長五年〕七月二六日	徳川家康書状（切紙）	8	9	2
---	-------------	------------	---	---	---

七 西光寺文書（松江市和多見町）
9 年未詳八月六日 毛利輝元書狀 8 9 3
1 永正二年二月二十五日 実如書狀 8 9 3
2 年未詳九月晦日 教如書狀 8 9 3

八 島家文書（島根県立図書館寄託）

1 安貞元年二月一日 国造出雲政孝・島孝俊連署証狀 8 9 3
2 安貞二年二月晦日 国造出雲政孝座次注記 8 9 4
3 康永元年二月二八日 国造清孝証狀 8 9 4
4 文明二年二月二八日 国造千家高俊安堵狀 8 9 4
5 天文一七年九月二日 尼子晴久安堵狀 8 9 5
6 天文二四年八月二〇日 尼子氏奉行人連署書狀 8 9 5
7 永祿二年七月一日 国造千家慶勝証狀 8 9 5
8 年未詳二月二日 尼子晴久袖判奉行人連署奉書 8 9 6
9 永祿三年十一月三日 毛利元就書狀 8 9 6

九 富家文書（島根県立図書館）

1 年未詳六月一日 尼子晴久書狀（切紙） 8 9 6
2 年未詳三月一日 毛利元就書狀（切紙） 8 9 6
3 年未詳六月一日 尼子義久書狀（切紙） 8 9 7
4 年未詳二月一日 毛利元就書狀（切紙） 8 9 7
5 永祿二年一月一日 尼子勝久安堵狀（切紙） 8 9 7
6 年未詳正月一日 毛利元就書狀（切紙） 8 9 7
7 年未詳正月一日 毛利元秋書狀（切紙） 8 9 7

十 比布智神社文書（島根県立図書館寄託）

1 明徳三年三月二日 神西性通讓狀 8 9 8
2 明徳四年六月六日 出雲守護京極高詮書下写 8 9 8
3 明応八年九月二七日 守護京極政経書下写 8 9 8
4 文亀元年二月二七日 守護京極政経安堵狀 8 9 8
5 天文四年二月一日 神西久通讓狀 8 9 8
6 永祿五年二月一日 尼子義久安堵狀 8 9 9
7 永祿二年九月三日 尼子勝久宛行狀 8 9 9
8 永祿二年九月二三日 古志重信書下（折紙） 8 9 9
9 年未詳二月六日 尼子勝久袖判家臣連署書狀（折紙） 9 0 0
10 天正二〇年五月二〇日 志谷長通寄進狀（折紙） 9 0 0
11 天正二〇年六月晦日 小笠原氏奉行人添狀 9 0 0
12 天正二〇年六月晦日 小笠原氏奉行人添狀 9 0 0

十一 藤井家文書（島根県立図書館）

1 3 天正二〇年九月三日 志谷長通書狀 9 0 1
1 4 年未詳六月一日 志谷長通書狀（折紙） 9 0 1
1 5 年未詳六月晦日 志谷長通書狀（折紙） 9 0 1
1 6 年未詳一〇月六日 志谷長通書狀（折紙） 9 0 1
1 7 文祿二年九月五日 山助右衛門外二名連署神領坪付 9 0 2
1 8 年未詳七月二〇日 熊谷元直書狀（折紙） 9 0 2
1 9 文祿三年七月二〇日 桐九兵衛書下 9 0 3
2 0 文祿四年一月二二日 青木助右衛門・田原三郎右衛門連署打渡狀 9 0 3
2 1 文祿五年八月二〇日 桐九兵衛書下 9 0 3
2 2 慶長二年一〇月一〇日 三隅清右衛門尉・就賢連署打渡神田坪付 9 0 3
2 3 年未詳一〇月一〇日 三隅清右衛門尉・就賢連署書狀 9 0 4
2 4 〔慶長五年〕九月一日 毛利元康感狀 9 0 4
2 5 慶長五年九月二五日 桐九兵衛書下 9 0 4
1 貞治二年六月三日 某下文 9 0 4
2 天正一七年八月二八日 加藤清正宛行狀 9 0 4

史料編5 近世I 目次

発刊にあたって	松江市長 松浦正敬
凡例	

総説（編集にあたって）	6
-------------	---

出雲国十郡絵図	8
---------	---

解説	
----	--

一、報国	21
二、治国譜	26
三、新政弁疑	29
四、秘書	32
五、出雲鋏	35
六、出雲札所観音霊場記	40
七、出雲神社巡拝記	44
八、雲陽大数録	51
九、土工記	56
十、雲陽国益鑑	59
掲載史料法量	63

史料

一、報国	67
二、治国譜	71
三、新政弁疑	76
四、秘書	80
五、出雲鋏	88
(1)意宇郡	88

(2)能儀郡	228
(3)島根郡	250
(4)秋鹿郡	310
(5)楯縫郡	327
(6)神門郡	345
(7)出雲郡	429
(8)飯石郡	437
(9)仁多郡	455
(10)大原郡	465
六、出雲札所観音霊場記	481
七、出雲神社巡拝記	566
八、雲陽大数録	644
九、土工記	686
(1)壱	686
(2)廊	706
(3)式 川図 大原郡・出雲郡	714
(4)三 川図 飯石郡・神門郡・楯縫郡	737
(5)五 意宇郡・能儀郡・秋鹿郡・仁多郡・島根郡	801
土工記（川図写真）	859
十、雲陽国益鑑	890

松江市史編纂関係者名簿	892
史料提供者・協力者一覧	894

史料編6 近世Ⅱ 目次

発刊にあたって 松江市長 松浦正敬
凡例

総説（編集にあたって） 8

解説

一、国令 13

（一）全体構成 13

（二）首巻 16

（三）士、御家中、江戸・道中、鳴物音曲 17

（四）農、郷 21

（五）工商、町 23

（六）寺社 25

二、御条目并御用所御書出拔書 28

三、諸御条目御書出写 35

四、雲州松江秘事 42

掲載史料寸法・丁数 48

史料

一、国令 51

1 首巻 全 51

2 前編 士上 67

一 御成 登城定 68

二 行芸 69

三 俵 72

四 冠婚葬祭 79

五 縁組 同出銀 養子 他 83

六 軍役 85

七 御番 乗物 馬持 屋敷替 他 100

八 御擬作 拝借銀 御貸米 御恵 他 104

九 居官 国用 諸役所 118

十 諸牢人 他国者 江戸供人数定 他 121

十一 捕籠者 走者 追懸者 女敵 他 125

3 前編 農 中 127

正月十一日恒例御条目 128

一 郡官 土免 教諭 賞功 憐民 他 136

二 検地 免 収納 他 141

三 新開地 永否起 植材 質地 他 158

四 普請 用水 井手 井関 夫役 161

五 米穀他国出 売米 酒他国入 164

六 造酒 枕室 米望 165

七 他国出 他国者 伝馬 勸進 他 166

4 前編 工商 下 168

一 町吏 賞功 憐老 隣国之制 他 168

二 米売買 造酒 商人 銀札 170

三 衣服 貴代物 無用之器 174

四 奉公人 借屋 175

五 夜中船往来 火事 盗 狼籍者 他 176

御家中 札 180

6 寺社 楽 272

7 郷 射 285

8 町御	3	3	4
9 江戸・道中書	3	5	0
10 鳴物音曲数	3	8	1
11 後編 士上	3	8	8
一 宝曆御制法	3	8	9
二 武芸	3	9	1
三 儉 冠婚葬祭	3	9	2
四 御擬作 御普請役米 勤番拝借 他	4	2	5
五 養子 跡目 隠居 縁組 他	4	3	3
六 御番 皆勤 旅役 幼少番入	4	3	9
七 御機嫌伺 葵御免 改号 家作 他	4	4	1
八 他国行 虚無僧制	4	4	5
九 御飛脚 鉄炮改	4	4	7
十 奴婢之制	4	5	0
十一 小吏勘定 格違 同減人	4	5	2
十二 漁 翫物 芝居 博奕 荷担 他	4	5	6
十三 遠慮 閉門 久離 逼塞 乱心	4	6	0
12 後編 農 中	4	6	3
一 正月十一日恒例御条目	4	6	3
二 儉 賞功 教諭	4	6	8
三 検地	4	7	3
四 収納 米 鉄産 年貢 札遣	5	0	6
五 鉄炮改 貸借 博奕	5	0	9
六 公訴 訴状 他国行	5	1	0
13 後編 工商 下	5	1	3
一米売買 造酒 米直段 札遣	5	1	3

二 質屋 古鉄屋	5	1	5
三 他国商物 他国商人	5	1	7
四 店 武芸 慮外	5	1	9
二、御条目并御用所御書出拔書	5	2	2
三、諸御条目御書出写	6	6	6
1 第一冊	6	6	6
2 第二冊	6	9	7
四、雲州松江秘事	7	1	6
1 松平家藩主略歴	7	1	6
2 江戸藩邸等の坪数	7	2	2
3 松江・三都間の飛脚の所要日数	7	2	3
4 服忌・忌懸につき書き付け	7	2	3
5 十郡御制札場	7	2	4
6 御小姓衆下され物の覚え	7	2	4
7 諸国の地域区分	7	2	5
8 大奥女性の呼称	7	2	6
9 御上洛諸御入用高	7	2	6
10 切支丹類族の届け出につき覚え	7	2	6
11 雑用米・銀の支払いにつき定め	7	2	8
12 御普請役米の定法	7	3	7
13 御切米の定法	7	3	7
14 諸都市間の道法（距離）	7	3	8
15 御天守段々間数の覚え	7	3	9
16 御國中御番所所々	7	3	9
17 松江城廊廻り・堀幅	7	4	1
18 寺社御寄附高の覚え	7	4	2

1 9	城下屋敷家数及び具足・鎗・弓数	7 4 2
2 0	町・反・畝の単位に関する覚え	7 4 3
2 1	駄賃ならびに辛(軽) 尻駄賃の定め	7 4 3
2 2	御用にて在々へ出候節人馬の定め	7 4 4
2 3	郷方御用野扶持の定め	7 4 4
2 4	御普請役米	7 4 4
2 5	新知下され定法渡し方	7 4 5
2 6	上り知御新法	7 4 5
2 7	御切米の定め	7 4 5
2 8	給知切米の定め	7 4 6
2 9	御家中給知高	7 4 7
3 0	隠岐国収納高	7 4 8
3 1	御国中修復寺社	7 4 9
3 2	江戸・国元間の雑用等支払いの定め	7 5 0
3 3	江戸・国元間の駄賃等定め	7 5 2
3 4	婚礼定め	7 5 3
3 5	御徒養子の事	7 5 5
3 6	御雇従番の役米につき定め	7 5 5
3 7	諸役の日につき定め	7 5 5
3 8	役米の免除につき定め	7 5 6
3 9	上り知につき書き付け	7 5 6
4 0	婚礼道具増しにつき書き付け	7 5 6
4 1	嫡男子による遺跡相続につき書き付け	7 5 7
4 2	婚礼の挑燈出し停止につき申し渡し	7 5 7
4 3	御仕置役への上申省略事案につき書き付け	7 5 7
4 4	遠慮申請の扱いにつき定め	7 5 8

4 5	出家願いの扱いにつき申し渡し	7 5 8
4 6	広瀬藩家中への奉公願いにつき申し渡し	7 5 8
4 7	御留守居番組入りにつき書き付け	7 5 9
4 8	逼塞者の娘の縁組願いにつき定め	7 5 9
4 9	(出雲) 国中船数改め	7 5 9
5 0	御呵りを蒙つた者の縁類者の扱いにつき覚え	7 6 0
5 1	他国一類への訪問願いにつき定め	7 6 0
5 2	閉門遠慮者の縁類の扱いにつき定め	7 6 0
5 3	御乗方見習いの袴代銀につき定め	7 6 0
5 4	上申の要不要など諸事務の取り扱いにつき覚え	7 6 0
5 5	御国十郡高分け村数	7 7 0
5 6	関所と女手形につき覚え	7 7 1
5 7	下田・三崎番所の船改めにつき覚え	7 7 3
5 8	贈答・香奠・結納につき定め	7 7 3
5 9	衣類儉約につき定め	7 7 4
6 0	隠岐支配につき覚え	7 7 4

(番号・項目名は編者が付した)

松江市史編纂関係者名簿	7 7 6
史料提供者・協力者一覧	7 7 8
松江藩法令編年目録	1

史料編 7 近世Ⅲ 目次

発刊にあたって	松江市長 松浦正敬
凡例	

総説（編集にあたって）	6
-------------	---

解説

一、松江藩関係文書	1
（一）堀尾期史料	1
（二）京極期史料	1
（三）松平家藩主書状・書付	4
（四）松江藩幕末関係史料	1
（五）御徒文書「江戸御用状留 享保三年」	8
（六）三谷家文書「内外御用状頭書」（文久三年～元治二年）	2
二、松江藩領の御用留	2
三、瀧川家「公用控」（老番・式番）	3

史料

一、松江藩関係文書	4
（一）堀尾期史料	4
（二）京極期史料	3
（三）松平家藩主書状・書付	6
（四）松江藩幕末関係史料	9
（五）御徒文書「江戸御用状留 享保三年」	1
（六）三谷家文書「内外御用状頭書」（文久三年～元治二年）	8

二、松江藩領の御用留

（一）池尻家文書「天明二年御用留」	2
（二）御用留からの抄出史料	9

1. 池尻家文書（安永七年～嘉永七年）	4
---------------------	---

2. 木幡家文書（文化二四年～慶応元年）	9
----------------------	---

三、瀧川家「公用控」（老番・式番）	6
-------------------	---

付録一、「御書判御印鑑」	4
--------------	---

付録二、「雲州松平家系譜」	2
---------------	---

松江市史編纂関係者名簿	7
-------------	---

史料提供者・協力者一覧	8
-------------	---

御用留抄出史料目録	1
-----------	---

松江藩関係文書目録	2
-----------	---

史料編8 近世IV 目次

発刊にあたって 松江市長 松浦正敬

凡 例

総説（編集にあたって） 2 6

解 説

第一章 松江藩の成立と藩政の展開 3 1

第一節 藩主と家臣 3 1

第二節 藩政の展開 3 2

第三節 松江松平家の世界 3 4

第四節 藩政改革と藩財政 3 5

第五節 幕末維新期の松江藩 3 6

第二章 城下町松江と在方町 3 9

第一節 城下町松江の空間構造 3 9

第二節 都市住民の生業 3 9

第三節 町の自治と住民のつながり 4 0

第四節 在方町 4 0

第三章 郡・村政の仕組み 4 2

第一節 郡・村の役人 4 2

第二節 郡・村の税負担 4 3

第三節 訴願と文書行政 4 4

第四節 百姓の成り立ちと郡・村 4 4

第五節 領主と郡・村 4 5

第四章 村と浦の生業と産業の発展 4 7

第一節 村落社会の展開 4 7

第二節 村の基盤整備と諸争論 4 8

第一項 河川開削と新田開発 4 8

第二項 村浦における諸争論 4 8

第三項 漁業と漁場争論 4 9

第三章 諸産業の発展 5 0

第四節 人々の身分と生業・職分 5 1

第五章 交通の整備と流通の発展 5 2

第一節 街道と宿駅 5 2

第二節 水上交通 5 3

第三節 流通の発展 5 3

第四節 金融の発展 5 4

第六章 家族と人々の暮らし 5 6

第一節 ライフコースと家族 5 6

第二節 町の暮らし、村の暮らし 5 6

第三節 人々の移動と娯楽 5 7

第七章 人々の信仰と医療 5 8

第一節 地域の寺院と僧侶の役割 5 8

第二節 地域の神社と宗教者 5 8

第三節 人々の信仰と神仏 5 9

第四節 医療と医師 5 9

第八章 学びと教育・文化の展開 6 1

第一節 諸学問の展開 6 1

第一項 松江藩と儒学 6 1

第二項 神道説と国学 6 2

第二章 教育の普及	6 2	第二章 家族と人々の暮らし	5 7 9
第一項 松江藩の藩校	6 2	第一節 ライフコースと家族	5 7 9
第二項 松江藩の武術	6 4	第二節 町の暮らし、村の暮らし	5 9 0
第三節 書物の普及	6 4	第三節 人々の移動と娯楽	6 0 4
第四節 文芸・遊芸の世界	6 4	第七章 人々の信仰と医療	6 1 0
史料		第一節 地域の寺院と僧侶の役割	6 1 0
第一章 松江藩の成立と藩政の展開	6 9	第二節 地域の神社と宗教者	6 3 9
第一節 藩主と家臣	6 9	第三節 人々の信仰と神仏	6 5 8
第二節 藩政の展開	7 7	第四節 医療と医師	6 8 3
第三節 松江松平家の世界	1 0 9	第八章 学びと教育・文化の展開	7 0 6
第四節 藩政改革と藩財政	1 4 3	第一節 諸学問の展開	7 0 6
第五節 幕末維新期の松江藩	1 6 7	第一項 松江藩と儒学	7 0 6
第二章 城下町松江と在方町	2 1 0	第二項 神道説と国学	7 2 4
第一節 城下町松江の空間構造	2 1 0		
第二節 都市住民の生業	2 2 5		
第三節 町の自治と住民のつながり	2 5 6		
第四節 在方町	2 6 0		
第三章 郡・村政の仕組み	2 9 1		
第一節 郡・村の役人	2 9 1		
第二節 郡・村の税負担	3 0 7		
第三節 訴願と文書行政	3 2 5		
第四節 百姓の成り立ちと郡・村	3 3 3		
第五節 領主と郡・村	3 7 1		
第四章 村と浦の生業と産業の発展	3 7 8		

第二章 教育の普及			7	3	4
第一節 松江藩の藩校			7	3	4
第二項 松江藩の武術			7	6	5
第三節 書物の普及			7	9	4
第四節 文芸・遊芸の世界			7	9	8
松江市史編纂関係者名簿			8	1	4
史料提供者・協力者一覧			8	1	7
史料所蔵者・掲載目録一覧(五十音順)			8	1	9
史料編8 近世IV 細目次					
第一章 松江藩の成立と藩政の展開					
第一節 藩主と家臣					
1	寛文四年四月	將軍徳川家綱よりの領知判物	6	9	
2	年未詳	松平直政鷹場拝領の由緒覚書	6	9	
3	年未詳	初期の直政付属家臣の覚書	6	9	
4	(明暦年間頃カ)八月福井藩家老笹治刑部書状		7	0	
5	寛永一五年一〇月	松平直政知行宛行状(乙部九郎兵衛宛)	7	3	
6	延宝五年二月	松平綱近判物(月照寺宛)	7	3	
7	天明六年三月	乙部九郎兵衛宛知行目録	7	4	
8	(延宝五年カ)六月	乙部勘三郎帰参につき家老連署状	7	5	
9	安永五年一〇月	家老家格につき松平治郷書付	7	5	
10	元文五年五月	仕置役・城代役の退役願書	7	6	
11	延享三年三月	仕置役・城代役の退役願書	7	6	
12	文政一三年一〇月	仕置役見習任命の通達	7	7	
第二節 藩政の展開					
13	(元禄五年カ)九月	江戸より国元への書状	7	7	
14	寛保元年正月・二月	国政につき松平直常への家老衆言上書	7	9	
15	寛保元年五月	家老言上につき松平直員書状・申渡書	8	5	
16	寛保元年六月	国政につき松平直員への家老衆言上書	8	6	
17	寛保元年六月	家老言上につき親類大名連署状	8	8	
第二章 松江松平家の世界					
18	寛保元年六月	親類大名申渡につき江戸家老連署状	8	9	
19	寛保元年六月	国政につき松平直員への家老衆言上書	9	0	
20	年未詳	家中・領内風説につき家老ほかへの申渡書	9	2	
21	年未詳	国政につき家老への申渡書	9	3	
22	延享三年三月	五年前の一件につき言上書	9	4	
23	延享三年四月	五年前の一件につき松平直員書付(宗衍宛)	9	6	
24	延享四年四月	松平宗衍行状につき松平明矩ほか意見書	9	8	
25	延享四年八月	家老退役につき松平宗衍直書写	1	0	2
26	明和四年七月	松平宗衍隠居につき申渡書	1	0	4
27	明和四年八月	松平宗衍隠居につき申渡書	1	0	4
28	明和四年一〇月	松平宗衍隠居につき申渡書	1	0	5
29	(明和四年カ)一二月	財政再建につき三谷権大夫意見書	1	0	5
30	享和元年夏	藩政改革につき朝日丹波恒重言上書	1	0	6
第三節 松江松平家の世界					
31	年未詳八月	家老らの意見を申し入れることにつき松平近栄書状	1	0	9
32	安政二年七月	分家の成立につき覚	1	1	0
33	元禄三年五月	当分養子につき松平綱近書状	1	1	2
34	年未詳四月	当分養子につき老中阿部正武書状	1	1	2
35	年未詳一月	本丸作事につき家老香西茂左衛門宛松平直矩書状	1	1	2
36	年未詳五月	松平宣富登城同道につき松平基知書状	1	1	
37	元文五・六年	松平宗衍(幸千代)縁談につき覚書および書状	1	1	3
38	安永三年四月	五百姫(松平宗衍女)結納・婚礼・三つ目手合拔書	1	1	5
39	年未詳	松平家系譜取調べにつき覚	1	2	1
40	(文政九年カ)	好宮縁談につき松平治郷書状	1	2	3
41	寛永一五年二月	松平直政出雲転封につき毛利秀就室龍昌院消息	1	2	3
42	寛永一五年二月	松平直政出雲転封につき毛利秀就室龍昌院消息	1	2	3
43	寛永一五年一二月	松平綱隆(久松)庖瘡につき毛利秀就室龍昌院消息	1	2	4
44	寛永一五年閏九月	松平直政に娘誕生につき毛利秀就室龍昌院消息	1	2	5
45	正保元年一二月	松平直政内ひもし庖瘡につき毛利秀就室龍昌院消息	1	2	5
46	正保二年正月	千代熊(毛利綱広)庖瘡につき毛利秀就室龍昌院消息	1	2	6
47	年未詳	奥向きの統制につき松平宗衍条書	1	2	7
48	年未詳	奥向きの統制につき松平宗衍覚	1	2	8
49	年未詳	奥向きの統制につき松平宗衍覚	1	2	9
50	年未詳	子供敬称につき松平宗衍書付	1	2	9
51	年未詳	近習・用達など統制につき心得の覚書	1	2	9
52	年未詳	西局錠口の締まり合につき松平宗衍書状	1	3	1

53	年未詳	家中俟約につき天岳院より御尋ね	131
54	年未詳	天岳院遺言書	132
55	元文三年一〇月	天岳院遺言書	136
56	年未詳	供連れにつき松平治郷書状	137
57	年未詳	ご機嫌うかがいにつききち(謙映院) 仮名消息	138
58	文久二年三月	吉姫代筆書状をうけとるにつきみち(林昌院) 仮名消息	138
59	文久三年九月	近況報告につききち 仮名消息	138
60	元治元年六月	暑中見舞につききち 仮名消息	139
61	寛文三年四・五月	松平直政参内・参院につき『梅小路定矩日記』	140
62	年未詳	江戸城における藩主・家老御目見次第	141
63	第四節 藩政改革と藩財政		
63	明治四年写	京都銀主あて借銀証文	143
	(1) 慶安五年正月	鍵屋九右衛門宛(下立直通小川角矢倉民之輔)	143
	(2) 貞享二年正月	井筒屋三郎右衛門宛(川東聖護院前河井十右衛門)	144
	(3) 貞享二年正月	慶松勝左衛門宛(二条通烏丸東入慶松勝左衛門)	144
	(4) 貞享二年正月	佐生理兵衛宛(小川通丸太町上ル上鍛冶町佐生嘉次郎)	145
	(5) 貞享二年正月	菱屋市右衛門宛(六角新町西へ入町宮西鳩翁)	145
	(6) 正徳二年九月・極月	佐生理兵衛宛	146
64	宝暦三年六月	借銀減額・年賦返済議定	149
65	明治五年正月	旧松江藩への貸付銀米未回収につき浜田県へ願書	150
	(1) 宝暦一〇〇一三年貸付		150
	(2) 宝暦一四年貸付		151
66	寛政六年閏一二月	扶持米削減につき書状	152
67	享和三年一〇月	合力銀渡方につき覚	153
68	慶応三年八月	松江藩証文引当にて借銀の証文	153
69	明治五年	松江藩年賦返済書上	153
70	天保一〇年一二月	天王寺屋五兵衛へ貸付銀書上	159
71	嘉永四年二月・同五年二月	嘉永四・五年松江藩諸役所 保有金銀・債権など書上	161
72	嘉永四年	嘉永四年鶴部屋御金蔵の現金銀銭書上	163
73	(明治五年九)	藩札発行高書上	165
	第五節 幕末維新期の松江藩		
74	嘉永五年二月一日	定安養子入りに関する津山藩江戸日記	167
75	弘化四年四月	大筒台場平生心得および大筒等預け置き覚	168
76	嘉永六年	異国船対応についての心得	169

77	嘉永六年一二月	防禦心掛けにつき触	170
78	文久元年	異国船渡来時の取り計らいにつき申渡	170
79	文久三年八月	八雲丸乗組員および運用中規則	175
80	文久二年・文久三年	京都・隠岐警衛につき松江藩願書	177
81	慶応元年八月	志立範蔵京坂周旋の記録	179
82	元治元年	異発の節、郷夫人数割り当てにつき達	183
83	慶応二年	因州勢、手結浦の脱走士捕らえ方および村方手配	184
84	慶応四年二月	鎮撫使入込につき心得	187
85	慶応四年正月	中川禄左衛門松江在陣日誌	187
86	慶応四年	王政復古後の隠岐預所取り扱いに 関する松江藩士志立範蔵の記録	190
87	慶応四年	隠岐騒動に関する松江藩士志立範蔵の記録	193
88	慶応四年	隠岐騒動後の松江藩民政に関 する松江藩士志立範蔵の記録	194
89	明治二年正月	松江県より鳥取県へ引渡目録	195
90	慶応四年九月・明治二年一〇月	太田与市戊辰戦争出兵記録	196
91	明治元年九月	羽州秋田出陣中の進軍記録	199
92	安政五年	悪病流行につき祈祷のこと	199
93	年未詳	民衆から見た幕末維新时期松江藩の様子	200
94	明治三年三月	暗殺等治安悪化のこと	205
95	明治四年	浦上キリシタン預かりの記録	206
	第二章 城下町松江と在方町		
	第一節 城下町松江の空間構造		
1	(天明八年) 五月	掘割塵埃浚い指示	210
2	明和元年一〇月	武家屋敷前水路の無断付け替え禁止	210
3	天保六年四月	和田見借家守請状	211
4	天保七年四月	仕切借屋差留	212
5	文政一〇年正月	下肥代米支払儀定書	212
6	延享二年四月	網干場願い許可につき	212
7	明和七年一〇月	船造場借用願	213
8	寛政五年一二月	網干場の土地を木実方役所櫓砕部屋に借用	214
9	文化一四年一二月	網干場に網干小屋建設願	214
10	(文政初年)	寺社奉行より網干場につき旧記・申伝の古事御尋	216
11	年未詳五月	網干小屋完成	218
12	天保七年九月	網干場番小屋に居住願	219
13	弘化三年五月	納屋願につき絵図面	222

1 4	弘化三年六月	殺生方より納屋御許容の書付	2 2 3
1 5	嘉永七年十一月	網干場漁師住居屋根揚げ許可願	2 2 3
1 6	弘化三年七月	納屋売渡代銭の事	2 2 4
第二節 都市住民の生業			
1 7	元禄六年二月	白潟本町東側四間屋敷権重郎へ遣わし証文写	2 2 5
1 8	丑年正月	銀式拾貫目元手供与書付	2 2 6
1 9	元禄一四年三月	石見屋安右衛門より小豆屋権十郎あて家屋敷売券状	2 2 6
2 0	享保七年正月	家督相続につき書置覚	2 2 7
2 1	天明六年二月	家内惣勘定目録	2 2 7
2 2	文化一一年八月	逼塞主法（小豆沢家儉約計畫書）	2 3 0
2 3	宝暦二年一〇月	泉府方調達金関係	2 3 3
2 4	年未詳一〇月	国産人参尾道まで運搬のための伝馬証文	2 3 5
2 5	明和五年三月	櫛畑証文	2 3 6
2 6	安永八年一二月	油座・諸道具買受願書	2 3 6
2 7	寅年一二月	木実方より借錢利足受取証文	2 3 7
2 8	嘉永四年四月	分家和田見新屋丈兵衛生蠟絞方御用継続願	2 3 7
2 9	文久元年四月	木実方役所より拝借金仰せ付け書付	2 3 7
3 0	安政三年一二月	木実方御用などの功績につき褒美金下付	2 3 8
3 1	安政四年七月	瀧川召抱蠟仕頭取万次郎肝煎松太郎五十年相勤につき褒美金下付	2 3 9
3 2	明治四年二月	各種役儀任命書	2 3 9
3 3	嘉永六年七月	横浜町出火難済者へ救済につき褒賞状	2 4 0
3 4	明治二年八月	細民へ銭三千貫文救済許可ならびに褒賞	2 4 0
3 5	年未詳一〇月	他国米買入出銀につき褒賞	2 4 1
3 6	庚午年一二月	融通会社頭取任命	2 4 2
3 7	宝永四年一〇月	白潟漁師仲間議定	2 4 2
3 8	延享三年三月	白潟漁師仲間議定	2 4 3
3 9	宝永六年七月	両町川分次第	2 4 4
4 0	正徳元年七月	白潟・末次漁師仲間による漁場規定	2 4 4
4 1	正徳五年正月	両町漁師仲間議定	2 4 6
4 2	寛保三年二月	恵比須大神の由来	2 4 6
4 3	元文三年三月	龍神講開始	2 4 7
4 4	宝暦一四年	末次漁師由来書差上帳	2 4 7
4 5	明和六年八月	白潟漁師救済願	2 4 9
4 6	宝暦三年一二月	松江鱸の由来	2 5 1
4 7	寛保以降	漁場由緒書	2 5 2

4 8	享保二〇年六月	質屋仲間議定	2 5 2
4 9	文政九年八月	室座借用証文	2 5 4
5 0	享保二〇年八月	酒造株分割貸出許可	2 5 4
5 1	（天保四年カ）巳年一〇月	酒造株売払願	2 5 4
5 2	享保三年正月	酒造株永代売渡証文	2 5 5
第三節 町の自治と住民のつながり			
5 3	弘化五年二月	白潟神主青砥宅にて大年寄役誓紙改め通達	2 5 6
5 4	年未詳	町触れ請書	2 5 6
5 5	安政二年一二月	郷方火消駆け付けの件につき申し談じ一件	2 5 7
5 6	天保一三寅八月	白潟社祭礼当頭につき仕法替	2 5 9
第四節 在方町			
5 7	寛永一二年一二月	島根郡美保関浦小物成割付状	2 6 0
5 8	明暦二年二月	地下中より舟宿問屋相定証文	2 6 1
5 9	明暦二年二月	地下中より北国船問屋相定証文	2 6 3
6 0	元禄七年一二月	地下勘定立会につき一札	2 6 6
6 1	元禄一五年七月	札銀預り証文	2 7 0
6 2	宝永五年正月	地下借銀証文	2 7 0
6 3	宝永五年五月	庄屋退役に伴う北国船問屋縮小につき願書	2 7 2
6 4	宝永六年八月	北国問屋につき一件落着書写	2 7 3
6 5	年未詳	明暦二年以後の北国問屋の経緯	2 7 7
6 6	宝暦一二年正月	本殿御造営日銭留帳	2 7 8
6 7	元禄二年五月	新湯取立ならびに運上銀規定	2 8 1
6 8	宝永五年一〇月	元湯の出不足につき湯川伏せ替え願	2 8 2
6 9	寛文一二年正月	玉造湯坪御普請報告書	2 8 2
7 0	正徳四年六月	御成の時元湯遣し道具願書	2 8 3
7 1	（正徳六年）二月	貸座敷・湯屋修復のため薬師堂開帳願書	2 8 4
7 2	宝暦四年三月	意宇郡玉造村温泉旧記差出帳	2 8 4
7 3	享和二年二月	新湯坪二ヶ所新設願	2 8 6
7 4	（享和三年）七月	伴助長屋建立願	2 8 6
7 5	年未詳壬卯月	桂田孫兵衛様義につき返答書	2 8 7
7 6	（天保一三年）六月	新湯坪差止願	2 8 7
7 7	（弘化〓嘉永）一〇月	湯口普請入用につき達状	2 8 8
7 8	文久二年	長屋建直しのため銭拝借願書下書	2 8 9

第三章 郡・村政の仕組み

第一節 郡・村の役人

1	慶応元年一〇月	下大野村運平を下郡に命じる際の呼び出し状	2	9	1
2	安政元年九月	東来待村順蔵を宍道村庄屋に任命する申し渡し	2	9	1
3	嘉永元年九月	東来待村甚蔵を年寄に任命する申し渡し	2	9	1
4	安政四年六月	与頭平之助へ御用を念入りに勤めるよう申し渡し	2	9	2
5	嘉永四年八月	東来待村年寄甚蔵の役儀を免ずる申し渡し	2	9	2
6	文化一三年九月	文政一〇年六月	2	9	2
7	天保七年一〇月	十郡の下郡・与頭を就任年次などの書上	2	9	2
8	文化一四年六月	佐々布村七左衛門に五人組の組親を命ずる申し渡し	3	0	0
9	年未詳八月	庄屋の勤め村を西来海村から伊志見・佐々布両村へ変更する申し渡し	3	0	0
10	明治元年一〇月	与頭が庄屋忠兵衛を急御用のため呼び出し	3	0	1
11	慶応三年一〇月	麻袴を持参して出府するべき旨の書状	3	0	1
12	(安政六年九)四月	宍道村庄屋順蔵が在役中木綿合羽の着用を許す書き付け	3	0	1
13	文久二年閏八月	上納米の収納に力を入れた年寄を褒賞する申し渡し	3	0	2
14	年未詳六月	地改めに尽力した年寄を褒賞する申し渡し	3	0	2
15	文政一三年九月	下郡が郡家での勤務日と用件を庄屋と相談する書状	3	0	3
16	天保六年八月	村役所の畳張替えなどの見積り	3	0	4
		制札場目安箱の新調を願ひ出る	3	0	6

第二節 郡・村の税負担

1	安政三年一〇月	伊志見村の年貢免状	3	0	7
1	嘉永六年四月	覚之助へ割り付けられた年貢の皆済について算用状	3	0	8
1	天明五年七月	年貢未進・過の名前・高の書き出し	3	1	0
2	安政三年九月	万定納・小物成の皆済目録	3	1	2
2	寛政八年一〇月	洪水についての見分での申し出を修正する旨申し上げ	3	1	4
2	慶応二年三月	洪水で被害を受けた田地の年貢を減免する通達	3	1	5
2	(嘉永四年九)一〇月	立毛の見分のため廻村につき書状	3	1	6
2	年未詳七月	売買田地の種米について伺い	3	1	6
2	年未詳	小物成目録の書き方についての示し合わせ	3	1	7
2	文政期	御立派以後の御用金高の書上	3	1	7
2	安政三年八月	禁裏普請御用に関する費用を	3	1	9
2	年未詳八月	郡目付通行時の人足の出し方についての申し渡し	3	2	3
2	年未詳五月	家中の者で小人になることを希望する者の宗門につき申し渡し	3	2	3
3	嘉永四年八月	台所入用の麦を納入するよう申し渡し	3	2	4

第三節 訴願と文書行政

3	嘉永四年三月	長江砂利を石橋町大井戸脇船着まで付け来たるよう申し渡し	3	2	4
3	文政一二年二月	他村人別の所持地売買などの際は持ち主の村の年寄が調印するよう回答	3	2	5
3	安政六年八月	中海絵図面を幕府へ届ける際に作成した文書の書留	3	2	6
3	年未詳七月	取調の郡割目録を急ぎ差し出すよう申し渡し	3	3	1
3	(嘉永四年九)九月	諸願書の差出の時期について申し渡し	3	3	2
3	年未詳八月	不順な気候による愁訴を下郡が引き留める	3	3	2
3	年未詳十一月	急な御用について村継ぎで文書を送るよう通達	3	3	3
3	(宝暦元年九)	第四節 百姓の成り立ちと郡・村	3	3	3
3	明和三年一二月	十年間の義田についての見積もり書	3	3	3
3	寛政三年正月	御立山の火事について調査報告書	3	3	5
4	寛政八年七月	困米・男女他国出・小豆の仕方などについて十郡からの願書	3	3	8
4	文化一四年九月	藩主直捌きについて御書	3	4	1
4	天保九年一二月	意旨郡中五ヶ年の殿合の主法書	3	4	5
4	弘化五年二月	殿合の趣旨を守る旨を村中が制約した連判状	3	5	6
4	慶応元年六月	殿合について請書	3	6	2
4	年未詳一月	殿合取扱について通達	3	6	4
4	已年正月	普請方小人払い米など十郡からの願書	3	6	5
4	已年一〇月	寸志米の上納高の通知	3	7	0
4	(嘉永四年九)一〇月	貧民をいたわるべき旨の申し渡し	3	7	0
5	(嘉永四年九)一〇月	富一件で取り上げた銭などの目録を差し出すよう書出	3	7	0

第五節 領主と郡・村

5	文化六年一二月	給地の百姓の割付状	3	7	1
5	年未詳二月	病気のため藩主社参時の御目見えに出られない旨の返書	3	7	2
5	年未詳正月	藩主の出郷日程について覚書	3	7	3
5	年未詳八月	藩主入湯の節献上物について承知した旨の書状	3	7	4
5	年未詳四月	藩主世子への御礼に出府すべき旨の書付	3	7	4
5	年未詳三月	宗門改めに出郷の際、聊かの品も受納しない旨申し渡し	3	7	4
5	嘉永四年九月	側役など出郷の節、取り売り酒場一軒を貸し渡すについて申し渡し	3	7	5
5	享保一五年七月	御立山を売り払う入札代金の受納証	3	7	5

5 9 天明四年九月 御立山の木による橋の御普請について願書 3 7 6

第四章 村と浦の生業と産業の発展

第一節 村落社会の展開

1 宝暦一四年二月 東津田村の村明細帳 3 7 8
 2 安政六年正月 俚約につき五人組印形帳 3 8 1
 3 明治元年一二月 伊志見村の村入用帳 3 8 5
 4 文政十二年一二月 意宇郡各村の村高書き上げ 3 8 6
 5 慶安三年三月 大庭村の検地帳 3 8 9
 6 文政五年一〇月 村浦の困窮に対する演説書 3 9 3
 7 寛政元年四月 頭分の者の名前書き上げ 3 9 6
 8 嘉永五年三月 二〇石以上の高持百姓の書き上げ 3 9 8
 9 宝永七年八月 小豆沢家の経営の様子 4 0 1
 1 0 宝暦一四年二月 東津田村田中又六家の由緒 4 0 5
 1 1 豪農経営の行き詰まりと再建 4 0 6
 (1) 嘉永六年六月 逼塞願い 4 0 6
 (2) 嘉永六年六月 経営再建計画 4 0 8

第二節 村の基盤整備と諸争論

第一項 河川開削と新田開発

1 2 天明八年正月 佐陀川普請における秋鹿郡の大夫割符につき触 4 1 2
 1 3 天明八年正月 普請方入用の秋鹿郡割符につき差紙 4 1 3
 1 4 天明八年二月 佐陀川普請における秋鹿郡村浦の日用夫割符につき状 4 1 3
 1 5 寛政元年一二月 佐陀川普請における役人宿助米・諸入用の書出帳 4 1 4
 1 6 (文久元年九) 七月 浜佐陀川漁師の由緒と漁の存続につき願書 4 1 7
 1 7 文政一三年八月 佐陀川修復における日用夫の割り当てにつき覚 4 1 8
 1 8 文政一三年八月 佐陀川修復における日用夫賃米の割り当てにつき書状 4 1 9
 1 9 天保二年七月 出雲郡新川普請につき郡村にて新田開発出精の触 4 2 0
 2 0 天保三年三月 天神川開堀普請における日用夫の割り当てにつき触 4 2 2
 2 1 天保三年四月 天神川開堀普請における日用夫・諸入用につき触 4 2 2
 2 2 文化一二年三月・四月 意宇郡白石村灘筋の水代願および許可状 4 2 3

第二項 村浦における諸争論

2 3 享保一一年五月 伊志見村と佐々布村の山論につき裁許状 4 2 5
 2 4 寛政九年六月 大根島と伯耆国浜目村々との藻葉刈り争論 4 2 6

第三項 漁業と漁場争論

2 5 安政二年二月 安来町地引網申請につき末次漁師より差留願書 4 2 9
 2 6 明治元年一二月 赤貝盗取につき意宇郡馬潟・八幡村人別嘆願書 4 3 0
 2 7 安政三年二月 大芦・加賀浦鱸立網と水浦大敷網と漁場争論書付 4 3 1

第三節 諸産業の発展

2 8 天保二年二月 櫛苗渡し方、苗取扱方につき申渡書 4 3 5
 2 9 年未詳五月 櫛実成りの模様、櫛植増・接木等申渡書 4 3 6
 3 0 年未詳三月 春櫛木芽出しの折、霜除の儀取扱につき申渡書 4 3 7
 3 1 年未詳七月 接ぎ木巧者清右衛門接ぎ木につき申入書 4 3 8
 3 2 亥年一二月 接ぎ木巧者清右衛門以下接手間書出し覚書 4 3 8
 3 3 年未詳正月 櫛木野うて伐禁止につき申渡触書 4 3 9
 3 4 文政四年 郡村々より菓草掘り取り、他国売渡停止につき申渡書 4 3 9
 3 5 天保三年六月 上伊野村人參畑御入用麦藁につき願書 4 4 0
 3 6 卯年九月 稲こぎ焼き直しにつき演説書 4 4 1
 3 7 文政一三年五月 釜甌方鍋座ならびに鉢座仰せ付けにつき覚書 4 4 2
 3 8 年未詳八月 釜甌方鍋釜売り捌きにつき覚書 4 4 3
 3 9 寛政九年閏七月 綿実殿合につき存寄伺書 4 4 3
 4 0 寛政九年閏七月 綿実殿合伺書 4 4 5
 4 1 天保七年九月 焼物商売につき殿合申渡書 4 4 8
 4 2 嘉永六年一月 布志名焼物方入用白土払底につき申渡書 4 4 9
 4 3 天保三年八月 鯨組漁開始につき申渡書 4 4 9
 4 4 天保四年一二月 鯨煎粕、鯨組方販売につき申渡書 4 5 0
 4 5 文政一三年六月 俵物充分干立いたし上納につき触書 4 5 0
 4 6 嘉永六年六月 隠州牛馬伯州渡り鞭先銀取り決めににつき願書 4 5 1
 4 7 文政二年一〇月 馬口旁・牽人伯州大山等へ他国出願書 4 5 2
 4 8 文政一二年二月 本庄村居宅等入用の来海石、馬潟通行願書 4 5 2
 4 9 弘化四年九月 新田開発入用石垣石の買請につき願書 4 5 5
 5 0 嘉永四年一月 入用量表、御量方へ運送につき覚書 4 5 5
 5 1 天保五年一〇月 瓦座貸座につき願書 4 5 6
 5 2 文政一三年三月 農夫確保のため職人増人数禁止など申渡書 4 5 7
 5 3 (天保四年) 八月 松江札所持の職人取調、一代切差免につき申渡書 4 5 8
 5 4 (天保四年) 八月 松江札所持の職人、再び一代切差免につき申渡書 4 5 9
 5 5 天保七年七月 多古浦漁場にて酒必需につき取寄置願書 4 6 0
 5 6 年未詳二月 酒造桶買入のため摂州へ他国出につき願書 4 6 1
 5 7 弘化三年四月 杜氏雇入のため摂州へ他国出につき願書 4 6 1
 5 8 弘化五年三月 造酒伝習のため但州の者逗留願書 4 6 2
 5 9 弘化三年一〇月 4 6 3

60	元文元年正月	十郡桶屋職分取決めにつき覚書	464
61	年未詳二月	上中下桶屋細工の品取決めにつき覚書	464
62	天保一四〇弘化二年	石州鳥居村八幡社屋根葺方につき願書・申渡書	465
63	午年閏五月	七類浦三保国司両社屋根葺木入用につき願書	468
64	宝暦一四年	大工による地下へ余分の物入等禁止につき申渡書	469
65	天保三年正月	石垣師へ免札を遣わす議定につき申渡書	469
66	天保三年五月	備前石垣師、郡内滞留詮索につき申渡書	470
67	天保五年二月	薪商い・葦細工にて渡世仕るにつき覚書	470
68	文政一三年三月	魚瀬浦、和多見町舟大工伝馬船二艘新造願書	471
69	弘化四年三月	無田極貧にて農業の透間綿打職仕度につき願書	472
70	弘化四年四月	無田極貧にて農業の透間石垣師職仕度につき願書	472
71	弘化四年一月	無田極貧にて農業の透間石切仕度につき願書	473
72	天保六年三月	無田極貧にて農業の透間屋根葺職仕度につき願書	474
73	天保四年八月	耕作の透間紙漉仕度につき願書	474
74	弘化四年正月	無田極貧にて一〇月から三月まで鴨羽子免札願書	476
75	文政一二年二月	無田極貧にて七月から一月まで海老漁免札願書	476
76	文政一三年三月	極難者にて三月から八月まで鰻はへ縄漁免札願書	477
77	明和元年	堀筋御法度の場所にて勝手漁禁止につき触書	478
78	明治三年九月	松江素人漁師による漁期の延長差留につき願書	479

第四節 人々の身分と生業・職分

79	文政七年三月	御鷹餌鳥の鉢屋による運送の停止	480
80	文政一三年一月	御鷹餌鳥の鉢屋による運送	480
81	文政一二年一〇月	鉢屋による年貢納入の督促	480
82	文政一三年五月	往来者改め役人への鉢屋随行の件につき回答	481
83	天保二年八月	郡廻り鉢屋の引退願い	481
84	天保三年二月	郡中鉢屋による廻番につき通知	482
85	天保五年一二月	鉢屋預かりとなつた者の費用負担に関する照会	482
86	安政二年正月	鉢屋の寺請けに関する通知	482
87	慶応元年一〇月	松江鉢屋の廻村につき取り締まり	483
88	天明二年一月	座頭・警女に対する下賜銀	483
89	寛政七年三月	剃髪人(禪門・比丘尼)の届け出	484
90	文政一三年正月	虚無僧の改名に関する通知	484
91	文政一三年三月	虚無僧を取り締まる京都明暗寺への下賜銀上納命ず	485
92	天保五年三月	六十六部廻国行者の滞在規制	485

第五章 交通の整備と流通の発展

第一節 街道と宿駅

1	(嘉永頃)	木幡屋久右衛門方由緒覚書	487
2	(嘉永頃)	他領御役人御用宿ならびに難渋者労り覚書	489
3	文化二年三月	小兵衛等佐陀川等見分出郷につき手配等書付	493
4	文政六年二月	駒次郎・律姫御付女中杵築・日御崎等参詣につき御昼御宿手配一途	496
5	弘化四年八月	吟味方御用につき寺社湊御茶屋見分行程書出	500
6	天保一三年三月	屋本陣・小休駕籠立場申付候につき褒美書付	501
7	嘉永二年正月	少将殿帰国につき行程等書上一件	503
8	天保二年三月	久世本陣困窮につき居宅等建物修復借銀願書	506
9	年未詳一〇月	両掛御状箱送り状受取につき覚書	507
10	年未詳一月	両掛御状送り届けにつき覚	508
11	年未詳一月	雲州様御状箱受取、草津まで継立仕につき覚	508
12	年未詳一〇月	御献上鶴入状箱送り届けにつき覚書	509
13	天保一五年	献上梨子運送賃錢につき書上	509
14	嘉永六年一月	継飛脚継立御状箱多きに付請負銀増額願書	509

第二節 水上交通

15	明和五年四月	荷物を他村船にて船積みすることを禁じる触	510
16	(天明三・文政一一年)	天明三年船法ならびに文政一一年諸船取扱方議定・家中・寺社の者が在町の者へ船を貸すことを禁じる触	510
17	天明五年三月	船役銀差出証明となる免札の船打ち付けを命じる触	513
18	(天保三年)辰七月	他国船造立の禁止と御手船場への造立願を命じる触	514
19	弘化四年一月	松江渡海場の由緒書「松江渡海場の之訳」	514
20	辰年二月	松江渡海場の由緒書「演説書 渡海場」	520
21	辰年二月	松江渡海場の由緒書「松江渡海場の之訳」	520
22	明治四年七月	松江渡海場の由緒書「松江渡海場濫觴古船法書」	522
23	慶応三年	松江渡海場の御用船につき演説書	524
24	慶応四年	松江渡海場の御用船につき演説書	527
25	安永二年三月	意宇郡穴道町船座設立の願書	529
26	弘化五年二月	島根郡三保閑船往來差出帳	534
27	慶応四年三月	秋鹿郡古浦船宿につき議定書	535
28	天保二年四月	御城米船難破船の節の諸入用節約を命じる触	537
29	天保八年六月	越後国御城米積船難船の濡米入札につき触	538
30	天保五年七月	佐渡国船難船につき人相書の触	538

第三節 流通の発展

31	年未詳	雲州廻米買受継続願下書	540
32	慶応元年六月	備後国六の原大炭伯州通抜につき差押願書	542

3 3	年未詳六月	アゴ蒲鉾・焼海老注文書	5 4 3
3 4	弘化四年二月	鰯積登売捌につき大坂逗留願書	5 4 4
3 5	(文政四年カ)八月	寺社祭札等にて松江町屋等小間物類持込売買禁止につき申渡書	5 4 4
3 6	天保二年七月	荒物店にて小間物・反物類隠売禁止につき申渡書	5 4 5
3 7	天保三年一月	大坂本町紀伊国屋庄兵衛城下町場商差免につき触書	5 4 5
3 8	安永七年八月	他国者国内薬種販売停止の折、京見世加賀屋(長右衛門)薬持運御免につき申渡書	5 4 6
3 9	天保五年一〇月	他国の葉売り入国禁止につき町場御制申渡書	5 4 6
4 0	文政一二年一月	松江筆備後・備中・安芸へ売り捌きにつき願書	5 4 7
4 1	天保四年六月	松江筆売り捌きの折、製法を伝授された牛の妙薬販売願書	5 4 8
4 2	弘化四年八月	伯州より廻船買請仕度につき願書	5 4 9
4 3	文政一三年七月	売木綿稼ぎ渡世仕るにつき演説書	5 5 0
4 4	弘化三年二月	木綿一条につき仰せ渡され候御書付写	5 5 0
4 5	酉年三月	木綿送状雛形	5 5 7
4 6	年未詳三月	御国産木綿荷物引受につき一札	5 5 8
4 7	年未詳四月	八代村問屋木綿取扱につき、問屋・馬士方よりお礼書付	5 5 9
4 8	嘉永二年四月	木綿福山通り方につき馬方取極等荷継問屋願書	5 6 0
4 9	安永六年四月	近江鉄炮地鉄御用注文目録写	5 6 1
5 0	万延元年正月	国産鉄松江にて一円商い取組の願につき差押申渡書	5 6 2
5 1	天保一〇年	安来町廻船問屋株につき争論一件	5 6 2
第四節 金融の発展			
5 2	天保一〇文久三年	(1)廻船問屋職存続につき願書	5 6 2
5 3	文政三年一二月	(2)安来町問屋株、売渡、貸渡願書	5 6 3
5 4	寛政一二年閏四月	(3)船問屋職差縛一件につき吟味口書	5 6 4
5 5	天保七年四月	志儀帳	5 7 1
5 6	年未詳二月	松江灘町永江屋徳兵衛木実方志儀場置銭借用証文	5 7 4
5 7	年未詳二月	木実方志儀引受永江屋潰れにつき懸合申入書	5 7 6
5 8	年未詳四月	櫛取引庄屋質見分の返答書	5 7 6
5 9	年未詳六月	永江屋木実方質物引受につき演説書	5 7 7
		永江屋木実方質物引受につき年賦期限延長願書	5 7 8

第六章 家族と人々の暮らし

第一節 ライフコースと家族			
1	文政六年四月	秋鹿郡岡本村御家中井町方奉公人帳	5 7 9
2	文政六年十一月	岡本村なつ結婚につき宗門返証文	5 8 1
3	(文久一〇慶応四年頃カ)二月	しま離縁につきとりかわし書	5 8 1
		(1)私妻しま今度離別につき書状	5 8 1
		(2)今度離別の由承知につき書状	5 8 1
		(3)離別届明日差出につき書状	5 8 2
		(4)今度おしま儀離別につき	5 8 2
		(5)家財道具送状	5 8 2
		(6)家財道具受取状	5 8 2
		(7)家財道具受取状	5 8 3
		(8)家財道具受取状	5 8 3
4	天保三年一〇月	きよの出生	5 8 3
5	嘉永五年正月	お竹の成育儀札	5 8 4
6	年未詳四月	おいつ臨月について書状	5 8 6
7	天保七年九月	身元不明女児人相の覚	5 8 7
8	天保六年三月	孝行者褒賞	5 8 8
9	年未詳	女が褒賞された例	5 8 8
		(1)「出雲国孝養伝」抄出	5 8 8
		(2)「続編孝義録料六十二 山陰道五」抄出	5 8 9
第二節 町の暮らし、村の暮らし			
1 0	寅年八月	女子しま他五名、他国出につき憐憫願い写	5 9 0
1 1	年未詳八月	女子六名、忍び出につき引渡	5 9 1
1 2	(文政四年カ)	禁を破り絹布着用につき呵り置く	5 9 2
1 3	(文政期カ)	出産早めの符他	5 9 2
1 4	天保一三年	嫁入仕指ひ	5 9 5
1 5	嘉永元年八月	「釈尼智誓死場並法事帳」抄出	5 9 6
1 6	嘉永二年九一〇月	中嶋屋の戸蝶逃亡、売女を和田屋に集め打擲	6 0 0
1 7	文政一三年七月	嶋屋の王ノ井が捕まり責められる様子を見物	6 0 1
1 8	嘉永五年六月	塗師清十の倅虎と中嶋屋の遊女千鳥の心中事件	6 0 1
1 9	嘉永六年六月	長谷川良右衛門方長屋にて密会の男女手鎖	6 0 1
2 0	天保三年七月	風聞宜しからず不人氣の者、追放、戸締め	6 0 2
2 1	天保二年	乳児殺の者、町中引廻しの上磔	6 0 3
第三節 人々の移動と娯楽			
2 2	寛政一一年三月	寺社参詣の許可願	6 0 4
2 3	天保七年三月	他国寺社参詣の禁違反の報告事例	6 0 4

24	相撲興行の申請		6	0	5	1	9	吉田家による神道裁許状		6	4	4	
	(1)文政一三年七月		6	0	5			(1)万治二年六月		6	4	4	
	(2)天保七年七月		6	0	5			(2)文政二年四月		6	4	4	
25	文政一二年八月	六ッ足大の見せ物興行の申請		6	0	6	2	0	吉田家による木綿襷着用許可状		6	4	4
26	子年八月	軽業の見せ物興行の申請		6	0	6	2	1	吉田家による衣冠着用推許状		6	4	4
27	嘉永四年五月	子供狂言小見せ物興行の申請		6	0	7	2	2	吉田家による神事作法の伝授		6	4	5
28	文久元年四月	芝居興行願い		6	0	8	2	3	官位補任の口宣案		6	4	5
29	年未詳	芝居興行の演目		6	0	9	2	4	吉田家による宗源神道の許状		6	4	5
30	年未詳	神道講談の申請		6	0	9	2	5	佐太神社別火職の継承許可		6	4	6
							2	6	佐太神社別火職の役割		6	4	6
							2	7	神事精勤につき神文		6	4	7
							2	8	佐太神社祭礼・遷宮時の出勤等につき請書		6	4	8
							2	9	佐太神社御座替え神事出勤懈怠につき吟味願い		6	4	8
1	寛保元年一〇月	華藏寺からの末寺と檀徒への申し渡し		6	1	0	3	0	佐太神社と松江の三神職との争い		6	4	9
2	寛保二年二月	華藏寺からの末寺と檀徒への申し渡し		6	1	1	3	1	幣頭支配下の神職の役割		6	5	1
3	享保一二年七月	寺替え・宗旨替えに関する諸宗申し合わせ		6	1	2	3	2	願書・届書の上申手続きにつき請書		6	5	1
4	享保二〇年九月	天倫寺の由緒書		6	1	5	3	3	幣頭役の退任と後任につき願い		6	5	2
5	宝暦一四年正月	蓮花寺の覚書		6	2	2	3	4	山代村神職の由緒書		6	5	3
6	宝暦一四年三月	普門院の寺院明細帳		6	2	3	3	5	人参方役所鎮守神職の名代につき請状		6	5	3
7	寛政五年三月	成相寺境内堂社末寺間数控帳		6	2	8	3	6	神社の鍵預かりにつき請書		6	5	4
8		蓮花寺住職の相続		6	3	0	3	7	神社に対する松江藩の通達と神職の役割		6	5	4
		(1)元治元年五月		6	3	0			第三節 人々の信仰と神仏				
		(2)元治元年五月		6	3	1	3	8	手間天神社の建立願い		6	5	8
9	文化四年正月	千手院年中行事記録		6	3	2	4	0	蓮花寺庫裏上葺につき覚書		6	5	8
10	元禄六年三月	清光院後住願いの許可		6	3	3	4	1	古志村野間観音堂再建をめぐる吟味書		6	5	9
11	天明八年一日	清光院に対する寺格の免許		6	3	4	4	2	賣布神社の造営・遷宮		6	6	1
12	文化六年七月	清光院後住をめぐる僧侶間の争い		6	3	4	4	3	愛敬稻荷への信仰		6	6	2
13	天明二年三月	臨済宗の触頭の地位をめぐる争論		6	3	6	4	4	火除稻荷への信仰		6	6	4
14	弘化五年二月	蓮花寺檀頭友七の離檀をめぐる争い		6	3	8	4	6	賣布神社の年中行事		6	6	4
							4	7	平浜八幡宮祭礼における座次争論		6	6	9
							4	8	平浜八幡宮祭礼における座次争論		6	6	8
							4	9	成相寺の支配する社祠		6	7	1
15	年未詳	神魂神社由来		6	3	9	4	8	成相寺と古曽志村神職の祭祀をめぐる争論		6	7	2
16	年未詳	平浜八幡宮由緒		6	4	0	5	0	日待神事をめぐる成相寺と西谷村神職をめぐる争い		6	7	2
17	宝永三年正月	照床八幡両社の明細帳		6	4	2	5	1	白石村熊野権現の祭祀をめぐる西城寺と神職の争い		6	7	3
18	文政九年六月	出雲国造による神道裁許状		6	4	3	5	1	来海村大森社祭祀をめぐる神職と岩屋寺との争い		6	7	5

5 2	文久三年正月	神体の大杉伐採御断りの願い	6 7 6
5 3	巳年九月	松木伐採をめぐる蓮花寺と千酌浦との争い	6 7 8
5 4	元禄四年九月	宮内村観音堂をめぐる成相寺と善福寺の争論	6 7 9
5 5	酉年七月	松江分田中荒神の散銭をめぐる争い	6 8 0
第四節 医療と医師			
5 6	寛政一〇年六月	医師の五人組からの離脱運動	6 8 3
5 7	寛政一〇年六月	医師の五人組への加入状況	6 9 1
5 8	天保三年一二月	医者その他国出願手続き	6 9 2
5 9	享和三年四月	山本逸記の招聘と医学校存済館の設立	6 9 3
6 0	天保一〇年	松江藩医学校存済館の御用留	7 0 1
第八章 学びと教育・文化の展開			
第一節 諸学問の展開			
第一項 松江藩と儒学			
1	明和六年一〇月	宇佐美瀧水「上諸相公書」	7 0 6
2	(明和後半)安永前半頃	宇佐美瀧水来簡集「藥牆論卷」抄	7 1 6
		(1)三谷権大夫書簡	7 1 6
		(2)朝日丹波書簡	7 1 6
		(3)三谷権大夫書簡	7 1 7
		(4)三谷権大夫書簡	7 1 7
		(5)小田切備中書簡	7 1 8
		(6)今村平馬書簡	7 1 9
3	松原基「消暑漫筆」抄		7 2 1
第二項 神道説と国学			
4	年未詳	国学者による出雲国踏査(岡部春平の著述)	7 2 4
5	嘉永五年一〇月	松江藩に仕えた洋学者(金森建策「威遠譚筆」抄出)	7 3 2
第二節 教育の普及			
第一項 松江藩の藩校			
6	安永八年	桃白鹿「公用簿」抄	7 3 4
7	(安政初年)	明教館「学校要規」抄	7 4 0
8		明教館教導条目	7 5 0
9	慶応二年	「慶応二寅年日記」抄	7 5 6
第二項 松江藩の武術			
1 0	嘉永三年一二月	武術の諸流派	7 6 5

第三節 書物の普及

1 1 嘉永七年七月

岩屋寺の蔵書目録

7 9 4

第四節 文芸・遊芸の世界

1 2 安政二年一〇月

和歌秘伝の伝授

7 9 8

1 3 天明五年八月

歌道入門誓状

7 9 9

1 4 年未詳九月

小谷野大炊書状

7 9 9

1 5 年未詳三月

小豆沢常悦書状

7 9 9

1 6 年未詳八月

小谷野図書書状

8 0 0

1 7 年未詳五月

瑞祥寺書状

8 0 1

1 8 天明二年五月

小豆沢常悦追善詠歌

8 0 1

1 9 文化一一年三月

美保神社に奉納された俳句

8 0 2

2 0 文化三年五月

松平不昧と茶会記

8 0 7

2 1 年未詳五月

大徳寺孤蓬庵再建時の図面につき伺い書

8 0 7

2 2 安政三年九月

生け花会の記録

8 0 8

2 3 年未詳

松江城における御謡初(御松囃子)

8 0 8

2 4 年未詳六月

御松囃子稽古に対する表彰

8 0 9

2 5 年未詳正月

御松囃子への出勤に対する表彰

8 0 9

2 6 年未詳三月

藩主御成り先における御松囃子出勤に対する表彰

8 0 9

2 7 年未詳正月

関口忠左衛門書状

8 1 0

2 8 宝暦九年九月

関口高亮書状

8 1 0

2 9 宝暦一二年正月

松田兵右衛門書状

8 1 1

3 0 年未詳七月

松田兵右衛門書状

8 1 2

史料編9 近現代I 目次

発刊にあたって……………松江市長 松浦正敬
凡例……………

解説……………近現代史部会長 竹永三男

松江藩から松江県・島根県へ

—「島根県歴史」・郡村誌の編纂と近代松江の出発点の諧相— ……10

史料

一、島根県歴史 ※（一）は底本とした国立公文書館所蔵本の表題

(一) 自明治二年 島根県歴史附録 旧松江藩 旧松江県 (島根県史料一)

明治二年	島根県歴史附録 旧松江藩 旧松江県 (島根県史料一)
県治……………	23
拓地……………	27
工業……………	29
刑賞之下 褒賞……………	40
祭典……………	45
民俗……………	48
病院……………	59
警保……………	61
騒擾時変……………	64
忠孝節義……………	62
戸口……………	46
学校……………	48
駅通……………	60
施政……………	23
勸農……………	28
刑賞之上 刑罰……………	30
賑恤……………	44

(二) 明治二年 島根県歴史附録 旧松江藩 旧松江県

明治二年	島根県歴史附録 旧松江藩 旧松江県
租法……………	69
禄制……………	84
刑法……………	91
會計……………	102
職制……………	75
兵制……………	87
禁令……………	94

(三) 自明治四年 島根県歴史政治部 (島根県史料二)

自明治四年	島根県歴史政治部 (島根県史料二)
至同七年	
県治……………	108
拓地……………	161
工業……………	170
刑賞之下 褒賞……………	186
賑恤……………	192
刑賞之上 刑罰……………	175
勸農……………	162
施政……………	112

(四) 自明治五年 島根県歴史制度部 (島根県史料三)

自明治五年	島根県歴史制度部 (島根県史料三)
至同七年	
租法……………	285
禄制……………	335
刑法……………	350
會計……………	397
附録 図書目録并碑文……………	413
職制……………	318
兵制……………	342
禁令……………	369
戸口……………	214
学校……………	219
駅通……………	255
忠孝節義……………	276
警保……………	268
病院……………	245
民俗……………	216
祭典……………	207
騒擾時変……………	280

(五) 明治八年 島根県歴史政治部 (島根県史料二)

明治八年	島根県歴史政治部 (島根県史料二)
県治……………	414
拓地……………	436
工業……………	437
刑賞之下 褒賞……………	448
祭典……………	462
民俗……………	469
医院……………	484
警保……………	492
時変……………	508
忠孝節義……………	501
戸口……………	465
学校……………	472
駅通……………	489
施政……………	416
勸農……………	437
刑賞之上 刑罰……………	440
賑恤……………	458

(六) 明治八年 島根県歴史制度部 (島根県史料三)

明治八年	島根県歴史制度部 (島根県史料三)
租法……………	509
職制……………	538
兵制……………	550
禁令……………	557
附録 地租改正……………	521
禄制……………	546
刑法……………	553
會計……………	571

(七) 明治九年 島根県歴史政治部 (島根県史料六、七、八)

明治九年	島根県歴史政治部 (島根県史料六、七、八)
県治……………	587
警保……………	616
刑賞之下 褒賞……………	653
奇事偉行……………	677
勸業……………	681
工業……………	695
施政……………	591
忠孝節義……………	642
騒擾時変……………	674
拓地……………	680
勸業……………	683
祭典……………	705

戸口	7 0 6	民俗	7 1 2
学校	7 1 5	衛生	7 6 0
駅通	7 7 4	賑恤	7 7 6
刑罰	7 8 6	兵制	7 8 7

(九) 明治九年 島根県歴史制度部 (島根県史料五)

租法	7 9 1	禄制	8 2 8
職制	8 3 1	刑法	8 3 6
禁令	8 5 3	會計	8 6 9

二、皇国地誌

(一) 島根郡村誌

末次村	8 7 7	国屋村	8 7 9	浜佐陀村	8 8 1
薦津村	8 8 2	下佐陀村	8 8 4	上佐陀村	8 8 5
名分村	8 8 6	御津浦	8 8 9	北講武村	8 9 0
南講武村	8 9 2	西生馬村	8 9 3	東生馬村	8 9 4
比津村	8 9 6	黒田村	8 9 7	春日村	8 9 9
奥谷村	9 0 0	菅田村	9 0 2	法吉村	9 0 3
西持田村	9 0 5	上講武村	9 0 6	大芦浦	9 0 8
東持田村	9 1 0	下東川津村	9 1 1	西川津村	9 1 3
西尾村	9 1 6	朝酌村	9 1 8	福富村	9 2 0
大井村	9 2 1	大海崎村	9 2 3	上宇部尾村	9 2 4
新莊村	9 2 5	川原村	9 2 7	上東川津村	9 2 8
坂本村	9 3 0	福原村	9 3 2	本莊村	9 3 3
加賀浦	9 3 5	野波浦	9 3 8	多古浦	9 4 0
野井浦	9 4 1	笠浦	9 4 3	千酌浦	9 4 4
別所村	9 4 4	邑生村	9 4 7	野原村	9 4 8
長海村	9 4 9	手角村	9 5 1	北浦	9 5 2
菅浦	9 5 4	下宇部尾村	9 5 5	森山村	9 5 6
片江浦	9 5 8	七類浦	9 6 0	諸喰浦	9 6 2
雲津浦	9 6 3	福浦	9 6 5	美保関	9 6 7

(二) 出雲国意宇郡誌

9 7 0

(三) 意宇郡松江地誌

本町	9 7 5	八軒屋町	9 7 6	和田見町	9 7 7
寺町	9 7 8	天神町	9 7 9	魚町	9 8 0
灘町	9 8 1	豎町	9 8 1	横浜町	9 8 2
新町	9 8 3	雑賀町	9 8 4		

松江市史編纂関係者名簿
史料提供者・協力者一覧

9 8 6	9 8 7
-------	-------

【附録CD-ROM収録内容】

一、本巻所収史料 (PDFファイル)

「島根県歴史」

「皇国地誌」

二、検索語句例

「島根県歴史」

三、参考資料

松江市域の市町村長・郡長一覧 (未定稿)

「出雲国十郡絵図 (トレース図)」

史料編10 近現代Ⅱ 目次

発刊にあたって 松江市長 松浦正敬

凡例

解説

(一)「皇国地誌」(続) 16

(二) 通史編基礎史料 22

第一章 近代松江市域のはじまり 22

第一節 明治維新後の町・村・浦の足どり 22

第二節 地租改正から殖産興業へ 23

第三節 暮らしの中の伝統と開化 25

第四節 私塾と私立学校 26

第五節 松江の外の松江 27

第二章 近代松江市域のあゆみ 28

第一節 松江市と町・村の誕生と発展 28

第二節 湖海と陸の産業の近代化 33

第三節 市民と村民の暮らしと活動 38

第四節 学都松江と地域の文化 40

第五節 県都・軍都と「模範村」 42

第三章 戦時・戦後の松江市域 44

第一節 松江市と町・村の戦時と戦後 44

*一九四〇年 松江市事務報告書(全文) 44

第二節 昭和恐慌・戦時経済から戦後経済改革へ 47

第三節 戦時の宗教・社会と戦後の暮らし・文化 52

第四節 学校と地域の戦争 55

第五節 出征兵士と銃後の市民 56

第四章 現代松江市域のなりたち 59

第一節 現代松江市の誕生 59

第二節 地域産業の再編 61

第三節 暮らしの変化と地域の運動 66

第四節 戦後の教育・文化の展開 70

第五節 都市と農漁村の変貌 73

終章 私たちの松江―これまでとこれから 75

(三)財政統計、人口統計、松江市域出身・関係主要人物一覧 81

史料

出雲国十郡絵図 89

一、皇国地誌(続) 92

(四) 秋鹿郡誌 92

秋鹿郡 92

(五) 秋鹿郡村誌 92

浜佐陀村 95

佐陀本郷村 95

江角浦 95

西谷村 95

西長江村 95

岡本村 95

魚瀬浦 95

野郷村 95

島根郡誌 95

島根郡 95

(七) 島根郡松江地誌 95

殿町 95

南田町 95

石橋町 95

外中原町 95

芋町 95

古志村 97

片句浦 97

武代村 97

古曾志村 97

古浦 97

大垣村 97

地合浦 97

美野村 97

佐陀宮内村 99

手結浦 99

莊成村 99

東長江村 99

秋鹿村 99

大野村上分 99

大野村下分 99

米子町 99

北堀町 99

奥谷町 99

中原町 99

片原町 99

西茶町 99

未次町 99

内中原町 99

東茶町	154	本町	155	紙屋町	156
元材木町	157	魚町	158	新材木町	158
鍛冶町	159				

二、通史編基礎資料

第一章 近代松江市域のはじまり

第一節 明治維新後の町・村・浦の足どり

第二節 地租改正から殖産興業へ

第三節 暮らしの中の伝統と開化

第四節 私塾と私立学校

第五節 松江の外の松江

第二章 近代松江市域のあゆみ

第一節 松江市と町・村の誕生と発展

第二節 湖海と陸の産業の近代化

第三節 市民と村民の暮らしと活動

第四節 学都松江と地域の文化

第五節 県都・軍都と「模範村」

第三章 戦時・戦後の松江市域

第一節 松江市と町・村の戦時と戦後

第二節 昭和恐慌・戦時経済から戦後経済改革へ

第三節 戦時の宗教・社会と戦後の暮らし・文化

第四節 学校と地域の戦争

第五節 出征兵士と銃後の市民

第四章 現代松江市域のなりたち

第一節 現代松江市の誕生

第二節 地域産業の再編

第三節 暮らしの変化と地域の運動

第四節 戦後の教育・文化の展開

第五節 都市と農漁村の変貌	815
終章 私たちの松江―これまでとこれから	816

掲載史料所蔵機関一覧(敬称略)

松江市史編纂関係者名簿(敬称略)

松江市史史料編10 近現代Ⅱ解説執筆分担

史料提供者・協力者一覧(敬称略)

三、財政統計、人口統計、松江市域出身・関係主要人物一覧

(1) 松江市の財政統計

① 松江市財政表

② 松江市職員数

③ 松江市機関図 機構表

(2) 松江市の人口統計

(3) 松江市域出身・関係主要人物一覧、資料所蔵施設一覧

史料編10 近現代Ⅱ 細目次

第一章 近代松江市域のはじまり

第一節 明治維新後の町・村・浦の足どり

1 一八七五年 「士族会議」の設立趣意書

2 一八七九年 若山茂雄の取調べでの陳述

3 一八九七年 高橋基一の計報

第二節 地租改正から殖産興業へ

4 一八七四年 井関盛良島根県令の地租改正再通達

5 一八七九年 稲作改良法試験の手引き

6 一八八八年 島根・秋鹿・意宇郡公立共進会における米審査概要(抄録)

7 一八九二年 御津村漁場慣行調査書(抄録)

8 一九〇〇年 大敷網漁業場区継続借用願及び許可証

9 一八八〇年 島根県勸業年報三 諸会社(抄録)

10 一八八七年 島根・秋鹿・意宇郡勸業委員設置規則

第三節 暮らしの中の伝統と開化

1 1	一八七四年	島根県布達第二八八号 違託註違条例	1	8	6	2	0	1	一八八八年	松江裁判所移転の事	3	3	2
1 2	一八七〇年	愛宕社神職の仰せ付け	1	8	9	2	2	1	一八八八年	松江裁判所新築敷地の事	3	3	2
1 3	一八七〇年	愛宕社仏体取除、社地引渡の通知	1	8	9	2	3	2	一八八八年	松江裁判所移転見合せ	3	3	3
1 4	一八七〇年	愛宕社御神体勸請に付修復伺書	1	8	9	2	4	3	一八八九年	松江裁判所工事着手	3	3	3
1 5	一八七〇年	社地境目定議に付通知	1	9	0	2	5	4	一八八九年	母衣町司法省用地の建物	3	3	3

第四節 私塾と私立学校

1 6	一八九〇年	進取学館・松江義塾両学校合併協定書	1	9	0	2	6	7	一八八九年	松江裁判所の新築落成期	3	3	3
1 7	一八九六年	私立尋常中学修道館規則	1	9	6	2	8	7	一八八九年	松江裁判所新築の事	3	3	4

第五節 松江の外の松江

1 8	一八八三〜一八八八年	出雲学生会設立当初の例会と会則(抄録)	2	0	1	3	0	1	一八八九年	松江裁判所新築地の怪我人	3	3	4
1 9	一九三三年	岸清一「出雲学生会会員の使命」(抄録)	2	0	4	3	2	1	一八八九年	松江裁判所建築工事の模様	3	3	4

第二章 近代松江市域のあゆみ

第一節 松江市と町・村の誕生と発展

1	一八八八年	一市六郡合併町村取調書	2	0	7	3	6	5	一八九〇年	松江裁判所移転式	3	3	5
2	一八八九〜一八九三年	松江市役所日誌	2	7	5	3	7	6	一八九〇年	新築法衙の棟上げ	3	3	5
3	一九〇〇年	松江市区会条例諮問ノ件	2	9	1	3	8	5	一八九〇年	新築法衙移庁式	3	3	5
4	一九一八年	三十年の回顧 前松江市長 福岡世徳氏談	2	9	2	4	9	4	一八九〇年	松江裁判所の執務	3	3	9
5	一九一二年	上水道敷設費用に関する高橋義比市長の発言	3	0	2	4	0	3	一八九〇年	新築法衙移庁式の祝詞	3	3	9
6	一九一九年	上水道敷設費用に関する市参事会の決議	3	0	3	4	3	2	一八九〇年	松江私立法律学校	3	4	1
7	一九一九年	松江市の基本財産蓄積方法執行に関する市参事会の決議	3	0	3	4	4	1	一八九〇年	松江法律学校の授業式	3	4	3
8	一九二七年	市議会における松江市の将来計画をめぐる議員の発言	3	0	4	4	5	6	一八九〇年	松江法律学校新築(広告)	3	4	3
9	一九二七年	市議会における松江市の将来計画をめぐる市長・議員の発言	3	0	6	4	6	7	一八九〇年	松江法律学校新築落成式(広告)	3	4	4
1 0	一九二七年	市議会における松平家からの土地建物寄付に関する市長・議員の発言	3	0	7	4	7	8	一八九〇年	松江法律学校科目改正(広告)	3	4	5
1 1	一八九九年	W・K・バルトンの松江市衛生事項並に改良方法に関する復命書	3	1	0	4	8	9	一八九九年	松江法律学校科目改正	3	4	6
1 2	一九二〇年	若槻礼次郎個人後援会・克堂会の発足と選挙運動(抄録)	3	2	3	4	9	0	一八九九年	梅謙次郎氏(一)	3	4	7
1 3	一九二八年	若槻礼次郎、渡部寛一郎宛の総選挙勝利を喜ぶ書簡	3	2	7	5	0	1	一八九九年	梅謙次郎氏(二)	3	4	7
1 4	一八七八年	松江裁判所新築上申	3	2	8	5	1	2	一八九〇年	梅謙次郎氏(三)	3	4	9
1 5	一八八三年	松江始審裁判所敷地内ニ孕有ノ溝渠悪水抜ニ係ル敷地并柵トモ内務省へ返付	3	2	9	5	2	3	一八九〇年	梅謙次郎氏と志立鐵次郎氏	3	4	9
1 6	一八八七年	松江始審裁判所改築敷地買収ノ件	3	2	9	5	3	4	一八九〇年	梅謙次郎氏法科大学教授任命	3	4	9
1 7	一八八八年	松江始審裁判所改築敷地地続民有地買収ノ件	3	3	0	5	4	5	一九〇六年	松江市是における商工業振興方針(抄録)	3	4	9
1 8	一八九〇年	松江始審裁判所旧庁敷地返付ノ件	3	3	1	5	5	5	一九一五年	八束郡の町村是調査規程(抄録)	3	5	1
1 9	一八八八年	松江裁判所新築地	3	3	2	5	6	6	一九二九年	美保関町是改調	3	5	5

第二節 湖海と陸の産業の近代化

2 0	一八八八年	松江裁判所移転の事	3	3	2	5	6	6	一九二九年	美保関町是改調	3	5	5
2 1	一八八八年	松江裁判所新築敷地の事	3	3	2	5	5	5	一九一五年	八束郡の町村是調査規程(抄録)	3	5	1
2 2	一八八八年	松江裁判所移転見合せ	3	3	3	5	4	4	一九〇六年	松江市是における商工業振興方針(抄録)	3	4	9
2 3	一八八九年	松江裁判所工事着手	3	3	3	5	3	3	一八九〇年	梅謙次郎氏(一)	3	4	7
2 4	一八八九年	母衣町司法省用地の建物	3	3	3	5	2	3	一八九〇年	梅謙次郎氏(二)	3	4	7
2 5	一八八九年	松江裁判所新築	3	3	3	5	1	2	一八九〇年	梅謙次郎氏(三)	3	4	9
2 6	一八八九年	松江裁判所の新築落成期	3	3	3	5	3	4	一八九〇年	梅謙次郎氏と志立鐵次郎氏	3	4	9
2 7	一八八九年	松江裁判所新築の事	3	3	4	5	4	0	一八九〇年	松江法律学校科目改正	3	4	4
2 8	一八八九年	松江裁判所新築地の怪我人	3	3	4	5	3	1	一八九〇年	松江法律学校新築落成式(広告)	3	4	4
2 9	一八八九年	松江始審裁判所建築工事の模様	3	3	4	5	2	2	一八九〇年	松江法律学校授業開始	3	4	5
3 0	一八八九年	新築松江裁判所工事の模様	3	3	4	5	1	3	一八九〇年	松江法律学校科目改正(広告)	3	4	5
3 1	一八九〇年	法衙移転の期	3	3	4	5	0	4	一八九〇年	松江法律学校科目改正	3	4	5
3 2	一八九〇年	法衙移庁式	3	3	5	5	9	5	一八九〇年	法学博士梅謙次郎氏	3	4	6
3 3	一八九〇年	松江裁判所移転式	3	3	5	5	8	6	一八九〇年	梅謙次郎氏(一)	3	4	6
3 4	一八九〇年	新築法衙の棟上げ	3	3	5	5	7	7	一八九〇年	梅謙次郎氏(二)	3	4	6
3 5	一八九〇年	新築法衙移庁式	3	3	5	5	6	8	一八九〇年	梅謙次郎氏(三)	3	4	7
3 6	一八九〇年	松江裁判所の執務	3	3	5	5	5	9	一八九〇年	梅謙次郎氏(四)	3	4	7
3 7	一八九〇年	新築法衙移庁式の祝詞	3	3	5	5	4	0	一八九〇年	梅謙次郎氏(五)	3	4	7
3 8	一八九〇年	松江私立法律学校	3	4	1	5	3	1	一八九〇年	梅謙次郎氏(六)	3	4	7
3 9	一八九〇年	松江法律学校の授業式	3	4	3	5	2	2	一八九〇年	梅謙次郎氏(七)	3	4	7
4 0	一八九〇年	松江法律学校新築(広告)	3	4	3	5	1	3	一八九〇年	梅謙次郎氏(八)	3	4	7
4 1	一八九〇年	松江法律学校(広告)	3	4	3	5	0	4	一八九〇年	梅謙次郎氏(九)	3	4	7
4 2	一八九〇年	松江法律学校寄附謝礼(広告)	3	4	3	5	9	5	一八九〇年	梅謙次郎氏(一〇)	3	4	7
4 3	一八九〇年	松江法律学校科目改正(広告)	3	4	3	5	8	6	一八九〇年	梅謙次郎氏(一一)	3	4	7
4 4	一八九〇年	松江法律学校新築落成式(広告)	3	4	3	5	7	7	一八九〇年	梅謙次郎氏(一二)	3	4	7
4 5	一八九〇年	松江法律学校授業開始	3	4	3	5	6	8	一八九〇年	梅謙次郎氏(一三)	3	4	7
4 6	一八九〇年	松江法律学校科目改正(広告)	3	4	3	5	5	9	一八九〇年	梅謙次郎氏(一四)	3	4	7
4 7	一八九〇年	松江法律学校科目改正	3	4	3	5	4	0	一八九〇年	梅謙次郎氏(一五)	3	4	7
4 8	一八九〇年	法学博士梅謙次郎氏	3	4	3	5	3	1	一八九〇年	梅謙次郎氏(一六)	3	4	7
4 9	一八九〇年	梅謙次郎氏(一)	3	4	3	5	2	2	一八九〇年	梅謙次郎氏(一七)	3	4	7
5 0	一八九〇年	梅謙次郎氏(二)	3	4	3	5	1	3	一八九〇年	梅謙次郎氏(一八)	3	4	7
5 1	一八九〇年	梅謙次郎氏(三)	3	4	3	5	0	4	一八九〇年	梅謙次郎氏(一九)	3	4	7
5 2	一八九〇年	梅謙次郎氏と志立鐵次郎氏	3	4	3	5	9	5	一八九〇年	梅謙次郎氏(二〇)	3	4	7
5 3	一八九〇年	梅謙次郎氏法科大学教授任命	3	4	3	5	8	6	一八九〇年	梅謙次郎氏(二一)	3	4	7
5 4	一九〇六年	松江市是における商工業振興方針(抄録)	3	4	3	5	7	7	一九〇六年	松江市是における商工業振興方針(抄録)	3	4	9
5 5	一九一五年	八束郡の町村是調査規程(抄録)	3	5	1	5	6	8	一九一五年	八束郡の町村是調査規程(抄録)	3	5	1
5 6	一九二九年	美保関町是改調	3	5	5	5	6	9	一九二九年	美保関町是改調	3	5	5

5 7	一九二二年	八束郡忌部村小作慣行調査(抄録)……………	3 5 7
5 8	一九二五年	福田一覺松江地方裁判所長講述『小作調停法講話』(抄録)……………	3 6 0
5 9	一九二八年	八束郡町村農会の農業指導方針(抄録)……………	3 6 2
6 0	一九三二年	四種兼営の模範組合・熊野産業組合(抄録)……………	3 6 5
6 1	一九三八年	国有林の松下と島根県の製炭計画……………	3 7 0
6 2	一九三五年	島根県林業の産業上の地位と将来性……………	3 7 1
6 3	一九三八年度	島根県水産業組合聯合会議所の事業活動……………	3 7 2
6 4	一九三九年	島根県の水産施策……………	3 7 6
6 5	一九三六年	飛躍を図る美保閼漁業組合……………	3 7 6
6 6	一九三四年	片江機船底曳網漁業發達の功勞者(抄録)……………	3 7 7
6 7	一九三三年	松江銀行營業案内……………	3 7 9
6 8	一九三〇年	松江の工業概要……………	3 8 2
6 9	一九一九年	一九一九年度の松江商業會議所事業大綱……………	3 8 4
7 0	一九二三年	出雲電気株式会社の事業について……………	3 8 6
7 1	一九二九年	松江經濟會、石倉市長に意見書提出……………	3 8 8

第三節 市民と村民の暮らしと活動

7 2	一九一八年	米価暴騰と生活難……………	3 8 9
7 3	一九一八年	米価暴騰細民救助一途……………	3 9 0
7 4	一九二九年	福田理三郎の松江市會議員立候補宣言……………	3 9 1
7 5	一九三〇年	松江プロレタリア劇場……………	3 9 5
7 6	一九一三年	出雲同志会の創立主意書および会則(抄録)……………	3 9 5
7 7	一九二九年	松江市内社会事業分布図(抄録・一部修正)……………	3 9 9
7 8	一九一八年	銅製鍊所建設反対運動……………	3 9 9
7 9	一九七四年	宝満山周辺でカドミウム検出……………	4 0 3

第四節 学都松江と地域の文化

8 0	一九二二年	原夫次郎「松高建立の回顧」(抄録)……………	4 0 4
8 1	一九一〇年	開府三百年の記念事業……………	4 0 6
8 2	一九一五年	八雲会第一回總會……………	4 0 8
8 3	一九二九年	小泉八雲記念館設立募金趣意書(第一次)……………	4 0 9
8 4	一九三三年	小泉八雲記念館設立募金趣意書(第二次)……………	4 1 1

第五節 県都・軍都と「模範村」

8 5	一九〇三年	府県廢置法案……………	4 1 3
8 6	一九二〇年	社論 陸軍記念日……………	4 1 6
8 7	一九二四年	松江聯隊存置陳情書……………	4 1 7
8 8	一九三〇年	陸軍記念日祝賀行事……………	4 2 1
8 9	一九四三年	偲べ前線を―老勇士木村県會議員談―……………	4 2 4
9 0	一九〇〇年	八束郡の沿革(抄録)……………	4 2 4

第三章 戦時・戦後の松江市域

第一節 松江市と町・村の戦時と戦後

1	一九三〇年	湖岸道路問題に就て……………	4 2 7
2	一九三六年	昭和十一年度松江市歳入歳出予算説明(抄録)……………	4 3 5
3	一九四〇年	松江市事務報告書(全文)……………	4 3 6
4	一九三七年	松江市長より各区長宛「流言蜚語に関する件」……………	5 2 1
5	一九三七年	松江聯隊司令官より松江・米子市長宛「南京攻略ノ際ニ於ケル行事ニ關スル件通牒」……………	5 2 2
6	一九三七年	県学務部長より市町村長宛「南京攻略ノ際ニ於ケル行事ニ關スル件」……………	5 2 3
7	一九三七年	南京陥落祝賀旗行列及提灯行列ノ發スル感謝祝賀電報案……………	5 2 3
8	一九三七年	松江警察署長より松江市長宛「歌舞音曲其他注意方に関する件」……………	5 2 4
9	一九三八年	松江市長より各区長・各町内会長宛「煽風及生活改善必行要項ノ件」……………	5 2 5
1 0	一九三八年	軍需資材充足に關する松江市長からの「お願い」……………	5 2 6
1 1	一九三九年	島根県警察部「外諜防衛の策」(抄録)……………	5 2 6
1 2	一九三九年	松江防諜協議會申合案・別表……………	5 2 8
1 3	一九四〇年	島根県社会保健婦養成所生徒募集要項(抄録)……………	5 3 0
1 4	一九四五年	松江市役所国民義勇隊則……………	5 3 3
1 5	一九四五年	小野啓次郎日記……………	5 3 5
1 6	一九四八年	元島根県知事山田武雄の「島根県庁焼打事件」の回想……………	5 3 8

第二節 昭和恐慌・戦時經濟から戦後經濟改革へ

1 7	一九三二年	松江片倉製糸株式会社營業報告書(抄録)……………	5 4 4
1 8	一九三三年	進行中の玉湯村經濟更生計画(抄録)……………	5 4 6
1 9	一九三三年	美保閼町の産業組合拡充五カ年計画……………	5 5 2
2 0	一九三五年	美保閼町經濟更生計画の樹立……………	5 5 3
2 1	一九三八年	戦時下における日本海水産聯合會の松江大会開催と水産業・漁村の振興……………	5 5 4
2 2	一九三九年	八束郡農會による戦時農業經營の再編策……………	5 5 6
2 3	一九四〇年	県下新炭業者の大同団結と県木炭小売商業組合協議會の県への陳情……………	5 5 7
2 4	一九四三年	県下十三地区の木材会社統合……………	5 5 7
2 5	一九四三年	經濟団体統合と松江商工会議所の回顧……………	5 5 9
2 6	一九四四年	第二年度來待村農業會事業報告(抄録)……………	5 6 0
2 7	一九四四年	宍道湖漁業會の設立申請(抄録)……………	5 6 2
2 8	一九四六年	山陰合同銀行従業員組合結成「趣意書」……………	5 6 5
2 9	一九四六年	商工会議所に寄す……………	5 6 5

3 0	一九四八年	農地開放完遂強調運動とその成果	5 6 7
3 1	一九四八年	大庭・法吉・乃木で交換分合が進行	5 6 9
3 2	一九四九年	島根県林業大会における林家の主張	5 7 2
3 3	一九四九年	本庄村漁業協同組合の設立と事業計画(抄録)	5 7 7
3 4	一九五二年	美保関・雲津の漁業の協同化推進	5 8 0
3 5	一九四五年	戦時の宗教・社会と戦後の暮らし・文化	5 8 1
3 6	一九四六年	無限にはびこる「闇」(抄録)	5 8 2
3 7	一九四六年	ヤミ市に対する島根県・松江市の対策(抄録)	5 8 2
3 8	一九四六年	ヤミ市の暴利取締と押収物資	5 8 3
3 9	一九四六年	転落する学童たち(抄録)	5 8 3
4 0	一九四六年	復員軍人の強盗検挙	5 8 3
4 1	一九四八年	松江勤労署の退職状況	5 8 4
4 2	一九四八年	ヤミ不買に松江城西の婦人連起つ	5 8 5
4 3	一九四五年	ヤミ市をめぐる松江市会での議論(抄録)	5 8 5
4 4	一九四五年	疎開建物買上価格の陳情に対する島根県内政部長談(抄録)	5 8 6
4 5	一九四八年	建物疎開者の感想	5 8 7
4 6	一九四六年	「母と子の会」誕生	5 8 7
4 7	一九四六年	東光学園の戦災孤児たち	5 8 8
4 8	一九四六年	戦争未亡人たちの洋裁学校	5 8 9
4 9	一九四六年	深山に炭焼く引揚民	5 9 1
5 0	一九四六年	海外引揚者の苦難	5 9 2
5 1	一九四六年	みづほ演劇研究所研究生の声明	5 9 4
5 2	一九四六年	田所龍一の文化運動観	5 9 4
5 3	一九四七年度	松江美術工芸研究所の紹介	5 9 6
5 4	一九四八年	大庭青年会の文化運動	5 9 7
5 5	一九四六年	青年と文化運動	5 9 9
5 6	一九四六年	青年会文化誌の創刊宣言	5 9 9
5 7	一九四七年	女子青年会員の主張	6 0 0
5 8	一九三六年	連合国軍による素人演芸作品の検閲(抄録)	6 0 1
5 9	一九三八年	神国大博覧会開催趣意書	6 0 4
6 0	一九三九年	事变下の神国博	6 0 5
6 1	一九三九年	支那事变博覧会々々人気昂る	6 0 6
6 2	一九三九年	支那事变博覧会場案内記	6 0 8
6 3	一九〇四年	第五節 出征兵士と銃後の市民	6 1 0
6 4	一九〇四年	岸本喜八より野々内朝之介宛書簡	6 1 0
6 5	一九〇四年	佐藤松太郎より岸本喜八宛書簡	6 1 0

6 4	一九〇四〜一九〇五年	山口伊三郎より山口長三郎宛書簡	6 1
6 5	一九三二年	三宅喜久夫より村長宛書簡	6 1 2
6 6	一九三八年	矢野清より石倉一郎次郎宛書簡	6 1 4
6 7	一九三八年	佐藤勇より村長宛書簡	6 1 6
6 8	一九四五年	戦死者遺骨交付並慰霊祭二関スル件通牒	6 1 6
6 9	一九四五年	町村葬二関スル件	6 1 7
7 0	一九四五年	合同慰霊祭及遺骨交付二関スル件	6 1 8

第四章 現代松江市域のなりたち			
第一節 現代松江市の誕生			
1	一九五三年	島根県市町村合併計画	6 1 9
2	一九五一年	大庭村合併に関する文書（抄録）	6 5 9
3	一九五五年	宍道町・来待村合併関係文書	6 6 3
4	一九五五年	本庄村合併について	6 7 7
5	二〇一〇年	松江市・東出雲町合併協定書	7 1 1

第二節 地域産業の再編			
6	一九五〇年	社説 松江の都市五ヶ年計画	7 2 2
7	一九六四年	建設審議会が大松江市建設案を答申	7 2 4
8	一九八二年	美保関町新総合振興計画策定予定	7 2 6
9	一九四九年	松江市の農業総合開発計画	7 2 7
1 0	一九六三年	美保関町内の地区農協の現況と合併問題	7 2 7
1 1	一九八四年	農業近代化に寄与するほ場整備事業の進展	7 2 9
1 2	一九六二年	松江市の林業 現況と政策	7 2 9
1 3	一九五五年	合併直前の美保関町内の九漁協	7 3 1
1 4	一九六四年	美保関漁協の漁業構造改善事業計画	7 3 2
1 5	一九六七年	県水産種苗センターを鹿島町に設置	7 3 2
1 6	一九四九年	島根菓業新聞の創刊	7 3 3
1 7	一九五〇年	社説 中小企業の経営危機と商工会議所の役割	7 3 4
1 8	一九五八年	一畑百貨店松江店の開店	7 3 6
1 9	一九七二年	流通変革期に松江御団地が完成	7 3 7
2 0	一九六四年	松江の小売店とスーパーマーケット	7 3 9
2 1	一九七七年	近代化の谷間に沈む松江の中心商店街	7 4 1

第三節 暮らしの変化と地域の運動			
2 2	一九五〇年	朝鮮戦争の国連軍慰問募集	7 4 4
2 3	一九五〇年	国連軍病院への救護班派遣準備要請	7 4 7
2 4	一九五一年	八束郡沿岸防犯協力会の結成準備	7 4 8
2 5	一九五六年	美保基地拡張反対本庄地区協議会の結成	7 4 9

26	一九六一年	美保基地拡張計画反対決議（抄録）	753	終章	私たちの松江—これまでとこれから	816
27	一九五四年	ななが娘たちをそうさせるか	755	1	一八九三年水害の報道記事（抄録）	816
28	一九六一年	新しい結婚が目指すもの	757	2	大火義捐金配分に際しての高橋市長の談話	820
29	一九六一年	食生活指導に活躍するキッチンカー	759	3	グレート松江の準備着々成る	821
30	一九六二年	新生活「三K運動」と八雲村	760	4	末次罹災地区の完成	822
31	一九六一年	テレビが先か、洗濯機が先か	762	5	東本町復興街の横断面（二）	823
32	一九五七年	青年団へ入っていない人に	764	6	原子力発電所立地調査委託費に関する県議会説明資料	824
33	一九六二年	農村婦人の随想	766	7	島根県議会における原子力発電所適地調査についての田部知事の所信表明と質疑応答（抄録）	828
34	一九六三年	大庭寿会	767	8	島根半島への原子力発電所建設構想についての記者座談会（抄録）	832
35	一九六三年	勤労青年の実態調査	770	9	島根原子力発電所を鹿島町に建設することについての中国電力、島根県、鹿島町、島根県評の見解	835
36	一九六一年	松江映画演劇観賞会準備委員会通知	773	10	島根県議会における原子力発電所設置についての田部知事の所信表明と質疑応答（抄録）	837
37	一九六五年	労演第一回総会の報告（抄録）	774	11	島根原子力発電所周辺地域住民の安全確保等に関する協定書	840
38	一九七四年	労演から市民劇場へ	778	12	社説 島根原発の営業運転と今後の課題	844
39	一九五九年	保健衛生のモデル村	781	13	中海干拓及び淡水化事業の早期着工を求める島根県知事の要望書	846
40	一九六〇年	本庄地区の健康調査	782	14	中海干拓淡水化事業の実施に関する鳥取県知事の要望書	847
41	一九六三年	「赤ちゃん教室」発会	784	15	中海干拓淡水化事業に関する鳥取県知事の要望・報告	848
42	一九六四年	「赤ちゃん教室」アンケート	785	16	中海干拓事業計画の変更についての島根県知事の依頼	850
43	一九六四年	「赤ちゃん教室」一年の歩み	787	17	江島・森山地区工業開発計画変更の参考図	851
第四節 戦後の教育・文化の展開					アオコ的大量発生を予測する伊達善夫島根大学教授の談話	853
44	一九五四年	待望の女子高校設置を報じる『松江市広報』の記事	789	18	大竹久夫東京大学助教授による淡水化後の水質変化の科学的予測	856
45	一九五三年	八雲村の社会教育基本方針案	790	19	島根・鳥取両県知事の中海・宍道湖淡水化凍結表明	858
46	一九五六年	支所の廃止と公民館設置	792	20	汽水域の特性とその維持に関する川那部浩哉京都大学教授の報告	861
47	一九五八年	中央公民館の開館（抄録）	793	21	堤防開削による水質改善・魚介増殖の予測に関する新聞報道	866
48	一九五八年	青年学級の開講	794	22		
49	一九六五年	公民館機構縮小反対対策打合会の開催	795			
50	一九六八年	生馬公民館の活動追跡調査	802			
51	一九六六年	注目を集める公民館活動	803			
52	一九六一年	太田直行による柳宗悦追悼談	805			
53	一九五一年	松江国際文化観光都市建設法制定のための住民投票に関する広報記事	809			
54	一九五一年	松江国際文化観光都市建設法施行に関する広報記事	810			
55	一九五二年	松江国際文化観光都市建設審議会名簿	811			
56	一九六四年	岡田山古墳の保存を求める要望書	813			
57	一九六四年	岡田山古墳の調査・保存に関する文化財保護委員会記念物課長の通知	814			
58	一九六五年	岡田山古墳の史跡指定理由及び説明	815			
59	一九八二年	変わる大根島の行商	815			
第五節 都市と農漁村の変貌						

史料編11 絵図・地図 総目次

発刊にあたって

松江市長 松浦正敬

本図（口絵）

絵図・地図解題

総説

一 国絵図	5
二 郡村図	6
三 城下絵図	7
四 町屋絵図	8
五 寺社・屋敷図	9
六 街道・水運図	10
七 近代図	11

参考文献

掲載絵図・地図一覧

松江市史編纂関係者名簿（敬称略）

協力者・協力機関一覧（敬称略）

本図（口絵）・折図（別刷） 細目次

一 国絵図	6
図1 出雲国図	6
図2 出雲国図	2
図3 寛永出雲国絵図	9
図4 正保出雲国・隠岐国絵図	10
図5 *宝永出雲国絵図（元禄出雲国絵図）	11

図6 出雲国図	文化4年	出雲文化伝承館蔵	別刷	6
図7 伊能図大図第155号（部分）	文政4年	アメリカ議会図書館蔵	12	9

文化3年および同12年測量
明治初年写

図8 伊能図中図（中国・四国）（部分）	文政4年	日本写真印刷株式会社蔵	別刷	7
---------------------	------	-------------	----	---

（フランス国イブ・ペイレ氏旧蔵）

図9 出雲国十郡絵図	文政4年	島根県立図書館蔵	別刷	7
図10 出雲国十郡絵図	文化年間	島根大学附属図書館蔵（桑原文庫）	13	2
図11 天保国絵図出雲国	天保9年	国立公文書館蔵（内閣文庫）	14	4

二 郡村図

図12	島根郡七類浦絵図	天保7年頃	岐阜県図書館蔵	別刷	15
図13	秋鹿郡絵図	元文5年	恵曇神社蔵	別刷	76
図14	*島根郡絵地図	文政7年	久保田浩司家蔵	別刷	77
図15	江島村淵古中浦新田絵図	文政2年頃	松江歴史館蔵(八束町役場旧蔵)	刷	16
図16	意宇郡村絵図(揖夜村)	万延元年	明治大学図書館蔵(蘆田文庫)	刷	17
図17	意宇郡村絵図(下出雲郷村)	万延元年	明治大学図書館蔵(蘆田文庫)	刷	18
図18	意宇郡村絵図(東岩坂村)	万延元年	明治大学図書館蔵(蘆田文庫)	刷	19
図19	意宇郡村絵図(熊野村)	万延元年	明治大学図書館蔵(蘆田文庫)	刷	20
図20	島根郡片江菅北三ヶ浦境絵図	寛政7年	島根県立図書館蔵(郡奉行所文書)	刷	21

図21 上講武村山絵図	文化13年	島根県立図書館蔵（郡奉行所文書）	22
-------------	-------	------------------	----

三 城下絵図

図22	堀尾期松江城下町絵図	元和6年／寛永10年	島根大学附属図書館蔵	23・86
図23	寛永年間松江城家敷町之図	寛永11年／14年頃	丸亀市立資料館蔵	別刷・87
図24	出雲国松江城絵図	正保年間	国立公文書館蔵（内閣文庫）	別刷・88
図25	松江城及城下古図	天和3年／元禄5年	三谷健司家蔵	別刷・89
図26	松江城下絵図	元文／延享年間	島根県立図書館蔵	24
図27—1	松江城下図	安政／文久年間	絲原記念館蔵	25
図27—2	雑賀町絵図	文久元年頃	絲原記念館蔵	25
図28	雑賀町絵図	文久元年頃	個人蔵	26
図29	雲州松江御城下之図	文政8年／天保2年	島根県立図書館蔵	27
図30	松江城下絵図	宝永2年／正徳3年	鳥取県立図書館蔵	別刷・96
図31	松江城下絵図	天保年間頃	松江歴史館蔵	別刷・97
図32	雲州松江之図	天保14年	雲州松江臨水亭蔵	28

四 町屋絵図

図 3 3 松江末次本町絵図 元禄年間 島根大学附属図書館蔵(桑原文庫) … 2 9

図 3 4 松江白潟町絵図「和多見町」(原図) 安永9年頃 松江歴史館蔵 … 3 0

図 3 5 松江四季眺望図 明治7年 荒木文之助家蔵 … 3 1

図 3 6 白潟天満宮祭礼図(三幅対) 安政年間 白潟天満宮蔵 … 3 2

五 寺社・屋敷図

図 3 7 *江戸上屋敷絵図 文化年間頃 根岸タカ子家蔵 … 別刷・1 0 7

図 3 8 大崎御屋敷分間惣御絵図面 天保9年 松江歴史館蔵 … 別刷・1 1 0

図 3 9 三谷家上屋敷絵図 文政9年 三谷健司家蔵 … 別刷・1 1 1

図 4 0 有澤権五郎屋敷絵図 文政9年 島根県立図書館蔵 … 3 5

図 4 1 大坂御蔵屋敷絵図 寛延元年以降 松江歴史館蔵 … 3 6

図 4 2 脇坂十郎兵衛屋敷絵図 文政9年 島根県立図書館蔵 … 3 7

図 4 3 *佐太神社「指図板」 貞享4年頃 佐太神社蔵 … 3 8

図 4 4 御船屋分見絵図 天明8年、文化元年頃 中山英男家蔵 … 別刷・1 1 4

図 4 5 熊野大社本社並撰末社々殿絵図(模本) 元禄11年以前の風景か 熊野大社蔵 … 3 9

六 街道・水運図

図 4 6 大山寺縁起(模本) 応永5年 東京国立博物館蔵 … 4 0

図 4 7 寸里道地図 天明2年 個人蔵 … 4 1

図 4 8 道程記 文政10年頃 松江歴史館蔵 … 4 2

図 4 9 *大坂より松江航路図(登米寄港図) 17世紀末 中山英男家蔵 … 4 3

図 5 0 出雲国天神川口新田ノ図 18世紀末 明治大学図書館蔵(蘆田文庫) … 4 4

図 5 1 *出雲国海防図 寛政11年以降 根岸タカ子家蔵 … 別刷・1 2 2

図 5 2 近代図 (挿図47 御台場之図) … 別刷・1 2 2

図 5 3 島根県管内略図 明治11年 島根県立図書館蔵 … 4 5

図 5 4 出雲国松江市街之図 明治12年 国立国会図書館蔵 別刷・1 2 4

図 5 5 斐伊川治水調査全図 明治27年 国土交通省出雲河川事務所蔵 … 別刷・1 2 6

図 5 6 五万分の一地形図「松江」 明治34年 国土地理院蔵 … 4 6

図 5 7 松江市街地周辺の電子地図 明治32年測図 国土地理院蔵 … 4 7

図 5 8 宇宙から見た松江(衛星写真) 平成24年 国土地理院蔵 … 4 8

図 5 9 旧12区絵図 大谷・玉造分 明治7年 松江市立出雲玉作資料館蔵 … 4 9

図 5 9 出雲国意宇郡六道町村絵図 明治9年 松江歴史館蔵(六道町役場旧蔵) … 5 0

図 6 0 *銅鉾山借区願地実測図 明治7年頃 松江歴史館蔵(東出雲町役場旧蔵) … 5 1

図 6 1 松江市宅地等級概況図 明治44年頃 松江歴史館蔵 … 別刷・1 3 3

図 6 2 松江都市計画街路網図 昭和7年 奥村久雄家蔵 … 5 2

図 6 3 水郷松江と神国出雲 昭和7年 松江市立中央図書館蔵 … 別刷・1 3 5

図 6 4 出雲国区割全図 明治9年、14年 国立公文書館蔵 別刷・1 3 6

図 6 5 出雲国十郡絵図トレース図 文化、文政年間頃 面谷明俊作図 … 別刷・1 3 7

挿図・表 細目次

総説

挿図 1 出雲街道松江大坂間三拾七宿図(松江城下) 安部吉弘家蔵 … 5 5

挿図 2 齊貴公御鷹御出郷図(秋鹿郡伊野村庄屋善兵衛宅) 安部吉弘家蔵 … 5 6

挿図 3 出雲街道松江大坂間三拾七宿図(出雲郷) 安部吉弘家蔵 … 5 6

挿図 4 齊貴公御鷹御出郷図(秋鹿郡楠縫郡境) 安部吉弘家蔵 … 5 7

挿図 5 松江城及城下古図(清光院付近) 三谷健司家蔵 … 5 8

一 国絵図

表 1 江戸幕府の国絵図収納 川村博忠作成 … 6 0

挿図 6 日本之図(部分) 寛永10年カ 佐賀県立図書館蔵(蓮池文庫) … 6 3

挿図 7 日本図(部分) 寛永15年、16年カ 国立国会図書館蔵 … 6 5

挿図 8 正保日本図(部分) 寛文10年頃 国立歴史民俗博物館蔵(秋岡コレクション) … 6 5

挿図 9 伯耆国之内出雲国境縁起図 鳥取県立博物館蔵 … 6 7

挿図 10 *宝永出雲国絵図(元禄出雲国絵図) 宝永7年 … 6 8

挿図 11 出雲国十郡村附絵図 野津敏夫家蔵 … 6 9

挿図 12 出雲稽古知今図説(部分) 加賀浦 文政、天保年間 島根県立図書館蔵 … 7 4

挿図 13 松平齊貴上京行列図(江戸上屋敷前) 第5巻 東京国立博物館蔵 … 7 5

二 郡村図

挿図 14 宇宙からみた秋鹿郡付近 宇宙航空研究開発機構蔵 … 7 9

挿図 15 「江島村洲古中浦新田絵図」の賛と跋文 … 8 1

挿図 16 旧揖屋村 … 8 1

挿図 17 旧下出雲郷村 … 8 2

挿図 18 旧東岩坂村 … 8 2

挿図 19 旧熊野村 … 8 3

挿図 20 浦の境界石碑 … 8 4

挿図 2 1 講武川土手に残る櫓の木……………8 5

三 城下絵図

挿図 2 2 松江城正保年間絵図 正保年間 乙部正人家蔵……………9 0
 挿図 2 3 四ツ手網漁か(早秋の白魚漁) 三谷健司家蔵……………9 1
 挿図 2 4 紅葉を模しているのであろるか(春日社・萬寿寺付近) 三谷健司家蔵……………9 2
 挿図 2 5 城下周辺の湿地に水鳥が戯れている(四十間堀西) 三谷健司家蔵……………9 2
 挿図 2 6 田植えの風景 三谷健司家蔵……………9 2
 挿図 2 7 笙(せん・うけ)を設置している様子か(エビやウナギ漁) 三谷健司家蔵……………9 2
 挿図 2 8 「松江城及城下古図」図 2 5 と「松江城下絵図」図 2 6 の比較 面谷明俊作図……………9 3

挿図 2 9 松江城下絵図 安政ノ文久年間 乙部正人家蔵……………9 4
 挿図 3 0 松江城下絵図(下書き絵図) 安政ノ文久年間 原洋二家蔵……………9 4

四 町屋絵図

挿図 3 1 貼紙のある白潟町屋図 松江歴史館蔵……………9 9
 表 2 白潟3町の住宅状況 大矢幸雄作成……………1 0
 挿図 3 2 「和多見解説図」(貼紙図)(部分) 松杉力修(代表者)……………1 0
 挿図 3 3 松江四季眺望図 松江歴史館蔵……………1 0

五 寺社・屋敷図

挿図 3 4 武家地・町家の概念図 安高尚毅作図……………1 0
 挿図 3 5 松江藩江戸上屋敷の位置……………1 0
 挿図 3 6 旧松江藩江戸上屋敷 明治初年頃 江戸東京博物館蔵……………1 0
 挿図 3 7 松江藩大崎御屋敷の位置……………1 1
 挿図 3 8 松江城下絵図(三谷家の位置) 松江歴史館蔵……………1 1
 挿図 3 9 松江城下絵図(有澤家の位置) 松江歴史館蔵……………1 2
 挿図 4 0 大坂蔵屋敷の位置 高橋康夫他……………1 3
 挿図 4 1 松江城下絵図(脇坂家の位置) 松江歴史館蔵……………1 3
 挿図 4 2 堀尾期松江城下町絵図(部分)(御船屋付近) 島根大学附属図書館蔵……………1 4
 挿図 4 3 明治4年(一八七二)以前の本社社殿配置図 熊野大社蔵……………1 5

六 街道・水運図

表 3 道中図の比較 乾隆明作成……………1 1
 挿図 4 4 大山寺縁起(部分) 東京国立博物館蔵……………1 1
 挿図 4 5 道中図記(江戸ヨリ松江マデ)の折畳図 文化10年写 松江歴史館蔵……………1 2
 挿図 4 6 出雲国天神川口新田ノ図のトレース図 大矢幸雄作図……………1 2
 挿図 4 7 御台場之図(継紙) 根岸タカ子家蔵……………1 2

別刷図 5 1

七 近代図

挿図 4 8 宍道湖大橋川平面図(部分)(宍道湖から大橋川付近) 明治27年 島根県公文書センター蔵……………1 2
 表 4 一般的な明治期作製地籍図の変遷 金田・上杉2012……………1 2
 挿図 4 9 宝満山・鉢山の断面図 島根県地質図説明書編集委員会編……………1 3
 挿図 5 0 松江市宅地等級概況図【図 6 1…別刷】の地価等値線図 阿部志朗作図……………1 3